

(受学管 8 - 9)

笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事

図 面 リ ス ト											
No	図 面 名 称	SCALE	No	図 面 名 称	SCALE	No	図 面 名 称	SCALE	No	図 面 名 称	SCALE
00	表紙・図面リスト	-									
M	【機械設備】	-	A	【建築】					E	【電気設備】	
01	機械設備工事特記仕様書 1	-	01	建築改修工事特記仕様書(1)	-	21	改修 天井伏図(外部)	1/100	01	電気設備工事特記仕様書 1	-
02	機械設備工事特記仕様書 2	-	02	建築改修工事特記仕様書(2)	-	22	現況 立面図	1/100	02	電気設備工事特記仕様書 2	-
03	付近見取図	1/2500	03	建築改修工事特記仕様書(3)	-	23	改修 立面図	1/100	03	改修高圧単線結線図	-
04	配置図、仮設計画図	1/300	04	建築改修工事特記仕様書(4)	-	24	矩計図(1:内部)	1/30	04	室外機置場詳細図 1	1/50
05	空調設備機器リスト	-	05	建築改修工事特記仕様書(5)	-	25	矩計図(2:内部)	1/30	05	分電盤結線図・機器リスト	-
06	空調設備 1階平面図	1/100	06	建築改修工事特記仕様書(6)	-	26	矩計図(3:外部)	図示	06	電源設備 1階平面図	1/100
07	空調設備 展開図	1/100	07	建築改修工事特記仕様書(7)	-	27	1階建具キープラン	1/100	07	電源設備 2階平面図	1/100
08	空調設備 立面図	1/100	08	建築改修工事特記仕様書(8)	-	28	2階建具キープラン	1/100	08	室外機置場詳細図 2	1/30
09	部分詳細図	1/15	09	建築改修工事特記仕様書(9)	-	29	建具リスト	-	09	計装設備 1階平面図	1/100
10	施工参考図	-	10	建築改修工事特記仕様書(10)	-	30	部分詳細図(1)	図示	10	計装設備 2階平面図	1/100
			11	アスベスト対策工事仕様書	-	31	部分詳細図(2)	図示	11	緊急通報システム(撤去・改修)1階平面図	1/100
			12	建築工事特記仕様書	-	32	(参考図)仮設計画 1階平面図(外部)	1/100	12	電灯コンセント・防災設備 撤去1階平面図	1/100
			13	現況 1階平面図	1/100	33	(参考図)仮設計画 1階平面図(内部)	1/100	13	電灯コンセント・防災設備 改修1階平面図	1/100
			14	現況 2階平面図	1/100	34	(参考図)仮設計画 2階平面図(外部・内部)	1/100	14	参考展開図	1/100
			15	現況 1階天井伏図(内部)	1/100	35	(参考図)仮設計画 立面図	1/100	15	参考展開詳細図	1/50
			16	改修 1階平面図	1/100						
			17	改修 2階平面図(内部)	1/100						
			18	改修 1階天井伏図(内部)	1/100						
			19	改修 2階平面図(外部)	1/100						
			20	屋根伏図	1/100						

宇 治 市
株式会社 丸山建築事務所

機械設備工事特記仕様書 1

【工事概要】

1 工事場所 宇治市西笠取石原 2 2

2 建物概要

建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	消防法令別表第	耐震安全性の分類	備考
					甲 乙	
					甲 乙	
					甲 乙	
					甲 乙	

3 工事科目 印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名称	体育館
空調設備		
換気設備		
排煙設備		
自動制御設備		
衛生器具設備		
給水設備		
排水設備		
給湯設備		
消火設備		
ガス設備		
さく井設備		
厨房機器設備		
浄化槽設備		
医療ガス設備		
撤去工事		

【特記事項】

1 一般事項

1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工編)令和7年版」(以下、「標準仕様書」という。)、 「公共建築設備工事標準図(機械設備工編)令和7年版」(以下「標準図」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工編)令和7年版」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。

2) 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び各工事の標準仕様書による。

2 特記事項

項目及び特記事項は、印をついたものを本工事に適用する。ただし、印のない場合は、印を適用する。項目と印の付いた場合は、共に適用する。印が抹消された場合は、印のみ適用する。

章	項目	特記事項
一般事項	設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
	機材の承諾	機材の承諾に際しては、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課営繕技術管理室監修の機械設備工事機材承諾図様式集(最新版)によるものとする。
	機材の品質・性能証明	使用する機材が、(一)社公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(最新版)」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(3)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	現場代理人	本工事の施工に当たっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	電気保安技術者	適用する (本工事 別途)
	技能士(一級)	配管(配管工事) 建築板金(ダクト製作及び取付け) 冷凍空調調和機器施工
	工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。
	官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
	工事用板設物	構内に置くことができる できない
	足場・作業構台	別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。
監督職員事務所	設置しない 設置する (本工事 別途)	
監督職員事務所	下記の図書を監督職員事務所へ備え付ける。 <ul style="list-style-type: none"> 公共建築工事標準仕様書(機械設備工編) 公共建築設備工事標準図(機械設備工編) 機械設備工事監理指針 機械設備工事施工チェックシート 建築設備耐震設計施工指針 工事写真 撮影ガイドブック機械設備工事 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工編) 	
建設副産物の処理及び建設発生土の処理	引き渡しを要するもの【 】 右記のほか、 現場説明書による。 建設発生土の処理 右記のほか、 現場説明書による 再生資源利用(促進)計画・実施書の提出 詳細は現場説明書による。 1) 「建設発生土処理計画書」及び「建設副産物等処理計画書」を監督職員に提出する。 2) 関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理報告書」及び「建設副産物処理報告書」により監督職員に報告する。 3) 冷媒については関係法令に従い適切に破壊処分を行う(家電リサイクル法対象機器を除く)。(精込: 本工事 別途、処分費: 本工事 別途、運搬費: 本工事 別途) アスベストの処理等 1) 次の資機材のアスベスト含有の有無は以下による。 ダクトパッキン 含有 不含 要調査(分析資料数:) 配管エルボ部保温材 含有 不含 要調査(分析資料数:) 煙道の断熱材 含有 不含 要調査(分析資料数:) アスベスト成形板 含有 不含 要調査(分析資料数:) アスベスト成形板の処理等 施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認・アスベスト成形板の種別・厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認・施工範囲等の確認 確認範囲 成形板の製造年等の確認 X線解析法 2) アスベスト含有調査は以下のとおりとする。(ただし、調査費用は 本工事 別途 とする。) JISA 1481-2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」又は「JISA 1481-3「建材製品中のアスベスト含有率-第3部: アスベスト含有率の X線回折定量分析方法」による。 3) アスベスト含有資機材は関係法令に従い適切に処理する。 調査の結果アスベスト含有が確認された場合の処理方法は監督員との協議による。	

章	項目	特記事項																				
一般事項	工事関係書類	営繕工事契約関係書類提出書類書式集5 一覧表により提出。 宇治市へA' -シ' 参照 <http://www.city.uji.kyoto.jp>																				
	履行報告	月報 2部 3部 毎月末日(月)め、翌月の5日までに提出する。																				
	工事写真	1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領(最新版)」による。 2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。 3) 作業板電子化については、現場説明書による。																				
	完成図書	名称 内容 大きさ 部数 完成図 金文字製本 A4版 1部 完成図 背貼り製本(A3版) A4ファイル止め 2部 施工図 背貼り製本(1版) A4ファイル止め 2部 機器完成図等 機器製作図 ファイル止め A4版 2部 保守指導案内書(機器取説書を含む) 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書																				
	諸官庁提出書類	副 本 1式 原因 完成図 1部 完成写真 アルバム綴り 2部																				
	著作権等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																				
	付属品及び予備品	標準仕様書による。																				
	総合試運転調整(測定結果は報告書にて提出)	風量調整(測定共) 水量調整(測定共) ○室内外空気温度湿度測定 室内気流及びじんあいの測定 騒音の測定 室内温度測定(夏冬の切替による) 飲料水の水質の測定(項目) 雑用水の水質の測定(項目)																				
	耐震施工	1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により、計算を行い、監督職員に報告し承諾を得る。 2) 下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。																				
	共通事項	設置場所	特定の施設 一般の施設 <table border="1"> <tr> <th>設置場所</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0 (2.0)</td> <td>1.5 (2.0)</td> <td>1.5 (2.0)</td> <td>1.0 (1.5)</td> </tr> <tr> <td>中 間 階</td> <td>1.5 (1.5)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>0.6 (1.0)</td> </tr> <tr> <td>1 階 及 び 地 下 階</td> <td>1.0 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.4 (0.6)</td> </tr> </table>	設置場所	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)	中 間 階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	1 階 及 び 地 下 階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)
設置場所		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																	
上層階、屋上及び塔屋		2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)																	
中 間 階		1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)																	
1 階 及 び 地 下 階		1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)																	
設置場所		特定の施設 一般の施設 <table border="1"> <tr> <th>設置場所</th> <th>水 槽</th> <th>水 槽</th> </tr> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>中 間 階</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>1 階 及 び 地 下 階</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> </table>	設置場所	水 槽	水 槽	上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	中 間 階	1.5	1.0	1 階 及 び 地 下 階	1.5	1.0								
設置場所		水 槽	水 槽																			
上層階、屋上及び塔屋		2.0	1.5																			
中 間 階		1.5	1.0																			
1 階 及 び 地 下 階		1.5	1.0																			
注1	耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設を、乙類の建物は一般の施設を適用する。屋外に設置する機器は建物の耐震安全性の分類に準じる。ただし、敷地内に甲類の建物と乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。																					
注2	()内の数値は、防振支持の機器の場合に適用する。																					
注3	設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。																					
注4	上層階の定義は、6階建以下の場合は最上階、7~9階建の場合は上階2階。																					
注5	重要機器(水槽類)は、下記に示すものとする。(水槽類にはオイルタンク等を含む。)																					
注6	「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」による形鋼振れ止め支持を行う場合は、SSA種とする。ただし、取付け金物については標準図に準ずる。																					
一般用弁	標準仕様書第2編2.2.1(A) - (シ) によるほか、下記による。 1) 水道直結部及び図面特記部の耐圧は10K以上、その他は5K以上とする。 2) 給水・給湯用の青銅製弁は、給水用青銅弁を使用する。																					
フレキシブルジョイント	機器廻りに取付けるフレキシブルジョイントは、鋼板に対してはペロース形、FRPに対しては合成ゴム製とする。																					
鋼管用伸縮管継手	ペロース形 スリーブ形																					
溶接接合	溶接部の非破壊検査は、適用しない 適用する(放射線透過検査 浸透深層検査又は磁粉深層検査)																					
地中埋設管及び埋設表示用テープ	1) 給 水 管 地中埋設管(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要) 2) 消 火 管 地中埋設管(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要) 3) ガ ス 管 地中埋設管(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要) 4) 油 管 地中埋設管(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要) 5) プライン管 地中埋設管(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要) 用途表示のあるテープ(幅は150mm以上)で、2倍以上重ね合わせて使用する。																					
防食処理	地中埋設の排水用塩ビライニング鋼管は、防食処理を行う。																					
保温	1) 保温材の仕様は、下記による。 <table border="1"> <tr> <th>給水管・排水管</th> <th>ポリスチレンフォーム保温材</th> </tr> <tr> <th>排煙ダクト・煙道、排気筒</th> <th>ロックウール保温材</th> </tr> <tr> <th>その他</th> <th>グラスウール保温材</th> </tr> </table>	給水管・排水管	ポリスチレンフォーム保温材	排煙ダクト・煙道、排気筒	ロックウール保温材	その他	グラスウール保温材															
給水管・排水管	ポリスチレンフォーム保温材																					
排煙ダクト・煙道、排気筒	ロックウール保温材																					
その他	グラスウール保温材																					
塗装	標準仕様書によるほか、下記により塗装(指定色)を行う。ただし、保温を行うものは除く。 屋外(ダクト 配管) 屋内居室(ダクト 配管) 廊下(ダクト 配管) 屋内PS・EPS(ダクト 配管) 屋内機械室・電気室(ダクト 配管)																					
吹出口及び吸込口ボックス	ボックスの材質について、特記がない場合は亜鉛鉄板製とする。ただし、グラスウール製とする場合はJISA 4009(空調調和及び換気設備用ダクトの構成部材)によるものとし、厚さ0.6mm以上の亜鉛鉄板で補強を施したものである。 ボックスの吊りは3点支持を標準とし、これによれない場合は監督職員との協議による。																					
ｽﾚﾝﾀﾞ製ｸﾞﾗｽﾞの板厚	ステンレス製ダクトの板厚は JISA 4009 2017による																					
ボックス	PF管で配管する場合は、樹脂製ボックスを使用する。																					
容量等の表示	機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機の出力、燃料消費量及び圧力損失は、表示された数値以下とする。																					
誘導電動機	電動機出力が0.75kW以上の低圧三相かご形誘導電動機の規格は、JISC 4213(低圧三相かご形誘導電動機-低圧トランジスターモータ)による。																					
開放形膨張タンク等	開放形膨張タンク、補給水タンク及び消火用充水タンクの材質は次による 鋼板製 ステンレス鋼板製																					
電線及び電線管	電線及び電線管については標準仕様書第4編第1章第5節による																					

章	項目	特記事項
共通事項	はつり及び穴開け	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。
	インサート及びアンカー	あと施工アンカー等を行う場合は、改修標準仕様書第2編第5章による。 施工後確認試験 行う(国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)8章1.2節8.1.2.7による。)
	防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー	復旧方式は 遠方復旧式 (電気式(定格入力 DC24V 0.6A以下)) 手動復旧式
	消音内貼	ダクト及びチャンパー、消音エルボの内貼り(節節図示)は下記による。 ・消音内貼り部分の外部保温は 不要 必要 ・チャンパーの寸法は、外形寸法を示す。 (ただし、ダクト及び消音エルボは、内形寸法を示す。) ・点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。
	ドレン抜き取付枠	外壁に面するガラリに直接取付けるチャンパー類に必要に応じ設ける。 防火区画部に取付ける吹出口、吸込口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。
	機器の基礎	アンカーボルト及びナットは、下記による。 ・ 屋外、多湿室等 (熔融亜鉛めっき2種35 ステンレス鋼製(SUS304)) ・ その他 (一般品) 機器側の材質が SUS製の場合は、 SUS製とする。
	防火区画	平面階 図示
	掲示板	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを画いた掲示板(文字標識)を設ける。
	天井仕上区分	() 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	給油設備	オイルタンク 地下 屋内 遠隔油量指示計 設ける 設けない 副指示計 設ける 設けない オイルサービスタンク 油面計 ゲージ式 ガラス管式 油面制御装置の機能は下記による。 給油ポンプの起動、停止制御用 返油ポンプの起動、停止制御用 満油警報 遠隔警報(減油 満減油) 油管(露出、トラフ内) 配管用炭素鋼管(黒) 油管(地中) ポリエチレン被覆鋼管
建物導入部配管	標準図施工4(a)(フレキシブルジョイント 埋設用フレキシブルジョイント) 標準図施工5(b)(ボールジョイント) 標準図施工5(c)(スリークッション)	
鋼材	屋外露出部分 熔融亜鉛めっき2種35 ステンレス鋼製(SUS304)	
制御及び操作盤	構成 連相コンデンサー 運動時間計 表示等 運転(赤色)及び停止(緑色)表示 保護継電器の動作表示 接点及び端子 遠方停端子 湿度調節器用端子 運転時間表示用端子 温水出入口温度用端子 冷水出入口温度用端子 消費電力表示用端子(ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) 給水量表示用端子(ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) 燃料消費量表示用端子(ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用)	
主方式	全空気方式(中央 各階ユニット) ファンコイル・ダクト併用方式 個別方式	
主要熱源機器	吸収冷凍水機 チリングユニット 空気熱源ヒートポンプユニット 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調調和機(EHP GHP)	
○設計時の温湿度条件	場 所 屋 外 屋内(調整目標値) 時 期 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 冬 期 0.4 40% 2.2 40% % 夏 期 36.9 50% 2.6 50% %	
長方形ダクトの工法	アングルフランジ工法 コーナーボルト工法(共板フランジ工法 スライドオンフランジ工法)	
ダクトの分岐方法	割込み工法 直付け工法	
配管材料(図面特記部分は除く)	冷水水管 配管用炭素鋼管(白) 一般配管用ステンレス鋼管(SUS304) 冷却水管 配管用炭素鋼管(白) 硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA、SGP-FVA) ドレン管 配管用炭素鋼管(白)(ねじ接合 MDジョイント) 水配管用亜鉛めっき鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 保温付VP管 リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VVP)	
蒸気配管	給気管 配管用炭素鋼管(黒) 遠 管 圧力配管用炭素鋼管(黒)	
補給水管	配管用炭素鋼管(白)	
膨脹管	配管用炭素鋼管(白)	
エア抜管	配管用炭素鋼管(白)	
加湿給水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA、SGP-FVA) 一般配管用ステンレス鋼管(SUS304)	
冷媒管	銅管 断熱材被覆鋼管(ガス管:ハイグレード仕様) パッケージ形空調調和機の2次側電気配管配線の仕様は製造者の標準仕様とする。	
温度計	冷媒管接続方法:火無工法(ファイヤレスジョイント使用)とする。 工業用バイメタル式温度計 ガラス製棒状温度計 ガラス製二重管温度計	
定風量ユニット	メカニカル形	
変風量ユニット	風速センサー形(プロペラ形センサー 熱線センサー)	
カセット形ファンコイルユニット	結露防止措置を施した亜鉛鉄板製 自己消火性のポリスチレンフォーム	
ボイラー-燃焼制御方式	オン・オフ制御式(直接始動式 低燃費始動式) ハイ・ロー・オフ制御式 比例制御式	
遠心・スクルー凍凍機	電動機盤 連相コンデンサー(要 不要)	
吸収式冷凍水機	排熱投入型再生器 有り 無し	
高温再生器の構造	図面による。	
コージェネレーション装置	発電方式 原動機、発電機 燃料電池 熱回収装置 温水熱交換機 排ガスボイラー 排ガス熱交換機 熱回収用ポンプ その他 その他装置等 補機付制御装置 冷却塔(放熱用)	
集中管理リモコン	表示機能 屋外機吸込温度 空調エネルギー-使用量按分 運転時間積算 室内温度 データ管理機能 屋外機吸込温度 空調エネルギー-使用量按分 運転時間積算 室内温度	
	外部記憶媒体への出力	

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣() 構造設計/設備設計 への法適合を確認した 大臣()	一級建築士登録 大臣() 一級建築士登録 大臣()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事 図名 機械設備工事特記仕様書 1	No. M-01 縮尺 A2: - A3: -
---------------------------------	---------------------------	--	--------------------------------	---	-------------------------------

機械設備工事特記仕様書 2

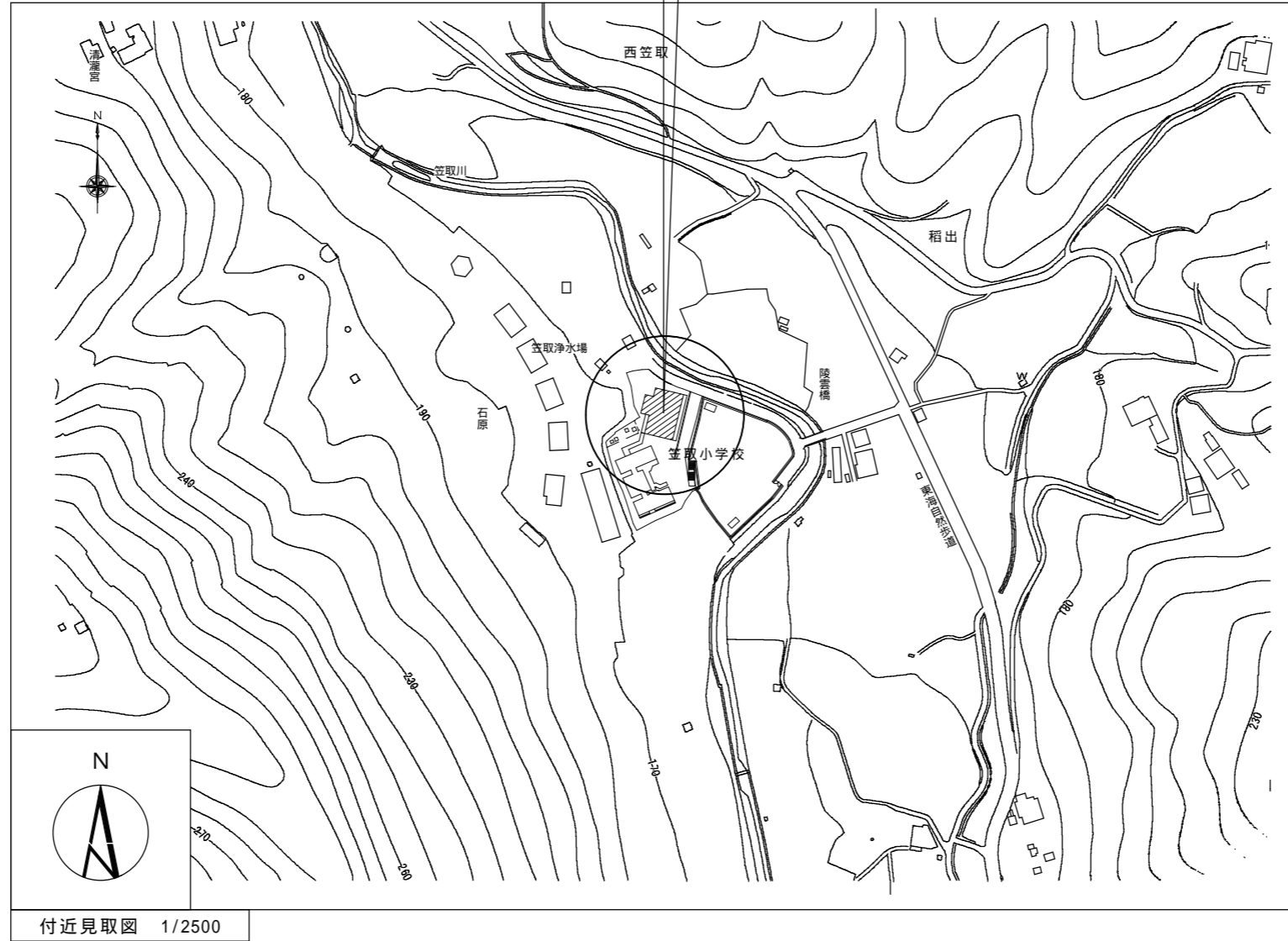
章	項目	特記事項
空気調和設備	銅板製煙道 (ボイラー)	厚さ 3.2mm 4.5mm ばい煙濃度計の取付座 ばいじん量測定口 伸縮継手 掃除口
	ばい煙濃度計 (ボイラー) 瞬間流量計	送風機付き 送風機なし (電源は熱源機器付属制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む) 固定形 個 着脱可能形 (測定用タッピング 個 本体 個)
換気設備	保温 (図面特記部分は除く)	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 隠れ部 不要 必要 露出部 保温化粧ケース (塩化ビニル樹脂製) ビニル化粧テープ巻き (防球ガード保護) ・屋外 ステンレス鋼板 アルミ合金製 保温化粧ケース (樹脂製 溶融亜鉛めっき鋼板製) ステンレス鋼板製 ・保温化粧ケースの下部カバー 必要 不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 加湿用給水水槽の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油管はプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。
	ダクトの工法	アングルフランジ工法 コーナーボルト工法 (共板フランジ工法 スライドオンフランジ工法) スパイラルダクト アルミフレキシブルダクト
排気設備	ダクトの分岐方法	給気ダクト 割込み方式 直付け方式 排気ダクト 割込み方式 直付け方式
	厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。
		ダクトの長辺 板厚
		450mm以下 0.6mm
		450mmを超え1200mm以下 0.8mm
		1200mmを超え1800mm以下 1.0mm
		1800mmを超えるもの 1.2mm
排煙設備	排煙フード	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ステンレス鋼板 (補強共) 2) 排気フード廻りに取付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 本工事 別途工事 3) グリスフィルターの予備 不要 必要
	保温	浴室・厨房 (多湿箇所) の外気取入ダクトの保温 不要 必要 外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 保温を行う場合の仕様は標準仕様書第2編第3章第1節による。
排煙設備	排煙対象部分	廊下 事務室 図示 最大面積 m52
	ダクトの種類	高圧1ダクト 高圧2ダクト
自動制御	ダクトの工法	アングルフランジ工法
	ダクトの材料	亜鉛鉄板製 鋼板製 (1.5mm以上)
衛生器具設備	排煙口	1) 形状 スリットフェース形 パネル形 ダンパー形 2) 排煙口の開放 手動 (機械式 電気式) 煙感知器連動 3) 復帰装置 手元復帰式 (手動式 電気式) 遠方復帰式 4) ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途工事とする。
	保温	床下及び暗渠内の保温 不要 必要 (図示) 図面による。
給水設備	小便器用節水装置	電気供給方式 A C電源 乾電池 自己発電
	自動水栓	電気供給方式 A C電源 乾電池 自己発電 手動スイッチ 無し 有り
給水設備	大便器用洗浄弁	操作方式 手動式 電気開閉式 (センサー式 タッチスイッチ式)
	水石けん入れ	手洗器一体型 手洗器分離型
給水設備	車椅子使用者用器具	1) 大便器洗浄弁 センサー式 タッチスイッチ式 レバー式 2) 洗面器の水栓は自動水栓とする。
	給水方式	水道直結方式 高置タンク方式 水道直結増圧方式 (水道用直結加圧ポンプユニット) ポンプ直送方式 (小型給水ポンプユニット)
給水設備	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 一般配管用ステンレス鋼管 (S U S 3 0 4) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (S G P - P A , S G P - F P A) 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V A , S G P - F V A)
	地中配管 [屋内]	一般配管用ステンレス鋼管 (S U S 3 1 6) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) 水道用ポリエチレン二層管 (5 0 A以下) (1種 2種) (接合方法 メカニカル 電気融着) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (S G P - P D , S G P - F P D) 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V D , S G P - F V D)
給水設備	地中配管 [屋外]	一般配管用ステンレス鋼管 (S U S 3 1 6) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) 水道用ポリエチレン二層管 (5 0 A以下) (1種 2種) (接合方法 メカニカル 電気融着) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (S G P - P D , S G P - F P D) 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V D , S G P - F V D)
	緊急遮断弁装置	必要 不要 駆動方式 電気式 機械式
給水設備	量水器	現地表示式 (直読式) 遠隔表示式 (パルス式)

章	項目	特記事項
給水設備	水栓柱	合成樹脂製 (7 0 x 7 0 x 1 3 0 0 H) ステンレス製 () アルミニウム合金製 () 不凍水栓柱 ()
	管の埋設深さ	特記なき場合、水栓取付け高さは約600とする。 1) 一般敷地 300mm 2) 構内車両通路 600mm 3) 寒冷地では凍結深度以上とする。
給水設備	埋戻し及び盛土	良質土 再生コンクリート砂 山砂
	加入金・負担金	不要 必要 (別途 本工事) 本管引込工事 本工事 (舗装本復旧まで 舗装復旧まで) 別途工事
給水設備	排水方式	汚水と雑排水 [屋内] ○分流式 合流式 汚水・雑排水と雨水 [屋外] ○分流式 合流式 ポンプアップ排水 有り (雑排水 汚水 雨水 湧水 浄化槽2次側) 無し
	放流式	汚水 直放流下水管 ○浄化槽 雑排水 直放流下水管 ○浄化槽 別途樹・側溝 浸透樹 雨水ポンプアップ排水 直放流下水管 雨水側溝 雨水樹 湧水ポンプアップ排水 直放流下水管 雨水側溝 雨水樹
給水設備	配管材料 (図面特記部分は除く)	水道用亜鉛めっき鋼管 配管用炭素鋼管 (白) (ねじ接合 M Dジョイント) 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) ○保温付ビニル管 (V P) 排水・通気用耐火二層管 (V P)
	屋内汚水管	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F - V P) 排水・通気用耐火二層管 (V P)
給水設備	通気管	配管用炭素鋼管 (白) (ねじ接合 M Dジョイント) 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F - V P) 排水・通気用耐火二層管 (V P)
	露出配管 [屋外]	○硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー V P) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (R S - V U)
給水設備	地中配管 [屋外]	○硬質ポリ塩化ビニル管 (O V P V U) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (R S - V U) ○保温付ビニル管 (V P)
	鋼管類のポンプアップ排水用の配管は、硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V A , S G P - F V A) (地中配管は S G P - V D , S G P - F V D) とし、継手はフランジ接合とする。	
給湯設備	負担金	不要 必要 (別途 本工事)
	本管接続工事	本工事 (舗装本復旧まで 舗装復旧まで) 別途工事
給湯設備	給湯方式	中央式 局部式
	配管材料	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - H V A) 一般配管用ステンレス鋼管 鋼管 (壁又は床理設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) 被覆鋼管
給湯設備	保温	ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2.3.5による。
	消火設備の種類	屋内消火栓 スプリンクラー 泡消火 不活性ガス消火 () 連結送水管
消火設備	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 配管用炭素鋼管 (白) 圧力配管用炭素鋼管 (白 S c h 4 0) 一般配管用ステンレス鋼管
	地中配管 [屋内] [屋外]	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (S G P - V S) 消火用ポリエチレン管 (P E)
消火設備	保温	消火用充水タンクの保温を 施工する (膨張タンクによる) 施工しない 消火用呼水タンクの保温を 施工しない 施工する (膨張タンクによる) 屋外露出管の保温を 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる) 屋内露出管の保温を 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる) トレンチ内の保温を 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる)
	ガスの種類	都市ガス (発熱量 4 5 , 0 0 0 k J / N m 3 k J / N m 3) 液化石油ガス (5 0 k g 1 2 本立 2 0 k g 本立)
ガス設備	ガスメーター	親メーター 貸与品 購入 子メーター 購入 貸与品 計量方式 (実測式 パルス式)
	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 配管用炭素鋼管 (白) 張力式ガス放出防止型高圧ホース 地中配管 [屋内] [屋外] ポリエチレン被覆鋼管 ガス用ポリエチレン管
ガス設備	地中配管の接合方法	都市ガスの場合は、供給者仕様による。 S G M工法 ○ネジ工法 P E 管工法
	ビット内施工法	溶接工法
ガス設備	負担金	不要 必要 (別途 本工事)
	本管接続工事	本工事 (舗装本復旧まで 舗装復旧まで) 別途工事
ガス設備	排水弁設備	掘削工法 バークッション式 ロータリー式 ダウンザホールハンマ式 回転振動式
	掘削工法	掘削工法 掘削工法 掘削工法 孔口保護管 深度 () m ケーシング材質 配管用炭素鋼管 (黒) 配管用ステンレス鋼管
ガス設備	地中熱交換弁設備	回転振動式 ロータリー式 ダウンザホールハンマ式 掘削工法 ロータリーバークッション式
	厨房機器	図面による。

章	項目	特記事項		
浄化槽設備	形式	ユニット形 現場施工形		
	処理方法	小規模合併処理 (図面による) 合併処理 (図面による)		
設備	医療力ス	図面による。		
	その他	コア抜き (ダイヤル穴明け) 鉄筋探査機により探査し鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 校正記録 参考メーカー 日本無機樹 ハンディサーチ R C レーダー N J J - 8 5 型同等品 交通誘導員 試験機器類の校正記録を提出する。 保安器材 カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。 鉄板敷き 1, 5 2 4 x 6, 0 9 6 x 厚 2 2 mm 文字標識 機器類、配管類		
別表 付属品・予備品				
工具箱 (ドライバー、モンキーレンチ、組スパー、ハンマー) マンホールフック バイブレンチ ポンプライヤー ラバークップ (大、小) イーザーキャビネット 箱 キーボックス 盤類予備品 (ランプ及びヒューズの 1 0 0 %)				
試験・検査				
水圧試験	排水滴水試験	排水通水試験	風量測定	吹出口温度測定
気密試験	点火試験	機器類動作試験	絶縁試験	
騒音測定	○振動測定	水槽水張り試験	アンカー引張試験 (有資格者) (室外機)	
消防設備試験	水質検査			

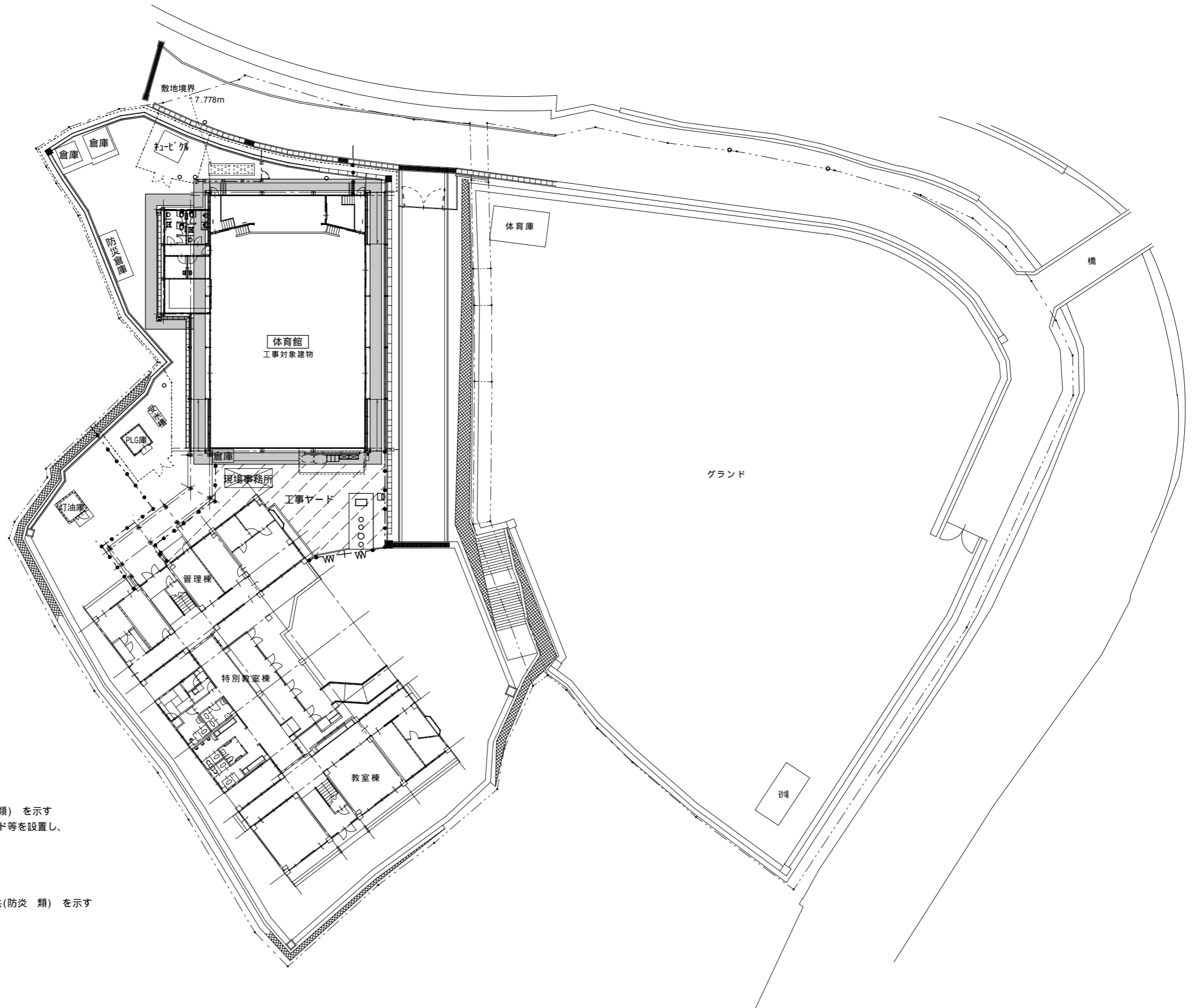
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 空取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. M - 0 2
構造/設備関係規定 への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 機械設備工事特記仕様書 2	縮尺 A2: - A3: -

工事場所：宇治市西笠取石原22







付近見取図 1/2500

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号		構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. - 03
			構造/設備関係規定 への法適合を確認した 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 付近見取図	縮尺 A2: 1/2500 A3: -



【凡例】

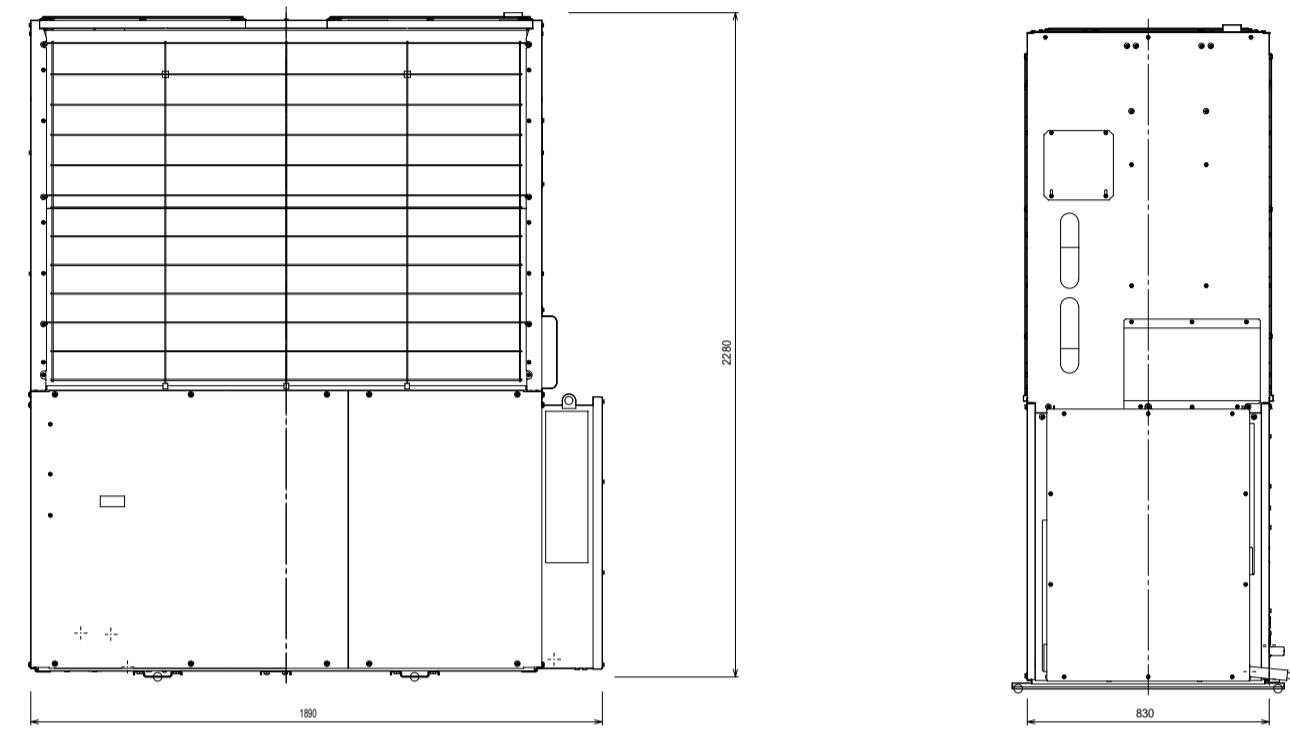
- 
 枠組足場W1,200 外部足場 養生シート張り共(防災 類) を示す
 (昇降階段の最下部には開閉式のフェンスバリケード等を設置し、
 施錠可能な仕様とすること)
- 
 キャスターゲート H1800 を示す
- 
 ガードフェンス H1800 下部幅木板設置 養生シート張り共(防災 類) を示す
- 
 工事期間中の交通誘導員を適正に配置すること。

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣()	構造設計 一級建築士登録 交付番号()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. - 04
		構造/設備関係規定 への適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣() 交付番号()	図名 配置図、仮設計画図	縮尺 A2: 1/300 A3: -

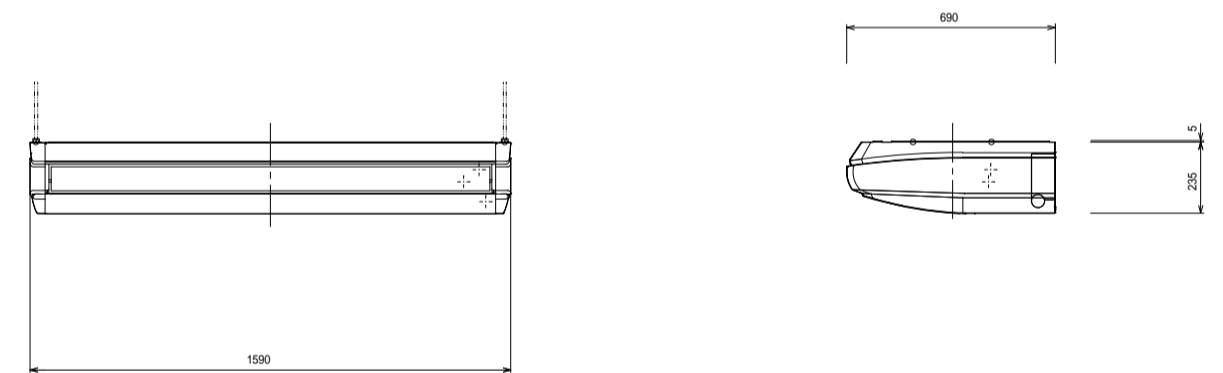
空調・換気機器リスト (新設)

機器番号	機器名称	機器仕様	台数	据付位置	備考 (参考品番)
GHP 1	ガス・トホン [®] エアコン (GHP室外機) 屋外据置型	定格冷房能力 56.0 kW 定格暖房能力 63.0 kW	2	屋外	ヤス- (同等品) YB2P560L1DBM
		室外ファン電動機 750.0W x 2台			
GHP 2		燃料種別 プロパン			
		燃料消費量冷房 41.9 kW 燃料消費量暖房 39.7 kW			
		電源 単相 200V 1260W			
		外形寸法 (W x L x H) ・質量 1890 x 830 x 2280mm 965kg			
		防振パッド	2	屋外	ヤス- (同等品) K-KSVP10B1
		予備フィルター	8	体育館	ヤス- (同等品) KAF501B160
		自立運転スイッチ	2	屋外	ヤス- (同等品) AOB560J
		スグュースター	2	体育館	ヤス- (同等品) LT301B1
		その他附属品一式			
		防護ネット	1	屋外	
GHP 1-1 ~4	ガス・トホン [®] エアコン (GHP室内機) 天井吊形	定格冷房能力 14.0 kW 定格暖房能力 16.0 kW	8	体育館	ヤス-同等品 YZHP140NA
		風量強 28.5 m ³ /min			
GHP 2-1 ~4		ファン電動機 182.0W x 1台			
		電源 (単相) 200V60Hz			
		外形寸法 (W x L x H) ・質量 1590 x 690 x 235mm 43.0kg			
		ドレンアップキット	8	体育館	ヤス- (同等品) KDU50R160
		REFNET [®] ユニット (冷媒分流器)	6	体育館	ヤス- (同等品) RBP33Y (2台)、RBP72Y (4台)
		運転スイッチ・液晶操作パネル	2	体育館	ヤス- (同等品) LC1G3
		配管ガード	8	体育館	ブラコ- (同等品) BNHK-1000P/C
		その他附属品一式			
AF 1	I ² 搬送ファン (標準タイプ) 天井面取付 (端子台接続方式)	消費電力 1 100V 83.0 W 騒音 46.5dB	6	体育館	三菱電機 (同等品) AH-2009SA
		風量 1450.0m ³ /h 平均吹出風速 8.6m/s			
		外形寸法 (W x L x H) ・質量 900 x 222 x 197mm 11.0kg			
		LED駆動ファン	2	体育館	三菱電機 (同等品) FS-08AHS2
		I ² 搬送ファン用防球ガード	6	体育館	三菱電機 (同等品) AH-G30
		その他附属品一式			
FE 1	天井埋込型換気扇	消費電力 1 100V 15.5W	1	男子更衣室	三菱電機 (同等品) VD-13ZC14-1N
		風量 130.0m ³ /h 羽根径 115.0mm			
		外形寸法 (W x L x H) ・質量 202H x 333W x 2500mm 1.4kg			
		ダクト用換気扇専用十字格子グリッド	1	男子更衣室	三菱電機 (同等品) P-215GB3-J

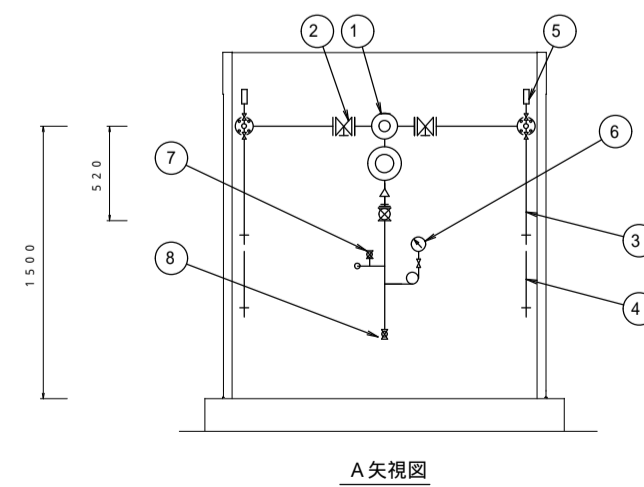
ガス・トホン[®]エアコン (GHP室外機) 屋外据置型



ガス・トホン[®]エアコン (GHP室内機) 天井吊形



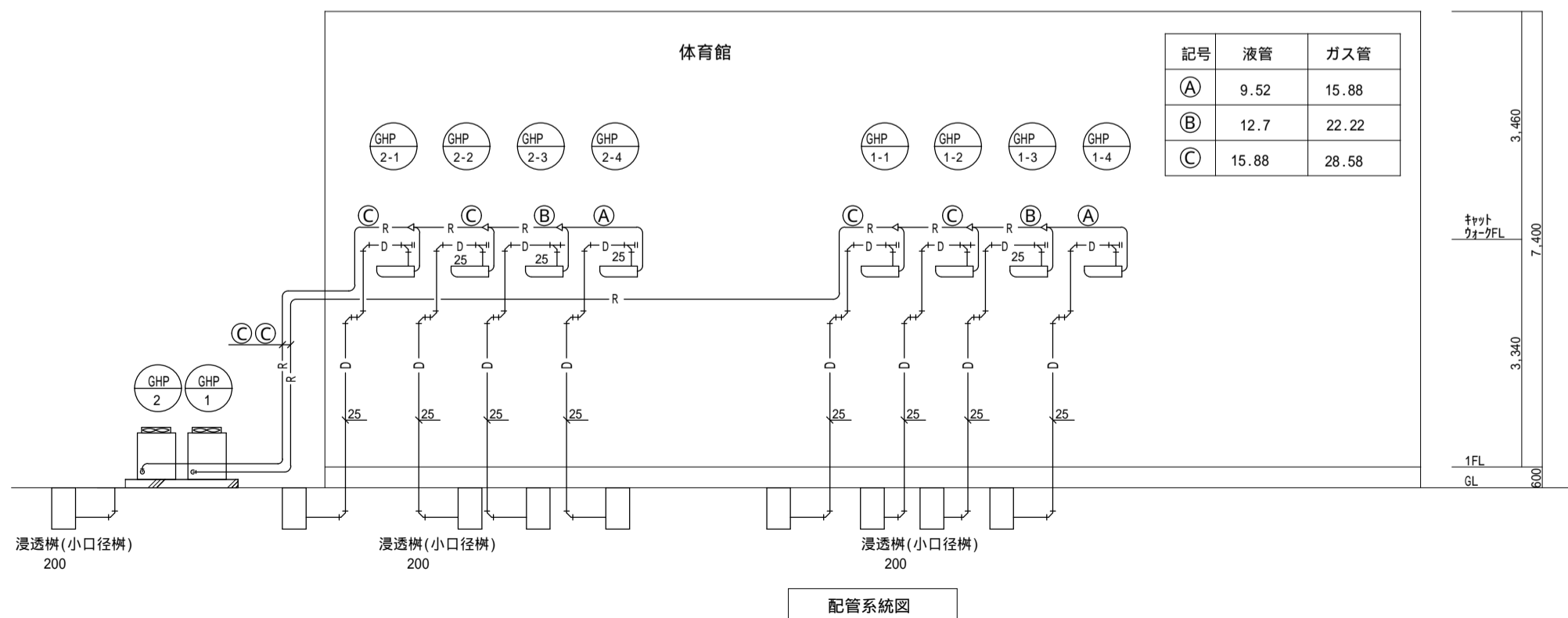
ポンペ[®]庫展開図



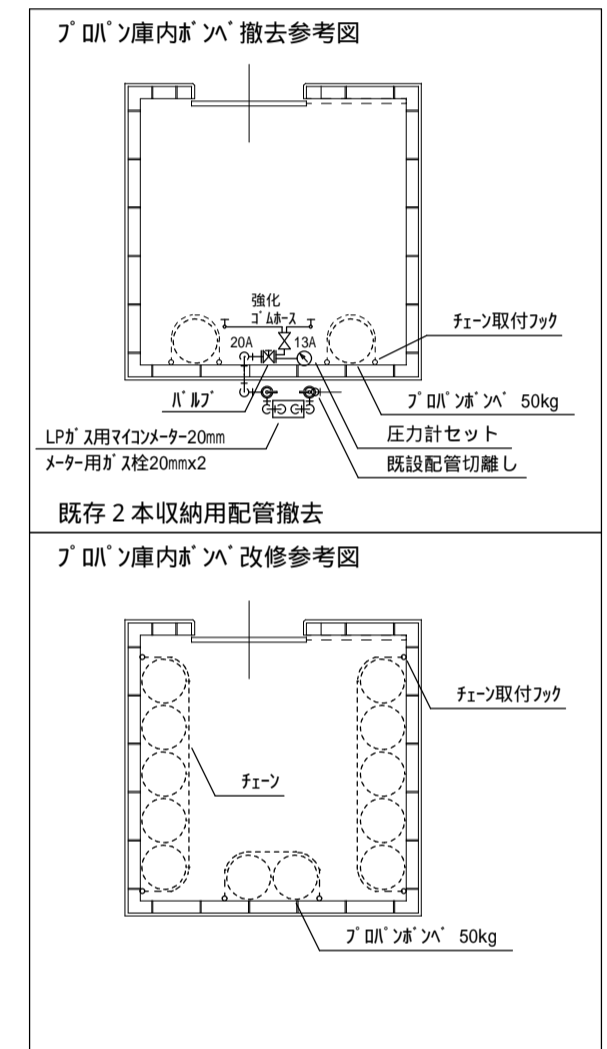
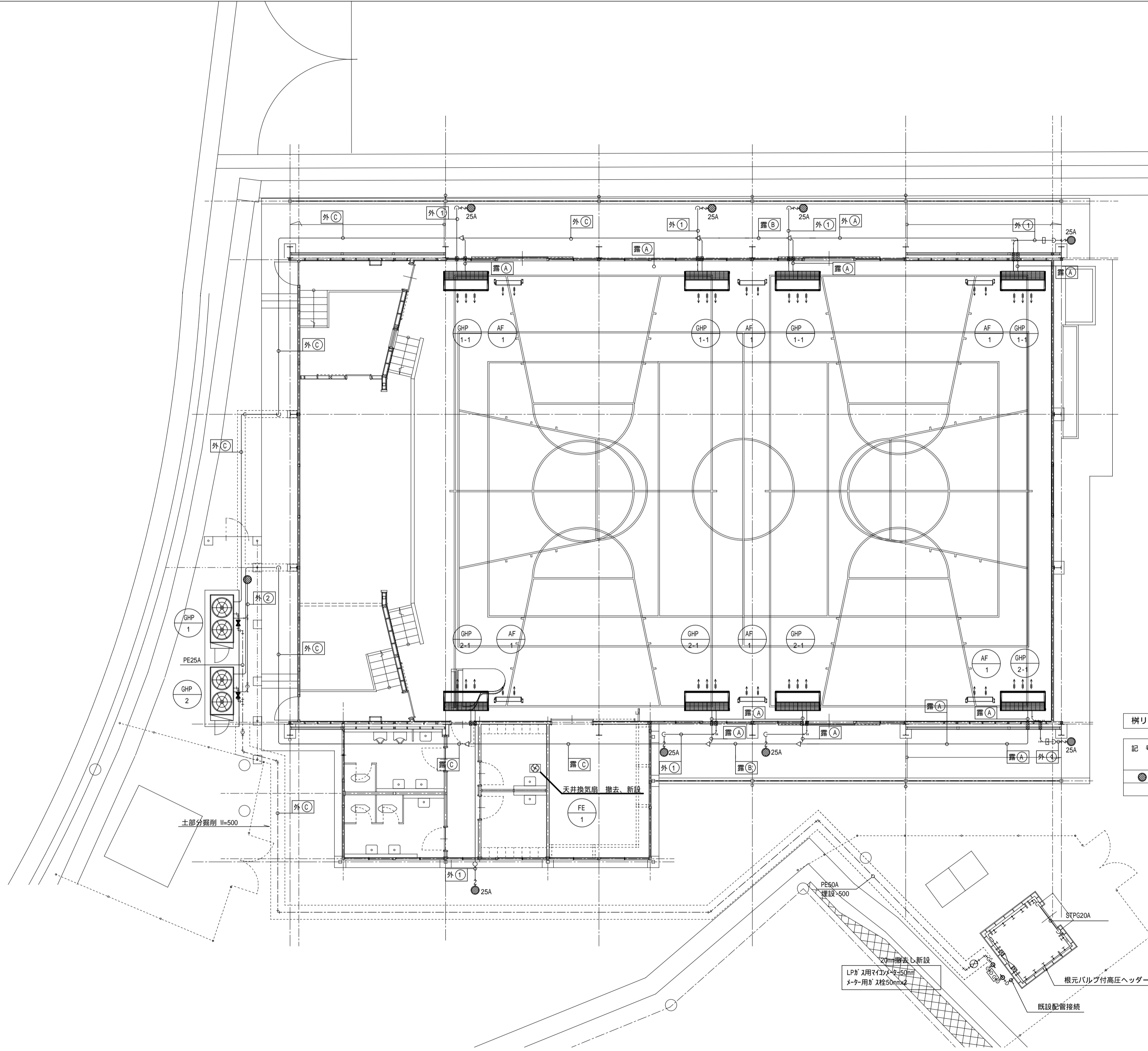
機器凡例 ポンペの転倒防止を行うこと

番号	品名	数量	備 考
1	自動切替式一体型調整器	1	50A (BV付)
2	ストレナーバルブ	2	20A
3	張力式ガス放出防止型高圧ホース 600mm	6	
4	張力式ガス放出防止型高圧ホース 1000mm	6	
5	3.5MPa圧力計セット	1式	
6	10kPa圧力計セット	1式	
7	検査孔付ボルトバルブ	1	BV・15K
8	ドレン抜バルブ (プラグ付)	1	15A

1 2本立 (6本立2系列: 既設2本新設10本) シングル集合(50kg/h)



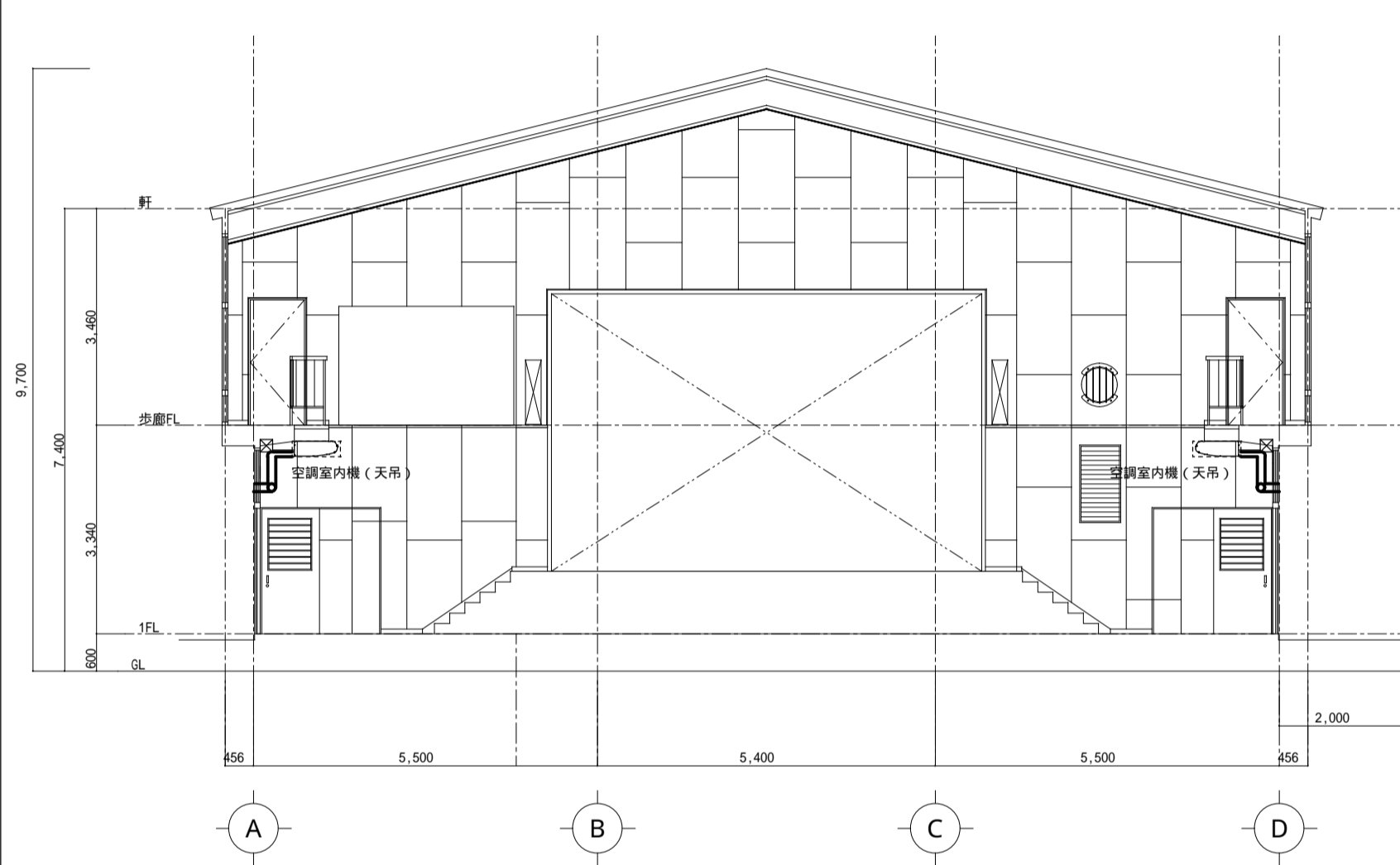
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 空取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. M-05
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()	図名 空調設備機器リスト	縮尺 A2: - A3: -



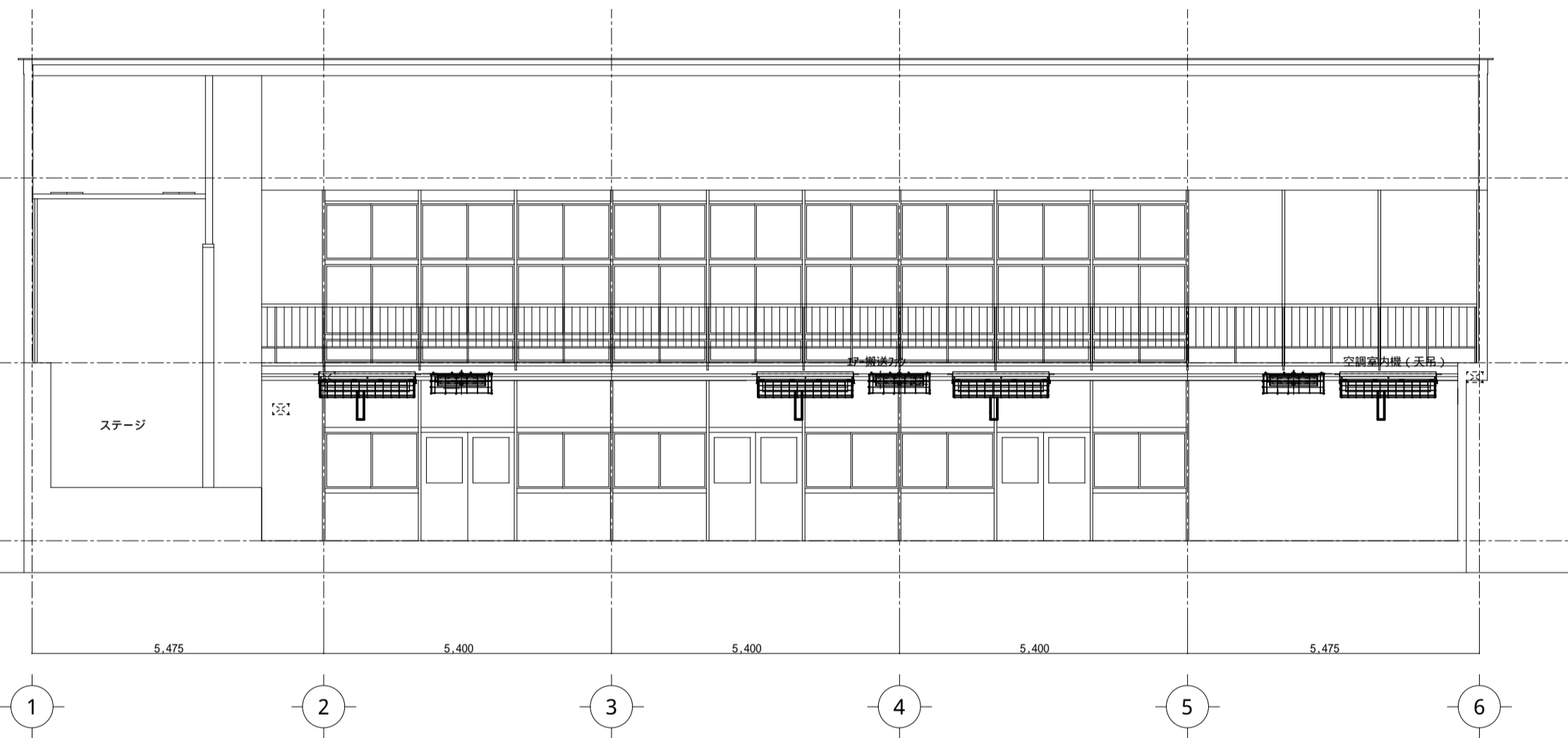
樹リスト 樹取付後のコンクリート部補修は建築工事とする

記号	名称	寸法	深さ	マンホール蓋
●	浸透樹(小口径樹)	200	300mm	200 (防臭蓋)

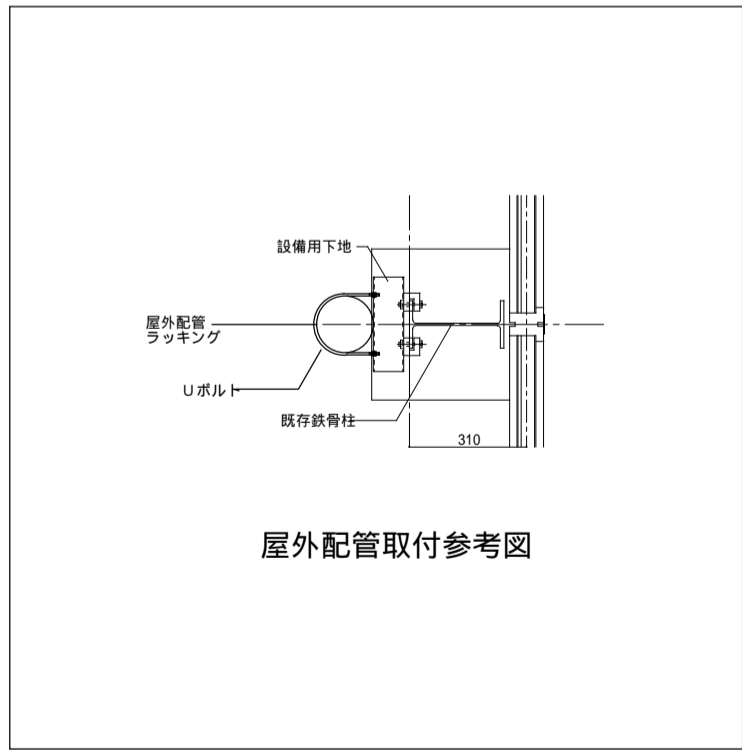
- 配管凡例**
- (A) 冷媒管 9.52/15.88
 - (B) 冷媒管 12.7/22.22
 - (C) 冷媒管 15.88/28.58
 - (a) LPガス用配管 硬質塩化ビニル被覆鋼管25A
 - (b) LPガス用配管 硬質塩化ビニル被覆鋼管50A
 - (1) ドレン管 VP(25)
 - (2) ドレン管 VP(40)
 - (3) ドレン管 VP(50)
- 露...屋内露出配管 カラー亜鉛鉄板・RW保温
 外...屋外配管 ステンレス鋼板・RW保温
- 冷媒配管はAグレードを使用する
 屋外用ドレン配管はが-VPを使用する
- 屋内冷媒配管はPDダクトを施す。
 - 冷媒配管は出入口等に干渉しない高さを確保する。
 - 室内機には防護柵等取り付け、外部からの衝撃を防止する。
 - 冷媒配管は出入口等に干渉しない高さを確保する。
 - 屋外冷媒配管支持は形鋼振止支持点間6m以下とする。



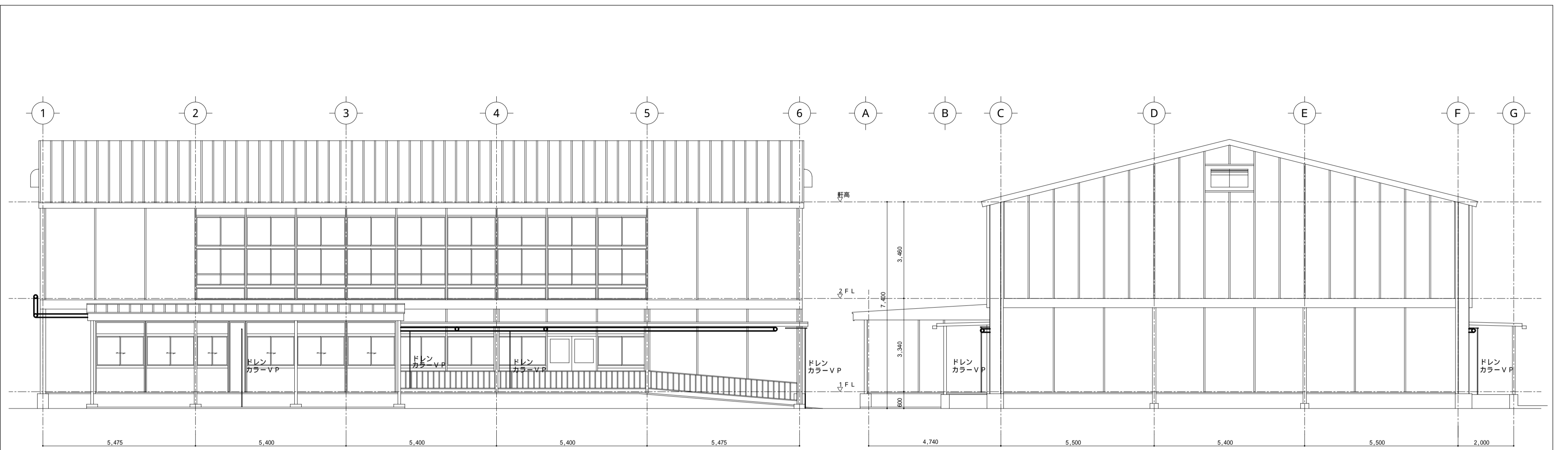
北面展開図 1/100



東面展開図 1/100

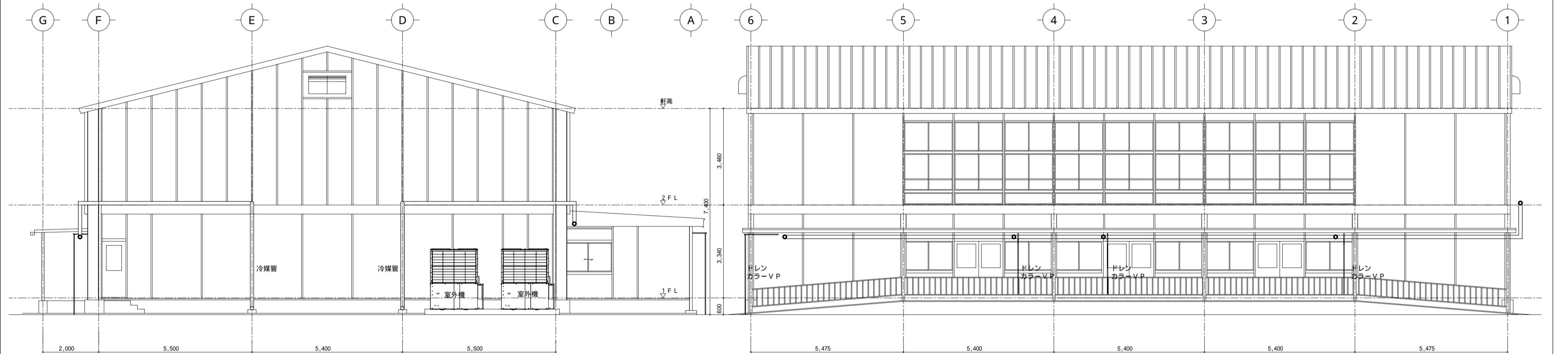


株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号		構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. M - 07
			構造/設備関係規定 への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 展開図、立面図、参考図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



西立面図 1/100

南立面図 1/100



北立面図 1/100

東立面図 1/100

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号		構造設計	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称	No.
			構造/設備関係規定 への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	空取小学校体育館空調設置ほか改修工事 空調設備立面図	M - 0 8 縮尺 A2: 1/100 A3: -

防球ガード仕様

材質：SS400 t = 2.3mm

6丸棒(一部 12丸棒)

重量：本体約14.1kg ベース枠約5.4kg

合計約20.6kg(金具含む)

蝶番：B-1004-1-R×3(抜き差し式)

B-1004-1-L×1(抜き差し式)

キャッチクリップ：C-1007-12×4(ロック付き)

仕上：2.5Y9/1半艶粉体焼付塗装

室内機参考サイズ：1590×690×235(幅×奥行×高さ)(mm)

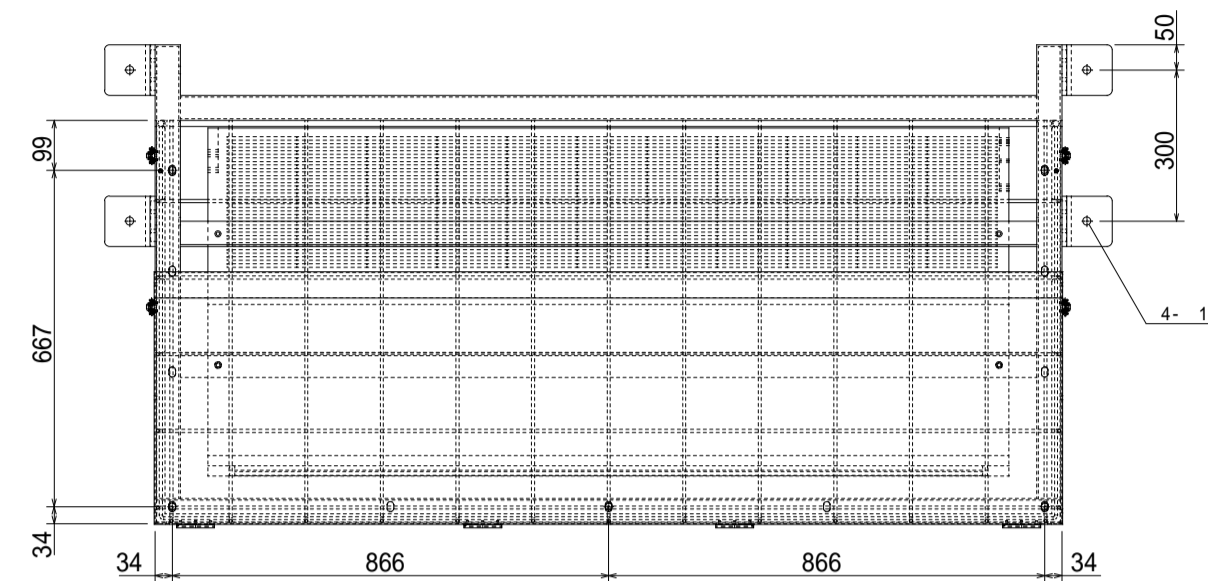
吊り下げアンカーボルトは、

1/4又はM6ボルト以上のボルト

4本で固定。

注意事項

- ・抜き差し蝶番は3個がRタイプ、1個(右から2番目)が、Lタイプを使用。そのLタイプの下側のネジ3本を外し、ガード全体を右側へずらすと、枠金具とガード部は分離できる。通常時は外すことの無いように。



天井固定ブラケット仕様

材質：SS400 -50×50×3.2

t = 9.0mm

L-50×50×4

重量：約40.4kg

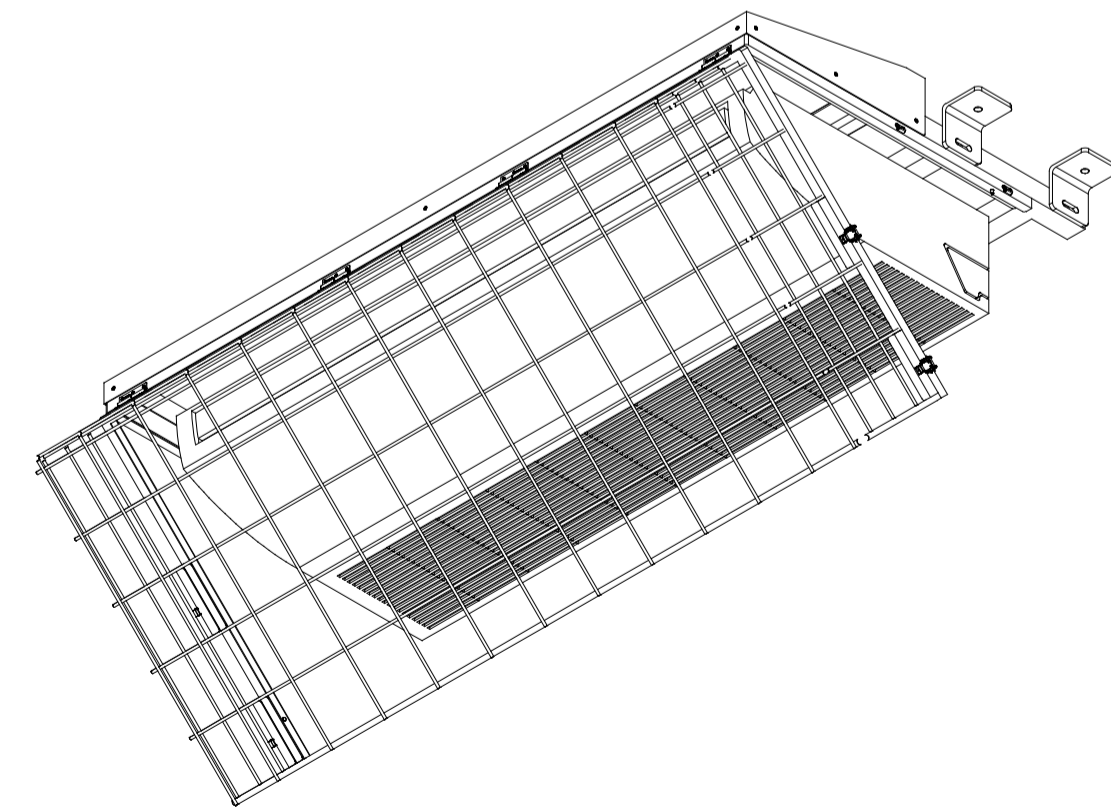
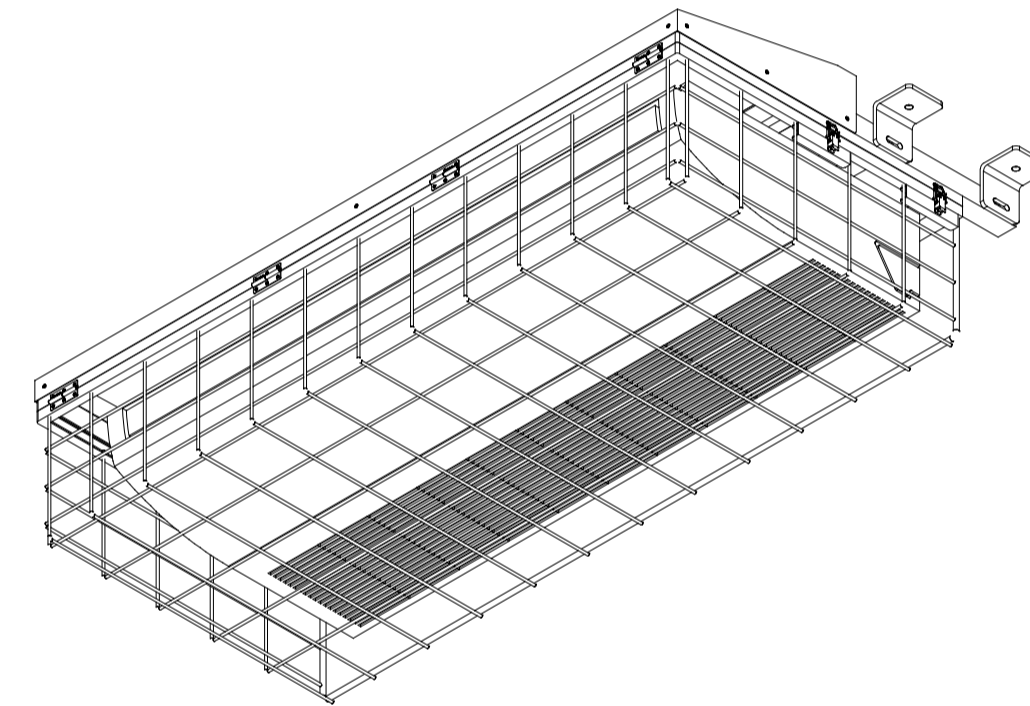
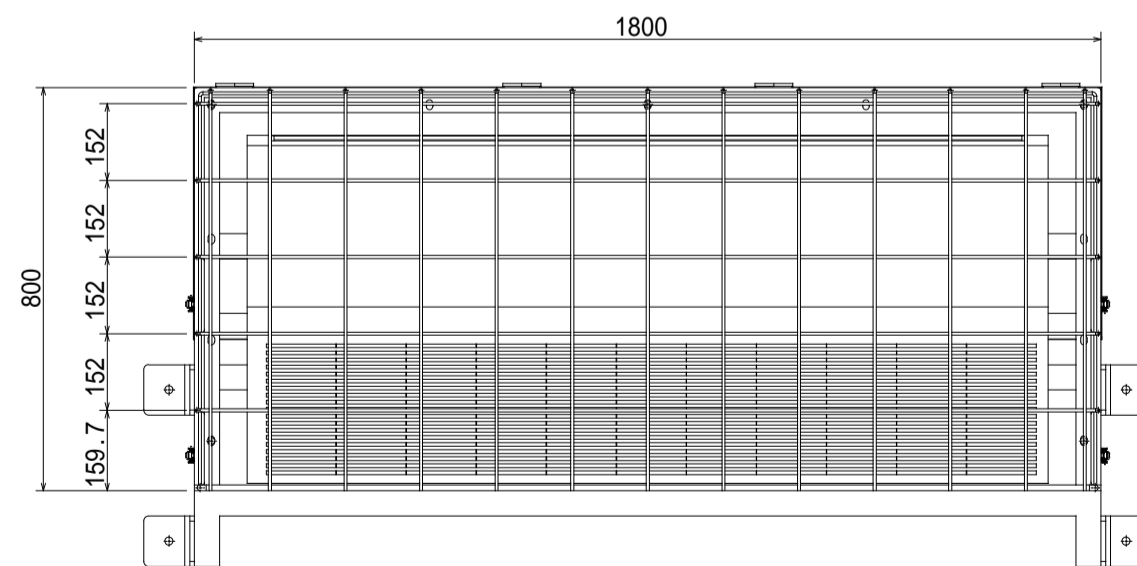
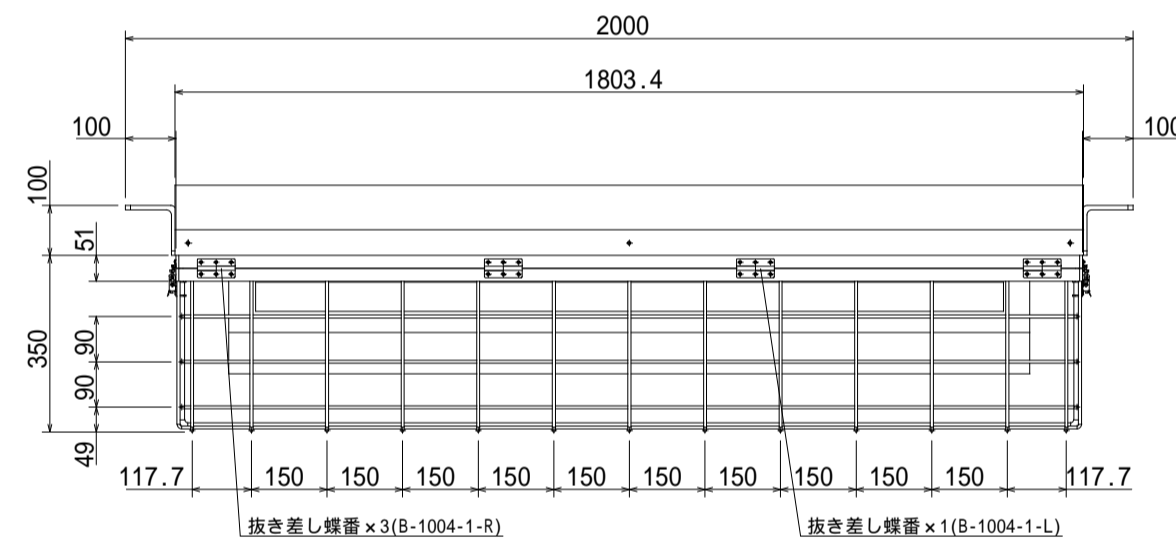
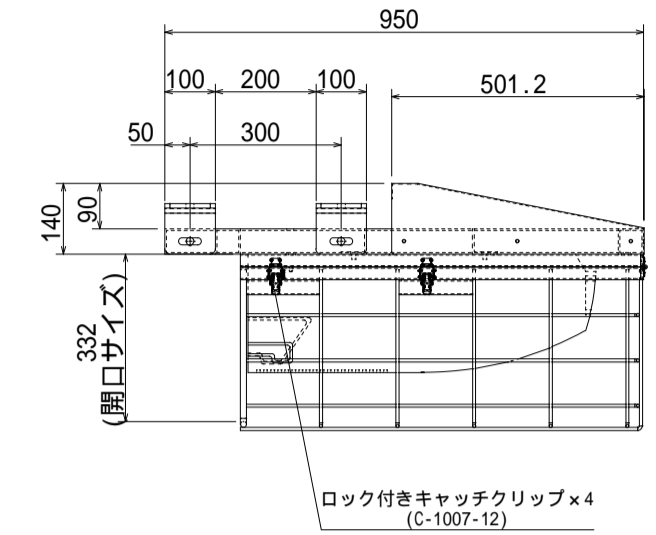
仕上：2.5Y9/1半艶粉体焼付塗装

アッププレート仕様

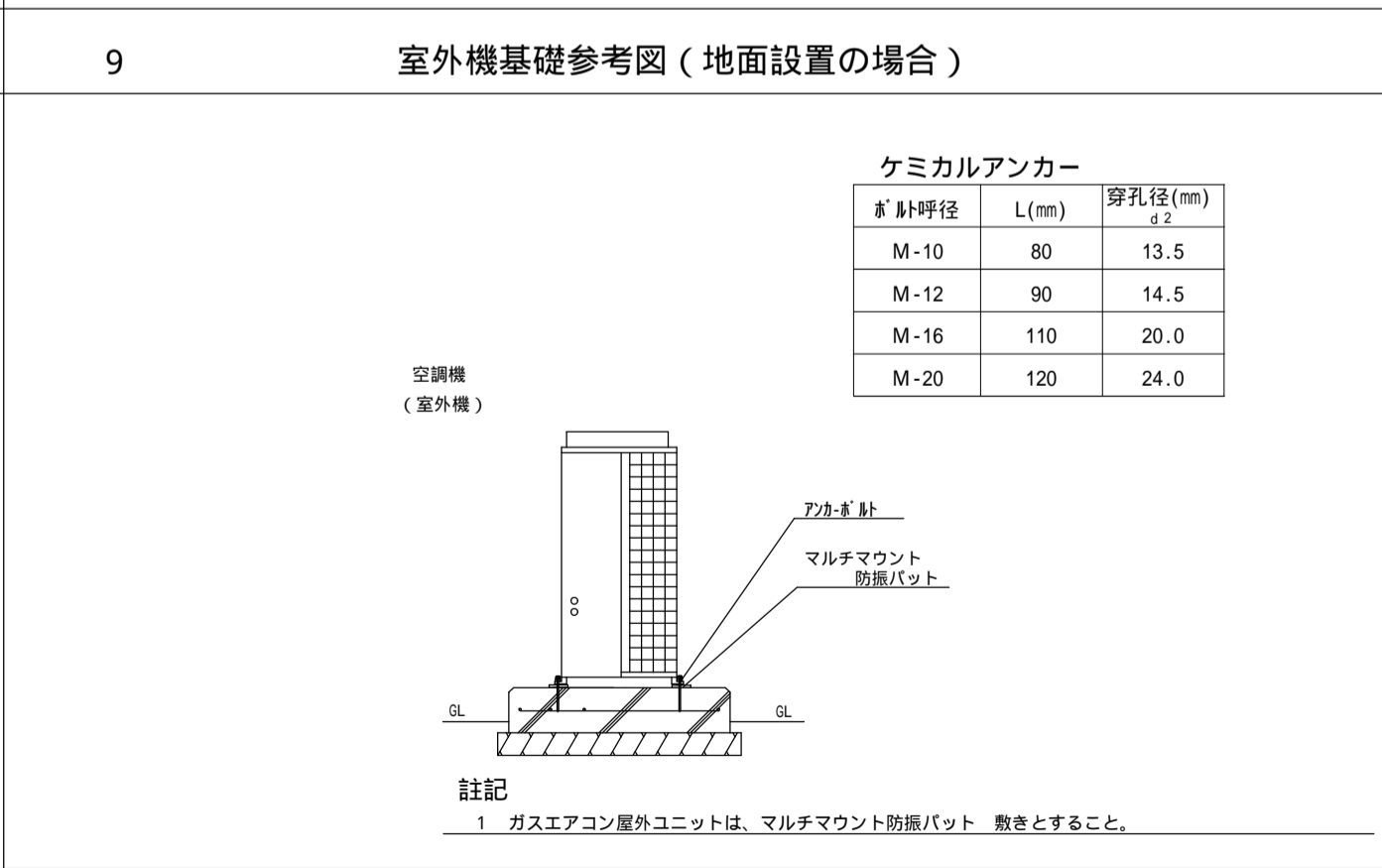
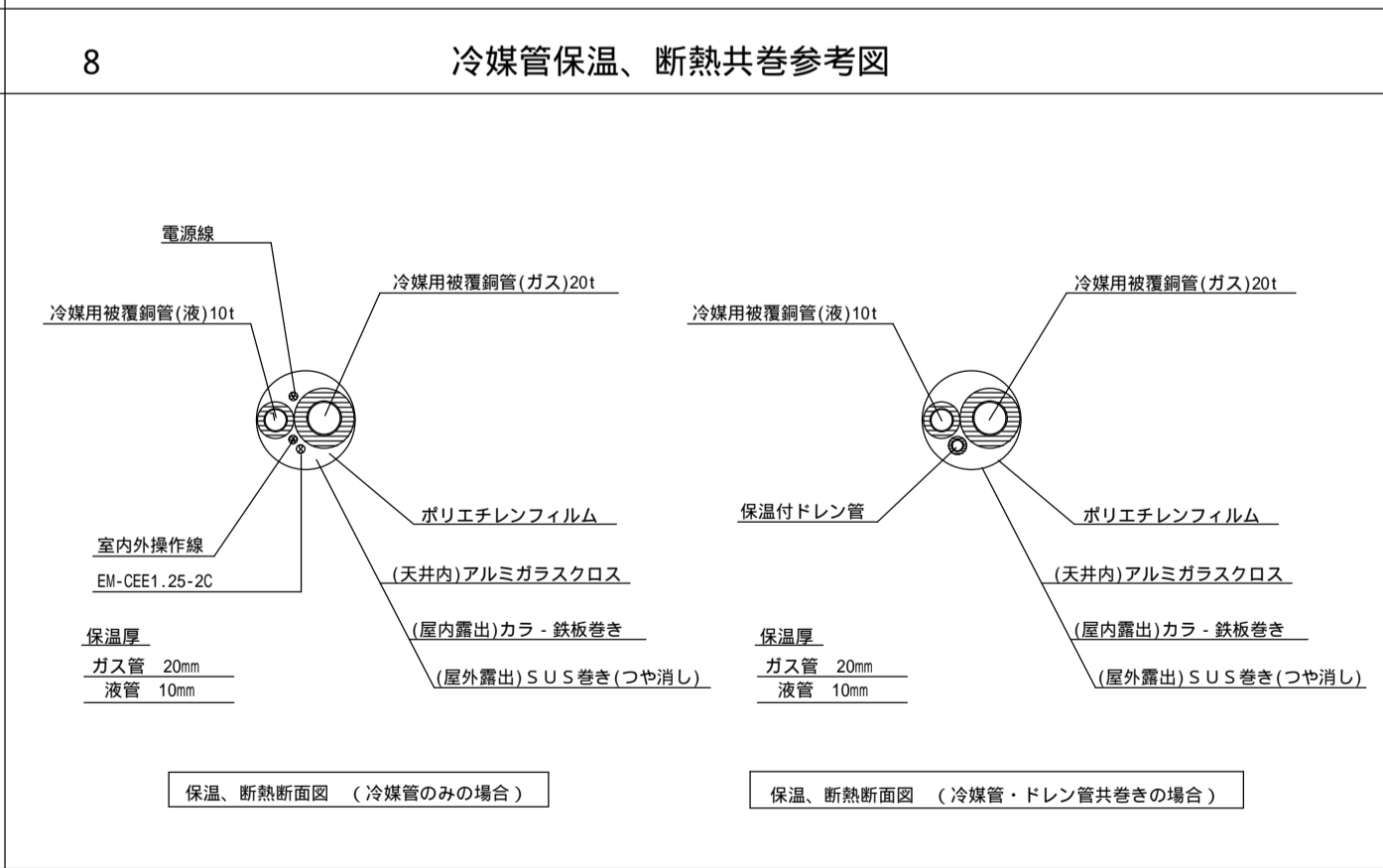
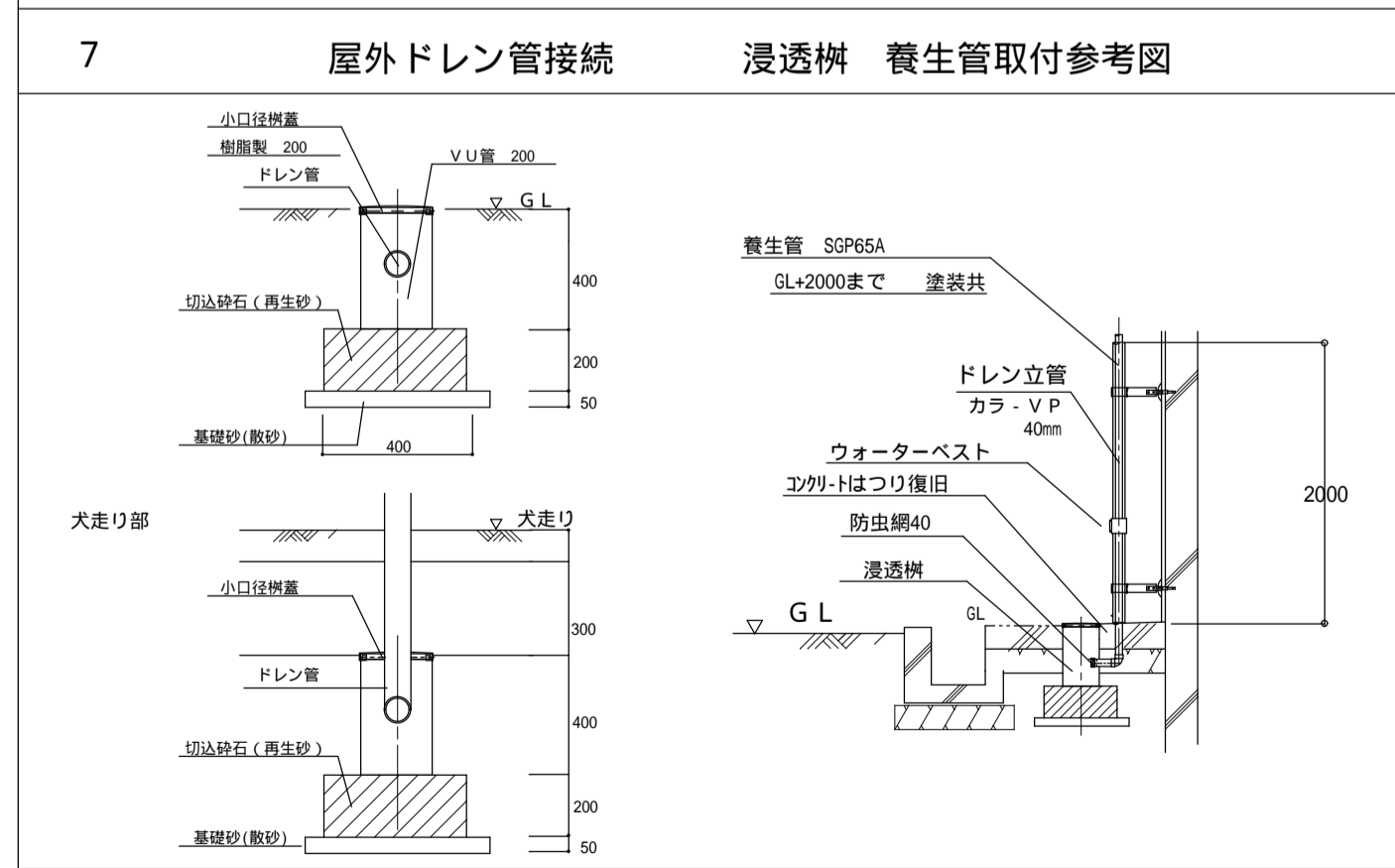
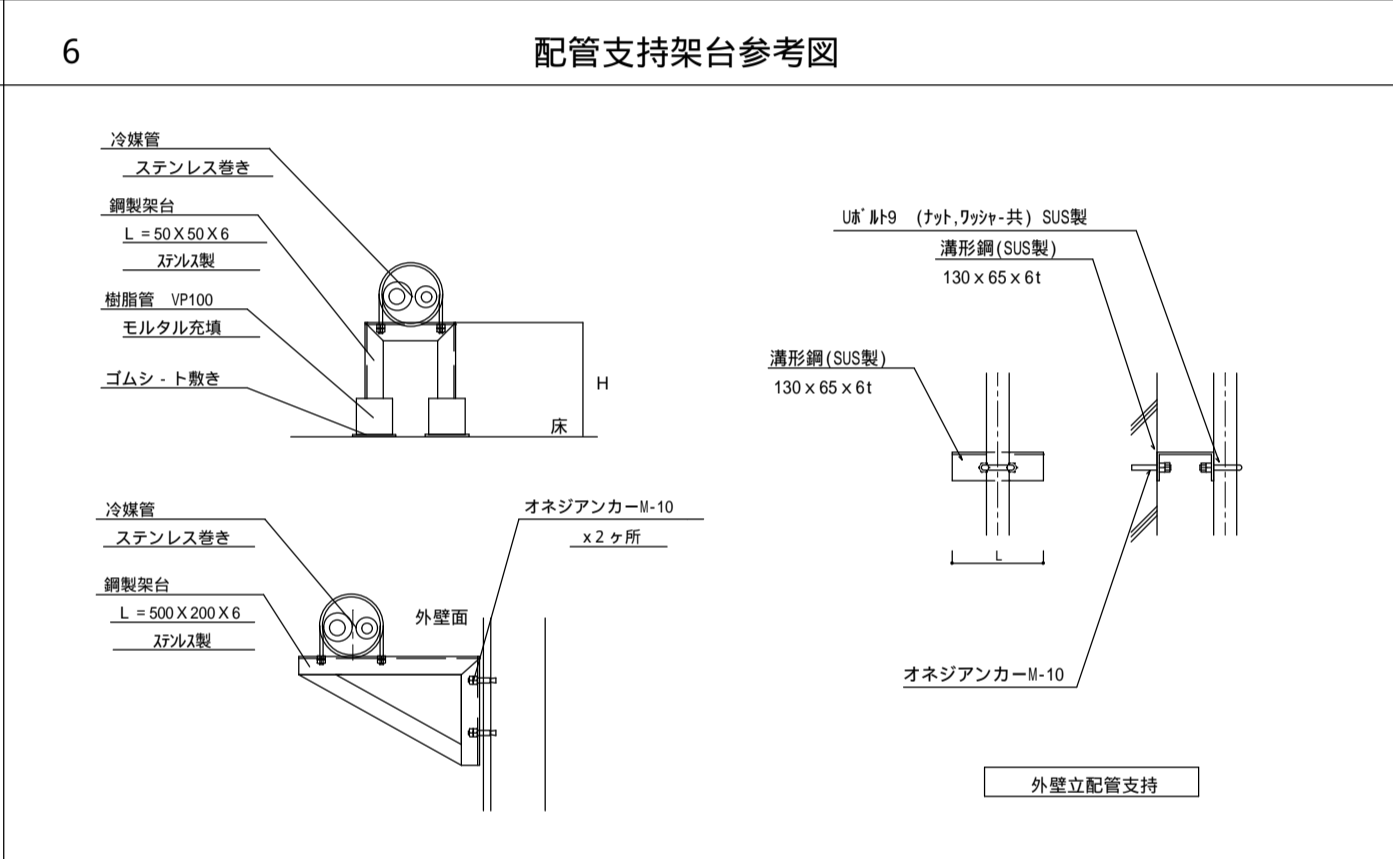
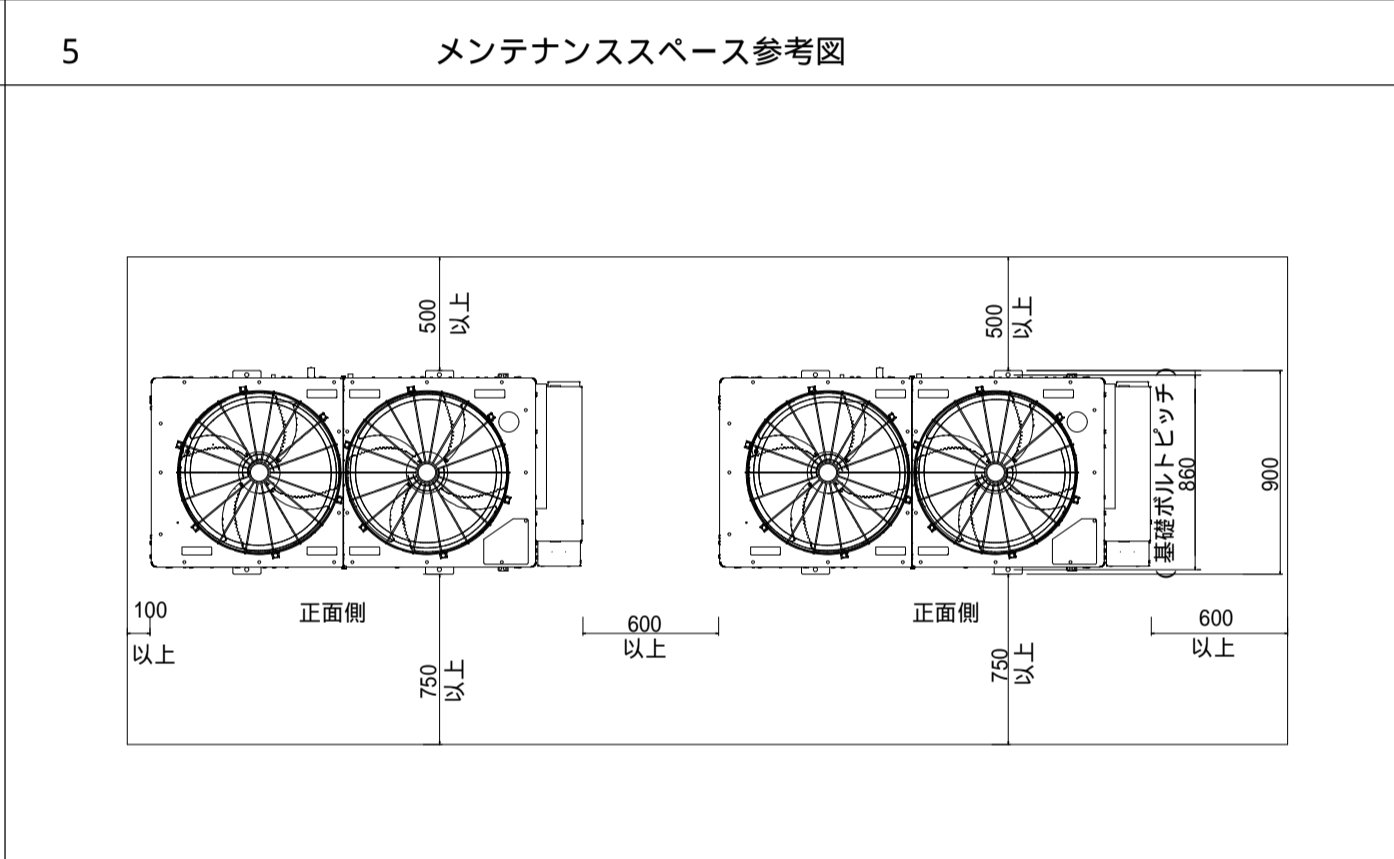
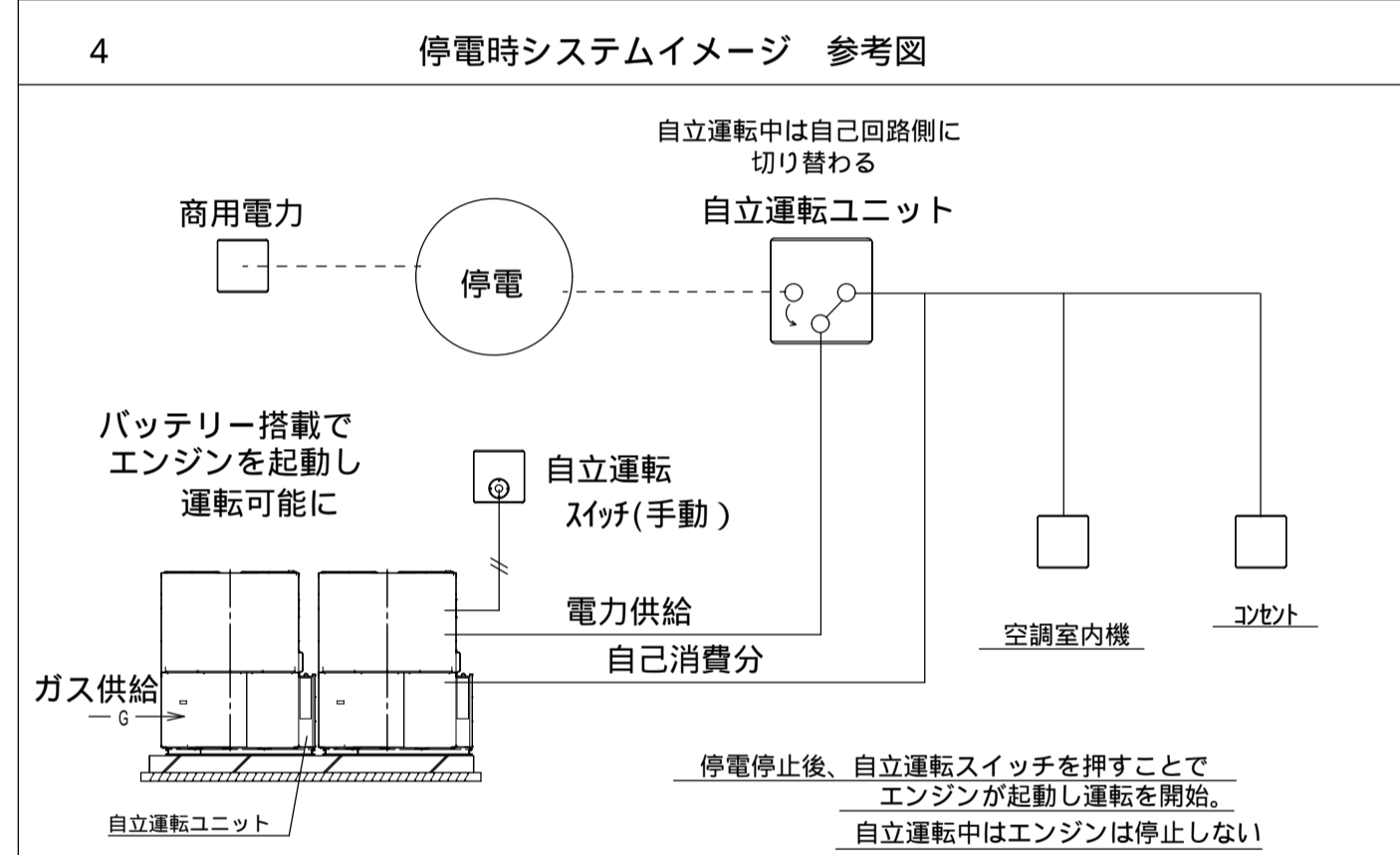
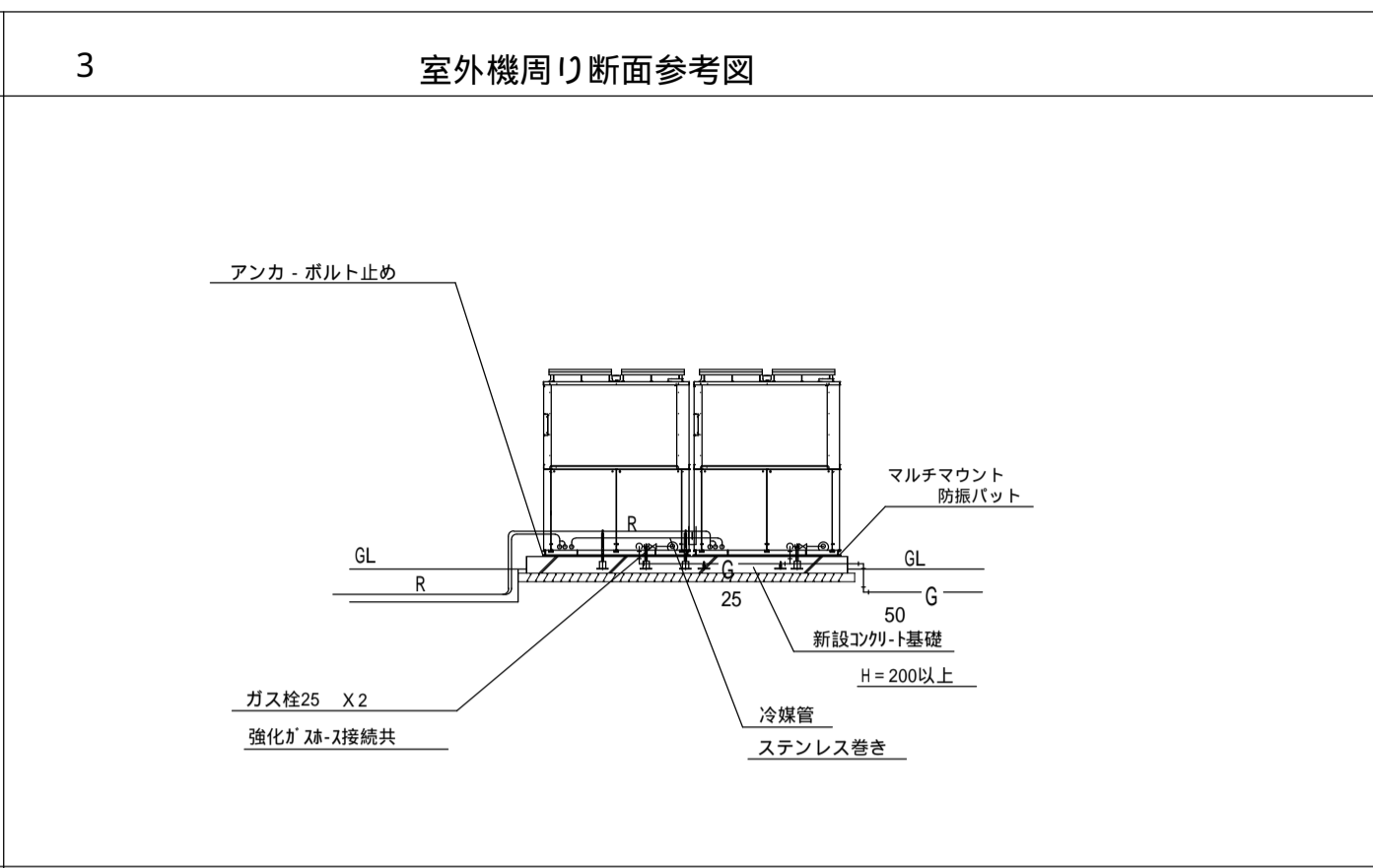
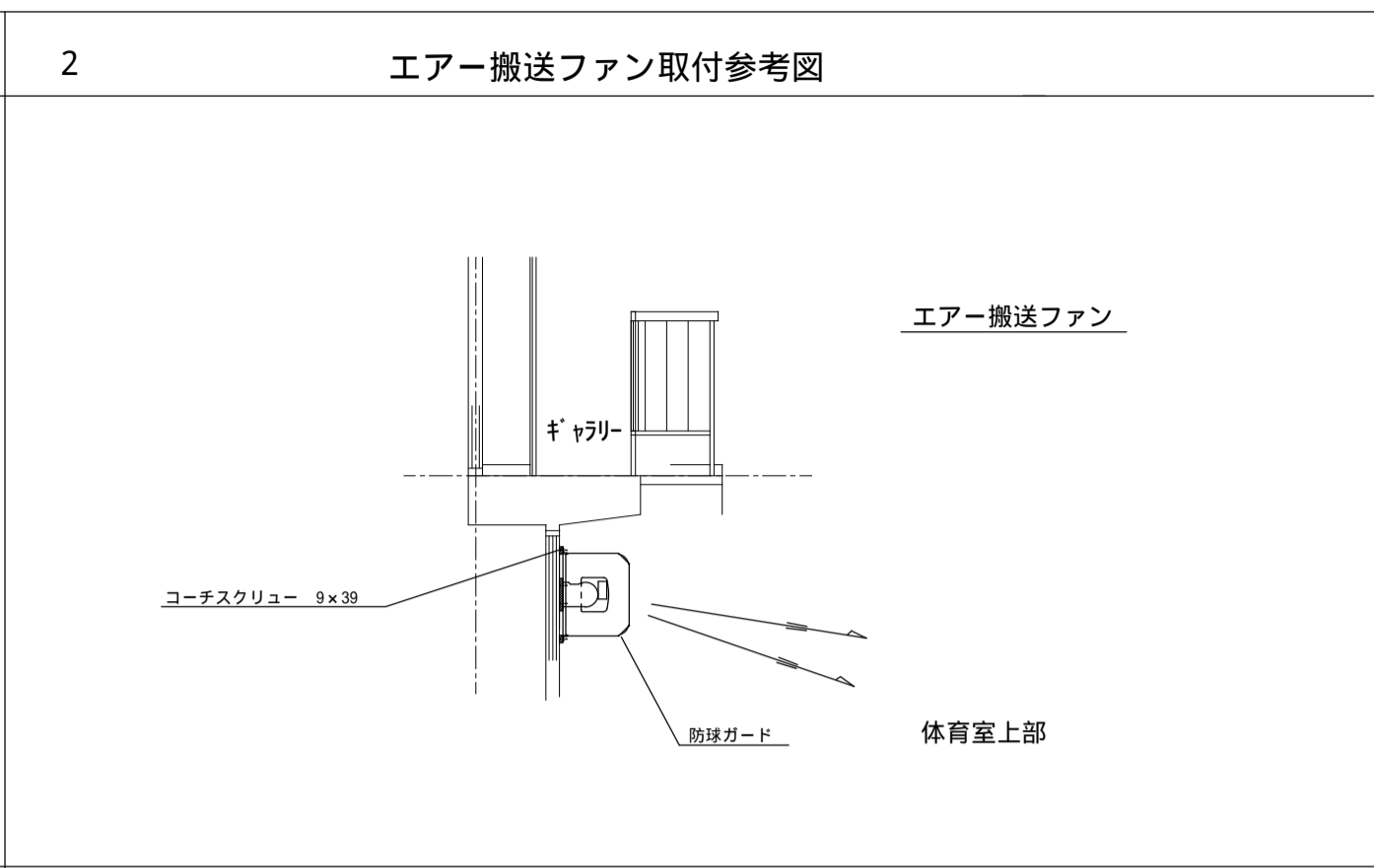
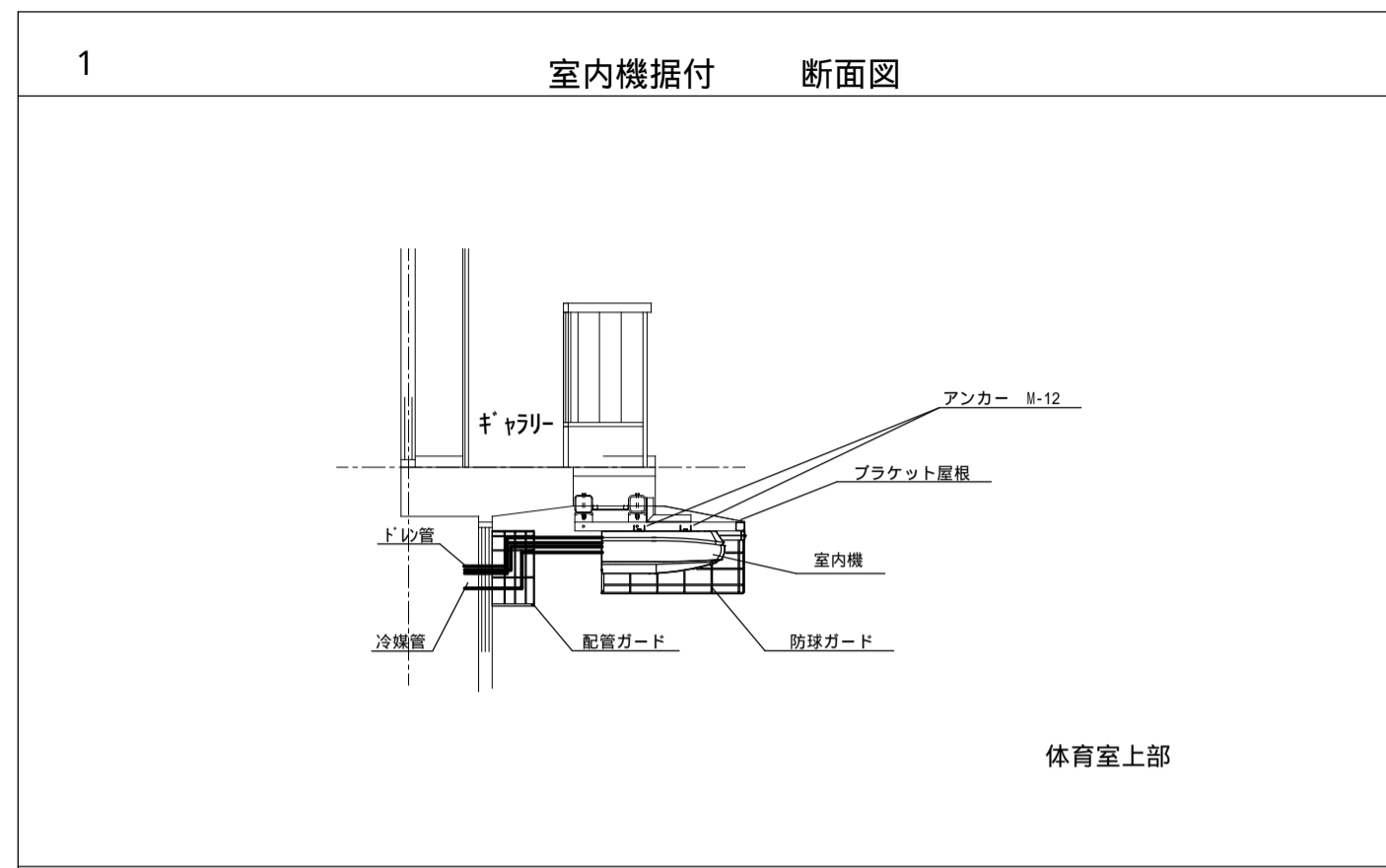
材質：SS400 t = 1.2mm

重量：約10.9kg

仕上：2.5Y9/1半艶粉体焼付塗装



株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. M - 0 9
		構造/設備関係規定 への適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()	図名 部分詳細図	縮尺 A2: 図示 A3: -



株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 空取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. M-10
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()	図名 施工参考図	縮尺 A2: A3: -

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																						
②	① 仮設工事	工事用水 工事用電力 仮囲い等 8 設計 G L	②	⑩	気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2) 予想平均気温 () 補正值 普通 早強 (S) 8以上 5以上 3 3/6 ~ 6/30 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10 N/mm 2 9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31 0以上 0以上 6 11/16 ~ 3/5 11/ 6 ~ 3/10 11/ 1 ~ 3/10 8未満 5未満 N/mm 2 南部地域 (京都市 (一部を除く) 、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)	③	③	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm 断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____ 絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤークロス (70g/m程度) 立上り部の押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立上がり部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様) 厚さ _____ 幅 _____ 窯業系パネル 類 (一般地仕様) 厚さ _____ 幅 _____ 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____) 保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm コンクリート仕上りの平たんさ a 種 b 種 c 種 (表8.1.5) 脱気装置 設ける 材 種 () 設置数量 (1 箇所 / _____ m ²) 伸縮目地 成形伸縮目地材 _____ 成形緩衝材 ル-フing 類製造所の指定品 _____ 屋上排水溝 図示による _____	④	④	接着工法の場合で、P C ｺﾝｸﾞﾘｰﾄ材下地の場合 目地処理 図示による _____ 入隅部の増張り (S-F 1、S-I-F 1 の場合) 図示による _____ 絶縁用シート及び可塑性移行防止用シート 発泡ポリエチレンシート _____ 仕上げ塗料 ｶｰ ﾏｲﾙ- _____ 脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1 箇所 / _____ m ²) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 固定金具の材質及び寸法形状 防錆処理した鋼板、ｽﾌﾟﾙｽ鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの _____																																																																																																																																																																						
	②	① 埋め戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1) A 種 砂質土 (山砂の類) を水締め又は機器による締固め B 種 根切り土の中の良質土を機器による締固め C 種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め D 種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め その他 (材料 _____ 工法 _____) 建設発生土 (盛土) の外部からの受入土量 (_____ m ³) 発生場所 () _____ ② 建設発生土の処理 (3.2.5) 下記に定める場合は、現場説明書による 構外指示の受入場所に処分 受入場所 (一財) 城陽山砂利採取地整備公社 _____ 土壌調査 行う (受入場所指定の検査) _____ 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 施行規則第 7 条第 3 項 1 3 号及び第 4 項に規定する方法 _____ 仮置場所 _____ 構内指示の場所に敷き均し 構内指示の場所にたい積 _____ (表5.2.1) ③ 鉄筋の種類 (5.2.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>径 (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">異形鉄筋</td> <td>S D 2 9 5</td> <td>D 1 6 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S D 3 4 5</td> <td>D 1 9 以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ④ 溶接金網 (5.2.2) 網目の形状、寸法 _____ 150 x 150 _____ 鉄線の径 _____ 6 _____ mm ⑤ コンクリートの種類 (6.2.1) (表6.2.1) 種類 普通コンクリート _____ 類別 類 類 _____ ⑥ コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 (F c)</th> <th>打 設 部 位</th> <th>F c (N/mm 2)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">構造体</td> <td>基礎</td> <td>2 4</td> <td>2 1</td> <td>1 5</td> <td>1 8 室外機基礎</td> </tr> <tr> <td>上部</td> <td>2 4</td> <td>2 1</td> <td>1 5</td> <td>1 8 土間スラブを含む</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">土間コンクリート</td> <td>1 8</td> <td>2 1</td> <td>1 5</td> <td>1 8</td> <td>側溝・犬走り</td> </tr> <tr> <td>捨コンクリート</td> <td>1 8</td> <td>1 5</td> <td>1 8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽量コンクリート</td> <td>2 1</td> <td>2 1</td> <td>1 8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無筋コンクリート</td> <td>1 8</td> <td>1 5</td> <td>1 8</td> <td>標仕6.14.1による</td> </tr> <tr> <td>設備基礎コンクリート</td> <td>2 1</td> <td>1 5</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 { F c + 構造体強度補正值 (S) } N/mm 2 (6.14.1 によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない) ⑦ セメントの類別 (6.3.1) 普通ポルトランドセメント又は混合セメントの A 種 高炉セメント B 種 (適用箇所 _____) シリカセメント _____ フライアッシュセメント B 種 (施工箇所 _____) ⑧ 骨材 (6.3.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>粗骨材</th> <th>砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005)</th> <th>高炉ｽﾗｸﾞ 再生骨材H</th> <th>電気炉酸化ｽﾗｸﾞ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>細骨材</td> <td>砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005)</td> <td>高炉ｽﾗｸﾞ 鋼ｽﾗｸﾞ 再生骨材H</td> <td>電気炉酸化ｽﾗｸﾞ ﾂﾛﾝｶﾙｽﾗｸﾞ</td> </tr> </tbody> </table> アルカリシリカ反応性による区分 A (無害) _____ ⑨ 混和材料 (6.3.1) 混和剤 AE 剤、AE 減水剤又は高性能 AE 減水剤の 種 (JIS A 6204) 防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025) 混和材 フライアッシュ (JIS A 6201) 種、 種若しくは 種 コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207) コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)		種類	種類の記号		径 (mm)	備 考		異形鉄筋	S D 2 9 5	D 1 6 以下		S D 3 4 5	D 1 9 以上		設計基準強度 (F c)	打 設 部 位	F c (N/mm 2)	スランブ (cm)	備 考	構造体	基礎	2 4	2 1	1 5	1 8 室外機基礎	上部	2 4	2 1	1 5	1 8 土間スラブを含む	土間コンクリート	1 8	2 1	1 5	1 8	側溝・犬走り	捨コンクリート	1 8	1 5	1 8		軽量コンクリート	2 1	2 1	1 8		無筋コンクリート	1 8	1 5	1 8	標仕6.14.1による	設備基礎コンクリート	2 1	1 5			粗骨材	砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005)	高炉ｽﾗｸﾞ 再生骨材H	電気炉酸化ｽﾗｸﾞ	細骨材	砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005)	高炉ｽﾗｸﾞ 鋼ｽﾗｸﾞ 再生骨材H	電気炉酸化ｽﾗｸﾞ ﾂﾛﾝｶﾙｽﾗｸﾞ	⑩	⑪ コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5) 12 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3) 常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可 種類 1 種 2 種 施工箇所 _____ 気乾単位容積質量 _____ t/m ³ 13 寒中コンクリート (6.11.1) 予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節 (寒中コンクリート) による。 ⑭ 暑中コンクリート (6.12.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>日平均気温が25度を超過する期間 (打設日)</th> <th>補 正 値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北 部 地 域</td> <td>7 月 1 1 日 ~ 8 月 3 1 日</td> <td>6 N/mm2</td> </tr> <tr> <td>中 部 地 域</td> <td>7 月 2 1 日 ~ 8 月 3 1 日</td> <td>3 N/mm2</td> </tr> <tr> <td>南 部 地 域</td> <td>7 月 1 日 ~ 9 月 1 0 日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車 1 台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。 ｺﾝｸﾞﾘｰﾄ車-車の過積載防止対策等 _____ 1 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5) 既存保護層の撤去 行う (範囲 図示による) _____ 行わない _____ 既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) _____ 行わない _____ 既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 行う (M4S M4AS1 M4C M4D1 L4X) 行わない _____ 2 既存下地の処理 (3.2.6) 既存下地の修正箇所の形状、長さ、数量等 図示による _____ 3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5) 屋根保護防水工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P 1 B 工法</td> <td>B-1 B-2</td> <td>表3.3.3</td> </tr> <tr> <td>P 1 B I 工法</td> <td>BI-1 BI-2</td> <td>表3.3.4</td> </tr> <tr> <td>P 2 A I 工法</td> <td>AI-1 AI-2</td> <td>表3.3.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">P 2 A 工法</td> <td>AI-3</td> <td rowspan="2">表3.3.6</td> </tr> <tr> <td>A-1 A-2</td> </tr> <tr> <td>A-3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 屋根露出防水工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> <th>仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M 4 C 工法</td> <td>C-1 C-2</td> <td rowspan="2">表3.3.7</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>C-3 C-4</td> </tr> <tr> <td>M 3 D 工法</td> <td>D-1 D-2</td> <td>表3.3.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P 0 D 工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 屋根露出防水絶縁断熱工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> <th>仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P 0 D I 工法</td> <td></td> <td rowspan="3">表3.3.9</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>M 3 D I 工法</td> <td>DI-1 DI-2</td> </tr> <tr> <td>M 4 D I 工法</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 屋内防水工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P 1 E 工法</td> <td>E-1 E-2</td> <td>表3.3.10</td> </tr> <tr> <td>P 2 E 工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 5 合成高分子系ル-フingシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4) 屋根露出防水絶縁断熱工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> <th>仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P 0 S 工法</td> <td>S(I)-F1</td> <td rowspan="2">表3.5.1</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>S 4 S 工法</td> <td>PC部材入隅増強 (有り 無し) S(I)-F2</td> </tr> <tr> <td>P 0 S I 工法</td> <td>S(I)-F2</td> <td rowspan="2">表3.5.2</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>S 4 S I 工法</td> <td>S(I)-M2</td> </tr> <tr> <td>S 3 S 工法</td> <td>S(I)-F1</td> <td rowspan="2">表3.5.3</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>S 3 S I 工法</td> <td>PC部材入隅増強 (有り 無し) S(I)-F2</td> </tr> <tr> <td>M 4 S 工法</td> <td>S(I)-M1</td> <td rowspan="2">表3.5.3</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>M 4 S I 工法</td> <td>S(I)-M2</td> </tr> <tr> <td>P 1 S 工法</td> <td>S-C1</td> <td></td> <td>種別塗り厚さ _____ mm</td> </tr> </tbody> </table> S-F1、S-M1、S-M2の仕様 非歩行仕様 軽歩行仕様 断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 _____ 接着工法の場合 _____ S I - M 1 及び S I - M 2 の場合の防湿用フィルム 設置する _____	地 域	日平均気温が25度を超過する期間 (打設日)	補 正 値	北 部 地 域	7 月 1 1 日 ~ 8 月 3 1 日	6 N/mm2	中 部 地 域	7 月 2 1 日 ~ 8 月 3 1 日	3 N/mm2	南 部 地 域	7 月 1 日 ~ 9 月 1 0 日		種 別	防水層	施 工 箇 所	P 1 B 工法	B-1 B-2	表3.3.3	P 1 B I 工法	BI-1 BI-2	表3.3.4	P 2 A I 工法	AI-1 AI-2	表3.3.5	P 2 A 工法	AI-3	表3.3.6	A-1 A-2	A-3		種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料	種類	使用量			M 4 C 工法	C-1 C-2	表3.3.7			C-3 C-4	M 3 D 工法	D-1 D-2	表3.3.8		P 0 D 工法				種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料	種類	使用量			P 0 D I 工法		表3.3.9		M 3 D I 工法	DI-1 DI-2	M 4 D I 工法		種 別	防水層	施 工 箇 所	P 1 E 工法	E-1 E-2	表3.3.10	P 2 E 工法			種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料	種類	使用量			P 0 S 工法	S(I)-F1	表3.5.1		S 4 S 工法	PC部材入隅増強 (有り 無し) S(I)-F2	P 0 S I 工法	S(I)-F2	表3.5.2		S 4 S I 工法	S(I)-M2	S 3 S 工法	S(I)-F1	表3.5.3		S 3 S I 工法	PC部材入隅増強 (有り 無し) S(I)-F2	M 4 S 工法	S(I)-M1	表3.5.3		M 4 S I 工法	S(I)-M2
種類	種類の記号	径 (mm)	備 考																																																																																																																																																																														
異形鉄筋	S D 2 9 5	D 1 6 以下																																																																																																																																																																															
	S D 3 4 5	D 1 9 以上																																																																																																																																																																															
設計基準強度 (F c)	打 設 部 位	F c (N/mm 2)	スランブ (cm)	備 考																																																																																																																																																																													
構造体	基礎	2 4	2 1	1 5	1 8 室外機基礎																																																																																																																																																																												
	上部	2 4	2 1	1 5	1 8 土間スラブを含む																																																																																																																																																																												
土間コンクリート	1 8	2 1	1 5	1 8	側溝・犬走り																																																																																																																																																																												
	捨コンクリート	1 8	1 5	1 8																																																																																																																																																																													
	軽量コンクリート	2 1	2 1	1 8																																																																																																																																																																													
	無筋コンクリート	1 8	1 5	1 8	標仕6.14.1による																																																																																																																																																																												
設備基礎コンクリート	2 1	1 5																																																																																																																																																																															
粗骨材	砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005)	高炉ｽﾗｸﾞ 再生骨材H	電気炉酸化ｽﾗｸﾞ																																																																																																																																																																														
細骨材	砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005)	高炉ｽﾗｸﾞ 鋼ｽﾗｸﾞ 再生骨材H	電気炉酸化ｽﾗｸﾞ ﾂﾛﾝｶﾙｽﾗｸﾞ																																																																																																																																																																														
地 域	日平均気温が25度を超過する期間 (打設日)	補 正 値																																																																																																																																																																															
北 部 地 域	7 月 1 1 日 ~ 8 月 3 1 日	6 N/mm2																																																																																																																																																																															
中 部 地 域	7 月 2 1 日 ~ 8 月 3 1 日	3 N/mm2																																																																																																																																																																															
南 部 地 域	7 月 1 日 ~ 9 月 1 0 日																																																																																																																																																																																
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																															
P 1 B 工法	B-1 B-2	表3.3.3																																																																																																																																																																															
P 1 B I 工法	BI-1 BI-2	表3.3.4																																																																																																																																																																															
P 2 A I 工法	AI-1 AI-2	表3.3.5																																																																																																																																																																															
P 2 A 工法	AI-3	表3.3.6																																																																																																																																																																															
	A-1 A-2																																																																																																																																																																																
A-3																																																																																																																																																																																	
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料																																																																																																																																																																														
種類	使用量																																																																																																																																																																																
M 4 C 工法	C-1 C-2	表3.3.7																																																																																																																																																																															
	C-3 C-4																																																																																																																																																																																
M 3 D 工法	D-1 D-2	表3.3.8																																																																																																																																																																															
P 0 D 工法																																																																																																																																																																																	
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料																																																																																																																																																																														
種類	使用量																																																																																																																																																																																
P 0 D I 工法		表3.3.9																																																																																																																																																																															
M 3 D I 工法	DI-1 DI-2																																																																																																																																																																																
M 4 D I 工法																																																																																																																																																																																	
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																															
P 1 E 工法	E-1 E-2	表3.3.10																																																																																																																																																																															
P 2 E 工法																																																																																																																																																																																	
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料																																																																																																																																																																														
種類	使用量																																																																																																																																																																																
P 0 S 工法	S(I)-F1	表3.5.1																																																																																																																																																																															
S 4 S 工法	PC部材入隅増強 (有り 無し) S(I)-F2																																																																																																																																																																																
P 0 S I 工法	S(I)-F2	表3.5.2																																																																																																																																																																															
S 4 S I 工法	S(I)-M2																																																																																																																																																																																
S 3 S 工法	S(I)-F1	表3.5.3																																																																																																																																																																															
S 3 S I 工法	PC部材入隅増強 (有り 無し) S(I)-F2																																																																																																																																																																																
M 4 S 工法	S(I)-M1	表3.5.3																																																																																																																																																																															
M 4 S I 工法	S(I)-M2																																																																																																																																																																																
P 1 S 工法	S-C1		種別塗り厚さ _____ mm																																																																																																																																																																														

Ver. R04(R05.02)	株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 構造/設備関係規定への法適合を確認した 一級建築士登録 大臣 ()	一級建築士登録 大臣 () 一級建築士登録 大臣 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事 図名 建築改修工事特記仕様書 (2)	N o . A - 0 2 編 号 A2: - A3: -
------------------	---------------------------------	---------------------------	---	----------------------------------	---	---

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
③ 防水改修工事	内とい(V P 置は使用しない) たてとい及び横走り管 SGP 材 質 径 75mm といた受け金物、足金物 改修仕様表 3.8.2 により溶融垂鉛めつきを行ったもの 多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下 防露巻き 改修仕様表 3.8.3 による F 掃除口を設ける(開放性のある自転車置き場のといを除く) 養生鉄管を設ける(径 厚さ 長さ) 既存といの撤去及び養生 () 鋼管製といの防露巻 (改修仕様表 3.8.4 による) たてとい受金物 () (表 3.9.1)(表 5.2.2) 種 類 幅 板厚(mm) 表面処理 備 考 250 形 250 1.6 AB-1種 AB-2種 隅角部及び突出り部 300 形 300 1.8 AC-1種 AC-2種 等の役物は本体製造 350 形 350 2.0 BA-1種 BA-2種 の仕様による。 BB-1種 BB-2種 曲げ材 2.0 BC-1種 BC-2種 ワンプ形式 C種 シム形式 既存笠木等の撤去 行う (範囲 図示) 行わない 下地補修の工法 図示 板材折曲げ形の笠木取付方法 図示 建築基準法に基づく風圧力・積雪荷重に対応した工法 図示による (4.1.4) (4.3.5) ~(4.3.8)	④ 外壁改修工事	モルタル塗り仕上げ 樹脂注入方法 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(mL/m) 自動式低圧球 樹脂注入方法 0.2以上1.0未満 200~300 130 手動式球 樹脂注入方法 0.2以上0.3未満 50~100 40 機械式球 樹脂注入方法 0.3以上0.5未満 100~200 70 0.5以上1.0未満 150~250 130 コア抜き検査 行う 行わない 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示 Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂 タイル張り仕上げ 樹脂注入方法 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(mL/m) 自動式低圧球 樹脂注入方法 0.2以上1.0未満 200~300 130 手動式球 樹脂注入方法 0.2以上0.3未満 50~100 40 機械式球 樹脂注入方法 0.3以上0.5未満 100~200 70 0.5以上1.0未満 150~250 130 ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示 タイル撤去後の補修 工 法 材 料 施 工 箇 所 タイル部分張替え工法 ポリマーセメントモルタル 変成シリコン樹脂 ウレタン樹脂 タイル張替え工法 コンクリート打放し仕上げ 工 法 材 料 施 工 箇 所 充填工法 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル塗り仕上げ 工 法 材 料 施 工 箇 所 充填工法 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法 改修仕様表4.3.3による 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示 タイル張り仕上げ 工 法 材 料 施 工 箇 所 タイル部分張替え工法 ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による) タイル張替え工法 張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)	④ 外壁改修工事	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修仕様表4.4.2による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない 抜取り部の補修方法 図示 セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法(4.3.10(3)による) ○ タイル張りの工法 外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル張り モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法(4.3.10(3)による) ○ シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル モルタル塗り仕上げ 工 法 アカベ ン (本/m ²) 注 入 口 (箇所/m ²) 充 填 量 (箇所/ml) 注 入 量 (箇所/ml) 施 工 箇 所 指定部 指定部 アカベ ン ン ン ン ン ン 部分 16 25 25 球 樹脂注入工法 25 13 12 25 アカベ ン ン ン ン ン ン 全面 13 12 20 球 樹脂注入工法 20 20 20 アカベ ン ン ン ン ン ン 全面 13 12 50 球 樹脂注入工法 20 20 20 注入口付アカベ ン ン ン 部分 9 25 球 樹脂注入工法 16 9 9 25 注入口付アカベ ン ン ン 全面 9 16 16 25 球 樹脂注入工法 16 9 9 50 球 樹脂注入工法 16 16 16 50 アンカーピン ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピン ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度 注入工法用材料 ポリマーセメントスラリー 広がり 長さ変化率 引張接着性 曲げ性能 吸水性 耐久性 速度 (収縮) (材齢28日) (材齢28日) (72時間) (劣化曲げ強さ) (cm/s) (%) (N/mm ²) (N/mm ²) (%) (N/mm ²) 3以上 3以下 0.5以上 5.0以上 15以上 5.0以上 保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00 充填工法用材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 既製目地材 使用する(形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示 タイル張り仕上げ 工 法 アカベ ン (本/m ²) 注 入 口 (箇所/m ²) 充 填 量 (箇所/ml) 注 入 量 (箇所/ml) 施 工 箇 所 指定部 指定部 アカベ ン ン ン ン ン ン 部分 16 25 25 球 樹脂注入工法 25 13 12 25 アカベ ン ン ン ン ン ン 全面 13 12 50 球 樹脂注入工法 20 20 20 アカベ ン ン ン ン ン ン 全面 13 12 50 球 樹脂注入工法 20 20 20 注入口付アカベ ン ン ン 部分 9 25 球 樹脂注入工法 16 9 9 25 注入口付アカベ ン ン ン 全面 9 16 16 25 球 樹脂注入工法 16 9 9 50 球 樹脂注入工法 16 16 16 25 球 樹脂注入工法 16 16 16 25	④ 外壁改修工事	アンカーピン ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピン ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度 工 法 1箇所の面積(m ²) 材 料 施 工 箇 所 タイル部分張替え工法 0.25 未 満 ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による) タイル張替え工法 張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による) 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修仕様表4.5.1による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない 抜取り部の補修方法 図示 セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法(4.3.10(3)による) ○ タイル張りの工法 外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル タイル張り仕上げ 目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 位置 改修仕様表4.4.2による 図示による 寸法(幅×深さ) コケリ打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 20mm以上×10mm以上 その他 10mm以上×10mm以上 建築補修用注入エポキシ樹脂 低粘度形 中粘度形 ひび割れの幅(mm) 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0以下 注入孔の間隔(mm) 2.0程度 3.0程度 3.0程度 注入量(CC/mm) 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 手動式エポキシ樹脂注入工法 ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 () (抜き部分の補修方法) シーリング材の上にポリマーセメントモルタル 行う アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒 注入工法(4.3.5) 注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度 モルタル 現場調査材料 () 既調合材料() 既製目地材 使用する(形状)
	① 施工数量調査(1.6.2) ② ひび割れ部改修(4.1.4)(4.2.4)~(4.2.7) ④ 外壁改修工事		調査範囲 外壁改修範囲 図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 調査報告書の部数 2部 施工に先立ち、建築士上診断技術者(BELCA)による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。 コンクリート打放し仕上げ 樹脂注入方法 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(mL/m) 自動式低圧球 樹脂注入方法 0.2以上1.0未満 200~300 130 手動式球 樹脂注入方法 0.2以上0.3未満 50~100 40 機械式球 樹脂注入方法 0.3以上0.5未満 100~200 70 0.5以上1.0未満 150~250 130 コア抜き検査 行う 行わない (注入状況確認方法) 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示 Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂 (4.1.4) (4.3.9) (4.4.4) (4.4.5) (4.4.7) ~(4.4.8)		③ 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7) (4.1.4) (4.3.9) (4.1.4) (4.4.5) (4.4.7) ~(4.4.8)		④ 浮き部改修工法(4.1.4)(4.3.11)~(4.3.16)
Ver. R04(R05.02)	株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣() 構造設計/設備関係規定への法適合を確認した	構造設計 一級建築士登録 大臣() 構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事 図名 建築改修工事特記仕様書(3)	No. A-03 図尺 A2:- A3:-	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																								
4	外壁改修工事	11 タイル部分張替え工法及びひび割れ張替え工法 (4.4.5) (4.4.7) (4.4.8)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所及びタイルの種類</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>工法その他</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td></td> <td>磁器 せつ器 陶器</td> <td>無釉</td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td>有り 無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>既調合モルタル () タイルの試験張り 行わない 行う (施工箇所) タイルの見本焼 行わない 行う (範囲、仕様は図示による) 施工後の確認及び試験 (タイル部分張替え工法を除く) 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による接着力試験を行う 行わない</p>	施工箇所及びタイルの種類	形状寸法(mm)	生地	釉薬	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	工法その他	図示		磁器 せつ器 陶器	無釉	有り 無し	標準 特注	有り 無し		4	15 マスチック塗材塗り (4.1.5) (4.6.2)	種別 A種 B種 (表4.6.1)	5	建具改修工事	8 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)	防虫網 網の種類 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス製 (SUS316) 外部可動式 固定式 形式 線径、網目 0.25mm以上、16~18メッシュ 防鳥網 設置する	5	建具改修工事	12 窓下人研面台の補修	タイル張替え工法の伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修仕様表4.4.2による 図示による	9 樹脂製建具 (5.3.2) (5.3.5)	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)</th> </tr> <tr> <th>性能等級</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td colspan="3">A - 4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W - 4</td> <td colspan="2">W - 5</td> </tr> <tr> <td>特見込み(mm)</td> <td colspan="3">図示</td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-4 H-5 H-6 H-7 H-8)</p> <p>ガラス 複層ガラス 単板ガラス 三重ガラス 表面色 標準色 特注色 水切り、ぜん板等 図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL</p>	外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)			性能等級	A種	B種	C種	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 4			水密性	W - 4	W - 5		特見込み(mm)	図示			13 建具用金物 (5.8.2) (5.8.4)	マスターキーの製作 作成する (グループ、各グループ 個) 作成しない 鍵の制作本数 3本1組 (室名札付き) 鍵箱 無 有 開き戸 (表5.8.1) <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>シリンダー錠</td> <td>握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)</td> <td>取付位置 () 実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)</td> </tr> <tr> <td>本締り錠</td> <td>シリンダー・キー: スズ</td> <td>実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)</td> </tr> <tr> <td>空錠</td> <td>握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>グレモン錠</td> <td>レバ・ノド: 亜鉛合金、 (スズ)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>ケースハンドル錠</td> <td>ステンレス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検口錠</td> <td>亜鉛合金程度、 (スズ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>丁番</td> <td>スズ、 (黄銅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピボットヒンジ</td> <td>加-部: スズ、 (亜鉛合金)</td> <td>亜鉛合金は木製建具用のみ</td> </tr> <tr> <td>点検口軸吊りヒンジ</td> <td>建具製作所の仕様による</td> <td>自閉装置付き</td> </tr> <tr> <td>フロアヒンジ</td> <td>加-部: スズ、 (本体は鋼)</td> <td>ドアクローザー</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ・クローザー (丁番型)</td> <td>鋼 (焼付け塗装)</td> <td>遅延閉り機能付き</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ・クローザー (ビット型)</td> <td>加-部: スズ、 (本体は鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドアクローザー</td> <td>本体: 7%ニッケル合金 ア-部: 鋼 (焼付け塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖順位調整器</td> <td>スズ、 (鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>押棒・押板</td> <td>スズ、 黄銅、合成樹脂</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>上げ落し (フランス落し)</td> <td>亜鉛合金程度、 (スズ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アームトバー</td> <td>鋼 (加-めっき)、 (スズ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>亜鉛合金程度、 (スズ、黄銅)</td> <td>あおり止め付き</td> </tr> </table>	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	シリンダー錠	握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 () 実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)	本締り錠	シリンダー・キー: スズ	実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)	空錠	握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 ()	グレモン錠	レバ・ノド: 亜鉛合金、 (スズ)	取付位置 ()	ケースハンドル錠	ステンレス		点検口錠	亜鉛合金程度、 (スズ)		丁番	スズ、 (黄銅)		ピボットヒンジ	加-部: スズ、 (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ	点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き	フロアヒンジ	加-部: スズ、 (本体は鋼)	ドアクローザー	ヒンジ・クローザー (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き	ヒンジ・クローザー (ビット型)	加-部: スズ、 (本体は鋼)		ドアクローザー	本体: 7%ニッケル合金 ア-部: 鋼 (焼付け塗装)		閉鎖順位調整器	スズ、 (鋼)		押棒・押板	スズ、 黄銅、合成樹脂	取付位置 ()	上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度、 (スズ)		アームトバー	鋼 (加-めっき)、 (スズ)		戸当り	亜鉛合金程度、 (スズ、黄銅)	あおり止め付き
		施工箇所及びタイルの種類	形状寸法(mm)	生地	釉薬	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	工法その他																																																																																																									
		図示		磁器 せつ器 陶器	無釉	有り 無し	標準 特注	有り 無し																																																																																																											
		外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)																																																																																																																	
		性能等級	A種	B種	C種																																																																																																														
		耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																																																																														
		気密性	A - 4																																																																																																																
		水密性	W - 4	W - 5																																																																																																															
		特見込み(mm)	図示																																																																																																																
		金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																															
		シリンダー錠	握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 () 実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)																																																																																																															
		本締り錠	シリンダー・キー: スズ	実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)																																																																																																															
		空錠	握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 ()																																																																																																															
		グレモン錠	レバ・ノド: 亜鉛合金、 (スズ)	取付位置 ()																																																																																																															
ケースハンドル錠	ステンレス																																																																																																																		
点検口錠	亜鉛合金程度、 (スズ)																																																																																																																		
丁番	スズ、 (黄銅)																																																																																																																		
ピボットヒンジ	加-部: スズ、 (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ																																																																																																																	
点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き																																																																																																																	
フロアヒンジ	加-部: スズ、 (本体は鋼)	ドアクローザー																																																																																																																	
ヒンジ・クローザー (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き																																																																																																																	
ヒンジ・クローザー (ビット型)	加-部: スズ、 (本体は鋼)																																																																																																																		
ドアクローザー	本体: 7%ニッケル合金 ア-部: 鋼 (焼付け塗装)																																																																																																																		
閉鎖順位調整器	スズ、 (鋼)																																																																																																																		
押棒・押板	スズ、 黄銅、合成樹脂	取付位置 ()																																																																																																																	
上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度、 (スズ)																																																																																																																		
アームトバー	鋼 (加-めっき)、 (スズ)																																																																																																																		
戸当り	亜鉛合金程度、 (スズ、黄銅)	あおり止め付き																																																																																																																	
13 仕上塗材 (4.1.5) (4.5.2) (4.5.6)	シール工法 (仕上げ塗材は外壁仕上塗材の上塗り材とする。) 塗膜防水 (弾性ウレタン系 エポキシ系) 薄付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1) <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げ</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">外装薄塗材Si</td> <td>砂壁状</td> <td>ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>ゆず肌状</td> <td>さざ波状</td> <td>ローラ・塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可とう形外装薄塗材Si</td> <td>砂壁状</td> <td>ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>ゆず肌状</td> <td>さざ波状</td> <td>ローラ・塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">外装薄塗材E</td> <td>砂壁状</td> <td>ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>平たん状</td> <td>凹凸状</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>ゆず肌状</td> <td>さざ波状</td> <td>ローラ・塗り</td> </tr> <tr> <td>着色骨材砂壁状</td> <td>こて塗り</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可とう形外装薄塗材E</td> <td>砂壁状</td> <td>ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>平たん状</td> <td>凹凸状</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">防水形外装薄塗材E (増塗材)</td> <td>ゆず肌状</td> <td>さざ波状</td> <td>ローラ・塗り</td> </tr> <tr> <td>凹凸状</td> <td></td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>外装薄塗材S</td> <td>砂壁状</td> <td></td> <td>吹付け</td> </tr> </table>	種類(呼び名)	仕上げ	工法	備考	外装薄塗材Si	砂壁状	ゆず肌状	吹付け	ゆず肌状	さざ波状	ローラ・塗り	可とう形外装薄塗材Si	砂壁状	ゆず肌状	吹付け	ゆず肌状	さざ波状	ローラ・塗り	外装薄塗材E	砂壁状	ゆず肌状	吹付け	平たん状	凹凸状	こて塗り	ゆず肌状	さざ波状	ローラ・塗り	着色骨材砂壁状	こて塗り	吹付け	可とう形外装薄塗材E	砂壁状	ゆず肌状	吹付け	平たん状	凹凸状	こて塗り	防水形外装薄塗材E (増塗材)	ゆず肌状	さざ波状	ローラ・塗り	凹凸状		吹付け	外装薄塗材S	砂壁状		吹付け	16 部分改修工法 (4.5.7)	仕上げ塗材の種類 薄付け仕上塗材 厚付け仕上塗材又は複層仕上塗材 防水形複層仕上塗材 マスチック塗材 施工箇所 別図に示す範囲	17 外壁用塗膜防水材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)	外壁用塗膜防水塗り 仕上げの形状 工法 外壁用仕上げ塗材の耐候性 地下挙動緩衝材の適用 適用する 適用しない 吹付け工法の模様材の種類 所要量 (kg/m ²) 外壁用仕上げ塗材の種類 所要量 (kg/m ²)																																																													
種類(呼び名)	仕上げ	工法	備考																																																																																																																
外装薄塗材Si	砂壁状	ゆず肌状	吹付け																																																																																																																
	ゆず肌状	さざ波状	ローラ・塗り																																																																																																																
可とう形外装薄塗材Si	砂壁状	ゆず肌状	吹付け																																																																																																																
	ゆず肌状	さざ波状	ローラ・塗り																																																																																																																
外装薄塗材E	砂壁状	ゆず肌状	吹付け																																																																																																																
	平たん状	凹凸状	こて塗り																																																																																																																
	ゆず肌状	さざ波状	ローラ・塗り																																																																																																																
	着色骨材砂壁状	こて塗り	吹付け																																																																																																																
可とう形外装薄塗材E	砂壁状	ゆず肌状	吹付け																																																																																																																
	平たん状	凹凸状	こて塗り																																																																																																																
防水形外装薄塗材E (増塗材)	ゆず肌状	さざ波状	ローラ・塗り																																																																																																																
	凹凸状		吹付け																																																																																																																
外装薄塗材S	砂壁状		吹付け																																																																																																																
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	防火材料の指定 なし 下地補修後の放たしコンクリート壁面の仕上げ補修 行う (参考工法: 製造所:) 行わない 仕上塗材の耐候性 耐候形 3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック 既存塗膜の除去方法 試験施工実施 サンダー工法 高圧水洗工法 (試験施工実施) (加圧力 30Mpa) 塗膜はく離工法 (製造所:) 水洗い工法 (ティップ 高圧ポンプ 10~15pa) 既存塗膜の除去範囲 既存仕上げ面全体 既存壁面の (%) 別図に示す範囲	1 性能 「第1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。	2 施工数量調査 行う (建具金物 ガラス ガラス止め材) 施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。行わない	3 改修工法 (5.1.3) 既存建具を新規建具に改修する場合 かぶせ工法 (カバー工法 持出し工法 ノンシール工法) 撤去工法 (はつり工法 引き抜き工法) 新規に建具を設置する場合 新規建具を設ける壁の開口方法 図示による 新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示による	4 防火戸 (5.1.4) 図示による 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 運動させる (建具表による) 運動させない	5 見本の製作等 (5.1.5) (5.1.6) 建具見本の製作 行う (建具番号) 特殊な建具の仮組 行う (建具番号) ブラインドボックス等の再使用 ()	6 防犯建物部品 (5.1.7) 開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ ドア 適用箇所 () ・ サッシ 適用箇所 () ・ シャッター 適用箇所 ()	7 アルミニウム製建具 (5.2.2) (5.2.5)	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)</th> </tr> <tr> <th>性能等級</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td colspan="3">A - 3</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W - 4</td> <td colspan="2">W - 5</td> </tr> <tr> <td>特見込み(mm)</td> <td>図示</td> <td>70</td> <td>100</td> </tr> </table>	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)				性能等級	A種	B種	C種	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 3			水密性	W - 4	W - 5		特見込み(mm)	図示	70	100																																																																																		
外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)																																																																																																																			
性能等級	A種	B種	C種																																																																																																																
耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																																																																																
気密性	A - 3																																																																																																																		
水密性	W - 4	W - 5																																																																																																																	
特見込み(mm)	図示	70	100																																																																																																																
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	表面処理 (表5.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>色</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>B/B-1種</td> <td>標準 特注</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>B/B-2種</td> <td>標準 特注</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ○ 排水式 図示による ○ 水切り、ぜん板等 図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL</p>	種別	色	施工箇所	B/B-1種	標準 特注	図示による	B/B-2種	標準 特注	図示による		標準 特注			標準 特注			標準 特注		10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 () (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級) JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は改修仕様による) 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板類の厚さ 表5.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) mm ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型钢製建具の形式及び寸法 建具表による 簡易気密型ドアセットの気密性 適用する (A - 3) 適用しない 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級) 鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板 鋼板類の厚さ 表5.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) mm 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型钢製建具の形式及び寸法 建具表による 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 () (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 D-1 D-2) ステンレス鋼板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ HL 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ	11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.2.5) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	簡易気密型ドアセットの気密性 適用する (A - 3) 適用しない 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級) 鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板 鋼板類の厚さ 表5.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) mm 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型钢製建具の形式及び寸法 建具表による 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 () (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 D-1 D-2) ステンレス鋼板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ HL 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 () (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 D-1 D-2) ステンレス鋼板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ HL 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ	13 建具用金物 (5.8.2) (5.8.4)	マスターキーの製作 作成する (グループ、各グループ 個) 作成しない 鍵の制作本数 3本1組 (室名札付き) 鍵箱 無 有 開き戸 (表5.8.1) <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>シリンダー錠</td> <td>握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)</td> <td>取付位置 () 実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)</td> </tr> <tr> <td>本締り錠</td> <td>シリンダー・キー: スズ</td> <td>実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)</td> </tr> <tr> <td>空錠</td> <td>握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>グレモン錠</td> <td>レバ・ノド: 亜鉛合金、 (スズ)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>ケースハンドル錠</td> <td>ステンレス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検口錠</td> <td>亜鉛合金程度、 (スズ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>丁番</td> <td>スズ、 (黄銅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピボットヒンジ</td> <td>加-部: スズ、 (亜鉛合金)</td> <td>亜鉛合金は木製建具用のみ</td> </tr> <tr> <td>点検口軸吊りヒンジ</td> <td>建具製作所の仕様による</td> <td>自閉装置付き</td> </tr> <tr> <td>フロアヒンジ</td> <td>加-部: スズ、 (本体は鋼)</td> <td>ドアクローザー</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ・クローザー (丁番型)</td> <td>鋼 (焼付け塗装)</td> <td>遅延閉り機能付き</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ・クローザー (ビット型)</td> <td>加-部: スズ、 (本体は鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドアクローザー</td> <td>本体: 7%ニッケル合金 ア-部: 鋼 (焼付け塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖順位調整器</td> <td>スズ、 (鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>押棒・押板</td> <td>スズ、 黄銅、合成樹脂</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>上げ落し (フランス落し)</td> <td>亜鉛合金程度、 (スズ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アームトバー</td> <td>鋼 (加-めっき)、 (スズ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>亜鉛合金程度、 (スズ、黄銅)</td> <td>あおり止め付き</td> </tr> </table>	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	シリンダー錠	握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 () 実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)	本締り錠	シリンダー・キー: スズ	実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)	空錠	握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 ()	グレモン錠	レバ・ノド: 亜鉛合金、 (スズ)	取付位置 ()	ケースハンドル錠	ステンレス		点検口錠	亜鉛合金程度、 (スズ)		丁番	スズ、 (黄銅)		ピボットヒンジ	加-部: スズ、 (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ	点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き	フロアヒンジ	加-部: スズ、 (本体は鋼)	ドアクローザー	ヒンジ・クローザー (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き	ヒンジ・クローザー (ビット型)	加-部: スズ、 (本体は鋼)		ドアクローザー	本体: 7%ニッケル合金 ア-部: 鋼 (焼付け塗装)		閉鎖順位調整器	スズ、 (鋼)		押棒・押板	スズ、 黄銅、合成樹脂	取付位置 ()	上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度、 (スズ)		アームトバー	鋼 (加-めっき)、 (スズ)		戸当り	亜鉛合金程度、 (スズ、黄銅)	あおり止め付き																															
種別	色	施工箇所																																																																																																																	
B/B-1種	標準 特注	図示による																																																																																																																	
B/B-2種	標準 特注	図示による																																																																																																																	
	標準 特注																																																																																																																		
	標準 特注																																																																																																																		
	標準 特注																																																																																																																		
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																																	
シリンダー錠	握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 () 実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)																																																																																																																	
本締り錠	シリンダー・キー: スズ	実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)																																																																																																																	
空錠	握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 ()																																																																																																																	
グレモン錠	レバ・ノド: 亜鉛合金、 (スズ)	取付位置 ()																																																																																																																	
ケースハンドル錠	ステンレス																																																																																																																		
点検口錠	亜鉛合金程度、 (スズ)																																																																																																																		
丁番	スズ、 (黄銅)																																																																																																																		
ピボットヒンジ	加-部: スズ、 (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ																																																																																																																	
点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き																																																																																																																	
フロアヒンジ	加-部: スズ、 (本体は鋼)	ドアクローザー																																																																																																																	
ヒンジ・クローザー (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き																																																																																																																	
ヒンジ・クローザー (ビット型)	加-部: スズ、 (本体は鋼)																																																																																																																		
ドアクローザー	本体: 7%ニッケル合金 ア-部: 鋼 (焼付け塗装)																																																																																																																		
閉鎖順位調整器	スズ、 (鋼)																																																																																																																		
押棒・押板	スズ、 黄銅、合成樹脂	取付位置 ()																																																																																																																	
上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度、 (スズ)																																																																																																																		
アームトバー	鋼 (加-めっき)、 (スズ)																																																																																																																		
戸当り	亜鉛合金程度、 (スズ、黄銅)	あおり止め付き																																																																																																																	
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	表面処理 (表5.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>色</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>B/B-1種</td> <td>標準 特注</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>B/B-2種</td> <td>標準 特注</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ○ 排水式 図示による ○ 水切り、ぜん板等 図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL</p>	種別	色	施工箇所	B/B-1種	標準 特注	図示による	B/B-2種	標準 特注	図示による		標準 特注			標準 特注			標準 特注		10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 () (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級) JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は改修仕様による) 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板類の厚さ 表5.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) mm ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型钢製建具の形式及び寸法 建具表による 簡易気密型ドアセットの気密性 適用する (A - 3) 適用しない 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級) 鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板 鋼板類の厚さ 表5.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) mm 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型钢製建具の形式及び寸法 建具表による 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 () (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 D-1 D-2) ステンレス鋼板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ HL 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ	11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.2.5) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	簡易気密型ドアセットの気密性 適用する (A - 3) 適用しない 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級) 鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板 鋼板類の厚さ 表5.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) mm 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型钢製建具の形式及び寸法 建具表による 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 () (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 D-1 D-2) ステンレス鋼板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ HL 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 () (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 D-1 D-2) ステンレス鋼板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ HL 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ	13 建具用金物 (5.8.2) (5.8.4)	マスターキーの製作 作成する (グループ、各グループ 個) 作成しない 鍵の制作本数 3本1組 (室名札付き) 鍵箱 無 有 開き戸 (表5.8.1) <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>シリンダー錠</td> <td>握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)</td> <td>取付位置 () 実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)</td> </tr> <tr> <td>本締り錠</td> <td>シリンダー・キー: スズ</td> <td>実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)</td> </tr> <tr> <td>空錠</td> <td>握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>グレモン錠</td> <td>レバ・ノド: 亜鉛合金、 (スズ)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>ケースハンドル錠</td> <td>ステンレス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検口錠</td> <td>亜鉛合金程度、 (スズ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>丁番</td> <td>スズ、 (黄銅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピボットヒンジ</td> <td>加-部: スズ、 (亜鉛合金)</td> <td>亜鉛合金は木製建具用のみ</td> </tr> <tr> <td>点検口軸吊りヒンジ</td> <td>建具製作所の仕様による</td> <td>自閉装置付き</td> </tr> <tr> <td>フロアヒンジ</td> <td>加-部: スズ、 (本体は鋼)</td> <td>ドアクローザー</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ・クローザー (丁番型)</td> <td>鋼 (焼付け塗装)</td> <td>遅延閉り機能付き</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ・クローザー (ビット型)</td> <td>加-部: スズ、 (本体は鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドアクローザー</td> <td>本体: 7%ニッケル合金 ア-部: 鋼 (焼付け塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖順位調整器</td> <td>スズ、 (鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>押棒・押板</td> <td>スズ、 黄銅、合成樹脂</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>上げ落し (フランス落し)</td> <td>亜鉛合金程度、 (スズ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アームトバー</td> <td>鋼 (加-めっき)、 (スズ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>亜鉛合金程度、 (スズ、黄銅)</td> <td>あおり止め付き</td> </tr> </table>	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	シリンダー錠	握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 () 実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)	本締り錠	シリンダー・キー: スズ	実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)	空錠	握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 ()	グレモン錠	レバ・ノド: 亜鉛合金、 (スズ)	取付位置 ()	ケースハンドル錠	ステンレス		点検口錠	亜鉛合金程度、 (スズ)		丁番	スズ、 (黄銅)		ピボットヒンジ	加-部: スズ、 (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ	点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き	フロアヒンジ	加-部: スズ、 (本体は鋼)	ドアクローザー	ヒンジ・クローザー (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き	ヒンジ・クローザー (ビット型)	加-部: スズ、 (本体は鋼)		ドアクローザー	本体: 7%ニッケル合金 ア-部: 鋼 (焼付け塗装)		閉鎖順位調整器	スズ、 (鋼)		押棒・押板	スズ、 黄銅、合成樹脂	取付位置 ()	上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度、 (スズ)		アームトバー	鋼 (加-めっき)、 (スズ)		戸当り	亜鉛合金程度、 (スズ、黄銅)	あおり止め付き																															
種別	色	施工箇所																																																																																																																	
B/B-1種	標準 特注	図示による																																																																																																																	
B/B-2種	標準 特注	図示による																																																																																																																	
	標準 特注																																																																																																																		
	標準 特注																																																																																																																		
	標準 特注																																																																																																																		
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																																	
シリンダー錠	握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 () 実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)																																																																																																																	
本締り錠	シリンダー・キー: スズ	実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具)																																																																																																																	
空錠	握り玉: スズ レバ・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 ()																																																																																																																	
グレモン錠	レバ・ノド: 亜鉛合金、 (スズ)	取付位置 ()																																																																																																																	
ケースハンドル錠	ステンレス																																																																																																																		
点検口錠	亜鉛合金程度、 (スズ)																																																																																																																		
丁番	スズ、 (黄銅)																																																																																																																		
ピボットヒンジ	加-部: スズ、 (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ																																																																																																																	
点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き																																																																																																																	
フロアヒンジ	加-部: スズ、 (本体は鋼)	ドアクローザー																																																																																																																	
ヒンジ・クローザー (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き																																																																																																																	
ヒンジ・クローザー (ビット型)	加-部: スズ、 (本体は鋼)																																																																																																																		
ドアクローザー	本体: 7%ニッケル合金 ア-部: 鋼 (焼付け塗装)																																																																																																																		
閉鎖順位調整器	スズ、 (鋼)																																																																																																																		
押棒・押板	スズ、 黄銅、合成樹脂	取付位置 ()																																																																																																																	
上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度、 (スズ)																																																																																																																		
アームトバー	鋼 (加-めっき)、 (スズ)																																																																																																																		
戸当り	亜鉛合金程度、 (スズ、黄銅)	あおり止め付き																																																																																																																	
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	表面処理 (表5.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>色</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>B/B-1種</td> <td>標準 特注</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>B/B-2種</td> <td>標準 特注</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ○ 排水式 図示による ○ 水切り、ぜん板等 図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL</p>	種別	色	施工箇所	B/B-1種	標準 特注	図示による	B/B-2種	標準 特注	図示による		標準 特注			標準 特注			標準 特注		10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 () (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級) JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は改修仕様による) 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板類の厚さ 表5.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) mm ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型钢製建具の形式及び寸法 建具表による 簡易気密型ドアセットの気密性 適用する (A - 3) 適用しない 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級) 鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板 鋼板類の厚さ 表5.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) mm 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型钢製建具の形式及び寸法 建具表による 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 () (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 D-1 D-2) ステンレス鋼板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ HL 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ	11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.2.5) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	簡易気密型ドアセットの気密性 適用する (A - 3) 適用しない 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級) 鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板 鋼板類の厚さ 表5.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) mm 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型钢製建具の形式及び寸法 建具表による 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 () (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 D-1 D-2) ステンレス鋼板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ HL 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 () (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 D-1 D-2) ステンレス鋼板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ HL 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ	13 建具用金物 (5.8.2) (5.8.4)	マスターキーの製作 作成する (グループ、各グループ 個) 作成しない 鍵の制作本数 3本1組 (室名札付き) 鍵箱 無 有 開き戸 (表5.8.1) <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>シリンダー錠</td> <td>握り玉: スズ</td></tr></table>	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	シリンダー錠	握り玉: スズ																																																																																			
種別	色	施工箇所																																																																																																																	
B/B-1種	標準 特注	図示による																																																																																																																	
B/B-2種	標準 特注	図示による																																																																																																																	
	標準 特注																																																																																																																		
	標準 特注																																																																																																																		
	標準 特注																																																																																																																		
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																																	
シリンダー錠	握り玉: スズ																																																																																																																		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																													
5	5	引き戸用検出装置性能値 改修標仕 表5.9.3による 放射無線周波数 電磁界耐性	5	20 ガラス留め材 (5.14.2)	<table border="1"> <tr><th>建具の種類</th><th>材</th><th>質</th></tr> <tr><td>アルミニウム製</td><td>シーリング材(SR-1)</td><td>グレイジングチャンネル</td></tr> <tr><td>樹脂製</td><td>グレイジングチャンネル</td><td></td></tr> <tr><td>鋼製・銅製軽量・ステンレス製</td><td>シーリング材(SR-1)</td><td>パテ 1種 2種</td></tr> <tr><td>木製</td><td>パテ(木製用)</td><td></td></tr> </table> <p>防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。</p>	建具の種類	材	質	アルミニウム製	シーリング材(SR-1)	グレイジングチャンネル	樹脂製	グレイジングチャンネル		鋼製・銅製軽量・ステンレス製	シーリング材(SR-1)	パテ 1種 2種	木製	パテ(木製用)		6	内装 改修 工事	揮発性有機化合物 対策 (6.5.2)～(6.5.4) (6.8.2)(6.9.2) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.11.5) (6.13.2)(6.14.2) (6.16.4)(9.5.3) (9.5.4)	木材、木れんが、ビニルシート・タイル、ゴム床材、カーペット、合成樹脂塗床、フローリング、ボード類、 タイル、断熱材の接着に使用する 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 木材塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量 F	6	内装 改修 工事	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 工事完成までに、かつ「マレー」C02京都の木認証書(京都府産木材証明書及び「マレー」C02計算書)(注1)を提出する事を原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書(京都府産木材証明書)(注2)を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般財団法人京都府木材組合連合会 TEL: 075-802-2991 注1) 認証書 注2) 証明書は製材助、流通業者の全てが取扱事業者又は認証機関登録事業者でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。 工事完成までに、京都府産木材の産地証明書を提出すること。 京都木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都木材規格(KTS)材証明書(発行機関：(一社)京都府木材組合連合会)を提出すること。													
		建具の種類		材	質																																			
		アルミニウム製		シーリング材(SR-1)	グレイジングチャンネル																																			
		樹脂製		グレイジングチャンネル																																				
		鋼製・銅製軽量・ステンレス製		シーリング材(SR-1)	パテ 1種 2種																																			
		木製		パテ(木製用)																																				
		15 自閉式上吊り 引戸装置 (5.10.3)		性能値等の区分 (表5.10.1)	<table border="1"> <tr><th>適用戸の総質量(kg)</th><td>40以下</td><td>40を超えるもの</td></tr> <tr><th>手動開き力(N)</th><td>15以下</td><td>20以下</td></tr> <tr><th>手動閉じ力(N)</th><td>15以下</td><td>20以下</td></tr> </table> <p>性能等 品質・規格</p>	適用戸の総質量(kg)	40以下	40を超えるもの	手動開き力(N)	15以下	20以下	手動閉じ力(N)	15以下	20以下	21 ガラスブロック (5.14.5)	<table border="1"> <tr><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>色</th><th>調</th><th>パターン</th><th>防火認定</th></tr> <tr><td>x</td><td>図示</td><td>乳白</td><td>か-</td><td>()</td><td>なし あり</td></tr> </table> <p>品質規格はJIS A5212 による 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。</p> <p>壁用金属枠及び補強材 力骨 材質 SUS304 寸法・形状 径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋 シーリング 表3.7.1による SR-1 PS-1 化粧目地モルタルの色 白 グレー 金属製化粧カバー 材質 SUS304 寸法・形状 図示による</p> <p>目地幅の寸法 平積みの場合 8mm以上、15mm以下 曲面積みの場合 外側15mm以下、内側6mm以上 (曲率半径はガラスの幅寸法の10倍以上)</p> <p>伸縮調整目地の位置 6m以下ごとに幅10～25mmの伸縮調整目地を設ける。</p>	寸法(mm)	厚さ(mm)	色	調								パターン	防火認定	x	図示	乳白	か-	()	なし あり	② 他部分との 取り合い等 (6.1.3)	既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ()	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ()	天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 既存のまま 図示による 範囲() 仕上げ()	「集材材の日本農林規格」による造作用集成材 造作用集成材 使用箇所 品名 樹種 見付材面数 寸法 見付材面の品質 化粧ばり造作用集成材 使用箇所 品名 樹種 寸法 化粧板厚 見付材面数 見付材面の品質 1等 2等
		適用戸の総質量(kg)		40以下	40を超えるもの																																			
		手動開き力(N)		15以下	20以下																																			
		手動閉じ力(N)		15以下	20以下																																			
		寸法(mm)		厚さ(mm)	色	調	パターン	防火認定																																
		x		図示	乳白	か-	()	なし あり																																
		16 重量シャッター (5.11.2)～ (5.11.4)		種類 管理用シャッター(シャッターケース 設ける) 耐風圧強度() 外壁用防火シャッター(シャッターケース 設ける) 耐風圧強度() 屋内用防火シャッター(シャッターケース 設ける) 屋内用防煙シャッター(シャッターケース 設ける)	外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 Pa 開閉方式 電動式(手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 耐風圧強度 Pa スラット及びシャッターケース用鋼板 材質 めっきの付着量 JIS G 3302 Z12又はF12を満足するもの JIS G 3312 Z12又はF12を満足するもの	22 木製建具 (5.7.2)～ (5.7.4)	建具材の加工、組立時の含水率の種類別 代用樹種の適用 A種 B種 可 不可 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 改修標仕5.7.2(イ)(a)による	③ 既存床の撤去等 (6.2.2)	種別 工法 施工箇所 ビニル床シート等 下地材の除去 図示による 合成樹脂塗床材 機械的除去工法 図示による 目荒し工法 フローリング張り床材 床タイル 床組	コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。	「集材材の日本農林規格」以外の造作用集成材 造作用集成材 使用箇所 樹種 寸法 見付材面の品質 含水率 化粧ばり造作用集成材 使用箇所 化粧樹種名 芯材樹種名 寸法 化粧板厚 見付材面の品質 含水率 15%以下																													
		17 軽量シャッター (5.12.2)～ (5.12.4)		開閉方式 電動式(手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 耐風圧強度 Pa スラット 材質 めっきの付着量 形状 JIS G 3312 Z06又はF06を満足するもの インターロッキング形 JIS G 3322 AZ90を満足するもの オーバーラッピング形	4 既存壁の撤去等 (6.3.2)	間仕切壁撤去に伴う構造体の補修 改修標仕4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 行う 行わない)	⑤ 木下地等 (6.5.1)～ (6.5.9)	材料のホルムアルデヒド放散量 F 又は改修標仕6.5.2(1)(ウ)(b)による 含水率 下地材 A種(15%以下) B種(20%以下) 造作材 A種(15%以下) B種(18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。	JAS 1083(製材)に基づく製材 下地用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 根太・束 杉 45×36 1級 15%以下 頭繋ぎ材 杉 90×30 2級	造作用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 巾木 米ツガ 15×45 無節 15%以下 床見切 米ツガ 45×60 上小節 天井見切 米ツガ 40×20 小節 防球ガード 米ツガ 20×40 並 取付下地 米ツガ 20×180 透風板 米ツガ 100×35 壁上部見切 米ツガ 100×15	JAS 1083(製材)以外の製材 (表12.2.2) 使用箇所 樹種 寸法 材面の品質 防虫処理 含水率 A種 B種	JAS 0701(単板積層材)に基づく造作用単板積層材 造作用単板積層材 使用箇所 品名 寸法 表面の品質 防虫処理 表面化粧加工なし 1等 2等 3等 適用する 表面化粧加工あり 天然化粧加工 塗装加工 適用しない																												
		18 オーバーヘッド ドア (5.13.2)～ (5.13.4)		セクション材 スチールタイプ アルミニウムタイプ 鋼板タイプ 耐風圧性能 Pa 開閉方式 バランス式 チェーン式 電動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 収納形式 スタンダード形 ローヘッド形 ハイリフト形 パーチカル形 ガイドレール等 溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板	表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 普通合板 表面の樹脂 板面の品質(広葉樹1種) 接着の程度(1種 2種) 天然木化粧合板 樹種名() 接着の程度(1種 2種) 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度(1種 2種) MDF	表面板の厚さ 図示による (表5.7.6) 引き戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 適用しない 適用する	5 木下地等 (6.5.1)～ (6.5.9)	材料のホルムアルデヒド放散量 F 又は改修標仕6.5.2(1)(ウ)(b)による 含水率 下地材 A種(15%以下) B種(20%以下) 造作材 A種(15%以下) B種(18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。	JAS 1083(製材)に基づく製材 下地用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 根太・束 杉 45×36 1級 15%以下 頭繋ぎ材 杉 90×30 2級	造作用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 巾木 米ツガ 15×45 無節 15%以下 床見切 米ツガ 45×60 上小節 天井見切 米ツガ 40×20 小節 防球ガード 米ツガ 20×40 並 取付下地 米ツガ 20×180 透風板 米ツガ 100×35 壁上部見切 米ツガ 100×15	JAS 1083(製材)以外の製材 (表12.2.2) 使用箇所 樹種 寸法 材面の品質 防虫処理 含水率 A種 B種	JAS 0701(単板積層材)以外の造作用単板積層材 造作用単板積層材 使用箇所 寸法 表面の品質 含水率 防虫処理 表面化粧加工なし 14%以下 適用する 表面化粧加工あり 天然化粧加工 塗装加工 適用しない																												
		19 ガラス (5.14.2)～ (5.14.4)		材料 種別 種類等 種別 種類等 加ト板ガラス 強化ガラス 型板ガラス 熱線吸収板ガラス 網入板ガラス 複層ガラス 線入板ガラス 熱線反射ガラス 合わせガラス 倍強度ガラス	ガラス溝の大きさ (図5.14.1) 種別 面クリアランス エッジクリアランス 掛り代 アルミニウム建具 建具製造所の仕様による 建具製造所の仕様による 建具製造所の仕様による 鋼製建具 ステンレス建具	かまち戸 かまち樹種() 鏡板樹種() 見込み寸法 36mm ふすま 張りの種別 型 型 上張り(押入等の裏側以外) 鳥の子 新鳥の子又はビニル紙程度 見込み寸法 19.5mm 戸ぶすま 表面板の仕上 図示による 見込み寸法 30mm 紙張り障子 見込み寸法 30mm	種類 厚さ mm	23 ポリカーボネイト 樹脂板	「合板の日本農林規格」による普通合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 防虫処理 その他処理 押入れ、物入れ 5.5mm 1類 広葉樹 2等以上 針葉樹 C-D以上 適用する 難燃処理 防炎処理	「合板の日本農林規格」による構造用合板 使用箇所 品名 等級 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 保存処理 その他処理 畳床下地材、フローリング張り下地材 2級 12mm 1類 特類 以上 防虫処理 強度等級	「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 使用箇所 品名 厚さ 単板の樹種名 接着程度 防虫処理 1類 特類	「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 使用箇所 品名 厚さ 接着程度 単板の樹種名 化粧加工 防虫処理 1類 2類	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 使用箇所 品名 厚さ 接着程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 1類 2類																											

Ver. R04(R05.02)	株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣()	構造設計 一級建築士登録 交付番号()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A-05
			構造/設備関係規定 への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣()	図名 建築改修工事特記仕様書(5)	縮尺 A2: - A3: -

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																
⑥ 内装改修工事	<p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>各種区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>15mm</td> <td>13Pタイプ又は13Mタイプ</td> </tr> </table> <p>JAS 0380 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>MDF</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作材化粧面の釘打ち 隠し釘打ち 釘頭埋め木 つぶし頭釘打ち 釘頭現し</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1【鉄鋼の垂鉛めっきの種類】のF程度程度の垂鉛めっきを施したもの</p> <p>防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 _____ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 K2 K3 K4 K2 K3 K4</p> <p>薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 薬剤の製造所の仕様による JIS K 1571に適合又は同等品</p> <p>薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 _____ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 _____</p> <p>防虫処理 行う (範囲:ラワン材等 「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) 行わない</p>	使用箇所	厚さ	各種区分		15mm	13Pタイプ又は13Mタイプ	使用箇所	等級	厚さ				使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							⑥ 内装改修工事	<p>ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">接着形</td> <td>コンポジションビニル床タイル</td> <td>KT</td> <td>2.0 3.0</td> <td rowspan="2">無地 ○柄物</td> <td rowspan="2">300×300 ○450×450</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>単層ビニル床タイル</td> <td>TT</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">置敷形</td> <td>複層ビニル床タイル</td> <td>FT</td> <td>2.0 2.5 3.0</td> <td rowspan="3">○柄物</td> <td rowspan="3">500×500</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>置敷きビニル床タイル</td> <td>FOA</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>薄型置敷きビニル床タイル</td> <td>FOB</td> <td></td> </tr> </table> <p>帯電防止床シート 帯電防止タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>体積抵抗値 1.0×10⁹ 以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>視覚障害者用床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>塩化ビニル系</td> <td>300mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>レジンコンクリート系</td> <td>150mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>磁器又はせっ器質タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>耐荷重性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>防滑性床シート 防滑性床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ビニル幅木</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>高さ (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>軟質 硬質</td> <td>60 75 100</td> <td>1.5 2.0</td> </tr> </table> <p>ゴム床タイル張り</p> <table border="1"> <tr> <th>色柄</th> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>単層品 積層品</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>織り方</th> <th>バイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>色柄</th> <th>接合方法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>A種 B種 C種</td> <td></td> <td></td> <td>適用</td> <td>無地</td> <td>ヒートソド工法 つぶり縫い</td> <td></td> </tr> </table> <p>タフテッドカーベット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>グリップ工法 全面接着工法</td> <td>適用</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーベット</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>バイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>一種 二種</td> <td>ループバイル</td> <td>500×500</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーベットの敷き方 平場部分 市松敷き _____ 階段部分 模様流し _____ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm _____</p> <p>見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による _____</p> <p>厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床材 平滑仕上げ 防滑仕上げ つや消し仕上げ 塗厚 (mm) _____</p> <p>エポキシ樹脂系塗床材 薄膜流しのべ工法 (平滑 防滑) _____ 厚膜流しのべ工法 (平滑 防滑) _____ 樹脂モルタル工法 (平滑 防滑) _____</p> <p>薄膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材 塗床材料のホルムアルデヒド放散量 F _____</p>	区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	寸法	施工箇所	接着形	コンポジションビニル床タイル	KT	2.0 3.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450		単層ビニル床タイル	TT	2.0	置敷形	複層ビニル床タイル	FT	2.0 2.5 3.0	○柄物	500×500		置敷きビニル床タイル	FOA	4.0	薄型置敷きビニル床タイル	FOB		種類	性能	厚さ (mm)		体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下		種類	形状	備考	塩化ビニル系	300mm角		レジンコンクリート系	150mm角		磁器又はせっ器質タイル			種類	厚さ (mm)	備考				種類	寸法	厚さ (mm)				種類	高さ (mm)	厚さ (mm)	軟質 硬質	60 75 100	1.5 2.0	色柄	種類	厚さ (mm)	寸法 (mm)		単層品 積層品			種別	織り方	バイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所	A種 B種 C種			適用	無地	ヒートソド工法 つぶり縫い		バイル形状	バイル長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所			グリップ工法 全面接着工法	適用		種別	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所	一種 二種	ループバイル	500×500	6.5		⑥ 内装改修工事	<p>⑪ フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.11.2(2)による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大きさ</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">70-リグ 8-ド1等</td> <td rowspan="3">なら</td> <td rowspan="3">15</td> <td>表6.11.1</td> <td>釘留め工法</td> <td rowspan="3">根太張り工法 直張り工法 接着工法</td> </tr> <tr> <td>表6.11.3</td> <td>根太張り工法</td> </tr> <tr> <td>表6.11.5</td> <td>接着工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">70-リグ ブロッカ1等</td> <td rowspan="2">なら</td> <td rowspan="2">8</td> <td>8</td> <td>接着工法</td> <td rowspan="2">防水処理足金物付</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>接着工法</td> </tr> </table> <p>複合フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">1×6タイプ フローリング ボードタイプ</td> <td rowspan="2">なら</td> <td rowspan="2">8</td> <td>釘留め工法</td> <td rowspan="2">A種 B種 C種</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>根太張り工法</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>直張り工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート _____</p> <p>仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形) B種 オイルステインの上ワックス塗り 生地のままワックス塗り _____</p> <p>12 畳敷き (6.12.2)</p> <p>種別 A種 B種 C種 D種 (KT-____) 衝撃緩和型畳 (畳表: C1 C2)</p> <p>⑬ せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (6.13.3)</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____ 改修標仕6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 表面への化粧張り等の加工 図示による _____</p> <p>種別 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格、厚さ (mm) 等</th> </tr> <tr> <td>せっこうボード (GB-R)</td> <td>12.5(不燃) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化粧せっこうボード (GB-D)</td> <td>杉証模様 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>不燃積層せっこうボード (GB-NC)</td> <td>トラバーチン模様 9.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>シーリングせっこうボード (GB-S)</td> <td>15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>強化せっこうボード (GB-F)</td> <td>21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>ロックウール吸音ボード (RW-B)</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>グラスウール吸音ボード (GW-B)</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>吸音あなきせっこうボード (GB-P)</td> <td>9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ロックウール化粧吸音板 (DR)</td> <td>内部用 フラット 12(不燃) 9(不燃)</td> </tr> <tr> <td>軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>立体模様 15(不燃) 12(不燃)</td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム板 (0.8FK)</td> <td>タイプ2 (無石綿) 8.0 6.0</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂化粧板</td> <td>JIS K 6903 による 1.2</td> </tr> <tr> <td>難燃木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> </tr> <tr> <td>断熱木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">火山性ガラス質被覆板</td> <td>研磨品 (3 6 9 9.5 ____)</td> </tr> <tr> <td>無研磨品 (3 6 9 9.5 ____)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">普通合板</td> <td>厚さ 接着の程度 表板樹種</td> </tr> <tr> <td>板面の品質 防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td>天然木化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特殊加工化粧合板</td> <td>化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td>厚さ 接着の程度 化粧加工の方法</td> </tr> <tr> <td>その他下張り用合板</td> <td>表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う</td> </tr> </table> <p>合板類の張付け (表6.13.3) A種 B種 せっこうボードの目地処理 (表6.13.5) 継目処理 突付け 目透かし 突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 (表6.13.5) べベルエッジ スクエアエッジ</p>	種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考	70-リグ 8-ド1等	なら	15	表6.11.1	釘留め工法	根太張り工法 直張り工法 接着工法	表6.11.3	根太張り工法	表6.11.5	接着工法	70-リグ ブロッカ1等	なら	8	8	接着工法	防水処理足金物付	15	接着工法	種類	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考	1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	8	釘留め工法	A種 B種 C種		15	根太張り工法				直張り工法						接着工法			種類	規格、厚さ (mm) 等	せっこうボード (GB-R)	12.5(不燃) 9.5(準不燃)	化粧せっこうボード (GB-D)	杉証模様 12.5(不燃)	トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする) 9.5(準不燃)	不燃積層せっこうボード (GB-NC)	トラバーチン模様 9.5(不燃)	シーリングせっこうボード (GB-S)	15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)	強化せっこうボード (GB-F)	21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)	ロックウール吸音ボード (RW-B)	25	グラスウール吸音ボード (GW-B)	25	吸音あなきせっこうボード (GB-P)	9.5(準不燃)	ロックウール化粧吸音板 (DR)	内部用 フラット 12(不燃) 9(不燃)	軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃)		立体模様 15(不燃) 12(不燃)	けい酸カルシウム板 (0.8FK)	タイプ2 (無石綿) 8.0 6.0	メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による 1.2	難燃木毛セメント板	30 25 20 15	断熱木毛セメント板	30 25 20 15	火山性ガラス質被覆板	研磨品 (3 6 9 9.5 ____)	無研磨品 (3 6 9 9.5 ____)	普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種	板面の品質 防虫処理 行う	天然木化粧合板	厚さ 接着の程度	特殊加工化粧合板	化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法	その他下張り用合板	表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う	⑥ 内装改修工事	<p>14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)</p> <p>防火性能・種類・規格・施工箇所 図示による 下表による 施工箇所 防火性能 品質・規格</p> <p>15 天井廻り縁</p> <p>材質 アルミニウム製 塩化ビニル製</p> <p>16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)</p> <p>モルタル 現場調合材料 既調合材料 (_____) 既製目地材 設ける (形状 _____) 床目地 設ける 設けない 目地の種類 押目地 _____ 目地割り 2m程度 _____ 最大目地間隔 3m程度 _____</p> <p>17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)</p> <p>伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと _____ 壁面 図示による _____ タイルの試験張り 行わない 行う タイルの見本焼 行わない 行う 施工後の確認及び試験 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない</p> <p>タイルの種類 施工箇所・形状・寸法の種類 寸法(mm)</p> <table border="1"> <tr> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>工法その他</th> </tr> <tr> <td>磁器 陶器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td>磁器 陶器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td>磁器 陶器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>壁タイル張りの工法 内装タイル 密着張り 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 既調合モルタル _____ 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目無し工法 _____</p> <p>18 セルフレベリング材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3)</p> <p>塗厚 (mm) 10 15 _____</p>	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法その他	磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注		磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注		磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注		<p>① 塗装材料 (7.1.3)</p> <p>② 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)</p> <p>塗装改修工事</p> <p>塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F _____</p> <p>塗替えで下地調整の種類がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 (表7.2.1) ~ (表7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>素地</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">木部</td> <td>RA種</td> <td rowspan="3">不透明塗料塗りの場合はRB種 RC種</td> </tr> <tr> <td>RB種</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>RA種 RB種 RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>RA種 RB種 RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">モルタル及びせっこうボード面</td> <td>RA種 RB種</td> <td>ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート面及びALCパネル面</td> <td>RA種 RB種</td> <td>ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート面及び押出成形面</td> <td>RA種 RB種</td> <td>ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>せっこうボード及びその他ボード面</td> <td>RA種 RB種 RC種</td> <td></td> </tr> </table>	素地	種別	備考	木部	RA種	不透明塗料塗りの場合はRB種 RC種	RB種	RC種	鉄鋼面	RA種 RB種 RC種		亜鉛めっき鋼面	RA種 RB種 RC種		モルタル及びせっこうボード面	RA種 RB種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	RC種		コンクリート面及びALCパネル面	RA種 RB種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	RC種		コンクリート面及び押出成形面	RA種 RB種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	RC種		せっこうボード及びその他ボード面	RA種 RB種 RC種	
	使用箇所	厚さ	各種区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	15mm	13Pタイプ又は13Mタイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
使用箇所	等級	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	寸法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
接着形	コンポジションビニル床タイル	KT	2.0 3.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	単層ビニル床タイル	TT	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
置敷形	複層ビニル床タイル	FT	2.0 2.5 3.0	○柄物	500×500																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	置敷きビニル床タイル	FOA	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	薄型置敷きビニル床タイル	FOB																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
種類	性能	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種類	形状	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
塩化ビニル系	300mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
レジンコンクリート系	150mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
磁器又はせっ器質タイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種類	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
種類	寸法	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
種類	高さ (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
軟質 硬質	60 75 100	1.5 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
色柄	種類	厚さ (mm)	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	単層品 積層品																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種別	織り方	バイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
A種 B種 C種			適用	無地	ヒートソド工法 つぶり縫い																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
バイル形状	バイル長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		グリップ工法 全面接着工法	適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種別	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
一種 二種	ループバイル	500×500	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
70-リグ 8-ド1等	なら	15	表6.11.1	釘留め工法	根太張り工法 直張り工法 接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			表6.11.3	根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			表6.11.5	接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
70-リグ ブロッカ1等	なら	8	8	接着工法	防水処理足金物付																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			15	接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	8	釘留め工法	A種 B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			15			根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			直張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	規格、厚さ (mm) 等																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
せっこうボード (GB-R)	12.5(不燃) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
化粧せっこうボード (GB-D)	杉証模様 12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
不燃積層せっこうボード (GB-NC)	トラバーチン模様 9.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
シーリングせっこうボード (GB-S)	15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
強化せっこうボード (GB-F)	21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ロックウール吸音ボード (RW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
グラスウール吸音ボード (GW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
吸音あなきせっこうボード (GB-P)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ロックウール化粧吸音板 (DR)	内部用 フラット 12(不燃) 9(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	立体模様 15(不燃) 12(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
けい酸カルシウム板 (0.8FK)	タイプ2 (無石綿) 8.0 6.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による 1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
難燃木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
断熱木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
火山性ガラス質被覆板	研磨品 (3 6 9 9.5 ____)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	無研磨品 (3 6 9 9.5 ____)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	板面の品質 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
天然木化粧合板	厚さ 接着の程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
特殊加工化粧合板	化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
その他下張り用合板	表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
素地	種別	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
木部	RA種	不透明塗料塗りの場合はRB種 RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
鉄鋼面	RA種 RB種 RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
亜鉛めっき鋼面	RA種 RB種 RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
モルタル及びせっこうボード面	RA種 RB種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
コンクリート面及びALCパネル面	RA種 RB種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
コンクリート面及び押出成形面	RA種 RB種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
せっこうボード及びその他ボード面	RA種 RB種 RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
⑥ 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) ~ (6.6.4)	<p>野縁等の種類 屋内 19型 25型 (表6.6.1) 屋外 19型 25型</p> <p>野縁受け・フリボルト・インサートの間隔 900 mm 周辺部の端からの寸法 150 mm 野縁の間隔 225 mm</p> <p>はずれ留め補強 有り 無し 既存の埋込みインサートの使用 再利用しない 再利用する あと施工アンカーの引抜き試験 行う (箇所以上、 N/箇所) 行わない</p> <p>開口補強 フリボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示による _____ 天井のふところの補強 (1.5m以上3m以下) 改修標仕6.6.4(8)による _____ (3mを超える) 図示による _____ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 行う 行わない 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 行う 行わない</p>	9 カーベット敷き (6.9.2) ~ (6.9.3)	<p>7 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)</p> <p>スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1) 表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 図示による _____</p>	⑥ 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) ~ (6.6.4)	<p>8 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色柄</th> <th>工法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層無</td> <td>単層ビニル床シート</td> <td>TS</td> <td rowspan="2">2.5 2.0</td> <td rowspan="2">無地 マーブル</td> <td rowspan="2">熱溶接</td> <td rowspan="2">仕上表による</td> </tr> <tr> <td>複層ビニル床シート</td> <td>FS</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層有</td> <td>発泡複層ビニル床シート</td> <td>HS</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">柄物</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>クッションフロア</td> <td>KS</td> </tr> </table>	区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所	発泡層無	単層ビニル床シート	TS	2.5 2.0	無地 マーブル	熱溶接	仕上表による	複層ビニル床シート	FS	発泡層有	発泡複層ビニル床シート	HS		柄物			クッションフロア	KS																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
発泡層無	単層ビニル床シート	TS	2.5 2.0	無地 マーブル	熱溶接	仕上表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	複層ビニル床シート	FS																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
発泡層有	発泡複層ビニル床シート	HS		柄物																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	クッションフロア	KS																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑥ 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)	<p>7 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)</p> <p>スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1) 表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 図示による _____</p>	10 合成樹脂塗床 (6.10.2) (6.10.3)	<p>① 塗装材料 (7.1.3)</p> <p>② 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)</p> <p>塗装改修工事</p> <p>塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F _____</p> <p>塗替えで下地調整の種類がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 (表7.2.1) ~ (表7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>素地</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">木部</td> <td>RA種</td> <td rowspan="3">不透明塗料塗りの場合はRB種 RC種</td> </tr> <tr> <td>RB種</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>RA種 RB種 RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>RA種 RB種 RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">モルタル及びせっこうボード面</td> <td>RA種 RB種</td> <td>ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート面及びALCパネル面</td> <td>RA種 RB種</td> <td>ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート面及び押出成形面</td> <td>RA種 RB種</td> <td>ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>せっこうボード及びその他ボード面</td> <td>RA種 RB種 RC種</td> <td></td> </tr> </table>	素地	種別	備考	木部	RA種	不透明塗料塗りの場合はRB種 RC種	RB種	RC種	鉄鋼面	RA種 RB種 RC種		亜鉛めっき鋼面	RA種 RB種 RC種		モルタル及びせっこうボード面	RA種 RB種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	RC種		コンクリート面及びALCパネル面	RA種 RB種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	RC種		コンクリート面及び押出成形面	RA種 RB種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	RC種		せっこうボード及びその他ボード面	RA種 RB種 RC種																																																																																																																																																																																																																																																																					
素地	種別	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
木部	RA種	不透明塗料塗りの場合はRB種 RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
鉄鋼面	RA種 RB種 RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
亜鉛めっき鋼面	RA種 RB種 RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
モルタル及びせっこうボード面	RA種 RB種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
コンクリート面及びALCパネル面	RA種 RB種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
コンクリート面及び押出成形面	RA種 RB種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
せっこうボード及びその他ボード面	RA種 RB種 RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
7 塗装 改修 工事	③ 素地ごしらえ (7.3.2) ~ (7.3.7)	(表7.3.2) ~ (表7.3.7) 下地面等 種 別 木部 不透明塗料塗りの場合 A種 B種 透明塗料塗りの場合 A種 B種 鉄鋼面 (DP以外) A種 B種 C種 鉄鋼面 (DP) A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 珪外面及びせつこうアクリル面 (DP) A種 B種 コンクリート面 (DP以外)及びALCA® 珪面 A種 B種 押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP) A種 B種 コンクリート面 (DPのみ) A種 B種 せつこうボード面及び 目地: 継目処理工法 A種 B種 その他のボード面 目地: 継目処理工法以外 A種 B種	⑥ 屋根用遮熱塗料 施工箇所 下屋屋根・α-屋根 アクリル系塗膜防水(防錆、遮熱仕様) アロンの防塵コート 同等品 ⑦ 外壁用遮熱塗料 施工箇所 外壁(キースト鋼板・シボアクリル鋼板) 珪及び珪 珪材 低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系遮熱塗料(下塗り:アクリル1回、上塗り:2回) クールテクト F エスケー化研 または同等品 ⑧ 超低汚染型水性 アクリル樹脂塗料 施工箇所 外部巾木 水性セラタイト Si エスケー化研 または同等品 ⑨ フッ樹脂塗装 施工箇所 壁 クリーンマイルドフッ エスケー化研 または同等品	8 1 2 耐震補強工事(コンクリート工事)	3 構造体強度補正值 (8.2.5) 気温による構造体強度補正值(S) (表8.2.4) 予想平均気温() 補正值 普通 早強 (S) 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 5以上 3 3/6 ~ 6/31 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10 N/mm2 9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31 0以上 0以上 6 11/16 ~ 3/5 11/ 6 ~ 3/10 11/ 1 ~ 3/10 8未満 5未満 N/mm2 南部地域(京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域(宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域(上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町を含む)	10 無筋コンクリート (8.11.1) 設計基準強度 スラブ (8.11.2) コンクリートの種類 普通コンクリート 設計基準強度 18N/mm2 スラブ 15cm又は18cm セメントの種類 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 適用箇所 標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による()	11 コンクリート物の 過積載防止対策等 受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車 1 台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。
	④ 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3)	錆止め塗料の種類 素地面 塗装の種類 塗料の種類 工程の種類 備考 鉄鋼面 S O P 塗替え A種 C種 ○ (工程の種類は 新規見え隠れ A種 A種 ○ 表7.4.3) 新規見え隠れ A種 B種 C種 ○ E P - G 塗替え A種 B種 C種 ○ (工程の種類は 新規見え隠れ A種 B種 A種 ○ 表7.4.3) 新規見え隠れ A種 B種 B種 D P 塗替え 7.4.2(1)(イ) ○ B種(下調整) 7.4.2(1)(イ) ○ C種(下調整) (工程の種類は (a)による 表7.4.4) 新規 7.4.2(1)(イ) ○ A種 (a)による	1 鉄筋の種類 (8.2.1) (表8.2.1) 異形鉄筋 種類(記号) 径(mm) 備 考 S D 2 9 5 D 1 6 以下 S D 3 4 5 D 1 9 以上 SD295は F c : 21 以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する	2 溶接金網(8.2.2) 網目の形状、寸法 鉄線の径(mm)	4 構造体用モルタル (8.2.6) モルタル圧縮強度 フロー値	1 あと施工アンカー (8.2.4) (8.12.4) 金属系アンカー 引張耐力 セン断耐力 埋込み長さ セット方式 本体打込み式改良型 接合筋の種類 長さ 径 接着系アンカー 引張耐力 セン断耐力 種類 カプセル型回転・打撃式 アンカー筋 改修仕様表8.2.1の異形棒筋 種類 径 埋込み長さ 新設壁内への定着長さ	2 あと施工アンカー の試験(8.2.4) (8.12.7) 性能確認試験 行わない 行う 施工確認試験 行う(引張試験機による引張試験 確認強度) 行わない 1ロット 1日に施工されたものの径及び仕様ごと 試験の箇所数 1ロットに対し3本、無作為に抜き取る
	⑤ 塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2)	工程の種類 (表7.5.1) ~ (表7.13.1) 記号 名称 種 別 S O P 合成樹脂調査 木部 新規外部 A種 B種 C種 ペイント塗り 新規内部 A種 B種 C種 種類 塗替え A種 B種(外部の場合)工程3、 1種 工程4は行わない) C種 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 A種 B種 C種 塗替え A種 B種 C種 その他塗替え A種 B種 C種 ・新規	3 鉄筋の継手 及び定着(8.3.4) (8.4.2) 8.4.3) 部 位 接 合 方 法 径 (mm) 重ね継手 ガス圧接継手 D 1 9 以上 機械式継手 溶接継手 重ね継手 ガス圧接継手 D 1 6 以下 機械式継手 溶接継手 機械式継手 適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき 構造図による 施工完了後の継手部の試験 行う 行わない 不合格となった継手部への措置等 監督職員と協議する 溶接継手 適用箇所、性能、工法、鉄筋相互のあき 構造図による 溶接完了後の溶接部の試験 行う 行わない 不合格となった溶接部への措置等 監督職員と協議する 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ 構造図による 鉄筋継手位置 表8.3.3による 鉄筋の定着長さ 構造図による 表8.3.4による 機械式定着工法 適用箇所、種類 構造図による 帯筋組立の形、継手及び定着 構造図による	4 鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔(8.3.5) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ 構造図による 表8.3.6による(次の2項目のかぶり厚さを除く。) 軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 施 工 箇 所 等 最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)	5 圧接完了後の 試験(8.3.8) 試験方法 超音波探傷試験を全圧接部で行う。	1 鉄骨の製作工場 (8.1.5) 監督職員の承諾する工場 建築基準法第 6 8 条の 2 5 に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を 取得している鉄骨制作工場又は同等以上の能力のある工場 (S H M R J)グレード以上	3 鋼材の種類別 (8.2.8) 種類の記号 使用 箇所 規格等 SS400 JIS G 3101 SM400A JIS G 3106 SN400A JIS G 3136 図示による
		N A D アクリル樹脂系 A種 B種 非水分散形塗料塗り D P 耐候性塗料塗り 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面 コンクリート面及び A-1種 B-1種 C-1種 押出成形セメント板面 A-2種 B-2種 C-2種 上塗り 1級 ふっ素樹脂系等 2級 シリコン系等 3級 ポリウレタン系等 E P - G つや有合成樹脂 珪外面、せつこうアクリル面、 A種 B種 C種 珪外面、せつこうボード面、 しみ止め その他ボード面 しみ止めシテ (B種及びC種の場合) 木部 新規 A種 B種 C種 塗替え A種 B種 C種 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 ○ B種 E P 合成樹脂 A種 B種 C種 珪外面、せつこうアクリル面、 しみ止め (しみ止めシテ (B種及びC種の場合)) U C 珪樹脂系塗り A種 B種 珪面塗り ビゲメント珪面塗り(表7.13.1) 珪面塗り(O S) W P 木材保護塗料塗り A種 B種	6 割製補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 形状 スパイラル筋 種類の記号 SR235 または SWM-P 呼び径、曲げ直径、ピッチ 図示による()	6 コンクリートの 試験(8.8.2) ~ (8.8.5) フレッシュコンクリートの試験 省略する	7 軽量コンクリート (8.9.1) 常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可 種類 1種 2種 気乾単位容積質量 t/m3	4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7) ボルトの種類 トルシア高力ボルト(建築基準法の認定品) J I S 形高力ボルト (JIS B 1186) 2種(F10T) 溶融亜鉛めっき高力ボルト(建築基準法の認定品、1種(F8T)) ねじの呼び すべり係数試験(対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する) 行わない 行う 試験方法等 図示による J I S 形高力ボルトの本締めで、ボルトの長さがねじの呼びの 5 倍を超える場合の 回転量	
		クワラッカー塗りA種の工程2の適用 適用する(着色剤: 溶剤系着色剤 油性染料着色剤) 適用しない ウレタン樹脂ニス塗りの工程1の着色の適用 適用する 適用しない オイルステイン塗りの工程等	1 コンクリートの 強度(8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2) コンクリートの種類 類 類 普通コンクリート 打 設 部 位 F c (N/mm 2) スラブ (cm) 備 考 構造体 基礎 2.4 1.8 上部 2.4 1.8 軽量コンクリート 打 設 部 位 (適用箇所) F c (N/mm 2) スラブ (cm) 備 考 2.1 2.1 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 { F c + 構造体強度補正值(S) } N/mm 2 (標仕6.14.1によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない) 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントのB種(施工箇所) シリカセメント フライアッシュセメントのB種(施工箇所) 骨材 粗骨材 砂利(JIS A5308)、砕石(JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 再生骨材H 細骨材 砂(JIS A5308)、砕砂(JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 鋼スラグ フェロシリカスラグ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 A(無害)	8 暑中コンクリート (8.10.2) 暑中における構造強度補正值(S) 地 域 日平均気温が25度を超える期間(打設日) 補 正 値 北 部 地 域 7月11日~8月31日 6 N/mm2 中 部 地 域 7月21日~8月31日 3 N/mm2 南 部 地 域 7月1日~9月10日	8 暑中コンクリート (8.10.2) 予想平均気温が表8.2.4に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節 (暑中コンクリート)による。		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																							
8-4 耐震補強工事(鉄骨工事)	5 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (8.20.5)	<p>摩擦面の処理</p> <p>ブラスト処理 (表面粗度 5 0 μm Rz以上)</p> <p>りん酸塩処理</p> <p>図示による ()</p> <p>すべり耐力等の確認方法</p> <p>試験方法等 図示による</p> <p>(対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する)</p>	8-4 耐震補強工事(鉄骨工事)	15 耐火被覆 (8.18.2) ~ (8.18.9)	<p>種別</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>繊維混入ケイ酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス張り材外塗り</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火塗料</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする</p> <p>性能</p> <table border="1"> <tr> <th>性能</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>30分耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3時間耐火</td> <td></td> </tr> </table>	種類	材料・工法	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール		耐火板張り	繊維混入ケイ酸カルシウム板		耐火材巻付け	高断熱ロックウール		ス張り材外塗り	-		耐火塗料			性能	適用箇所(部位・部分)	30分耐火		1時間耐火		2時間耐火		3時間耐火		8-6 耐震補強工事(現場打ちRC壁の増設工事)	1 補強工法	<p>新設耐震壁 増打ち耐震壁 開口部閉鎖壁 新設袖壁</p> <p>製造所及び専門業者 ()</p>	8-7 耐震補強工事(鉄骨ブレース設置工事)	3 既存部分の処理 (8.22.3)	<p>目荒しの程度</p> <p>図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-3による。</p>											
	種類	材料・工法		適用箇所(部位・部分)																																														
	耐火材吹付け	乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール																																																
	耐火板張り	繊維混入ケイ酸カルシウム板																																																
	耐火材巻付け	高断熱ロックウール																																																
	ス張り材外塗り	-																																																
	耐火塗料																																																	
	性能	適用箇所(部位・部分)																																																
	30分耐火																																																	
	1時間耐火																																																	
	2時間耐火																																																	
	3時間耐火																																																	
	6 溶接材料 (8.2.10)	<p>溶接材料</p> <p>改修標準仕様書8.2.10(1)(2)による</p> <p>図示による</p>		16 アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3)	<p>適用</p> <p>構造用アンカーボルト</p> <p>材質 SNR400B</p> <p>アンカーフレームの形状及び寸法 図示による</p> <p>建方用アンカーボルト</p> <p>材質 SS400</p> <p>アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7.10.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>A種</th> <th>B種</th> </tr> <tr> <td>柱底均しモルタルの厚さ</td> <td>50mm</td> <td>30mm</td> </tr> </table>	種別	A種	B種	柱底均しモルタルの厚さ	50mm	30mm	2 既存部分の撤去 (8.21.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲</p> <p>図示による</p> <p>本工事に支障となる最小限の範囲を撤去し既存構造体を露出させる。</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による</p> <p>既存構造体の撤去範囲 図示による</p> <p>はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置</p> <p>鉄筋は曲げることなく、必要に応じてウレタン等を巻き養生する。また鉄骨は発泡スチロール等で養生する。</p> <p>図示による</p>	4 既存構造体との取合い (8.22.7)	<p>割製補強筋</p> <p>以下のスバイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。</p> <p>直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40~60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3~1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する)</p> <p>図示による</p>																																			
	種別	A種		B種																																														
柱底均しモルタルの厚さ	50mm	30mm																																																
7 スタッド (8.2.11)	<p>種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	・16			・19			・22			1 グラウト材 (8.2.12)	<p>グラウト材</p> <p>早強型特殊セメント系無収縮モルタル</p> <p>無収縮モルタルの調査</p> <p>製造所で調査されたプレミックスタイプ</p> <p>現場調査</p> <p>無収縮グラウト材の品質</p> <table border="1"> <tr> <th>圧縮強度 (N/mm²)</th> <td>30以上</td> </tr> <tr> <th>コシテック-J140-t値(秒)</th> <td>6~10</td> </tr> <tr> <th>乾燥収縮 (10⁻⁴)</th> <td>0</td> </tr> </table> <p>グラウト材の品質管理は次による</p> <table border="1"> <tr> <th>圧縮強度試験</th> <td>行う</td> <td>行わない</td> </tr> <tr> <th>コンシステンシー試験</th> <td>行う</td> <td>行わない</td> </tr> </table>	圧縮強度 (N/mm ²)	30以上	コシテック-J140-t値(秒)	6~10	乾燥収縮 (10 ⁻⁴)	0	圧縮強度試験	行う	行わない	コンシステンシー試験	行う	行わない	3 既存部分の処理 (8.21.3)	<p>目荒しの程度</p> <p>既存柱・梁</p> <p>平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。</p> <p>図示による</p> <p>壁(増打ち壁増設の場合)</p> <p>平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の10~15%の面積となるよう全体にわたって付ける。</p> <p>図示による</p> <p>割製補強筋</p> <p>「スバイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」、スライ筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。</p> <p>図示による</p> <p>開口部増設壁の開口部鉄筋及び増設壁の壁の端部横筋</p> <p>ダブル配筋=閉鎖型配筋、シングル配筋=フック(3d)付き</p> <p>図示による</p>	5 仕上げ (8.22.9)	<p>図示による</p>																			
呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																																
・16																																																		
・19																																																		
・22																																																		
圧縮強度 (N/mm ²)	30以上																																																	
コシテック-J140-t値(秒)	6~10																																																	
乾燥収縮 (10 ⁻⁴)	0																																																	
圧縮強度試験	行う	行わない																																																
コンシステンシー試験	行う	行わない																																																
8 工作図 (8.13.2)	<p>高力ボルト、普通ボルト及びアカボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)</p>	2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)	<p>モルタルの種別</p> <p>無収縮モルタル</p> <p>公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(1)による。</p> <p>厚さ</p> <p>図示による</p> <p>工法</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>A種</th> <th>B種</th> </tr> </table>		A種	B種	4 鉄筋の加工及び組立て (8.21.6)	<p>流込み工法</p> <p>圧入工法</p> <p>8.19.9の方法による他、以下に注意する</p> <p>開口周囲の既存壁をはつり、既存壁筋を露出させ、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。</p> <p>開口周囲の既存壁にあと施工アンカーを打設し、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。(壁が厚く配筋の場合)</p> <p>開口打設部全てについてグラウト剤を注入する。(壁が薄い場合)</p> <p>図示による</p>	1 補強工法	<p>溶接金網巻き工法</p> <p>鋼板巻き工法</p> <p>連続繊維補強工法</p> <p>溶接閉鎖フープ巻き工法</p> <p>帯板巻き付け工法</p>																																								
	A種	B種																																																
9 ボルト孔 (8.13.8)	<p>母屋又は剛線の取付けに使用する普通ボルトの孔型</p> <p>ねじの呼び径 +1.0 mm</p>	14 錆止め塗料 (7.4.2) (8.17.2) (8.17.4)	<p>塗料の種別</p> <p>鉄鋼面の錆止め塗料</p> <table border="1"> <tr> <th>表7.4.1による</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>表7.4.2による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)</p> <table border="1"> <tr> <th>表7.4.1による</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>耐火被覆材の接着する面への塗装</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>行わない 行う</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>耐火被覆材の接着する面以外への塗装</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>行わない 行う (塗装範囲 図示による)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表7.4.1による	A種	B種	C種					亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料	A種	B種	C種	表7.4.2による				表7.4.1による	A種	B種	C種					耐火被覆材の接着する面への塗装	A種	B種	C種	行わない 行う				耐火被覆材の接着する面以外への塗装	A種	B種	C種	行わない 行う (塗装範囲 図示による)				5 コンクリートの打込み工法 (8.21.8)	<p>流込み工法</p> <p>圧入工法</p>	2 既存部分の撤去 (8.23.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による</p> <p>既存構造体の撤去範囲 図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置</p> <p>図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p>			
表7.4.1による	A種	B種	C種																																															
亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料	A種	B種	C種																																															
表7.4.2による																																																		
表7.4.1による	A種	B種	C種																																															
耐火被覆材の接着する面への塗装	A種	B種	C種																																															
行わない 行う																																																		
耐火被覆材の接着する面以外への塗装	A種	B種	C種																																															
行わない 行う (塗装範囲 図示による)																																																		
10 仮組	<p>実施する 部位 ()</p> <p>実施しない</p>	2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)	<p>モルタルの種別</p> <p>無収縮モルタル</p> <p>公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(1)による。</p> <p>厚さ</p> <p>図示による</p> <p>工法</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>A種</th> <th>B種</th> </tr> </table>		A種	B種	6 既存構造体との取合い (8.21.9)	<p>開口周囲の既存壁をはつり、既存壁筋を露出させ、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。</p> <p>開口周囲の既存壁にあと施工アンカーを打設し、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。(壁が厚く配筋の場合)</p> <p>開口打設部全てについてグラウト剤を注入する。(壁が薄い場合)</p> <p>図示による</p>	3 既存部分の処理 (8.23.3)	<p>目荒し程度</p> <p>平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。</p> <p>図示による</p> <p>柱及び梁の成型(連続繊維補強工法)</p> <p>支障となる表面の不陸を調整し、コーナー部をグラインダー等により曲面に成型する。(30R)</p> <p>図示による</p>																																								
	A種	B種																																																
11 技能資格者	<p>溶接作業者の技量付加試験</p> <p>行わない 行う 試験の要領 図示による</p>	2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)	<p>モルタルの種別</p> <p>無収縮モルタル</p> <p>公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(1)による。</p> <p>厚さ</p> <p>図示による</p> <p>工法</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>A種</th> <th>B種</th> </tr> </table>		A種	B種	7 仕上げ (8.21.10)	<p>図示による</p>	4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5)	<p>柱頭のスリット 設ける 設けない</p> <p>柱脚のスリット 設ける 設けない</p> <p>打ち込むコンクリート又はグラウト材の厚さ mm</p> <p>打込みの工法 流込み工法 圧入工法</p>																																								
	A種	B種																																																
12 溶接接合 (8.15.4) (8.15.7)	<p>開先の形状</p> <p>図示による 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による</p> <p>鋼製エンドタブの切断</p> <p>有 無</p> <p>切断する箇所及び切断範囲 図示による</p> <p>切断面の仕上げ</p> <p>グラインダーにより、粗さ 100 μm Rz 程度以下及びノッチ深さ 1mm 程度以下に仕上げ</p> <p>スカラップの形状</p> <p>図示による 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による 改良型スカラップ</p>	2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)	<p>モルタルの種別</p> <p>無収縮モルタル</p> <p>公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(1)による。</p> <p>厚さ</p> <p>図示による</p> <p>工法</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>A種</th> <th>B種</th> </tr> </table>		A種	B種	1 補強工法	<p>内側補強工法</p> <p>枠付き鉄骨K型ブレース 枠付き鉄骨X型ブレース</p> <p>枠付き鉄骨類杖付ブレース 枠付き鉄骨マンサード型ブレース</p> <p>枠付き有開口鉄板パネル 枠付き無開口鉄板パネル</p> <p>製造所及び専門業者 ()</p> <p>外側補強工法</p> <p>枠付き鉄骨ブレース直付け工法 枠付き鉄骨ブレース架構増設工法</p> <p>製造所及び専門業者 ()</p>	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)	<p>鋼板の加工</p> <p>柱頭のスリット 設ける 設けない</p> <p>柱脚のスリット 設ける 設けない</p> <p>柱脚スリットを設ける場合の外剥離防止処理方法</p> <p>小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工</p> <p>グラウト材</p> <p>グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による</p> <p>グラウト材の厚さ 20mm mm</p>																																								
	A種	B種																																																
13 溶接部の試験 (8.15.12)	<p>H12建設省告示第1464号第二号に関する外観試験方法等</p> <p>「突合わね継手の食い違い仕口のずれの検査・補強」(独立行政法人建築研究所) 3.5.2による受入検査</p> <p>抜き取り検査 抜き取り検査</p> <p>JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準]の付則3「溶接」に関する試験方法等</p> <p>JASS 10.4 [受入検査] e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波深傷試験の試験箇所と同一とする。</p> <p>外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。</p> <p>浸透探傷試験(JIS Z 2343-1)</p> <p>磁粉探傷試験(JIS Z 2320-1)</p> <table border="1"> <tr> <th>超音波探傷試験</th> <th>工場溶接</th> <th>平均出検査品質限界(AOQL)</th> <th>全数</th> </tr> <tr> <td>検査水準</td> <td>第6水準</td> <td>第水準</td> <td>全数</td> </tr> <tr> <th>現場溶接</th> <th>平均出検査品質限界(AOQL)</th> <th>全数</th> </tr> </table>	超音波探傷試験	工場溶接	平均出検査品質限界(AOQL)	全数	検査水準	第6水準	第水準	全数	現場溶接	平均出検査品質限界(AOQL)	全数	2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)	<p>モルタルの種別</p> <p>無収縮モルタル</p> <p>公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(1)による。</p> <p>厚さ</p> <p>図示による</p> <p>工法</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>A種</th> <th>B種</th> </tr> </table>		A種	B種	2 既存部分の撤去 (8.22.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲</p> <p>図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による</p> <p>既存構造体の撤去範囲 図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置</p> <p>図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p>																															
超音波探傷試験	工場溶接	平均出検査品質限界(AOQL)	全数																																															
検査水準	第6水準	第水準	全数																																															
現場溶接	平均出検査品質限界(AOQL)	全数																																																
	A種	B種																																																
14 錆止め塗料 (7.4.2) (8.17.2) (8.17.4)	<p>塗料の種別</p> <p>鉄鋼面の錆止め塗料</p> <table border="1"> <tr> <th>表7.4.1による</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>表7.4.2による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)</p> <table border="1"> <tr> <th>表7.4.1による</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>耐火被覆材の接着する面への塗装</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>行わない 行う</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>耐火被覆材の接着する面以外への塗装</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>行わない 行う (塗装範囲 図示による)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表7.4.1による	A種	B種	C種					亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料	A種	B種	C種	表7.4.2による				表7.4.1による	A種	B種	C種					耐火被覆材の接着する面への塗装	A種	B種	C種	行わない 行う				耐火被覆材の接着する面以外への塗装	A種	B種	C種	行わない 行う (塗装範囲 図示による)				2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)	<p>モルタルの種別</p> <p>無収縮モルタル</p> <p>公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(1)による。</p> <p>厚さ</p> <p>図示による</p> <p>工法</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>A種</th> <th>B種</th> </tr> </table>		A種	B種	1 補強工法	<p>内側補強工法</p> <p>枠付き鉄骨K型ブレース 枠付き鉄骨X型ブレース</p> <p>枠付き鉄骨類杖付ブレース 枠付き鉄骨マンサード型ブレース</p> <p>枠付き有開口鉄板パネル 枠付き無開口鉄板パネル</p> <p>製造所及び専門業者 ()</p> <p>外側補強工法</p> <p>枠付き鉄骨ブレース直付け工法 枠付き鉄骨ブレース架構増設工法</p> <p>製造所及び専門業者 ()</p>	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)	<p>鋼板の加工</p> <p>柱頭のスリット 設ける 設けない</p> <p>柱脚のスリット 設ける 設けない</p> <p>柱脚スリットを設ける場合の外剥離防止処理方法</p> <p>小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工</p> <p>グラウト材</p> <p>グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による</p> <p>グラウト材の厚さ 20mm mm</p>
表7.4.1による	A種	B種	C種																																															
亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料	A種	B種	C種																																															
表7.4.2による																																																		
表7.4.1による	A種	B種	C種																																															
耐火被覆材の接着する面への塗装	A種	B種	C種																																															
行わない 行う																																																		
耐火被覆材の接着する面以外への塗装	A種	B種	C種																																															
行わない 行う (塗装範囲 図示による)																																																		
	A種	B種																																																

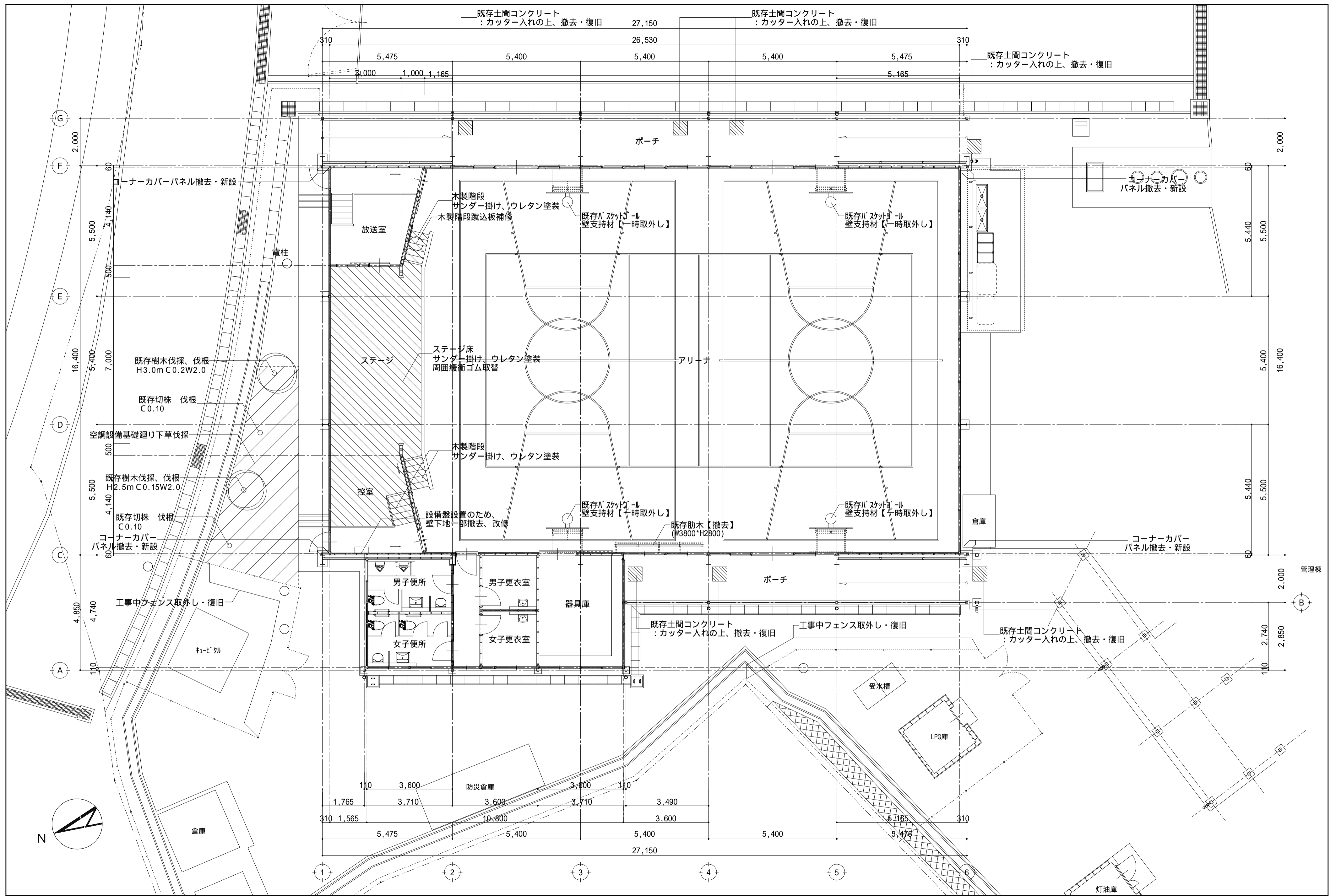
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																														
8-8	6 連続繊維補強工法 (8.2.13) (8.24.6)	<p>工法 (一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法</p> <p>材料 炭素繊維 アラミド繊維 ガラス繊維</p> <p>性能 引張強度 _____ N/mm² ヤング係数 _____ N/mm²</p> <p>製造所 _____</p> <p>製品名 _____</p> <p>柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ _____</p> <p>仕上げモルタルの除去 _____</p> <p>ひび割れ部改修 _____</p> <p>炭素繊維の目付量 _____</p> <p>炭素繊維シートの巻数 _____</p> <p>引張強度試験 行う 試験数量 (_____)</p> <p>付着強度試験 行う 試験数量 (_____)</p>	8-10	4 仕上げ (8.26.13)	図示による _____	8-12	1 既存部分の処理等 (8.28.2)	<p>既存杭の撤去等</p> <p>撤去範囲及び方法 図示による (_____)</p> <p>杭頭部の処理 図示による (_____)</p> <p>既存杭の補強 図示による (_____)</p> <p>既存杭の健全性を確認する試験 図示による (_____)</p>	9	3 可動間仕切 (20.2.3)	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">種 類</th> <th rowspan="2">H 以内に取付ける建具</th> </tr> <tr> <th>構造形式</th> <th>構成基材</th> <th>表面仕上</th> <th>遮音性</th> </tr> <tr> <td>パネル式</td> <td></td> <td>メラミン樹脂又は</td> <td></td> <td rowspan="2">寸法・形状</td> </tr> <tr> <td>スタッド式</td> <td></td> <td>アクリル樹脂焼付</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スリット</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F _____</p>	種 類				H 以内に取付ける建具	構造形式	構成基材	表面仕上	遮音性	パネル式		メラミン樹脂又は		寸法・形状	スタッド式		アクリル樹脂焼付		スリット											
		種 類						H 以内に取付ける建具																																	
構造形式	構成基材	表面仕上	遮音性																																						
パネル式		メラミン樹脂又は		寸法・形状																																					
スタッド式		アクリル樹脂焼付																																							
スリット																																									
	7 仕上げ (8.23.7) (8.24.7)	図示による _____		5 耐震補強工事 (免震改修)	<p>維持管理要領 (8.26.17)</p> <p>維持管理の目的 _____</p> <p>点検の実施時期 _____</p> <p>点検・検査結果の保管 _____</p> <p>維持管理に必要な計測機器の設置 _____</p> <p>地震計 (仕様 _____)</p> <p>下げ振り (仕様 _____)</p> <p>けがき板 (仕様 _____)</p> <p>別置き試験体 (仕様 _____)</p>		2 埋戻し及び盛土 (8.28.3)	<p>埋戻し及び盛土の種類 改修標準仕様書8.28.1による</p> <p>A種 適用箇所 (_____)</p> <p>B種 適用箇所 (_____)</p> <p>C種 適用箇所 (_____) 土質 (_____) 受渡場所 (_____)</p> <p>D種 (細粒分(75µm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする) 適用箇所 (_____)</p> <p>その他(材料 _____ 工法 _____)</p> <p>地盤の変形を防止する適切な措置を講ずるための鋼平板等の抜き跡の処理 図示による (_____)</p> <p>山留め等の存置箇所 (図示 _____)</p>	ユニット及びその他の工事	4 移動間仕切 (20.2.4)	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">パネル操作法による種類</th> <th rowspan="2">遮音性能</th> </tr> <tr> <th>パネル表面材・仕上</th> <th>パネル圧接装置の操作法</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </table> <p>ハンガーレールの取付け下地の補強</p> <p>取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障ない耐力及び変形量となるように補強する。</p> <p>パネルをランナーに取り付ける部品</p> <p>ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの</p> <p>ハンガーレール及びランナー</p> <p>パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、体力及び変形量が使用上支障ないもの</p> <p>あと施工アンカー 材質 _____ 寸法 _____</p> <p>引抜耐力試験 行う _____</p>	パネル操作法による種類				遮音性能	パネル表面材・仕上	パネル圧接装置の操作法																							
パネル操作法による種類				遮音性能																																					
パネル表面材・仕上	パネル圧接装置の操作法																																								
8-9	1 耐震スリット新設工事 (8.25.2)	<table border="1"> <tr> <th>方 向</th> <th>タ イ プ</th> <th>耐 火 性 能</th> <th>防 水 性 能</th> </tr> <tr> <td>垂直方向</td> <td>完全(全貫通型)スリット</td> <td>耐火型</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>水平方向</td> <td>せん断型部分スリット</td> <td>非耐火型</td> <td>無し</td> </tr> </table> <p>品質・規格 _____</p> <p>既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>既存鉄骨の処理</p> <p>はつり出し 切断 存置(部分スリット)</p> <p>耐震スリットの幅及び深さ 図示による _____</p> <p>耐震スリットの充填材</p> <p>耐火材の使用 使用する 使用しない</p> <p>適用箇所及び仕様 図示による _____</p> <p>遮音材の使用 使用する 使用しない</p> <p>適用箇所及び仕様 図示による _____</p> <p>既存部分の撤去の補修 図示による _____</p>	方 向	タ イ プ	耐 火 性 能	防 水 性 能	垂直方向	完全(全貫通型)スリット	耐火型	有り	水平方向	せん断型部分スリット	非耐火型	無し	8-11	1 既存部分の撤去 (8.27.2)	<p>既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合</p> <p>既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>既存部分が鉄骨造の場合</p> <p>既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>既存鉄骨の撤去 範囲 図示による _____</p> <p>方法 図示による _____</p> <p>既存鉄骨の処置方法 _____</p>	9	3 杭地業 (8.2.15) (8.28.4)	<p>支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ 図示による (_____)</p> <p>杭の材料、工法、寸法、施工方法等 図示による (_____)</p> <p>試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 図示による (_____)</p> <p>杭の継手の箇所数、材料、工法等 図示による (_____)</p> <p>杭の溶接継手 技能資格者の技量 図示による (_____)</p> <p>溶接部の確認 図示による (_____)</p> <p>杭頭の処理 処理する 処理しない</p> <p>処理方法(切断にともなう補強方法含む) 図示による (_____)</p> <p>杭頭の中詰め材料 基礎のコンクリートと同調合のもの</p> <p>杭の精度 水平方向の位置ずれ 杭径の1/4かつ100mm以下 評定等の評価内容による</p> <p>建込み時の杭の鉛直度 1/100以内 評定等の評価内容による</p> <p>記録する施工状況等 図示による (_____)</p>	5 トイレブース (20.2.5)	<p>表面材 メラミン樹脂系化粧板 ポリエステル樹脂系化粧板</p> <p>脚部 幅木型 足金物型</p> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>ドアエッジの材質 トイレブース製造所の仕様による _____</p>																			
		方 向	タ イ プ	耐 火 性 能	防 水 性 能																																				
垂直方向	完全(全貫通型)スリット	耐火型	有り																																						
水平方向	せん断型部分スリット	非耐火型	無し																																						
2 既存部分の処理 (8.27.3)	<p>既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合の目荒しの程度</p> <p>既存柱・梁 図示による 本特記仕様書8-6-3による。</p> <p>壁(増打ち壁増設の場合) 図示による 本特記仕様書8-6-3による。</p>	4 砂利地業等 (8.2.15)	<p>材料 再生クラッシャーラン 切込砂利 切込砕石</p> <p>砂利厚さ 60mm</p> <p>砂地業 山砂 川砂 砕砂</p>	6 手すり (20.2.6)	<p>SUS304(表面処理 HL程度 _____)</p> <p>鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき(_____ (表14.2.2)による種別(_____)種)</p> <p>アルミニウム 表面処理(_____ (表14.2.1)による種別(_____)種)</p> <p>種別(_____)種(_____)</p> <p>色合等 標準色(_____) 特注色(_____)</p> <p>手すりの握り部分</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付場所</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>集成材(材種: _____)</td> <td>○クリアラッカー</td> <td>35程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビニル製</td> <td></td> <td>45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>35程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材 種	表面仕上げ	直径(mm)	取付場所	備 考	集成材(材種: _____)	○クリアラッカー	35程度			ビニル製		45程度					35程度					45程度													
材 種	表面仕上げ	直径(mm)	取付場所	備 考																																					
集成材(材種: _____)	○クリアラッカー	35程度																																							
ビニル製		45程度																																							
		35程度																																							
		45程度																																							
8-10	1 既存部分の撤去 (8.26.5)	<p>既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p>	8-12	3 減衰材 (8.27.4) (8.27.6)	<p>減衰材 材質 _____ 諸元 _____</p> <p>性能確認試験 項目 _____ 数量 _____</p> <p>製品検査 項目 _____ 内容 _____</p> <p>判定基準 _____ 検査頻度 _____</p> <p>防錆処置 _____</p> <p>設置位置の寸法許容差 _____</p> <p>既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合</p> <p>割製補強筋 「スバイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」</p> <p>スバイラル筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による</p> <p>既存部分が鉄骨造の場合</p> <p>割製補強筋 以下のスバイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40-60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3-1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) 図示による</p>	9	5 捨コンクリート地業 (8.28.4)	捨コンクリートの厚さ 50mm	ユニット及びその他の工事	8 黒板及びホワイトボード (20.2.9)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2"></th> <th>区 分</th> <th>種 類</th> <th>色彩</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>黒板</td> <td>焼付け</td> <td></td> <td>鋼製黒板</td> <td>緑</td> <td>曲面</td> </tr> <tr> <td>ホワイトボード</td> <td></td> <td></td> <td>ほうろう黒板</td> <td>黒</td> <td>スクリーン付引分け</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ほうろう白板</td> <td>白</td> <td>曲面</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>スクリーン付引分け</td> </tr> </table> <p>耐震金属 アルミ製 (表面処理の種別 B-2 B-1)</p> <p>品質・規格 _____</p>			区 分	種 類	色彩	備 考	黒板	焼付け		鋼製黒板	緑	曲面	ホワイトボード			ほうろう黒板	黒	スクリーン付引分け				ほうろう白板	白	曲面						スクリーン付引分け
					区 分			種 類			色彩	備 考																													
黒板	焼付け		鋼製黒板	緑	曲面																																				
ホワイトボード			ほうろう黒板	黒	スクリーン付引分け																																				
			ほうろう白板	白	曲面																																				
					スクリーン付引分け																																				
2 既存部分の処理 (8.26.6)	<p>既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の目荒しの程度</p> <p>既存柱・梁 図示による 本特記仕様書8-6-3による。</p> <p>壁(増打ち壁増設の場合) 図示による 本特記仕様書8-6-3による。</p>	4 仕上げ (8.27.8)	図示による _____	9 鏡 (20.2.10)	<p>厚さ(mm) 5 _____</p>																																				
3 支保材・減衰材 (8.26.7) (8.26.10)	<p>支保材 材質 _____ 諸元 _____</p> <p>減衰材 材質 _____ 諸元 _____</p> <p>性能確認試験 項目 _____ 数量 _____</p> <p>製品検査 項目 _____ 内容 _____</p> <p>判定基準 _____ 検査頻度 _____</p> <p>防錆処置 _____</p> <p>設置位置の寸法許容差 _____</p> <p>既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合</p> <p>割製補強筋 「スバイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」</p> <p>スバイラル筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による</p>	5 検査 (8.27.9)	項目 _____ 数量 _____																																						

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項		
9 ユニット及びその他の工事	10 表示・標識 (20.2.11)	衝突防止表示 図示による(市販品 ステンレス製 径 30 mm) なし 法令に基づく表示 非常用進入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。	20 掲示板 種 類 材 質 表面の材質 照 明 器 具 施 錠 品 質 ・ 規 格 屋内 アルミ製 (B-2) スチール製 (SUS304) 屋外 アルミ製 (B-2) スチール製 (SUS304)	10 排水工事	3 緑石 (21.3.1)	歩車道境界ブロックのJIS による呼び名 A 地先境界ブロックのJIS による呼び名 A C 砂利地業の厚さ 100mm	11 舗装工事	5 カラー舗装 (22.6.2) ~ (22.6.4)	種 類 部 位 配合その他 加熱系アスファルト混合物 添加材 着色骨材 自然石 結合材 アスファルト 石油樹脂 (添加量) アスファルト混合物等の抽出試験 適用する 適用しない 舗装の厚さ mm 常温系ニート工法 常温系塗布工法 着色部の下部 舗装の平坦性 アスファルト舗装 コンクリート舗装 通行の支障となる水たまりを生じない程度
	11 タラップ (20.2.12)	材質及び仕上げ ○ SUS304 (スリップ止め加工 あり ○なし) ○ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (表14.2.2)による種別(C種 種)	21 カウンター 品質・規格		4 コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	鉄筋コンクリートL形のJIS による呼び名 250A 250B コンクリートL形のJIS による呼び名 250A 250B 鉄筋コンクリートU形のJIS による呼び名 240 300A 360A 現場打ちコンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm ²) 1.8 スランプ(cm) 1.5 1.8 現場打の鉄筋 種類の記号 SD295		6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) ~ (22.7.6)	舗装構成及び厚さ 図示による 表層の厚さの試験 行う 行わない 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない
	12 ブラインド (20.2.14)	形式 種類 スパットの材質 スパット幅 (mm) ぶっかけレールの材質 横形 ギヤ式 アルミ合金 25 鋼製 コード式 35 縦形 2本操作コード式 アルミスット 80 アルミ合金 1本操作コード式 加工スット 100 合金製	22 洗面カウンター 材 種 メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) 人工大理石(品質 図示) 奥行き (mm) 約450 約600		1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)	路床の構成 凍上抑制層 厚さ 図示による 透水性舗装 フィルター層の厚さ 車道部 図示による 150mm 歩道部 図示による 50mm (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) 行う 行わない 盛土に用いる材料 A種 B種 C種 D種 (表3.2.1) 路床安定処理 行う 行わない 路床安定処理用材料 添加材料による安定処理 (表22.2.1) 種 類 地盤改良材 () 高炉バントB種 普通ポルトランドセメント 生石灰 特号 生石灰 1号 フライアッシュセメントB種 消石灰 特号 消石灰 1号 添加量 kg/m ³ 路床土の支持力比(CBR)試験 行う(乱した土 乱さない土) 路床締固め度の試験 行う(埋戻し部、盛土部) 行わない		7 ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)	コンクリート平板舗装 種 類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 目 地 普通平板(N) カラー平板(C) 300角 60 砂 洗出平板(W) 擬石(S) 品質・規格 クッション材 砂 空練りモルタル インターロッキングブロック舗装 種 類 部位 形状寸法 (mm) 厚さ (mm) 逃げ強度 (N/mm ²) 色彩及び表面加工等 普通ブロック 車路 80 5.0 標準品 京Eブロック 歩行者用通路 60 3.0 透水性ブロック 80 植生ブロック 60 80 100 品質・規格 クッション材 砂 鋪石舗装 種 類 形状寸法 (mm) 厚さ (mm) 工 法 基 層 基層の厚さ (mm) 花崗岩 80~100 うろこ張り コケト版 70 アスファルト混合物 50 品質・規格 クッション材 砂 空練りモルタル
	13 ロールスクリーン (20.2.15)	操作方法 スクリーンの材種 その他の材料 幅・高さ 取付箇所 品質等 スプリング式 ガラス繊維製 製造所の仕様 図示による コード式 合成・天然繊維製 電動式 木製	23 流し台ユニット 種 類 部品寸法 (mm) 規 格 仕 様 流し台 優良住宅部品 トラップ付き コンロ台 優良住宅部品 バックガード有り 吊戸棚 優良住宅部品 高さ 約500 mm 水切り棚 優良住宅部品 ステンレス製1段式		2 路盤 (22.3.2) (22.3.3) (22.3.5)	路盤の厚さ 150 mm 材料 再生クラッシュラン (RC-40,30,20) クラッシュラン (C-40,30,20) クラッシュ鉄鋼スラグ (CS-40) 路盤締固め度の試験 行う		8 砂利敷き (22.9.2)	通 路 A種 B種 建物周囲その他 A種 B種 下敷きの使用材料は再生クラッシュランとする
	14 カーテン (20.2.16)	取付箇所 形式 開閉操作方法 カーテン用きり地の ひだの種類 シングル引 片引 引分 電動 ひも引 手引 種別・品質・特殊加工等 つまみ 紐片 プレソ	24 非常用救助袋等 垂直降下式 傾斜式 垂直式 形式 傾斜式 垂直式 品質・規格 市販品 形式 約下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個		3 アスファルト舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6)	舗 装 の 種 類 表層 (mm) 基層 (mm) カラー舗装の種類 アスファルト舗装 ○ 顔料混入加熱アスファルト混合物 アスファルト 再生アスファルト (60~80 80~100) ストレートアスファルト 再生加熱アスファルト混合物の種類 区分 一般地域 寒冷地域 表層 密粒度アスファルト混合物 (13) 密粒度アスファルト混合物 (13F) 細粒度アスファルト混合物 (13) 施工 アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない アスファルト締固め度、厚さの試験 行う 行わない		9 白線引き 種 類 熔融式 ペイント式 幅 (cm) 15	種 類 熔融式 ペイント式 幅 (cm) 15
	15 カーテンレール (20.2.16)	材料 アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成形材 ステンレス 形式 片引き 引分け (暗幕用は300 mm以上の召合せの重ね掛けとする。) 形状 C型 D型 角型 強さによる区分 10-90 仕上げ アルマイト	25 鍵箱 形式 傾斜式 垂直式 品質・規格 市販品 形式 約下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個		4 コンクリート舗装 (22.5.2) ~ (22.5.6)	構成 コンクリートの種類 部 位 厚さ (mm) 設計基準強度 (N/m ²) スランプ (cm) 早強セメント 使用しない 使用する 目地 注入目地材料 低弾性タイプ 高弾性タイプ 種類 突合せ目地 収縮目地 伸縮調整目地 間隔 5m程度ごと 4m程度ごと 3m程度ごと コンクリート版厚さの試験 行う			
	16 ブラインドボックス カーテンボックス	図示による 市販品 (アルミニウム製 押し出し型材) 仕様等 溝幅×深さ (mm) 90×150 150×80 120×80 表面処理 C-1 (無着色) C-2 (着色)	26 車止め 形 式 材 質 柱径・肉厚 (mm) 高さ (mm) 上下式鎖内蔵型 スチール製 (SUS304) 76.3 t=2.0 GL+700 (スリッパ付き) 114.3 t=2.5 GL+850						
	17 くつふきマット	材種 塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製 (SUS304) 受枠) 硬質アルミニウム合金 (受枠とも) ゴム製 (ステンレス製 (SUS304) 受枠)	27 フェンス 固定式 材 質 厚さ (mm) 高さ (mm) 備 考 網入り磨き板ガラス 6.8 500 アルミ製枠付き 線入り磨き板ガラス 可動式 種 類 材 質 高さ (mm) 備 考 垂直降下式 (巻取り型) 不燃布 (不燃認定品) 500 ガイドレール 800 固定式 (壁押込型) 可動式 (天井収納型) 回転降下式 鋼板制又はアルミ製 500 表面仕上げ 800 天井材張り						
	18 鋼製書架及び棚	種類 規格等 JISによる種類 鋼製書架 JIS S 1039 の規格による 1種 2種 3種 鋼製物品棚 法務省型 4種 5種 6種	28 防煙垂れ壁 固定式 材 質 厚さ (mm) 高さ (mm) 備 考 網入り磨き板ガラス 6.8 500 アルミ製枠付き 線入り磨き板ガラス 可動式 種 類 材 質 高さ (mm) 備 考 垂直降下式 (巻取り型) 不燃布 (不燃認定品) 500 ガイドレール 800 固定式 (壁押込型) 可動式 (天井収納型) 回転降下式 鋼板制又はアルミ製 500 表面仕上げ 800 天井材張り						
	19 収納家具(木製)	材質、形状、寸法 図示による 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F	29 天吊型空調室内機 取付用ブラケット 屋根・防球格子一体型室内機取付用ブラケット アッパープレート付ブラケット架台+防球ガード 日晴金属 KGG-WK18100T50-4L100D + BG-D1835E 又は同等品						
			10 排水工事 1 材料 (21.2.1) 材 種 (表21.2.1) 管 の 種 類 呼び径 基床の厚さ 遠心力鉄筋コンクリート管 外圧管(1種) 硬質ポリ塩化ビニル管 VP VU RS-VU 硬質ポリ塩化ビニル管 DV VU継手 凍上抑制層に用いる材料 砂 (砂の粒度試験) 2 側塊、排水枘及びふた (21.2.1) 側塊の形状および寸法 図示による 排水枘の種類 図示による 鋼鉄製マンホールふたの種類 種 類 適 用 荷 重 (安全荷重) 水封形 密閉形(フタハッチ式) T-2用(5KN) T-6用(115KN) 中蓋付密閉形 簡易密閉形(ハッチ式) T-20用(50KN)						

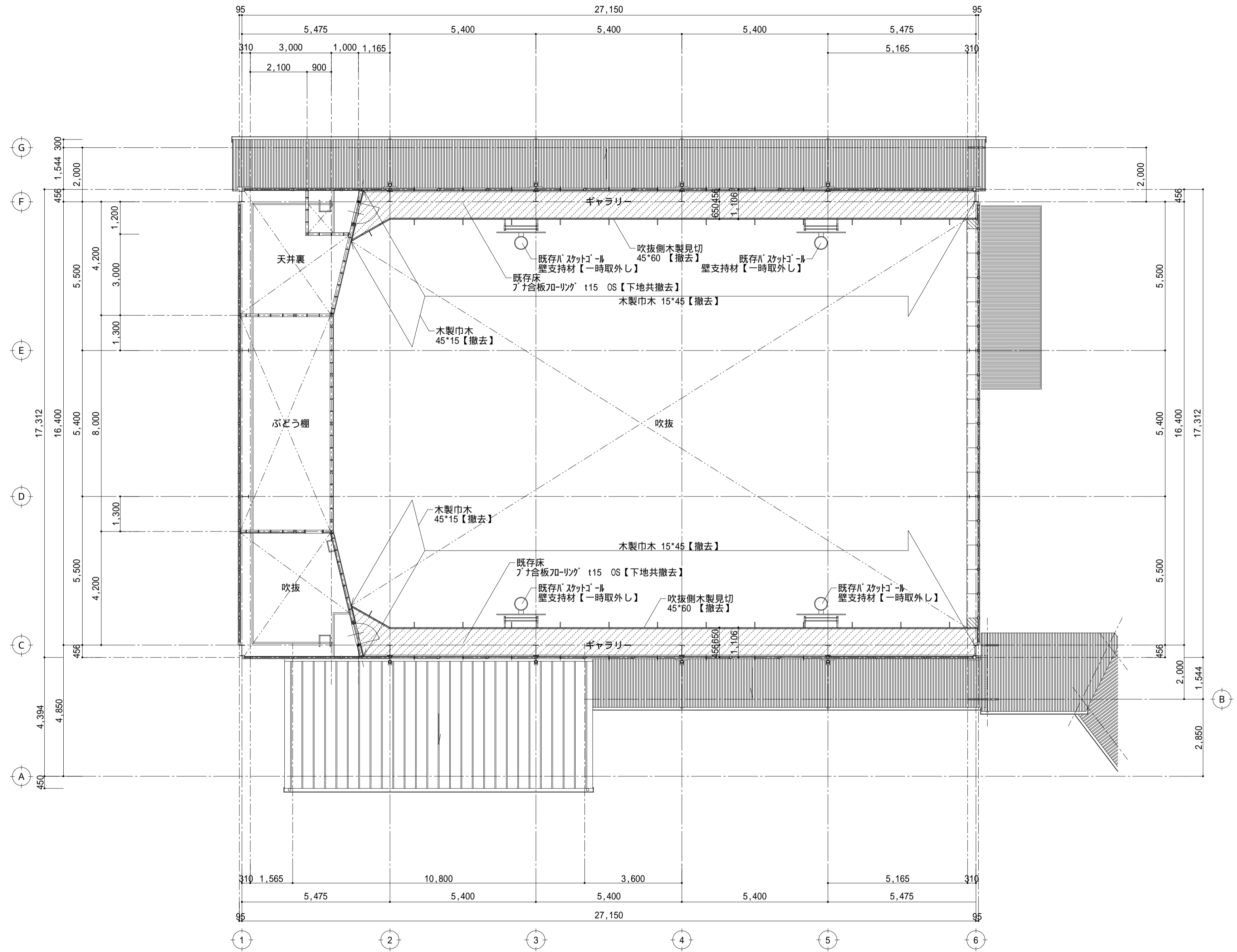
アスベスト対策工事仕様書

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
13	① 適用範囲 (9.1.1)	アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有建材の除去工事に適用する。 アスベスト含有吹付け材除去工事 除去工法 () 封じ込め工法 () 囲い込み工法 () アスベスト含有保温材等除去工事 アスベスト含有成形板除去工事 (ダクトフランジガasket)	13	5 仕上げ工事 (9.1.1)	アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 図示による	13	9 アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)	除去を行う範囲 図示による	13	⑩ アスベスト含有成形板の除去 (9.1.5)	除去を行う範囲 図示による 体育館北側 下屋軒裏
		② 法令等の遵守			施工にあたっては、「大気汚染防止法(昭和43年法律97号)」「労働安全衛生法(昭和47年法律57号)」「石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令21号)」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)」「建築基準法(昭和25年法律201号)」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)(平成12年法律104号)」「京都府建築物の解体等に伴う石綿の飛散防止に関する緊急措置条例(平成17年京都府条例45号)」等、石綿除去に関する諸法令に基づき適正に作業を行う。諸法令の適用及び運用は、受注者の負担と責任において行う。ただし、当該工事に関係のない事項は適用しない。			6 石綿作業主任者 (9.1.2)			石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者または平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。
13	③ 石綿含有建材の調査 (1.5.1)	事前調査 ・施工計画に先立ち、改正大気汚染防止法第18条の17の規定により、特定工事に該当するか否かの調査を行う。 調査結果について発注者に書面を交付して説明を行い、調査結果その他環境省令で定める事項を、公衆に見やすいように掲示し、その写しを工事の現場に備え置く。 なお、特定工事に該当する場合は、「特定粉じん排出等作業実施届出書」の届出内容について発注者に書面を交付して説明を行う。 ・施工計画に先立ち、石綿障害予防規則第3条の規定により、アスベスト含有建材の有無を調査する。 調査結果を記録し、作業に従事する労働者が見やすいように掲示する。	13	7 特別管理産業廃棄物管理責任者 (9.1.2)	特別管理産業廃棄物管理責任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。ただし、アスベスト含有成形板の除去工事を除く。	13	10 アスベスト含有保温材等の仕様	除去を行うアスベスト含有保温材等の仕様	13	⑪ アスベスト含有成形板の仕様	除去を行うアスベスト含有成形板の仕様
		④ 石綿含有建材の調査 (1.5.1)			事前調査は、国土交通省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石綿含有建材調査者、石綿作業主任者技能講習修了者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士等が行い、資格証明書の写しを監督職員に提出する。			8 アスベスト含有吹付け材の除去 (9.1.3)			施工業者 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出する。 「吹付アスベスト粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。
13	アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)	調査範囲 図示による	13	9 アスベスト含有吹付け材の仕様	除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。	13	11 アスベスト含有吹付け材等の仕様	吹付け石綿	13	⑫ アスベスト含有吹付け材等の仕様	吹付け石綿
		調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法			除去工法 改修標仕9.1.3(b)(1)による			石綿含有吹付けロックワール			石綿含有吹付けひる石
13	アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)	アスベスト含有分析 行う(分析結果を監督職員に提出する)	13	10 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止	除去物の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。	13	12 除去物等の処分	廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた熔融施設における熔融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地((株) 京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。	13	⑬ アスベスト含有吹付け材等の仕様	吹付け石綿
		サンプル数 1箇所あたり3サンプル JIS A 1481に基づくこと。 行わない			除去物の処分 廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた熔融施設における熔融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地((株) 京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。			既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 あり なし			石綿含有吹付けバーライト
13	アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)	測定機関 (公社)日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。	13	11 除去物等の処分	除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた熔融施設における熔融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地((株) 京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。	13	13 報告書提出部数	3部	13	⑭ アスベスト含有吹付け材等の仕様	石綿含有吹付けバーライト
		報告書提出部数 3部			報告書提出部数 3部			石綿含有吹付けバーライト			

Ver.R04(R05.02)	株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣() 交付番号()	構造設計 一級建築士登録 大臣() 交付番号()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 1 1
			構造/設備関係規定への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣() 交付番号()	図名 アスベスト対策工事仕様書	

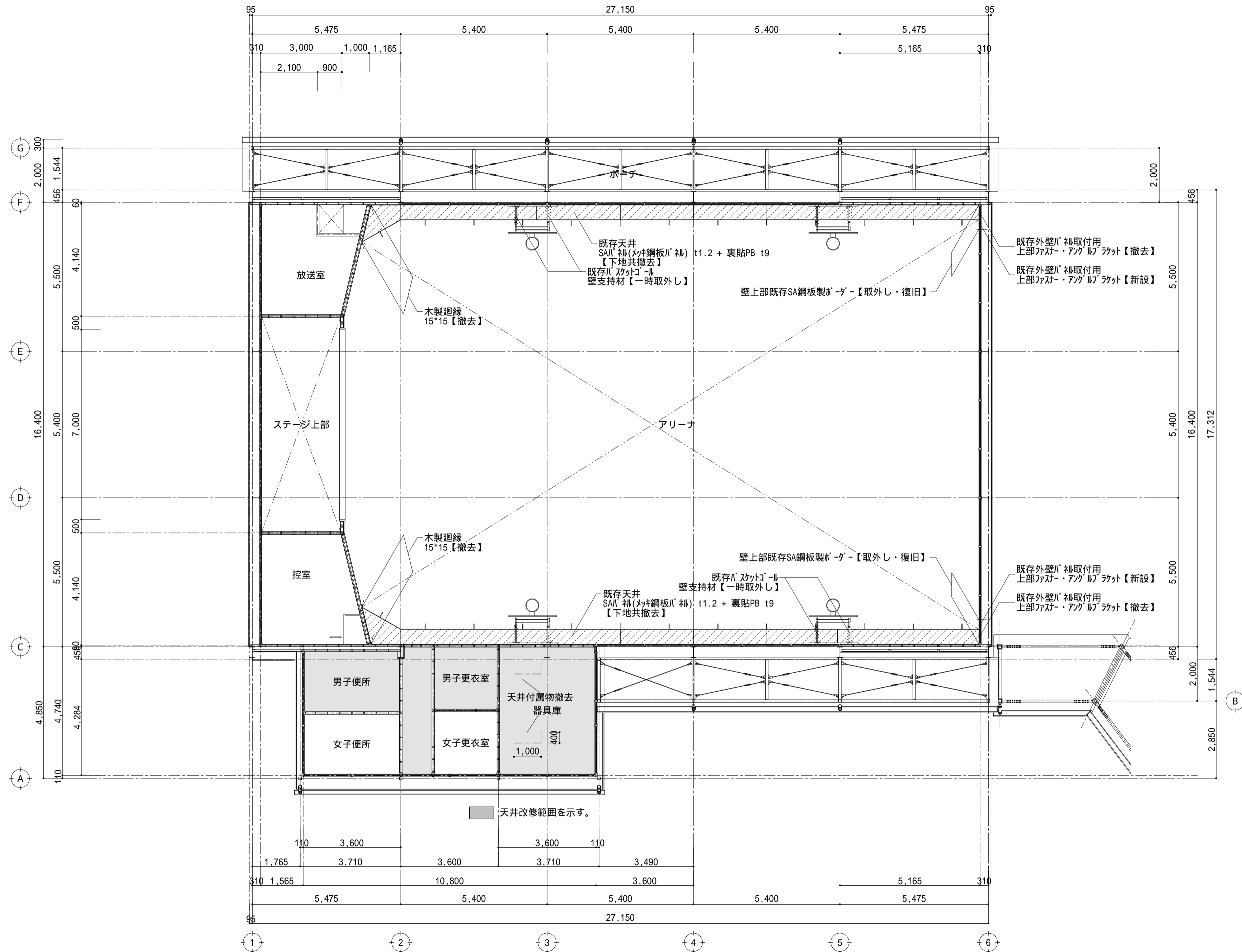


株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	No. A-13
		構造設計/設備関係規定 への法適合を確認した 一級建築士登録 大臣 ()	縮尺 A2: 1/100 A3: -
		構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事
		構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 現況 1階平面図



現況 2階平面図 1/100

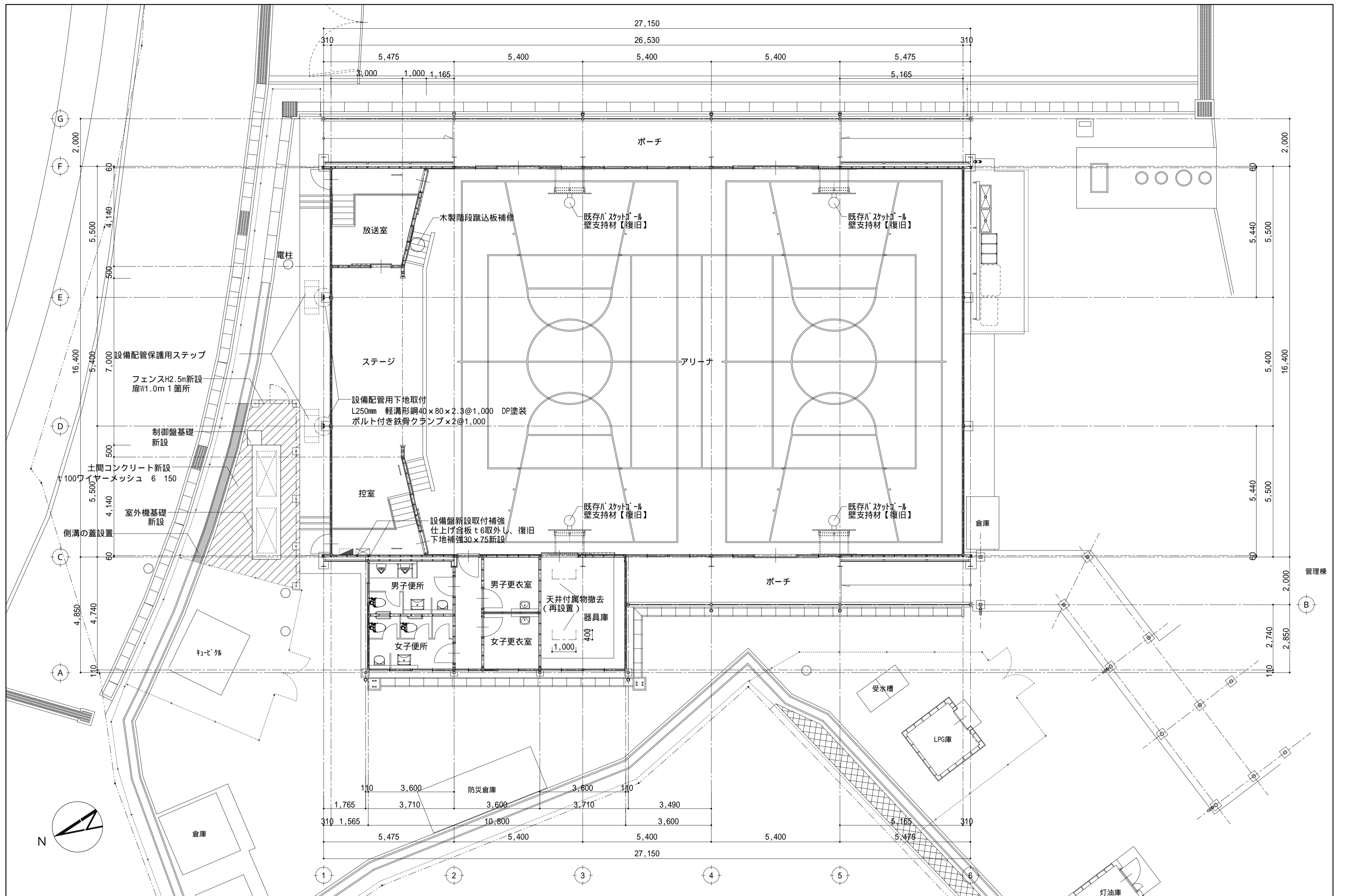
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 14
		構造/設備関係規定 への適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	図名 現況 2階平面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



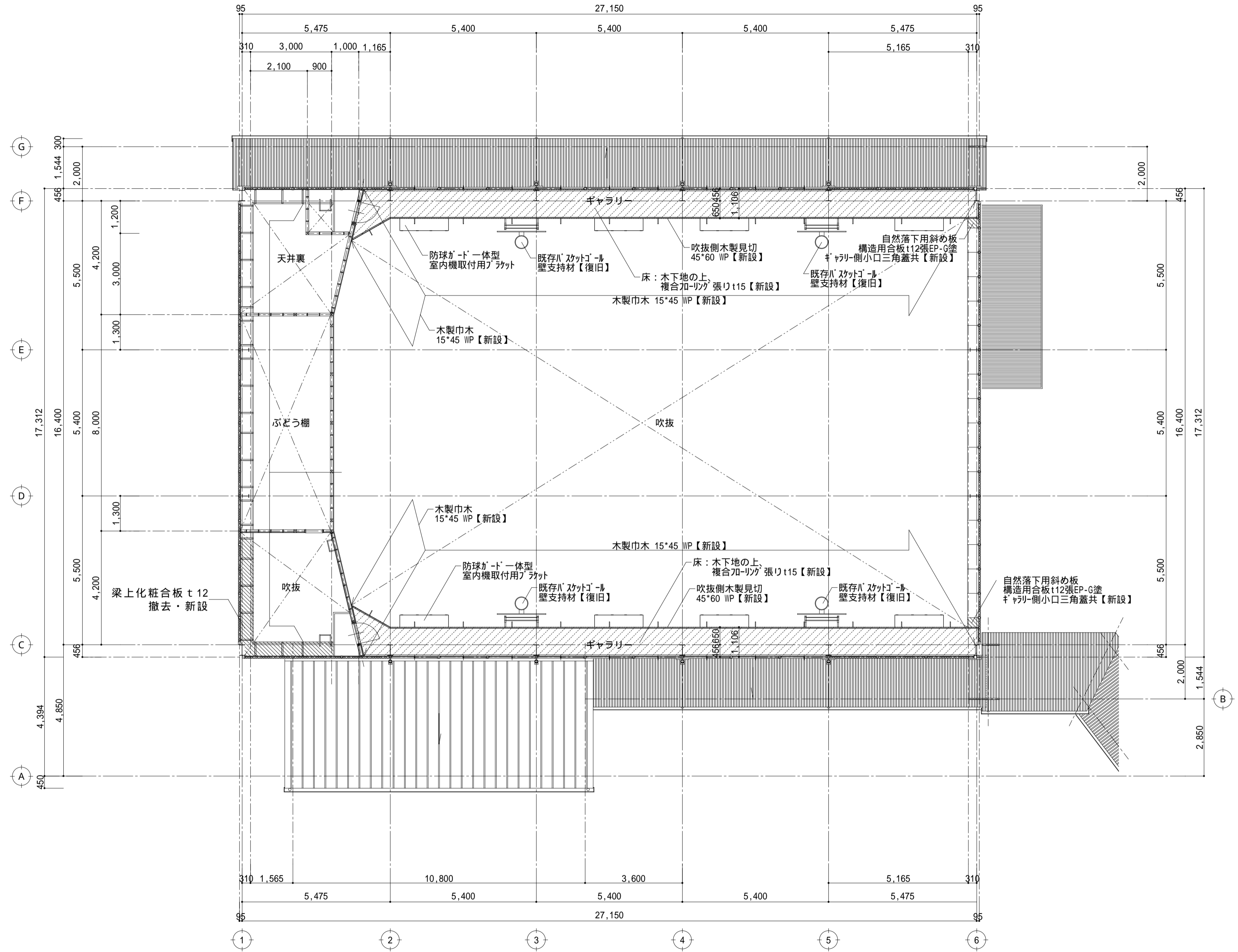
現況 1階天井伏図 1/100



株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 15
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 現況 1階天井伏図 (内部)	縮尺 A2: 1/100 A3: -

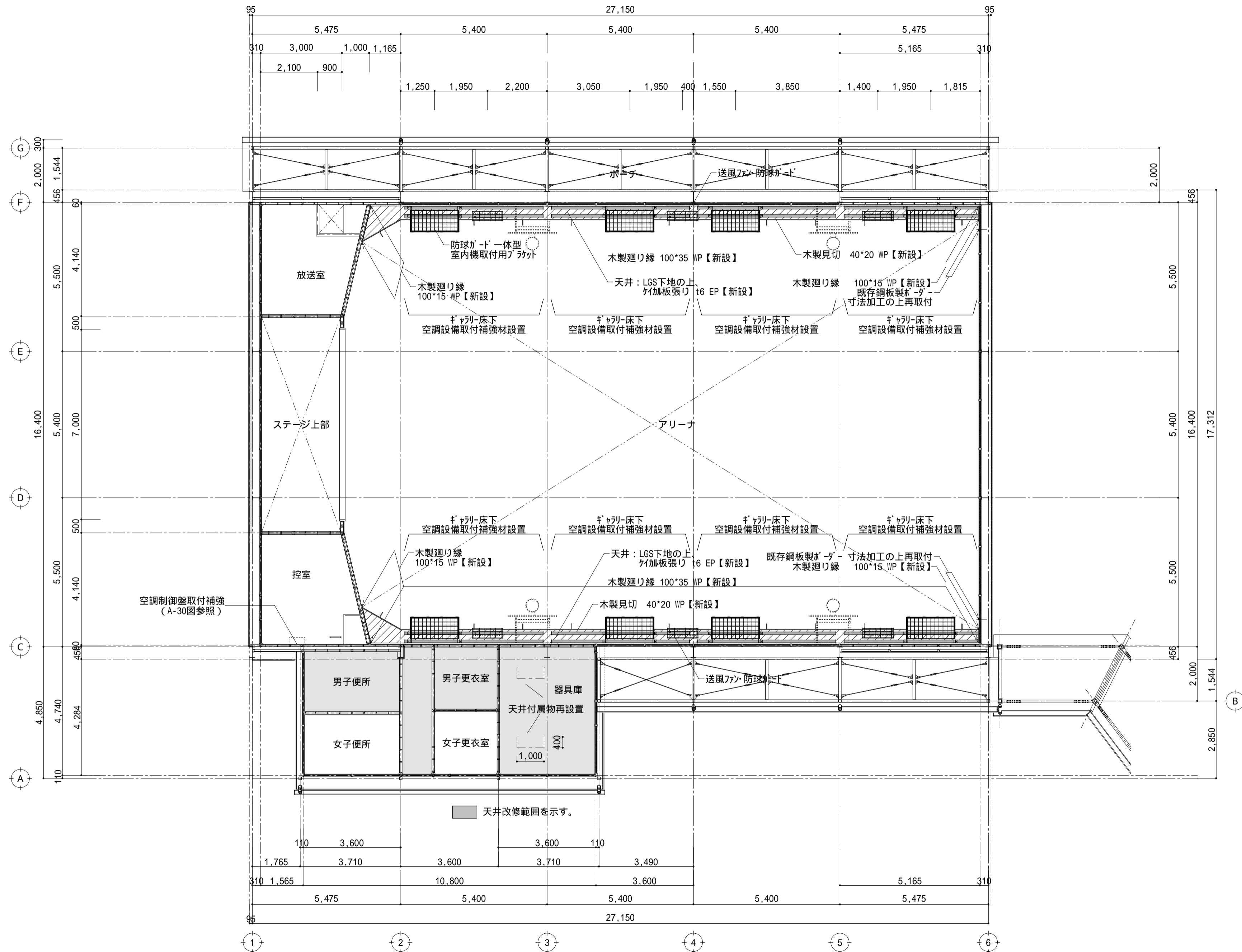


株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 16
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 改修 1階平面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



改修 2階平面図 1/100

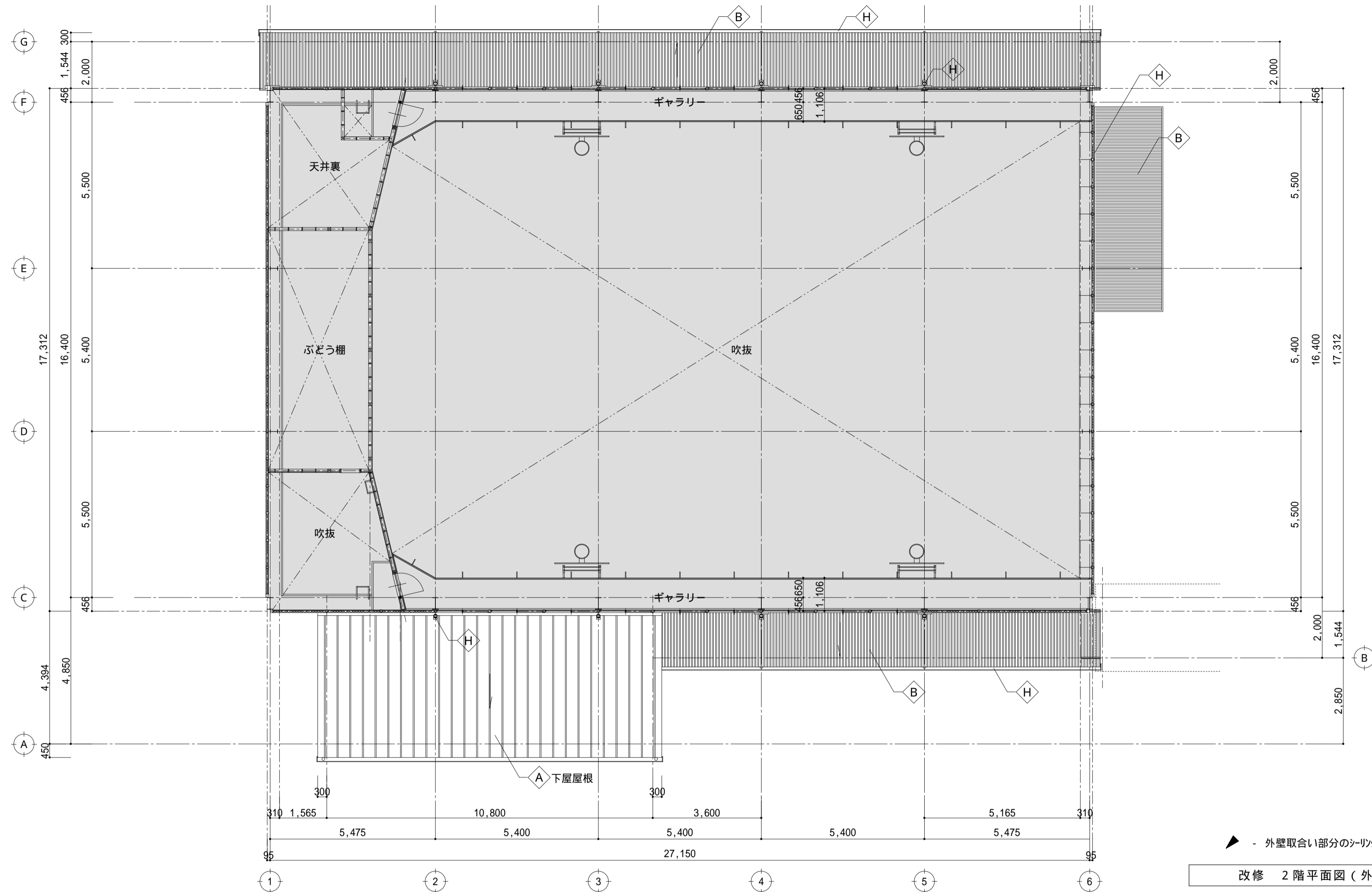
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 17
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	図名 改修 2階平面図 (内部)	縮尺 A2: 1/100 A3: -



改修 1階天井伏図 1/100



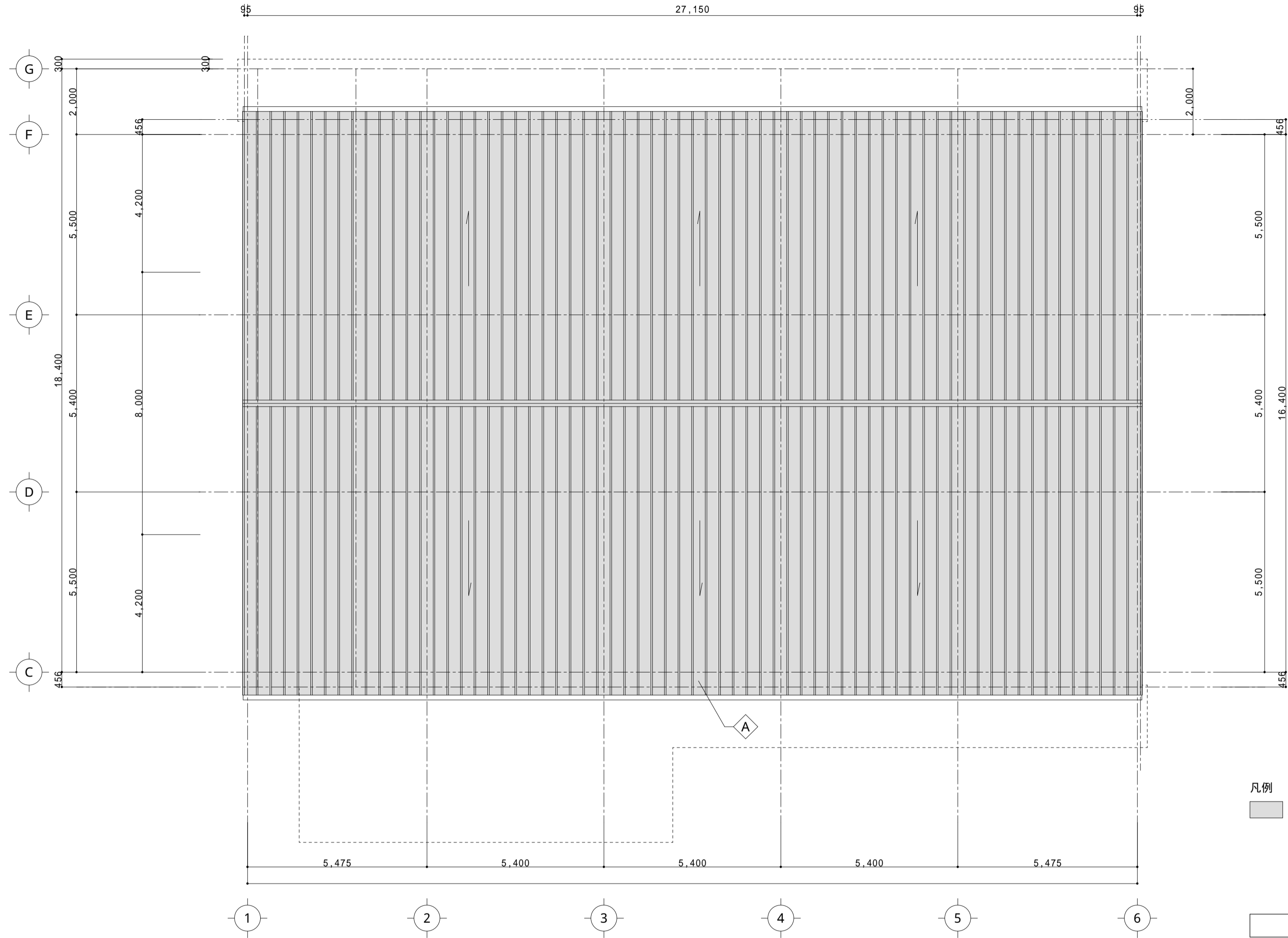
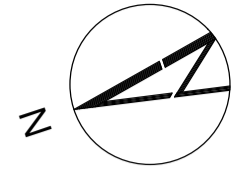
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 18
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	図名 改修 1階天井伏図 (内部)	縮尺 A2: 1/100 A3: -



▲ - 外壁取合い部分のシリング打替えを示す

改修 2階平面図(外部) 1/100

外部仕上 凡例	屋根・下屋根 (棟包、水切共) (鼻隠し、破風共)	A	既存: 木毛セメント板t20、アスファルトフイック [®] 22kg敷の上、長尺片面が-鉄板t0.4瓦棒葺、塗膜防水 [鼻隠し、破風] が-鉄板t0.4 改修: 屋根: 水洗い(10~15Mpa)、アクリル系塗膜防水(防錆、遮熱仕様) 改修: 下屋根: クン・清掃・水洗い(10~15Mpa)、アクリル系塗膜防水(防錆、遮熱仕様) 下屋は、既存塗膜防水なし	鉄骨柱・鉄骨ブレース ボ-子手摺	G	既存: 下地処理、錆止め塗装の上、タイコ-リソパ-イント塗 桁行側柱(12本): H-396*199*7*11 妻側柱(2本): H-250*125*6*9 下屋柱・ボ-子柱(10本): -100*100*3.2 ボ-子屋根水平ブレース: 丸鋼 13 塗装 ボ-子梁B6: -150*100*4.5 ボ-子梁B7: [-125*65*6] ボ-子梁B8: -100*100*3.2 ボ-子手摺: 48.6 OP塗 支柱・横棧: 34.0@900 OP塗 手摺子: 16 @300 OP塗 改修: 鉄骨柱・ボ-子: 下地調整RB種、錆止め塗装の上、遮熱塗料 鉄骨ブレース・ボ-子: 下地調整の上、錆止め塗装の上、DP塗装(1級)
	ボ-子屋根	B	既存: 片面が-鉄板t0.5ル-テ-ック [裏面] OP塗 改修: 下屋根: クン・清掃・水洗い(10~15Mpa)、錆止め塗装、遮熱塗装	軒樋・縦樋	H	既存: 【本体】 [軒樋] 塩ビ角樋150 [縦樋] VU100 [養生管] 鋼管OP塗 H1800 【下屋】 [軒樋] 塩ビ角樋120 [縦樋] VU75 [養生管] 鋼管OP塗 H1800 【ボ-子】 [軒樋] 折板用角樋W120・180 [縦樋] VU100 [養生管] 鋼管OP塗 H1800 改修: 【共通】 [軒樋] 既存のまま [縦樋] 研磨紙ずり、プライマ-塗の上、フッ樹脂塗装 [養生管・掴み金物] 下地調整RB種の上、錆止め塗装の上、DP塗装(1級)
	屋根軒裏	C	既存: シル-アイ鋼板 [®] 裨t1.2 改修: クン・清掃・水洗い(10~15Mpa)、下地調整RB種、低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系遮熱塗料塗(下塗り: プライマ-1回、上塗り: 2回)	鋼製建具	I	既存: スチール 焼付塗装 改修: 下地調整RB種、錆止め塗装の上、DP塗装(1級)
	下屋軒裏 ギャラリー下軒裏	D	既存: LGS下地、石綿ケイ加板t5、VP塗装 改修: 下地調整の上、EP塗装			
	外壁 (ル-裨部共)	E	既存: [上部] キースト鋼板t0.6 ボ-リス珪粉体焼付塗装 [下部] シル-アイ鋼板 [®] 裨t1.2 改修: クン・清掃・水洗い(10~15Mpa)、下地調整RB種、低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系遮熱塗料塗(下塗り: プライマ-1回、上塗り: 2回) (ル-裨・ル-裨枠・水切共)			
	巾木	F	既存: 珪外刷毛引き 改修: クン・清掃・水洗い(10~15Mpa)、下地補修(クラック、浮き処理)、下地調整(C-2)の上、超低汚染水性アクリルシリコン樹脂塗料塗			

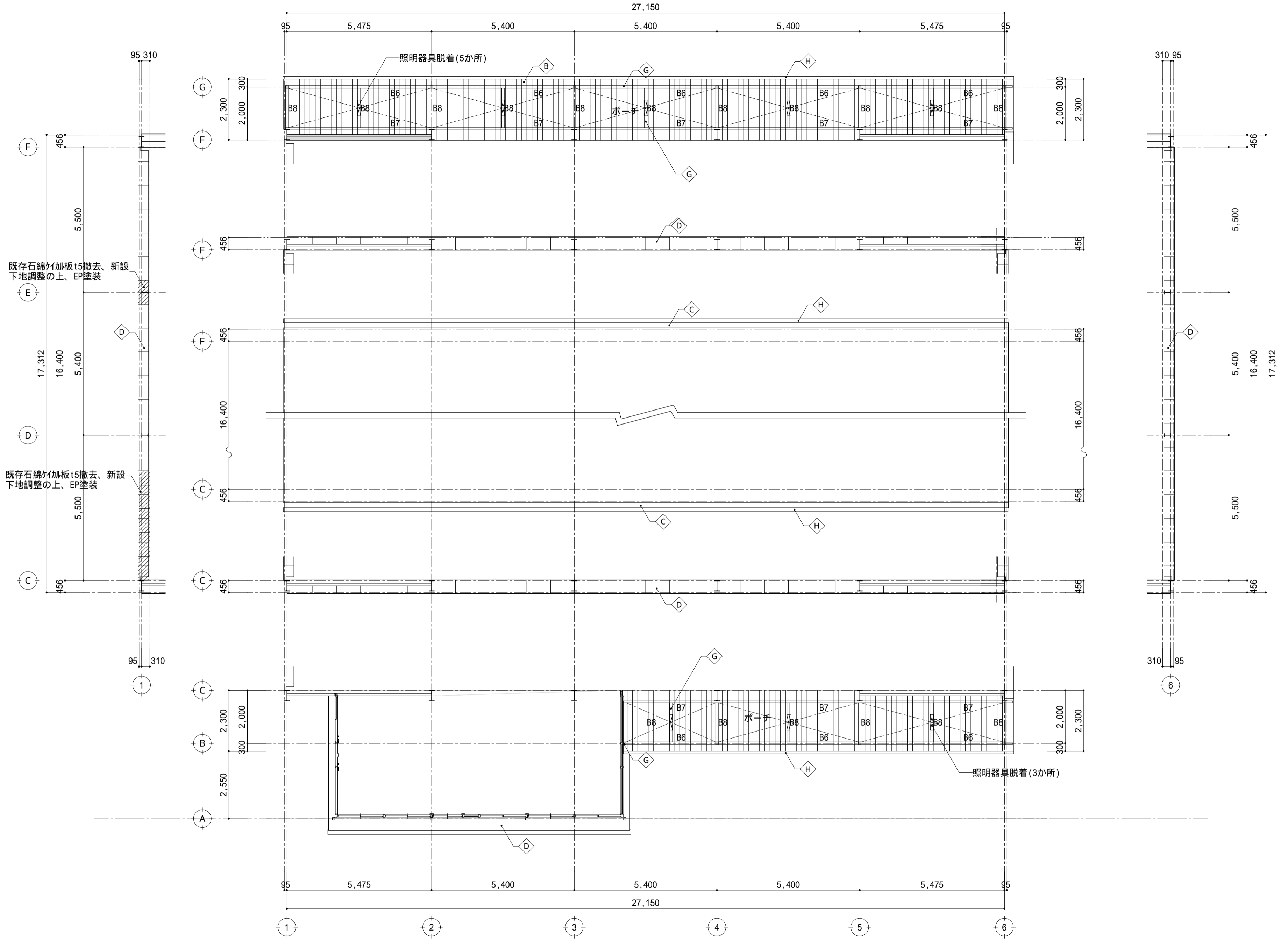
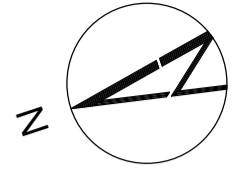


凡例
 屋根：水洗いの上、アクリル系塗膜防水(防錆、遮熱仕様)

上部平面図 1/100

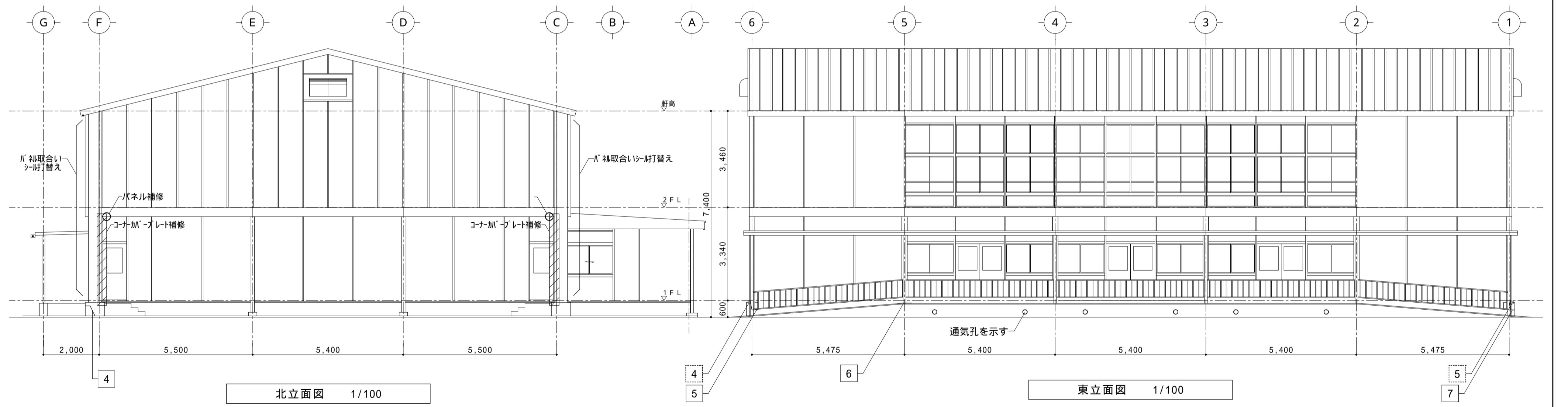
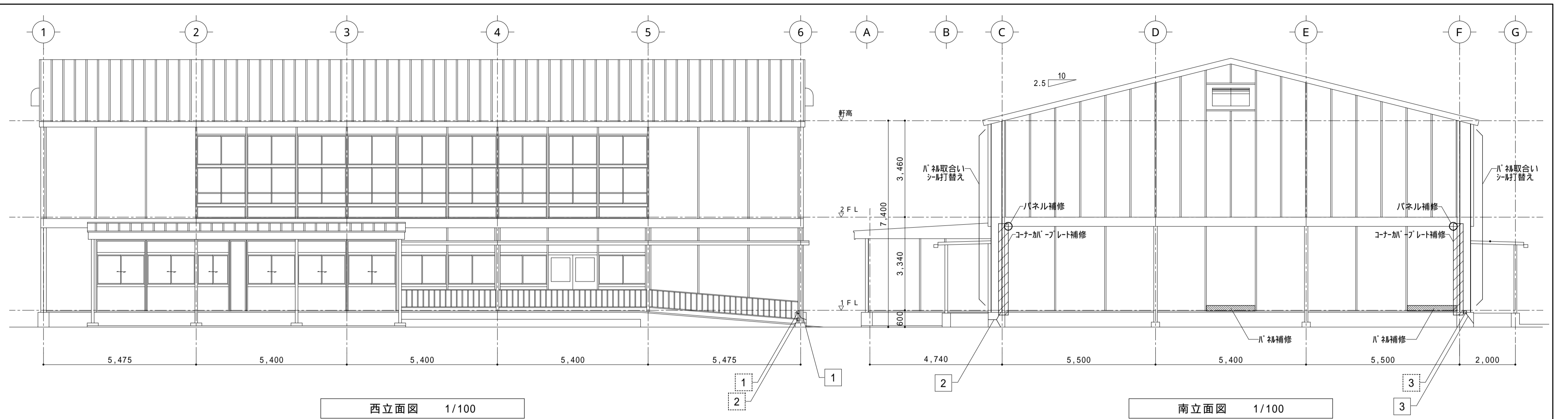
外部仕上 凡例	屋根・下屋根 (棟包、水切共) (鼻隠し、破風共)	A	既存：木毛セメント板t20、アスファルト-フィング 22kg敷込の上、長尺片面が-鉄板t0.4瓦棒葺、塗膜防水 [鼻隠し、破風] が-鉄板t0.4 改修：屋根：水洗い(10~15Mpa)、アクリル系塗膜防水(防錆、遮熱仕様) 改修：下屋根：丸ノ清掃・水洗い(10~15Mpa)、アクリル系塗膜防水(防錆、遮熱仕様)	鉄骨柱・鉄骨ブレース ボ-チ手摺	G	既存：下地処理、錆止め塗装の上、タイコ-リソパ-イト塗 桁側柱(12本)：H-396*199*7*11 妻側柱(2本)：H-250*125*6*9 下屋根・ボ-チ柱(10本)：-100*100*3.2 ボ-チ屋根水平ブレース：丸鋼 13 塗装 ボ-チ梁B6：-150*100*4.5 ボ-チ梁B7：[-125*65*6 ボ-チ梁B8：-100*100*3.2 ボ-チ手摺：48.6 OP塗 支柱・横棧：34.0@900 OP塗 手摺子：16 @300 OP塗 改修：鉄骨柱・・・下地調整RB種、錆止め塗装の上、遮熱塗料 鉄骨ブレース・・・下地調整の上、錆止め塗装の上、DP塗装(1級)	
	ボ-チ屋根	B	既存：片面が-鉄板t0.5丸-チキ [裏面] OP塗 改修：下屋根：丸ノ清掃・水洗い(10~15Mpa)、錆止め塗装、遮熱塗装				
	屋根軒裏	C	既存：シリ-アイ鋼板R 裨t1.2 改修：丸ノ清掃・水洗い(10~15Mpa)、下地調整RB種、低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系遮熱塗料塗(下塗り：プライム1回、上塗り：2回)	軒樋・縦樋	H		既存：【本体】 [軒樋] 塩ビ角樋150 [縦樋] VU100 [養生管] 鋼管OP塗 H1800 【下屋】 [軒樋] 塩ビ角樋120 [縦樋] VU75 [養生管] 鋼管OP塗 H1800 【ボ-チ】 [軒樋] 折板用角樋W120・180 [縦樋] VU100 [養生管] 鋼管OP塗 H1800 改修：【共通】 [軒樋] 既存のまま [縦樋] 研磨紙ずり、プライム塗の上、フッ樹脂塗装 [養生管・掴み金物] 下地調整RB種の上、錆止め塗装の上、DP塗装(1級)
	下屋根裏 キャリー-下軒裏	D	既存：LGS下地、石綿ケイ加板t5、VP塗装 改修：下地調整の上、EP塗装				
	外壁 (R 裨部共)	E	既存：[上部] キースト-鋼板t0.6 ボ-リス珪粉体焼付塗装 [下部] シリ-アイ鋼板R 裨t1.2 改修：丸ノ清掃・水洗い(10~15Mpa)、下地調整RB種、低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系遮熱塗料塗(下塗り：プライム1回、上塗り：2回) (R 裨・R 裨枠・水切共)	鋼製建具	I		既存：スチ-ル 焼付塗装 改修：下地調整RB種、錆止め塗装の上、DP塗装(1級)
	巾木	F	既存：珪外刷毛引き 改修：丸ノ清掃・水洗い(10~15Mpa)、下地補修(クラック、浮き処理)、下地調整(C-2)の上、超低汚染水性アクリルシリコン樹脂塗料塗				

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 2 0
		構造/設備関係規定 への適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	図名 屋根伏図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



改修 天井伏図 (外部) 1/100

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 2 1
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	図名 改修 天井伏図 (外部)	縮尺 A2: 1/100 A3: -



凡例

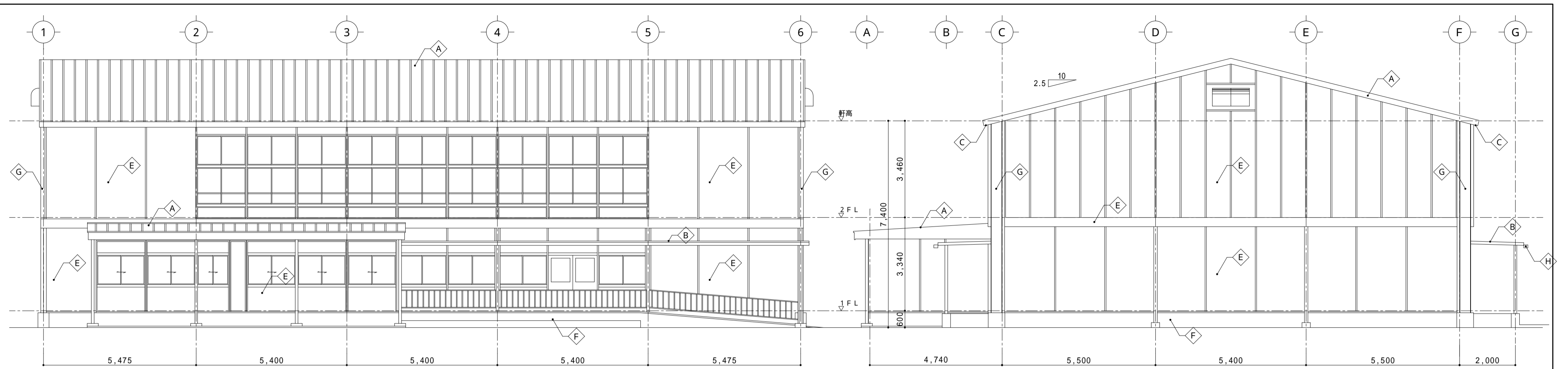
- パネル補修範囲を示す
ボンデ鋼板パネル t1.2 曲げ加工 : 1,800 × 170 2箇所
天端プチルテープ、ビス留め
- コーナーカバープレート 撤去・新設範囲を示す
錆落としケレン、鉄パテ処理の上、DP塗装
- コーナーカバープレート 撤去・新設範囲を示す
ボンデ鋼板パネル t1.2 曲げ加工 : W425 × 3,100

モルタル塗部 ひび割れ幅測定値 (mm) ([]内: 補修方法を示す)	
1 5.0 (0.5m) [C]	2 1.5 (0.9m) [C]
3 1.0 (0.5m) [C]	4 1.5 (0.6m) [C]
5 1.0 (0.5m) [C]	6 1.0 (0.5m) [C]
7 2.0 (0.5m) [C]	

モルタル塗部 欠け面積 (100程度) ([]内: 補修方法を示す)	
1 欠け (100*1) [D]	2 欠け (100*1) [D]
3 欠け (100*1) [D]	4 欠け (100*1) [D]
5 欠け (100*1) [D]	

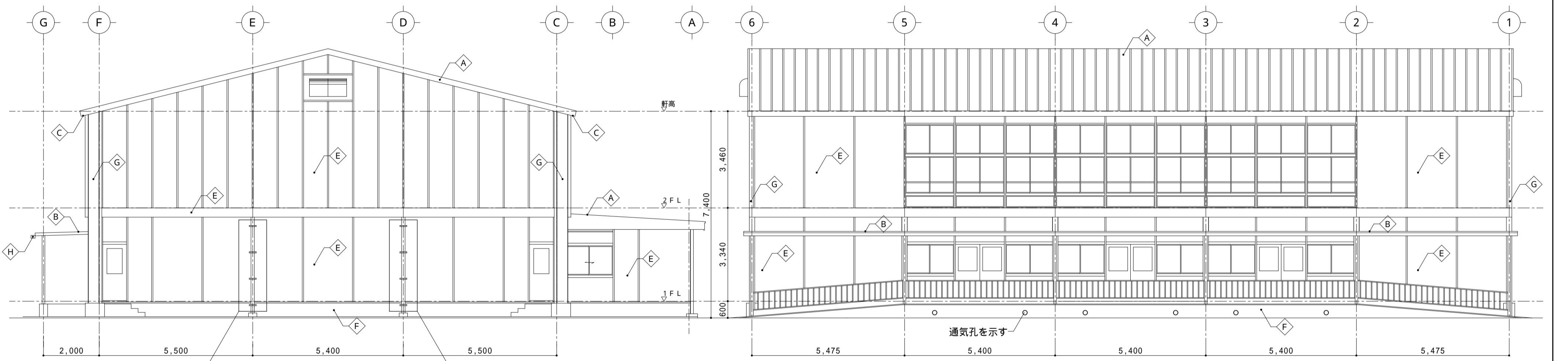
補修種類		工法	調査数量	計画数量 (×1.5)
A	クラック処理(0.2mm未満)	シール工法	- m	- m
B	クラック処理(0.2mm以上)	自動式低圧樹脂注入工法	- m	- m
C	クラック処理(1.0mm以上)	Uカットシール材充填工法	4.0 m	6.0 m
D	欠け・傷 (100程度)	ポリマーセメントモルタル充填工法	4ヶ所	6ヶ所
E	露筋 (100程度)	防錆処理の上ポリマーセメントモルタル充填工法	-ヶ所	-ヶ所
F	浮き	アンカビソング部分球状樹脂注入工法	- m	- m
G				
H				

備考 施工に先立ち施工数量調査(マーキング調査)を行い、図面・調書を以って監督職員に報告し、施工箇所を協議の上、その指示を受けること。



西立面図 1/100

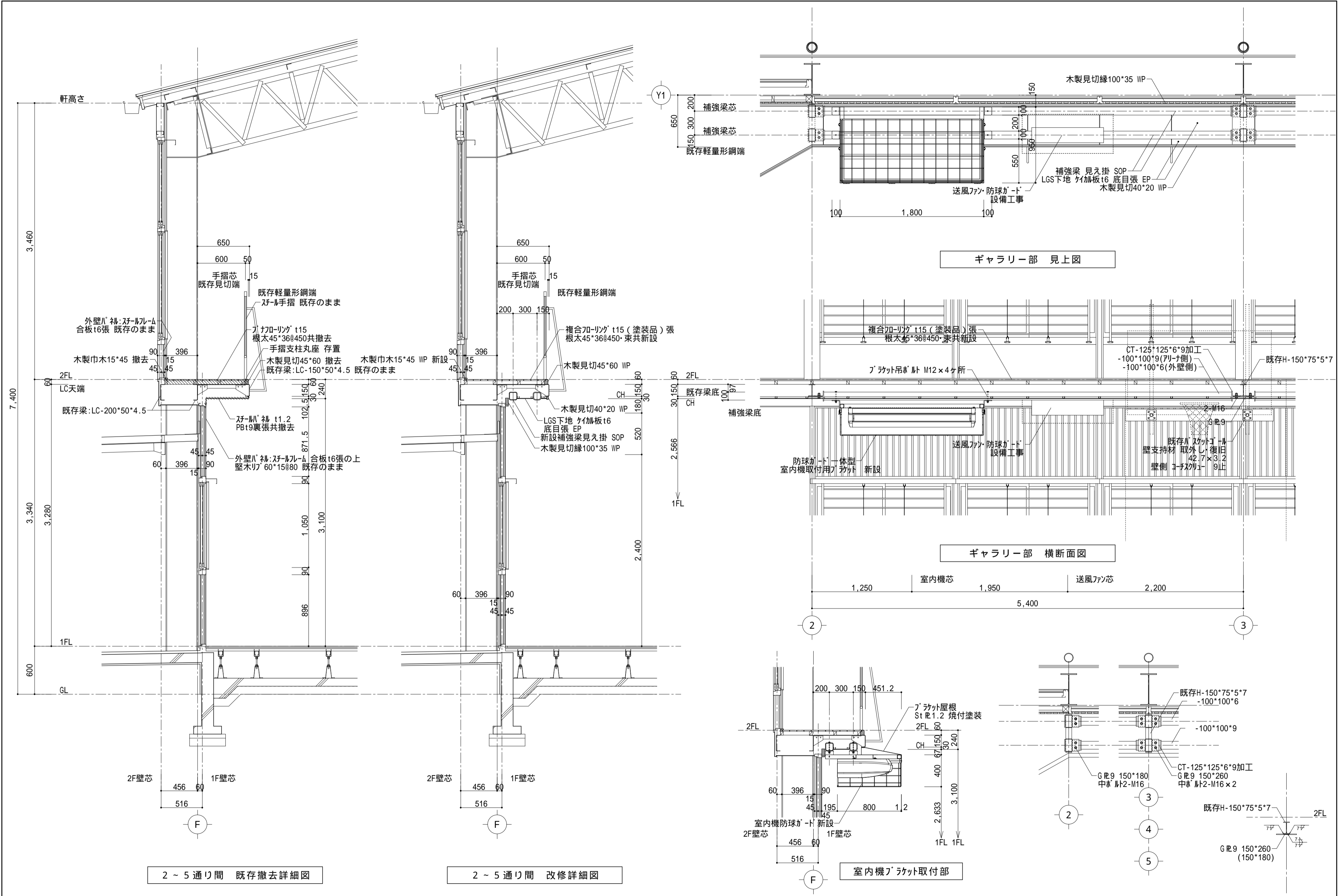
南立面図 1/100



北立面図 1/100

東立面図 1/100

外部仕上 凡例	屋根・下屋屋根 (棟包、水切共) (鼻隠し、破風共)		A	既存: 木毛セメント板 t20、アスファルト・フィング 22kg敷込の上、長尺片面加-鉄板 t0.4 瓦棒葺、塗膜防水 [鼻隠し、破風] 加-鉄板 t0.4 改修: 屋根: 水洗い(10~15Mpa)、アクリル系塗膜防水(防錆、遮熱仕様) 改修: 下屋屋根: 外-清掃・水洗い(10~15Mpa)、アクリル系塗膜防水(防錆、遮熱仕様)		鉄骨柱・鉄骨ブレース ボ-手摺	G	既存: 下地処理、錆止め塗装の上、タコ-リソパ-イント塗 桁行側柱(12本): H-396*199*7*11 妻側柱(2本): H-250*125*6*9 下屋柱・ボ-柱(10本): -100*100*3.2 ボ-子屋根水平ブレース: 丸鋼 13 塗装 ボ-子梁B6: -150*100*4.5 ボ-子梁B7: [-125*65*6 ボ-子梁B8: -100*100*3.2 ボ-手摺: 48.6 OP塗 支柱・横棧: 34.0@900 OP塗 手摺子: 16 @300 OP塗 改修: 鉄骨柱・・・下地調整RB種、錆止め塗装の上、遮熱塗料 鉄骨ブレース・・・下地調整の上、錆止め塗装の上、DP塗装(1級)	
	ボ-子屋根			B	既存: 片面加-鉄板 t0.5 瓦棒葺 [裏面] OP塗 改修: 下屋屋根: 外-清掃・水洗い(10~15Mpa)、錆止め塗装、遮熱塗装			軒樋・壁樋	H
屋根軒裏		C	既存: シル-アイ鋼板 t1.2 改修: 外-清掃・水洗い(10~15Mpa)、下地調整RB種、低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系遮熱塗料塗(下塗り: プライム1回、上塗り: 2回)		鋼製建具	I	既存: スチール 焼付塗装 改修: 下地調整RB種、錆止め塗装の上、DP塗装(1級)		
下屋軒裏 ギャ-下軒裏			D	既存: LGS下地、石綿ケイ加板 t5、VP塗装 改修: 下地調整の上、EP塗装					
外壁 (バ-補部共)		E		既存: [上部] キースト-鋼板 t0.6 ボ-リス矽粉体焼付塗装 [下部] シル-アイ鋼板 t1.2 改修: 外-清掃・水洗い(10~15Mpa)、下地調整RB種、低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系遮熱塗料塗(下塗り: プライム1回、上塗り: 2回) (バ-補・バ-補枠・水切共)					
巾木			F	既存: 外刷毛引き 改修: 外-清掃・水洗い(10~15Mpa)、下地補修(クラック、浮き処理)、下地調整(C-2)の上、超低汚染水性アクリルシリコン樹脂塗料塗					
				設備用下地 新設 詳細はM-07図による					
			設備用下地 新設 詳細はM-07図による						



2 ~ 5 通り間 既存撤去詳細図

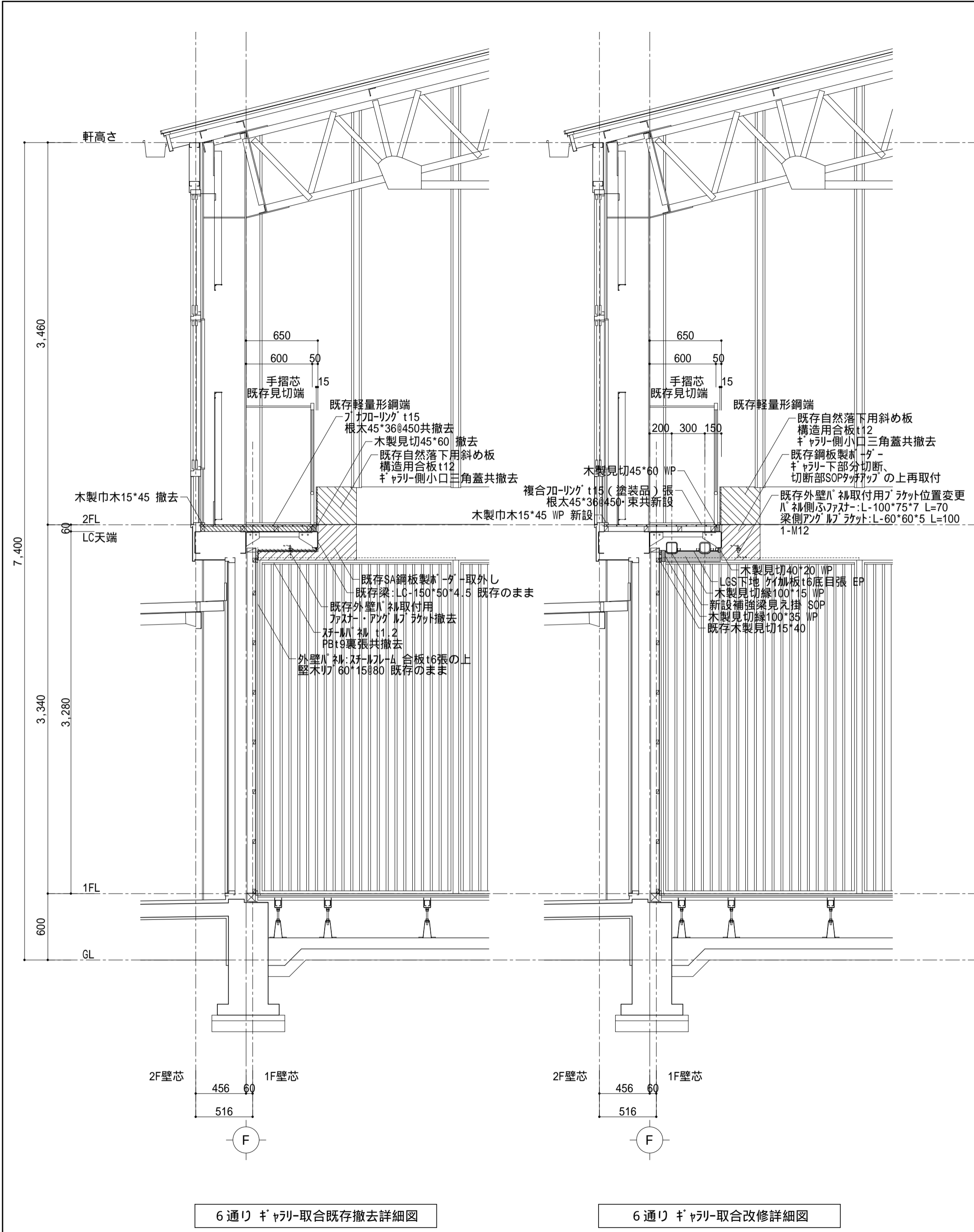
2 ~ 5 通り間 改修詳細図

ギャラリー部 見上図

ギャラリー部 横断面図

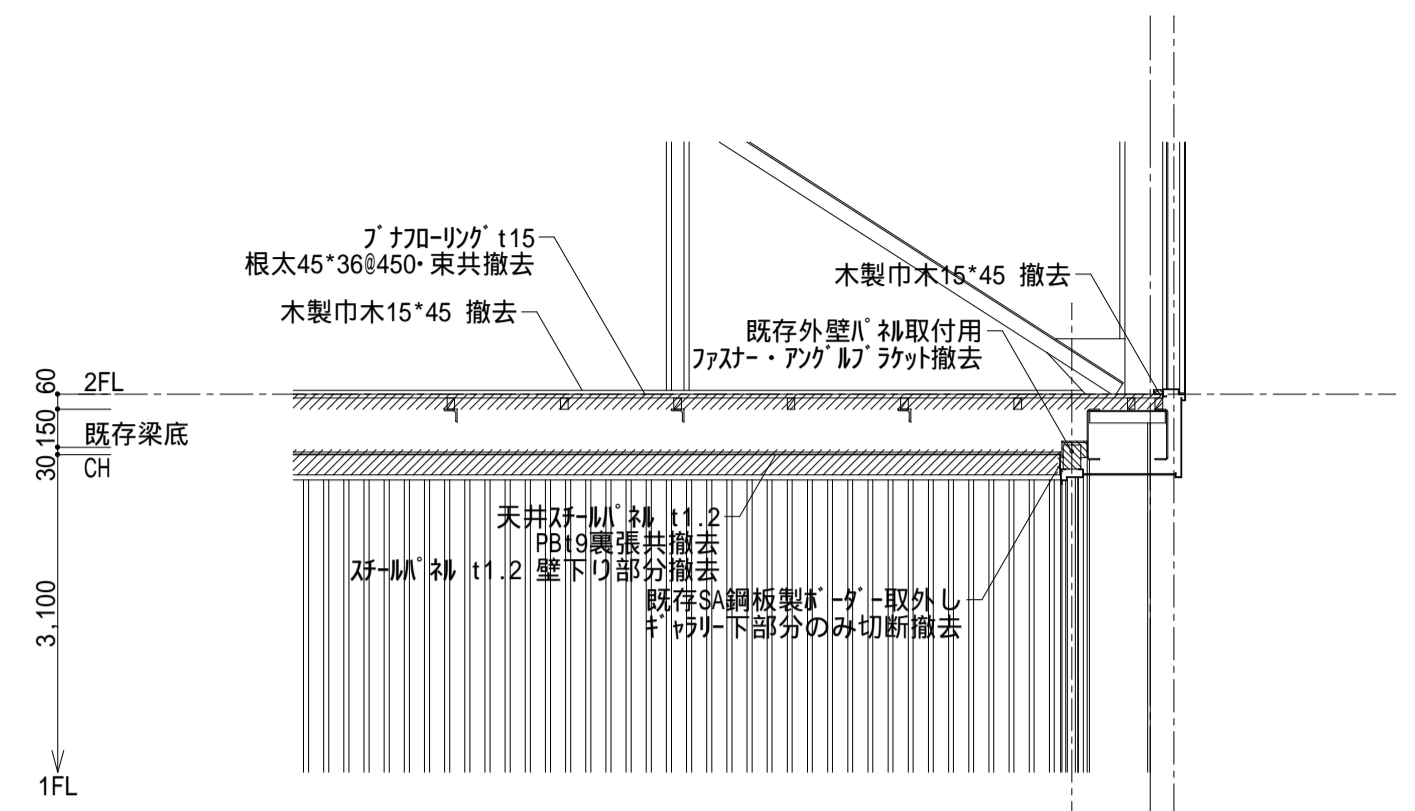
室内機ブラケット取付部

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 2 4
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 矩計図 (1 : 内部)	縮尺 A2: 1/30 A3: -

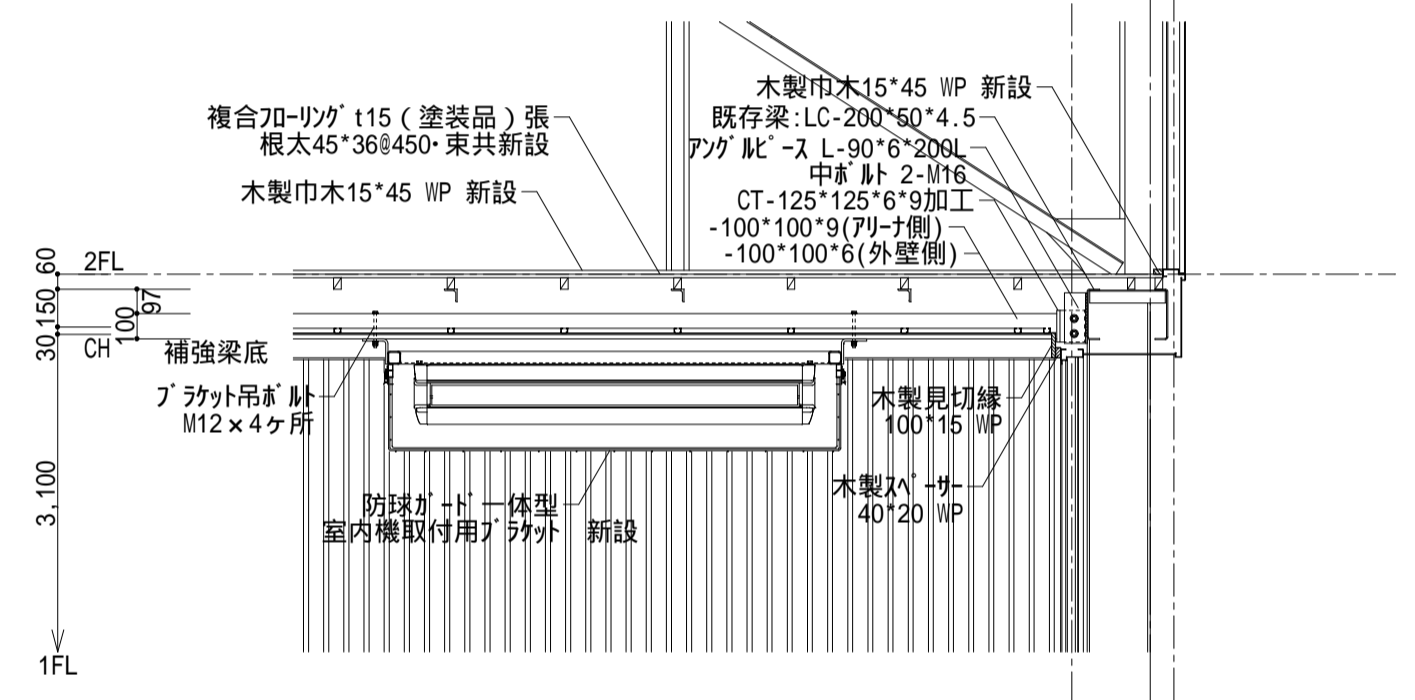


6通り ｷﾞャﾘｰ-取合既存撤去詳細図

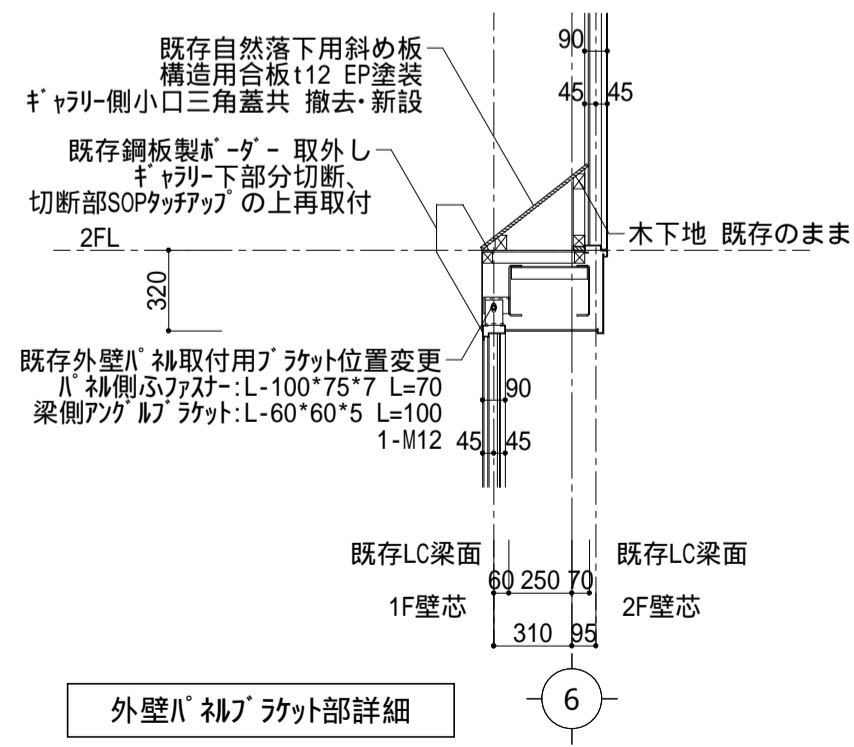
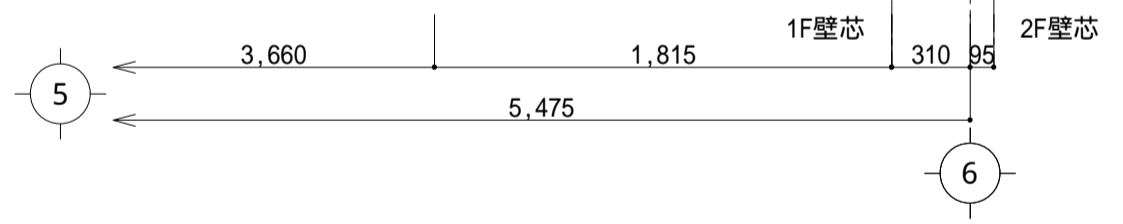
6通り ｷﾞャﾘｰ-取合改修詳細図



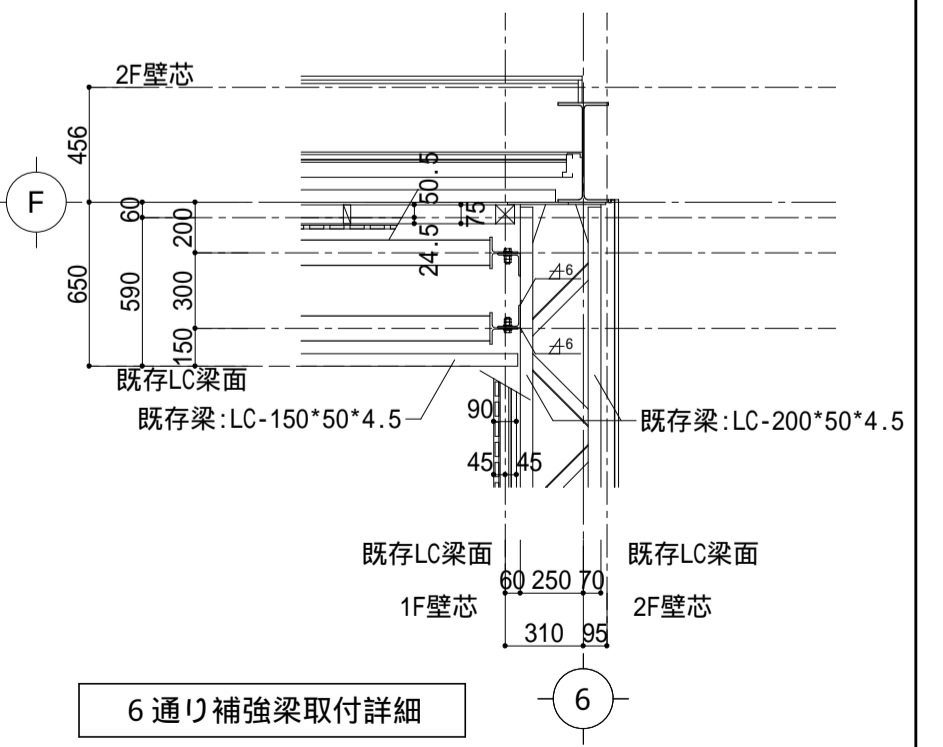
ｷﾞャﾘｰ部 既存撤去横断面図



ｷﾞャﾘｰ部 改修横断面図

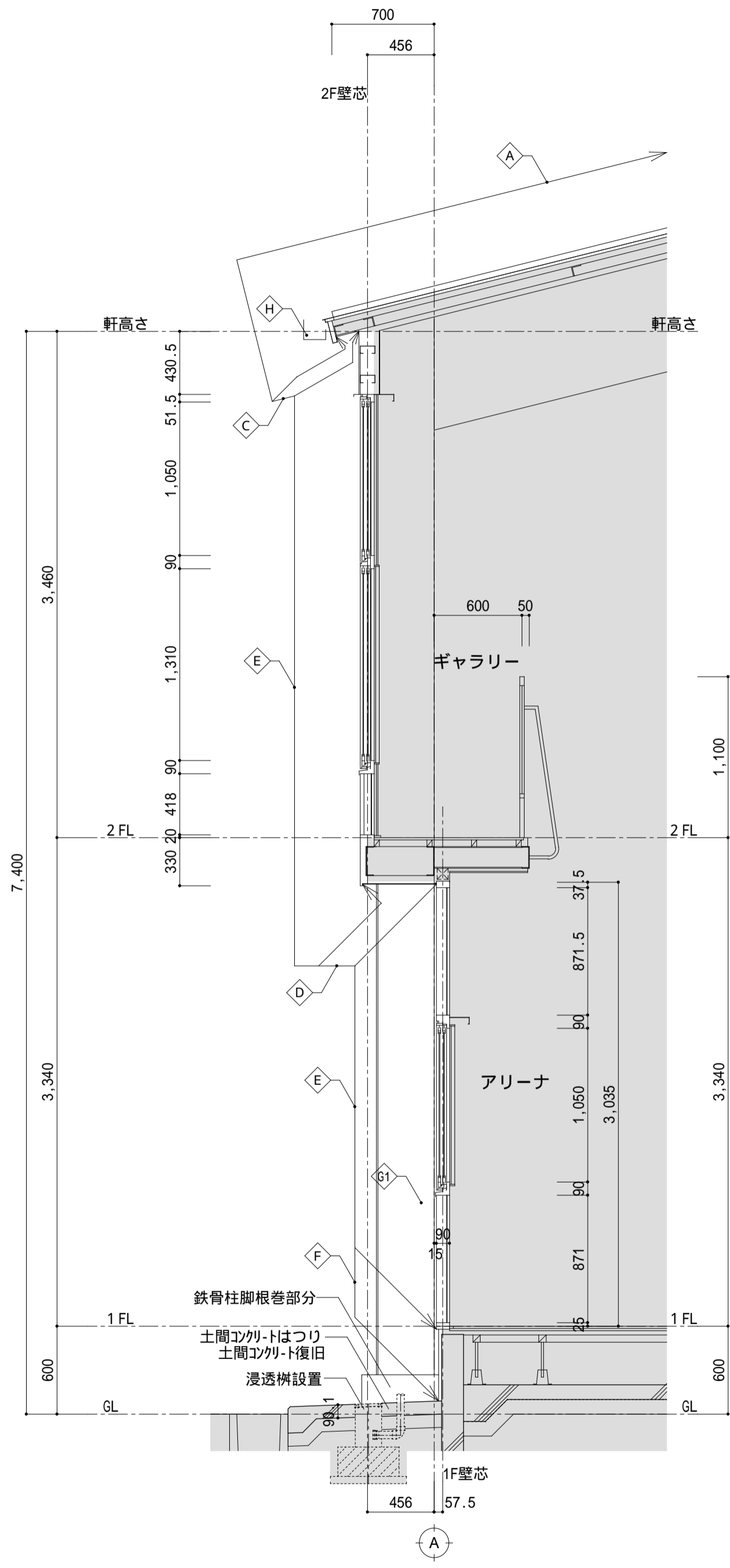


外壁ﾊﾞﾙｸ ﾌﾞﾗｯｸﾞ部詳細



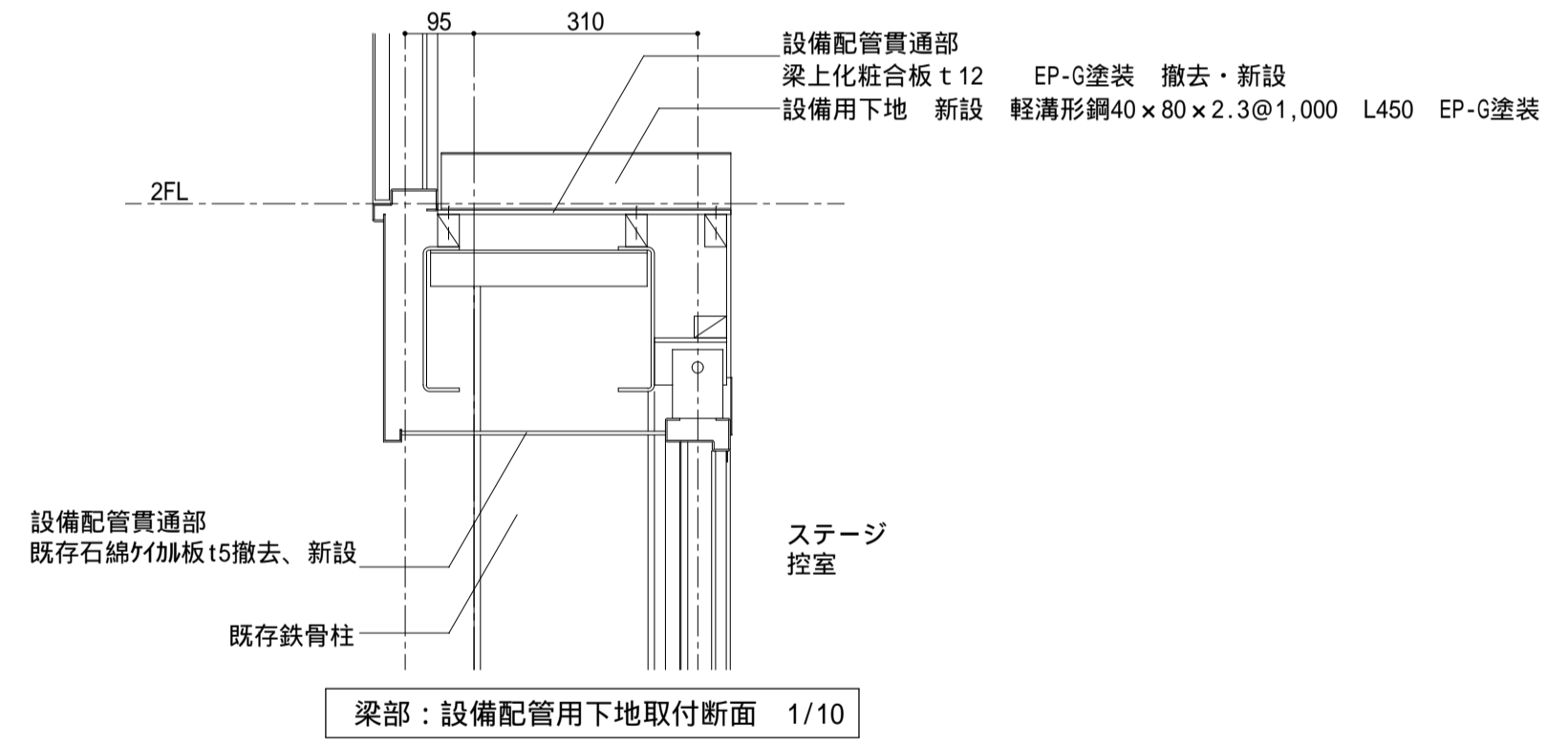
6通り補強梁取付詳細

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 2 5
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()	図名 矩計図 (2 : 内部)	縮尺 A2: 1/30 A3: -

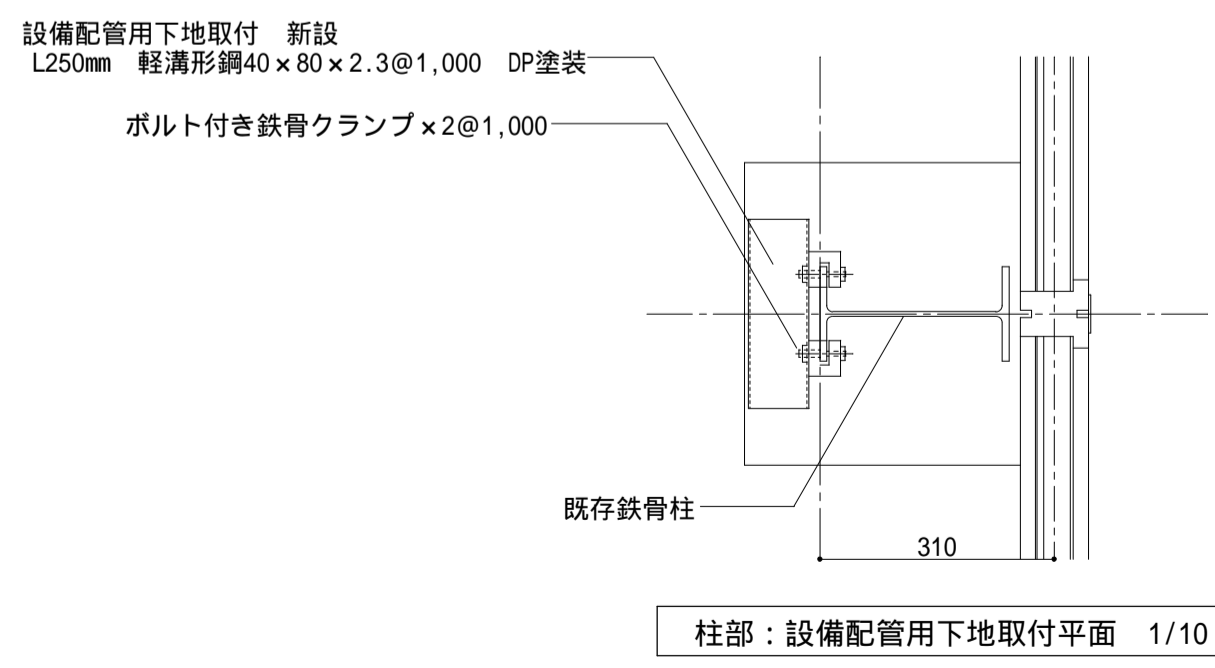


矩計図 (外部：北側) 1/30

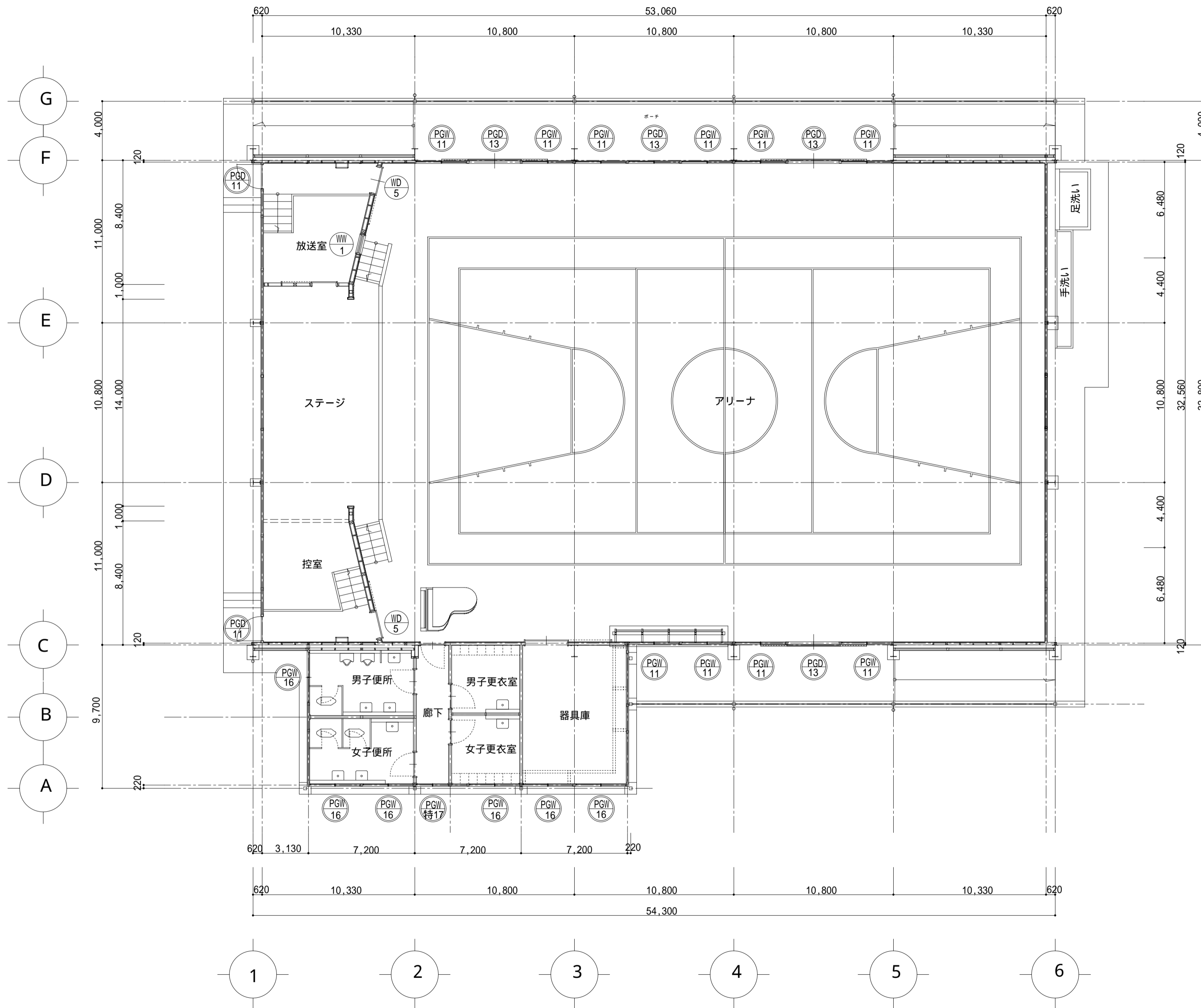
外部仕上 凡例	記号	仕様
屋根・下屋屋根 (棟包、水切共) (鼻隠し、破風共)	A	既存：木毛メタ板 t20、アスファルト-フィング 22kg 敷込の上、長尺片面加-鉄板 t0.4 瓦棒葺、塗膜防水 [鼻隠し、破風] 加-鉄板 t0.4 改修：屋根：水洗い(10~15Mpa)、アクリル系塗膜防水(防錆、遮熱仕様) 改修：下屋屋根：丸ノ清掃・水洗い(10~15Mpa)、アクリル系塗膜防水(防錆、遮熱仕様)
ボ-チ屋根	B	既存：片面加-鉄板 t0.5 丸-フ-ック [裏面] OP塗 改修：下屋屋根：丸ノ清掃・水洗い(10~15Mpa)、錆止め塗装、遮熱塗装
屋根軒裏	C	既存：シバ-ア-イ鋼板 1.2 改修：丸ノ清掃・水洗い(10~15Mpa)、下地調整RB種、低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系遮熱塗料塗(下塗り：プライマー1回、上塗り：2回)
下屋軒裏 ギャラリー下軒裏	D	既存：LGS下地、石綿ケイ加板 t5、VP塗装 改修：下地調整の上、EP塗装
外壁 (ハ 衽部共)	E	既存：[上部] キ-ス-ン鋼板 t0.6 ボ-リスル粉末焼付塗装 [下部] シバ-ア-イ鋼板 1.2 改修：丸ノ清掃・水洗い(10~15Mpa)、下地調整RB種、低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系遮熱塗料塗(下塗り：プライマー1回、上塗り：2回) (ハ 衽・ハ 衽柱・水切共)
巾木	F	既存：珪外刷毛引き 改修：丸ノ清掃・水洗い(10~15Mpa)、下地補修(クラック、浮き処理)、下地調整(C-2)の上、超低汚染水性アクリル樹脂塗料塗
鉄骨柱・鉄骨ブレース ボ-チ手摺	G	既存：下地処理、錆止め塗装の上、タイ-マ-リ-ン イ-ン-ト-塗 桁行側柱(12本)：H-396*199*7*11 妻側柱(2本)：H-250*125*6*9 下屋柱・ボ-チ柱(10本)：-100*100*3.2 ボ-チ屋根水平ブレース：丸鋼 13 塗装 ボ-チ梁B6：-150*100*4.5 ボ-チ梁B7：[-125*65*6] ボ-チ梁B8：-100*100*3.2 ボ-チ手摺：48.6 OP塗 支柱・横棧：34.0@900 OP塗 手摺子：16 @300 OP塗 改修：鉄骨柱・・・下地調整RB種、錆止め塗装の上、遮熱塗料 鉄骨ブレース・・・下地調整の上、錆止め塗装の上、DP塗装(1級)
軒樋・壁樋	H	既存：【本体】[軒樋] 塩ビ角樋150 [壁樋] VU100 [養生管] 鋼管OP塗 H1800 【下屋】[軒樋] 塩ビ角樋120 [壁樋] VU75 [養生管] 鋼管OP塗 H1800 【ボ-チ】[軒樋] 折板用角樋W120・180 [壁樋] VU100 [養生管] 鋼管OP塗 H1800 改修：【共通】[軒樋] 既存のまま [壁樋] 研磨紙すり、プライマー塗の上、フッ樹脂塗装 [養生管・掴み金物] 下地調整RB種の上、錆止め塗装の上、DP塗装(1級)
鋼製建具	I	既存：スチール 焼付塗装 改修：下地調整RB種、錆止め塗装の上、DP塗装(1級)



梁部：設備配管用下地取付断面 1/10

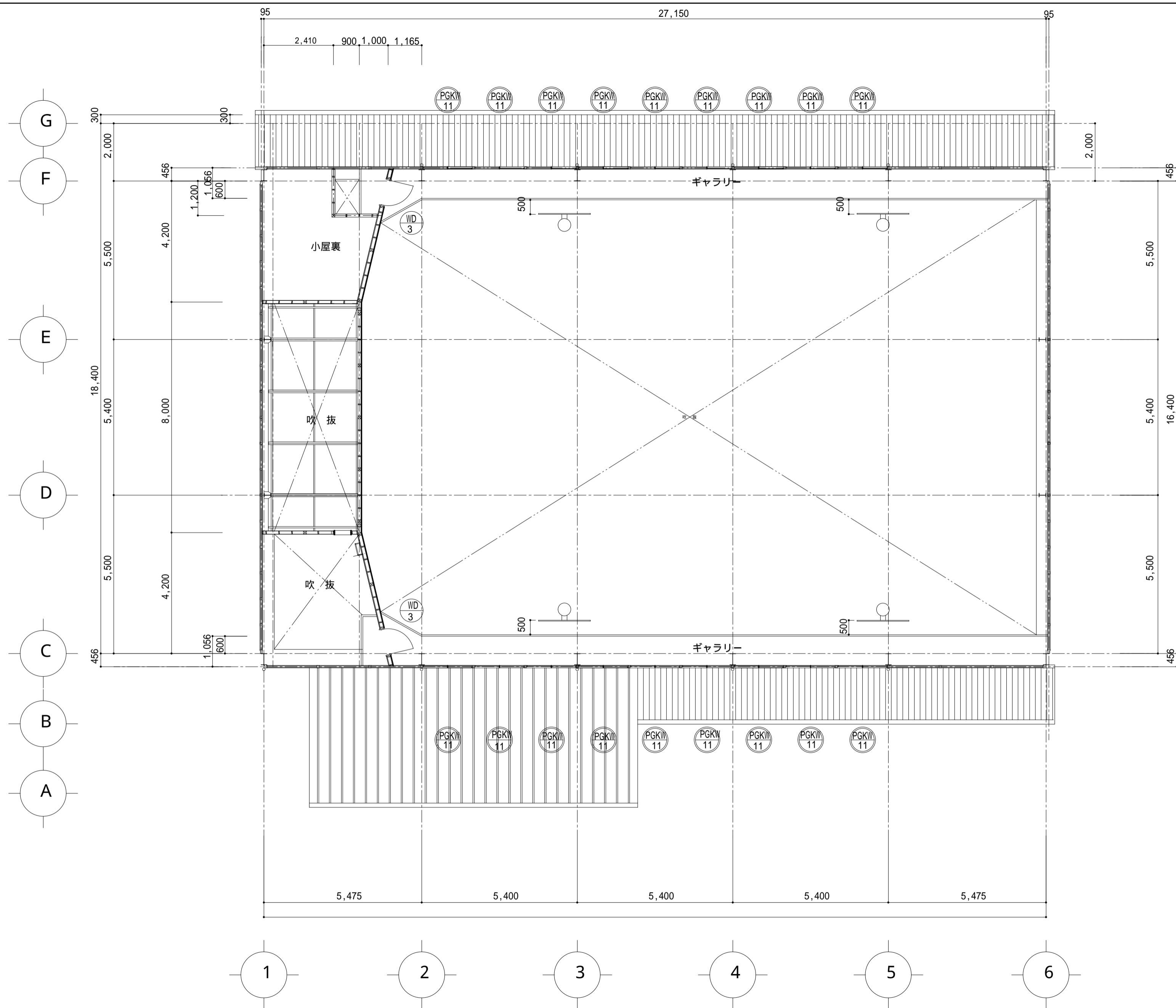


柱部：設備配管用下地取付平面 1/10



1階建具キープラン 1/100

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称	No.
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事 1階建具キープラン	A - 27 縮尺 A2: 1/100 A3: -



2階建具ケーブルラン 1/100

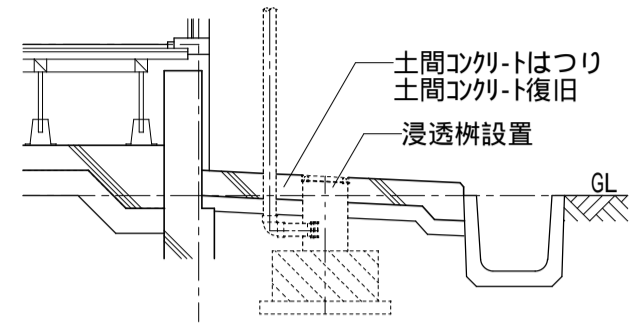
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 2 8
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()	図名 2階建具ケーブルラン	縮尺 A2: 1/100 A3: -

符号	PGD 11 塗装改修		PGD 13 塗装改修					
数量	ステージ側 出入口 2ヶ所		改修	1階アリーナ出入口 4ヶ所		改修		
姿図								
見込	90		90					
形状	片開き戸		両引き戸(外付)					
材種 仕上	スチールドア 鋼製面耐候性塗装(DP) 改修: 下地調整の上、低汚染・超耐久型フッ素樹脂系遮熱塗料塗		スチール 焼き付け仕上 改修: 下地調整の上、低汚染・超耐久型フッ素樹脂系遮熱塗料塗					
硝子	既存	型板強化ガラス 4mm 仕上: 鋼製面耐候性塗料塗り(DP)		透明強化ガラス 5mm 仕上: 鋼製面耐候性塗料塗り(DP)				
	改修							
金物 他	丁番、シリンドー錠、煽止め、アームストッパー シリコンシーリング留め、本締り付モノロック		引手、内掛け金物、戸車 60、面格子 PGT-5 シリコンシーリング留め					
備考								
符号	PGW 11 サッシ・ガラス内外クリーニング		PGW 16 サッシ・ガラス内外クリーニング		PGW 特17 サッシ・ガラス内外クリーニング		PGW 11 サッシ・ガラス内外クリーニング	
数量	1階アリーナ建具 10ヶ所		改修	1階器具庫、女子更衣室、男・女便所 6ヶ所		改修	1階便所前廊下 1ヶ所	
数量	2階ギャラリー 18ヶ所		改修					
姿図								
見込	90		90		90		90	
形状	引違いアルミサッシ		引違いアルミサッシ		引違いアルミサッシ		引違いアルミサッシ	
材種 仕上	アルミ建具(サッシュ枠鋼製部分塗装) スチール 焼き付け仕上 陽極酸化被膜(シルバー艶消)		アルミ建具(サッシュ枠鋼製部分塗装) スチール 焼き付け仕上 陽極酸化被膜(シルバー艶消)		アルミ建具(サッシュ枠鋼製部分塗装) スチール 焼き付け仕上 陽極酸化被膜(シルバー艶消)		アルミ建具(サッシュ枠鋼製部分塗装) スチール 焼き付け仕上 陽極酸化被膜(シルバー艶消)	
硝子	既存	透明強化ガラス 5mm		型板強化ガラス 4mm		型板強化ガラス 4mm		[上部] 型板強化ガラス 4mm [下部] 透明強化ガラス 5mm
	改修							
金物 他	引手、クレセント 面格子 13mm φ100 シリコンシーリング留め		引手、クレセント、面格子 PGT-2 シリコンシーリング留め		引手、クレセント、面格子 PGT-2 シリコンシーリング留め		引手、クレセント、面格子 13mm φ100 シリコンシーリング留め	
備考								
符号	WW 1 既存のまま				WD 3 既存のまま		WD 5 既存のまま	
数量	放送室FIX窓 1		改修	2階歩廊入口戸 2ヶ所		-	放送室・控室 入口戸 2ヶ所	
数量								
姿図								
見込					36		36	
形状	FIX窓				片開きフラッシュ戸		木製片引き戸	
材種 仕上					両面メラミン化粧合板貼		両面メラミン化粧合板貼	
硝子	既存	透明強化ガラス 5mm				不透過パネル		不透過パネル
	改修					建具・枠 仕上: 合成樹脂調合塗料塗り(SOP)		木部仕上: 合成樹脂調合塗料塗り(SOP)
金物 他	面格子 13mm φ100				引手、モノロック錠、アームストッパー		引手、レール、戸車、面格子、OP 放送室側のみシリンドー錠	
備考							不透過パネル アルボリ3mm	

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣()	構造設計 一級建築士登録 交付番号()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A-29
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣()	図名 建具リスト	縮尺 A2: - A3: -

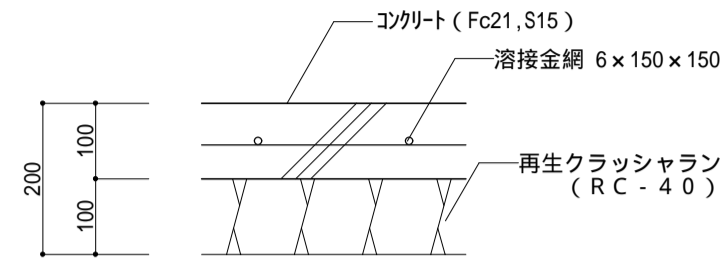
浸透枳設置（土間コンクリートはつり・復旧）

1/30



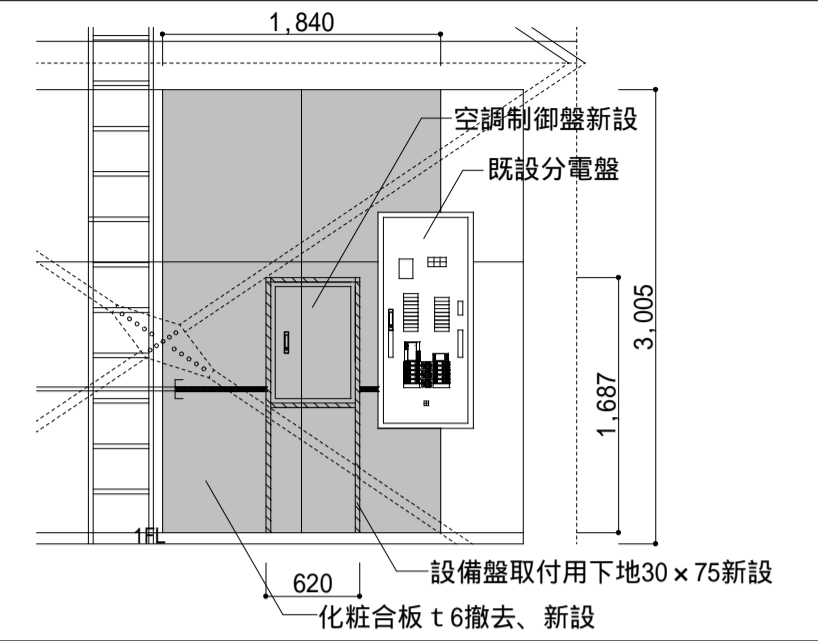
土間コンクリート

1/10



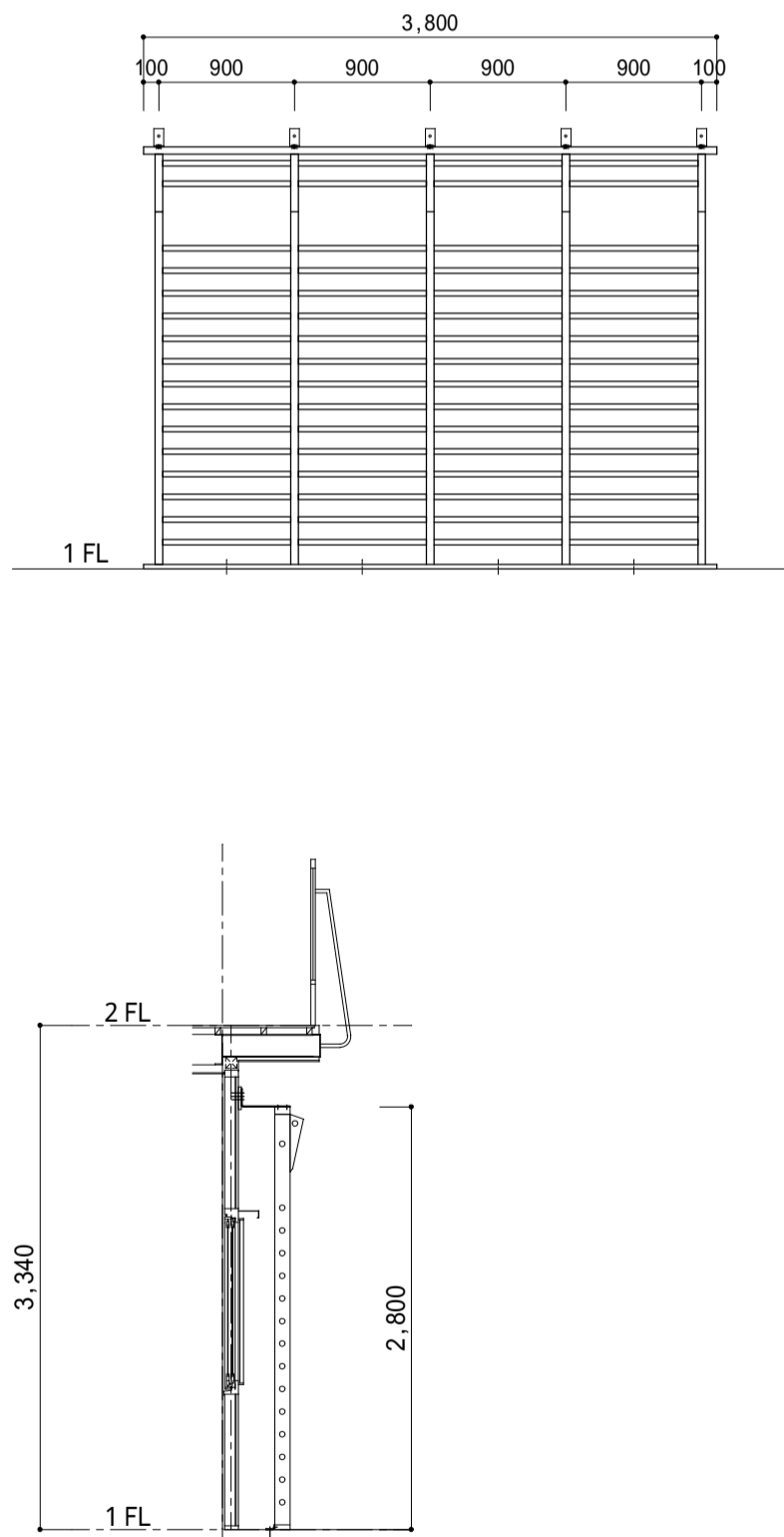
電気設備盤取付部分下地補強

1/50



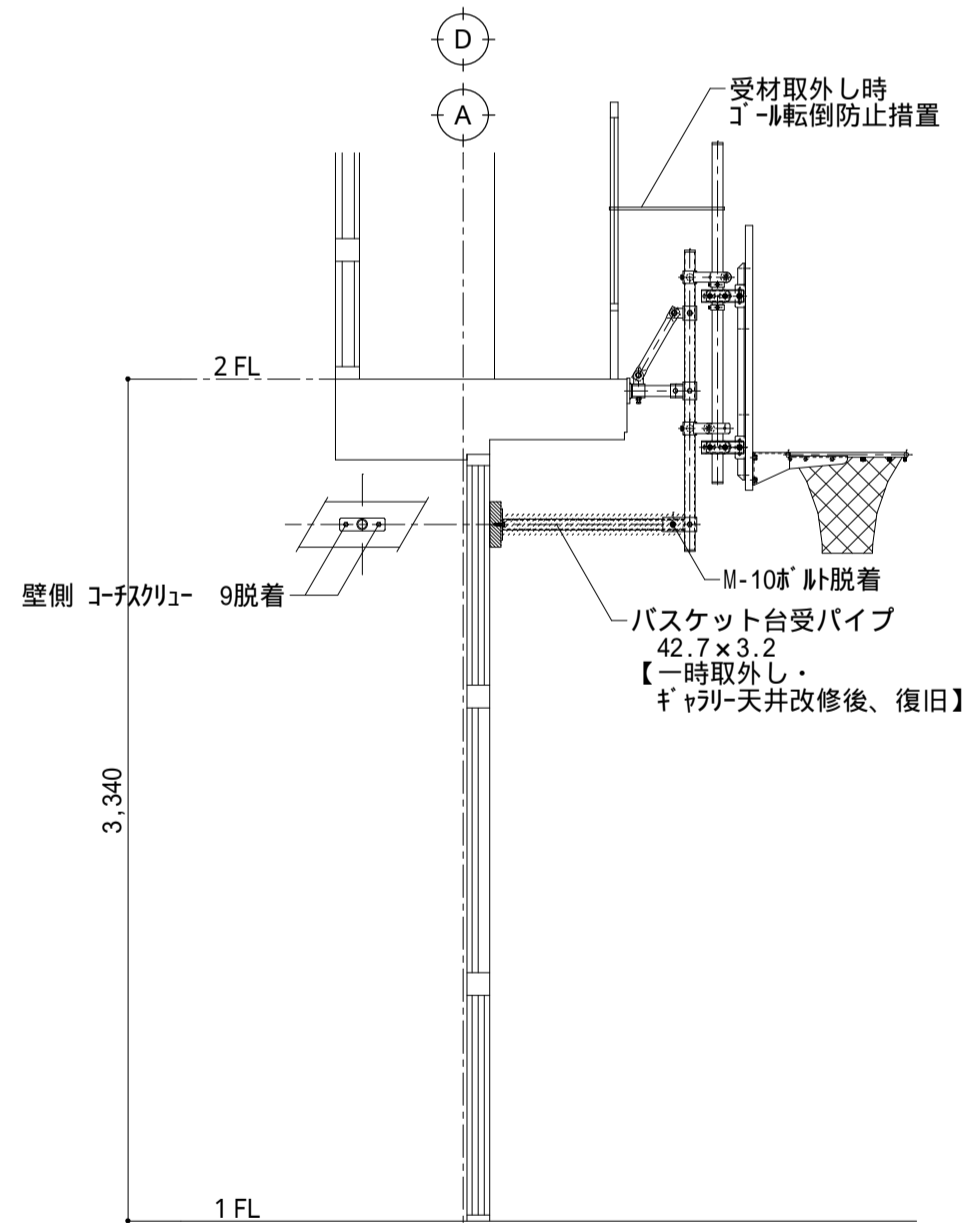
参考図 肋木【撤去】

1/50



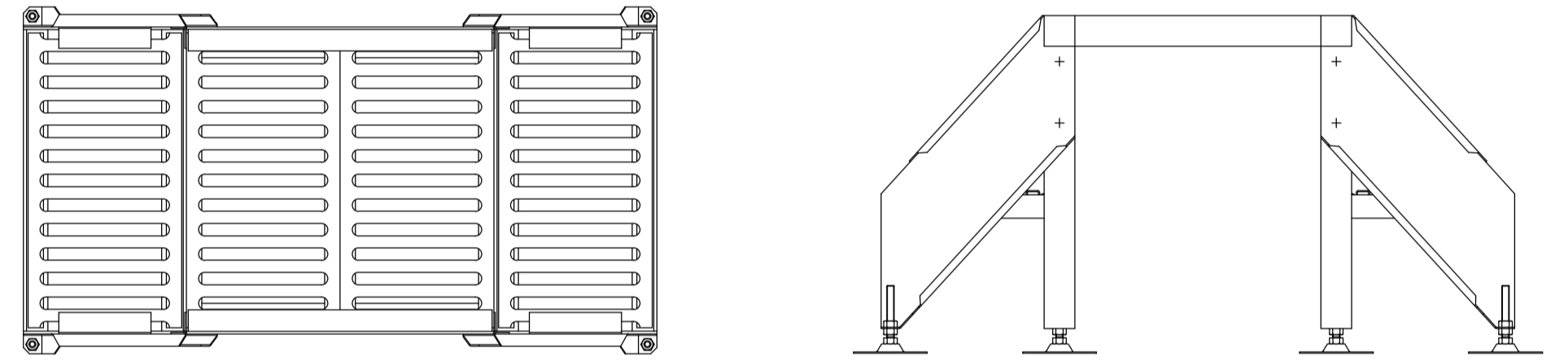
バスケットゴール詳細図

1/30



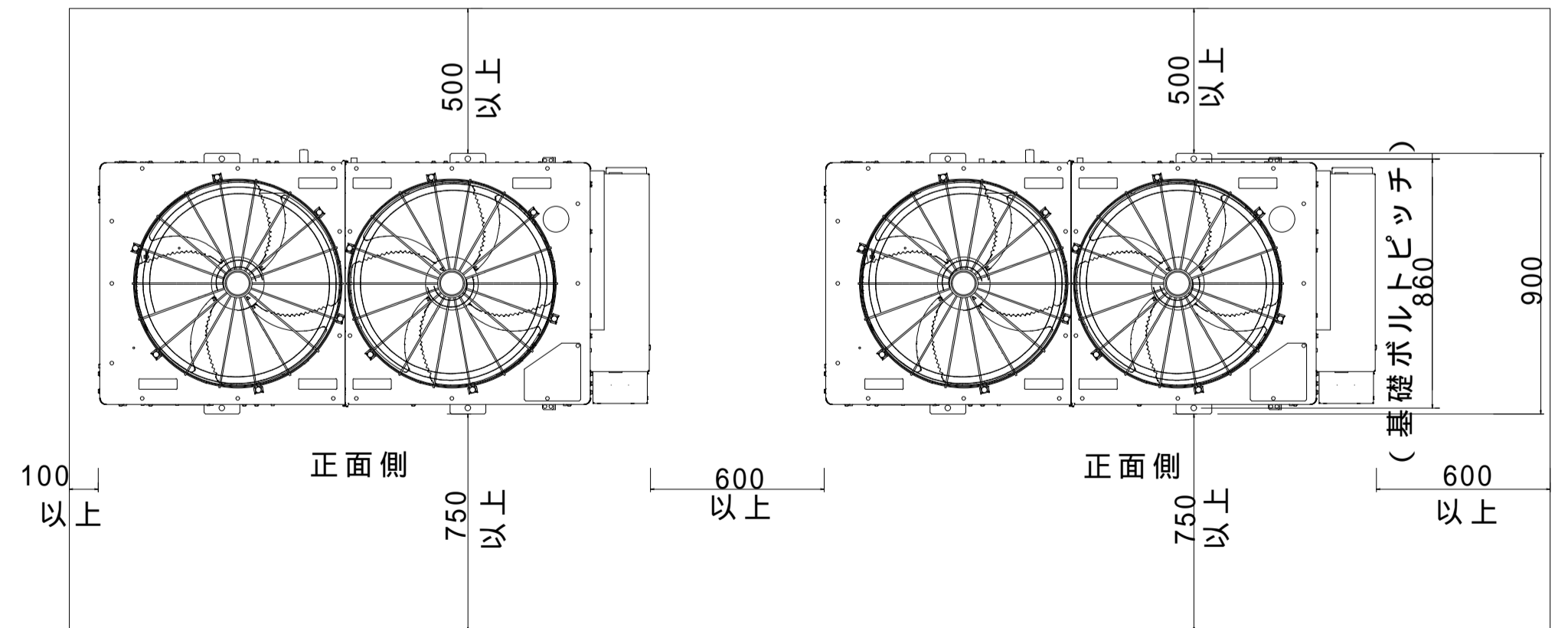
設備配管用ステップ

1/15



室外機メンテナンススペース

1/20



株式会社 丸山建築事務所
一級建築士事務所登録第139号

板橋 晶一
一級建築士登録 第213806号

構造設計

一級建築士登録
大臣 ()

構造設計
一級建築士登録
交付番号 ()

名称
笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事

No.
A-30

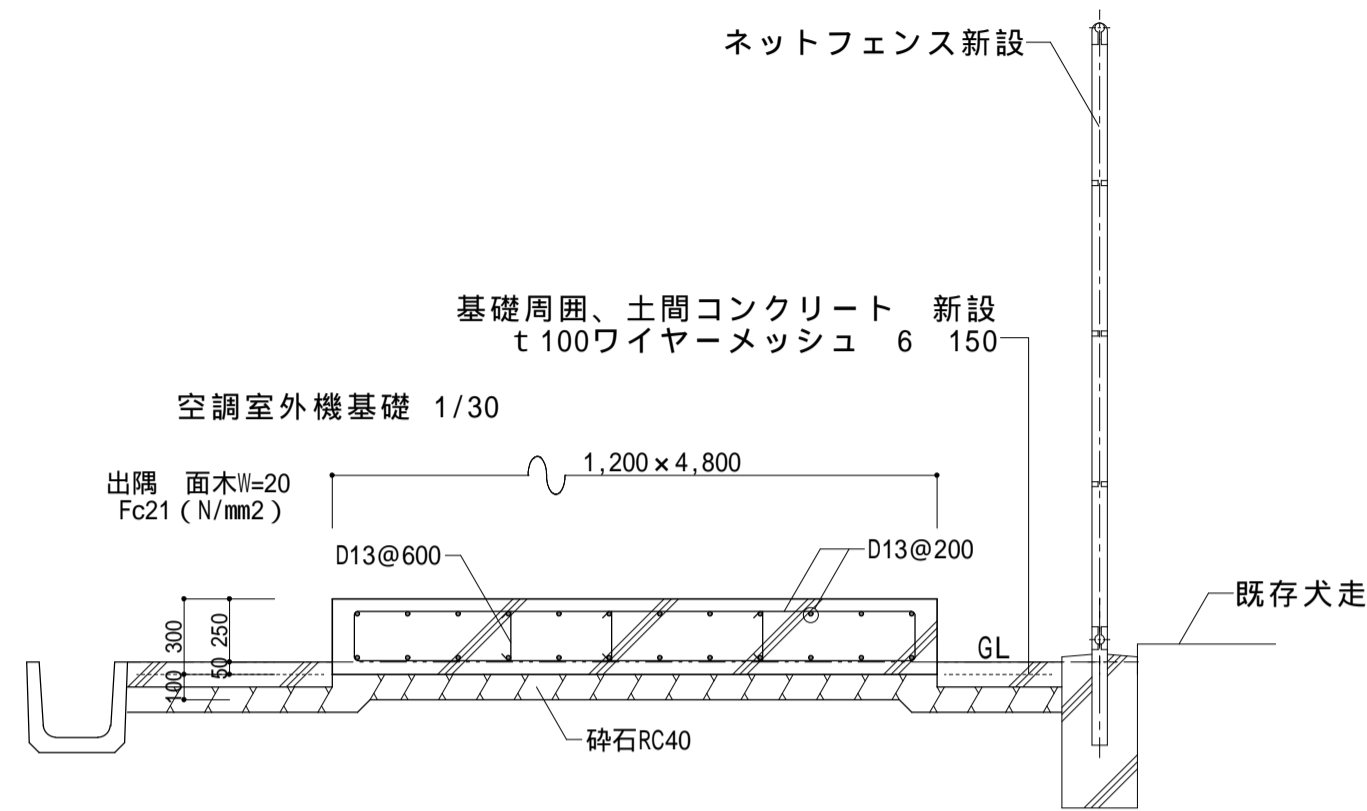
構造/設備関係規定
への法適合を確認した

一級建築士登録
大臣 ()

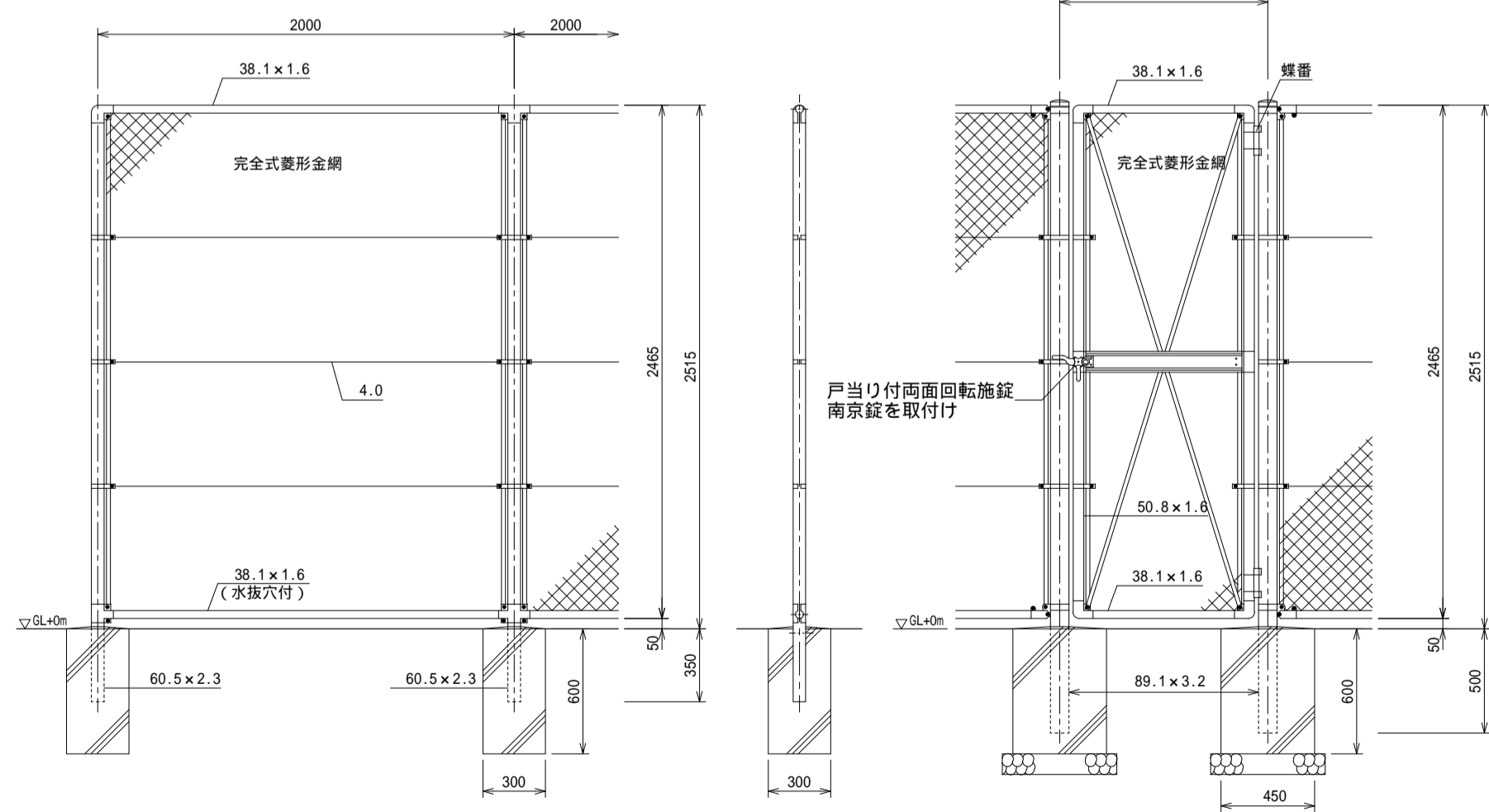
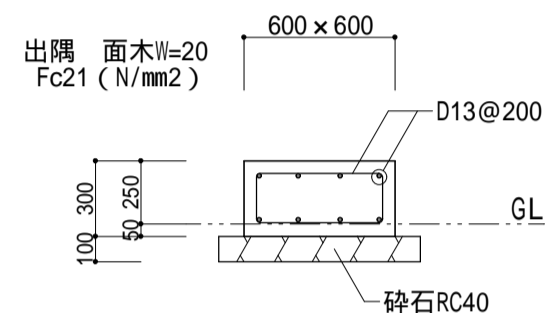
構造設計/設備設計
一級建築士登録
交付番号 ()

図名
部分詳細図(1)

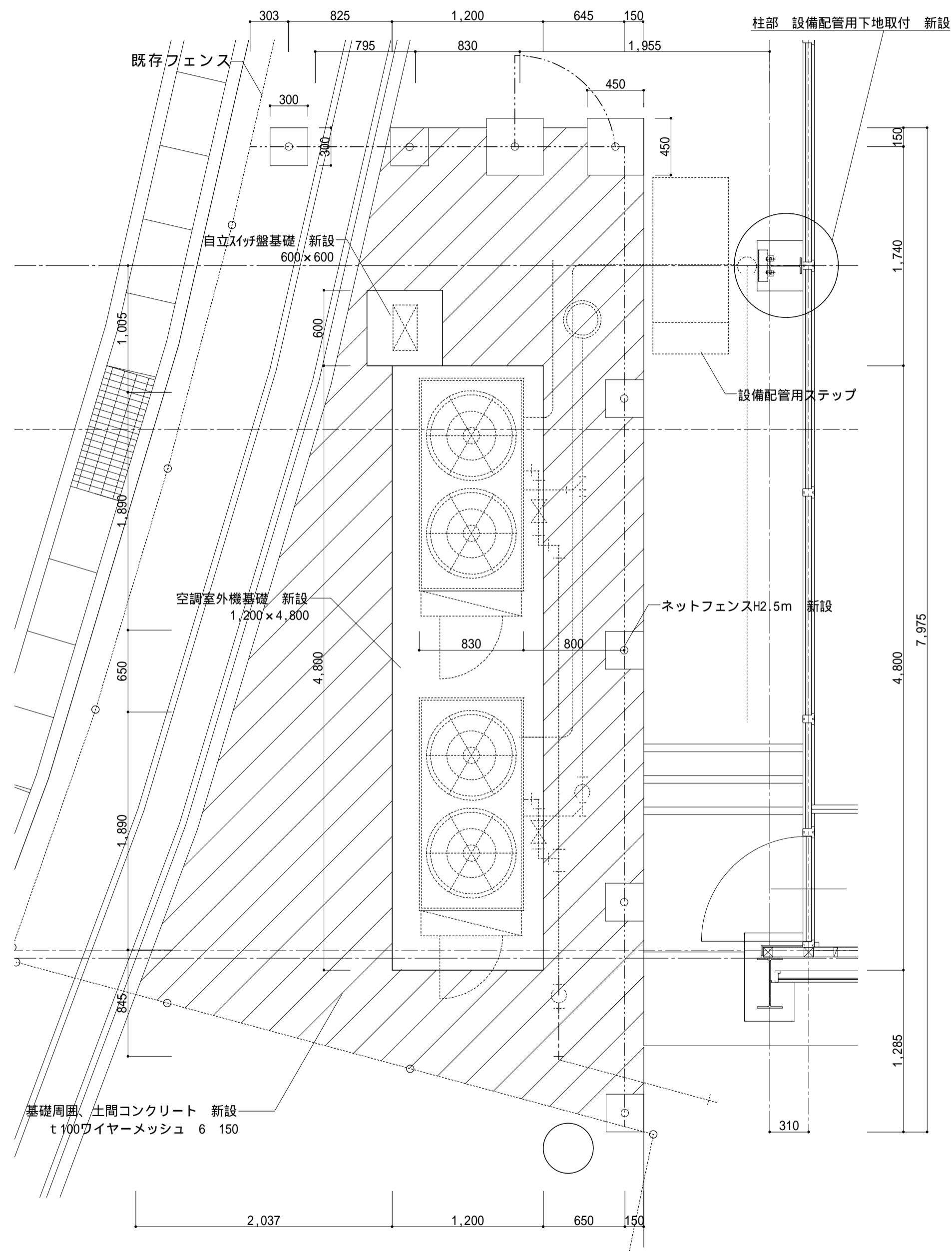
縮尺
A2: 図示
A3: -



機械基礎詳細図 1/30

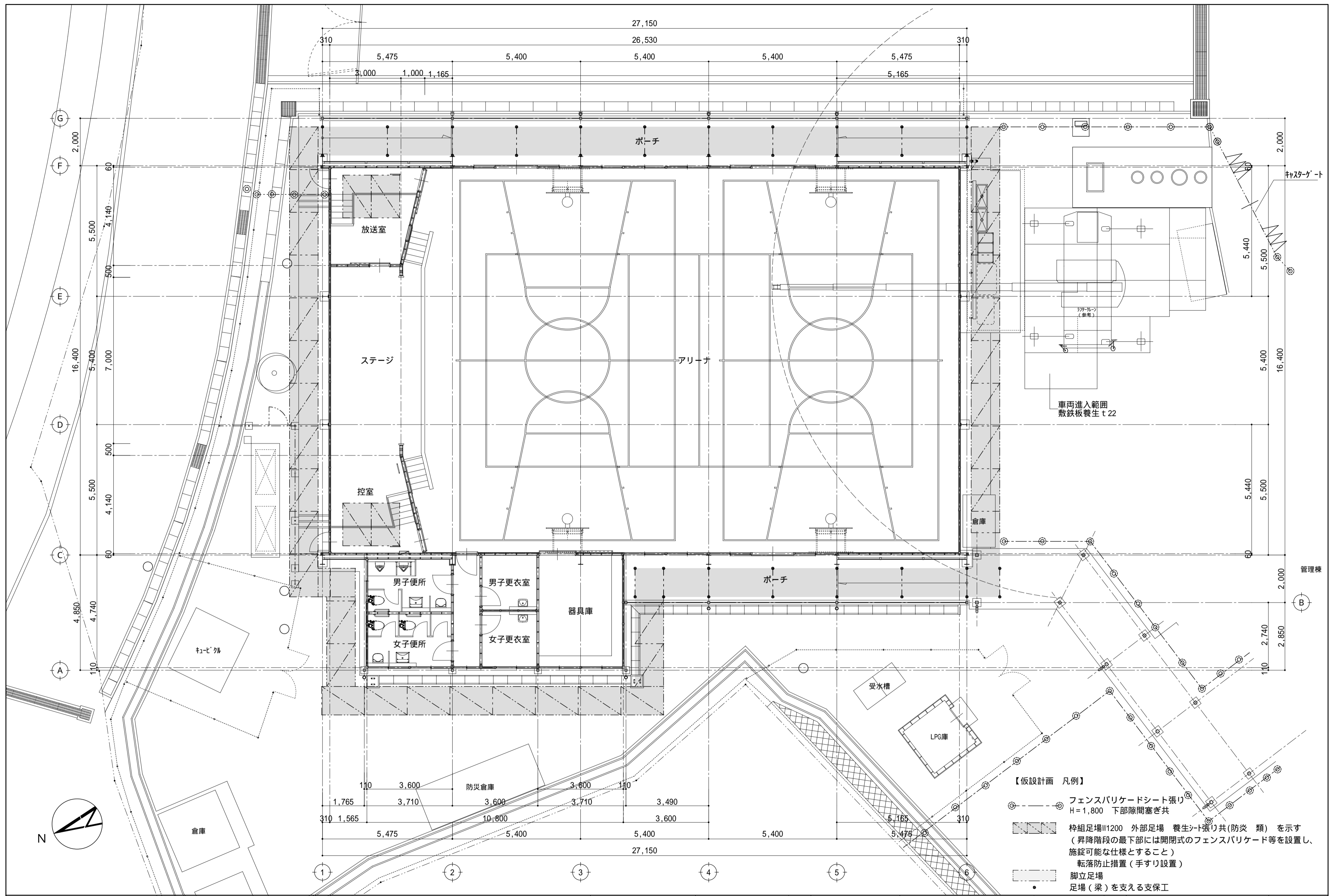


朝日スチール工業㈱ PCフェンス A型 又は同等品
(ビニル被覆亜鉛めっき鉄線 金網規格: 3.2 x 40)



室外機の設置位置については、メンテナンススペース (A-30図) を参照とし、監督職員と協議の上決定する。

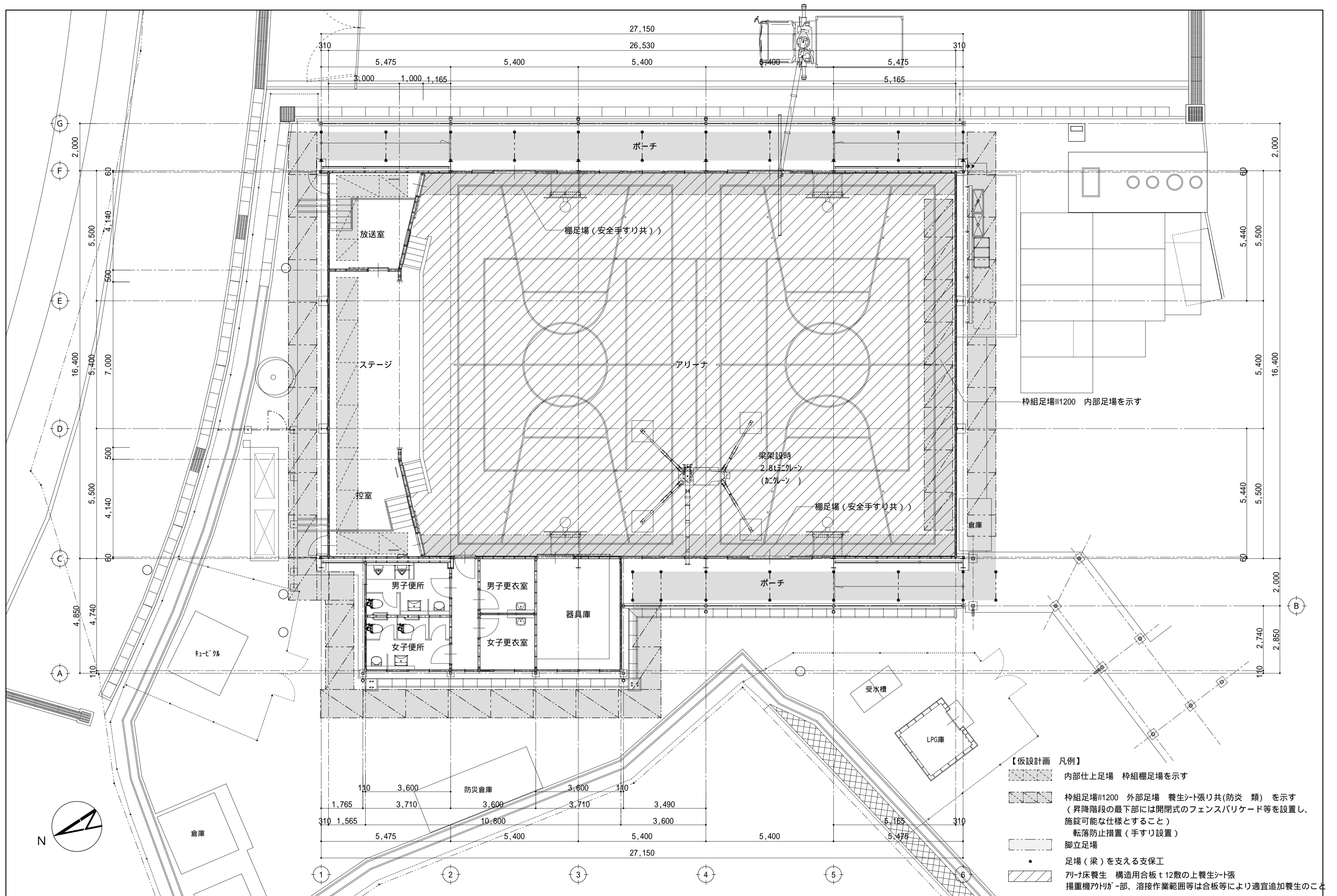
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 3 1
		構造/設備関係規定 への適合を確認した 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 部分詳細図 (2)	縮尺 A2: 図示 A3: -



- 【仮設計画 凡例】**
- ⊙ --- ⊙ フェンスバリケードシート張り
H=1,800 下部隙間塞ぎ共
 - ▨ 枠組足場W1200 外部足場 養生シート張り共(防災 類)を示す
(昇降階段の最下部には開閉式のフェンスバリケード等を設置し、
施錠可能な仕様とすること)
 - 転落防止措置(手すり設置)
 - 脚立足場
 - 足場(梁)を支える支保工

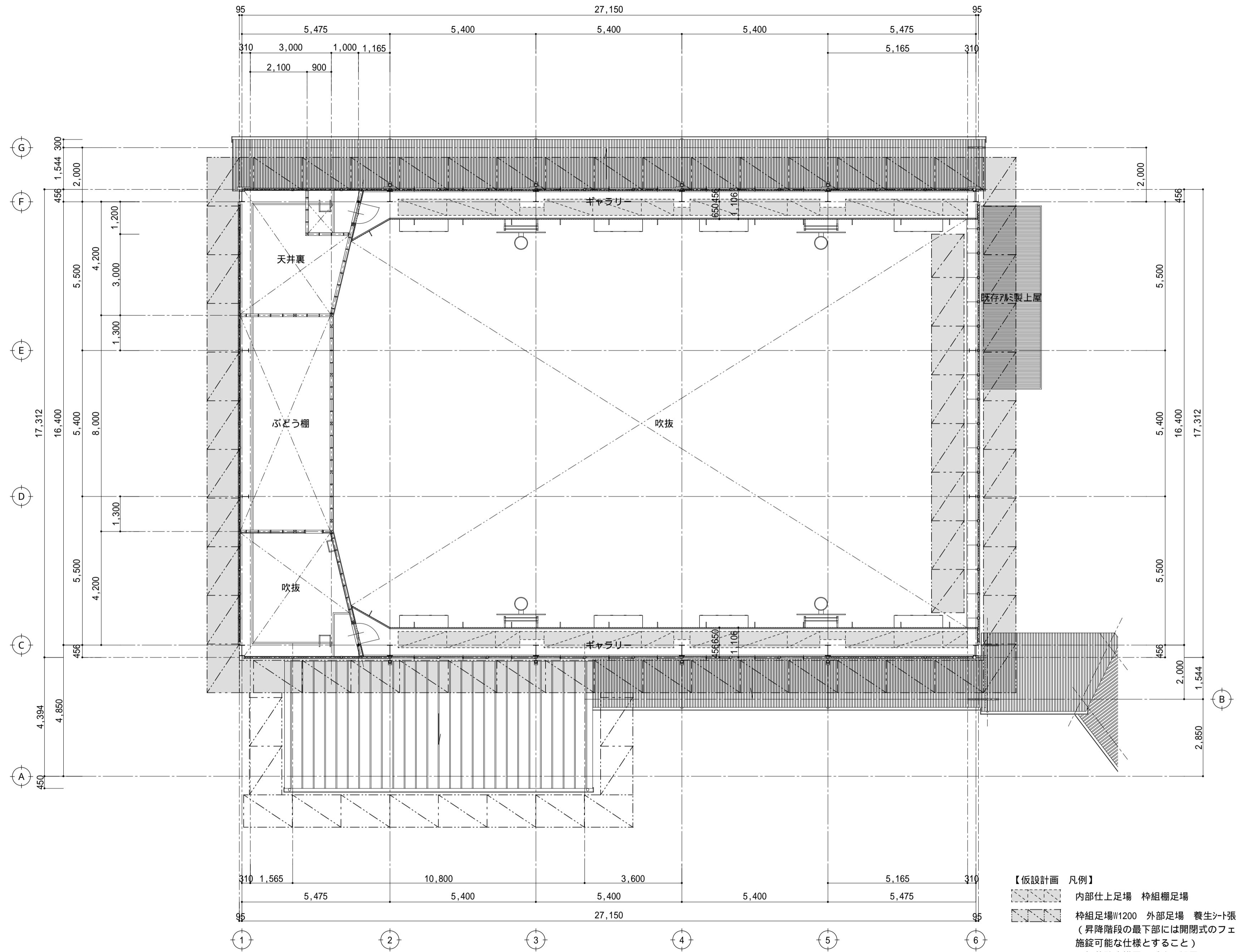


株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 3 2
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()	図名 (参考図) 仮設計画 1階平面図(外部)	縮尺 A2: 1/100 A3: -



- 【仮設計画 凡例】
- 内部仕上足場 枠組棚足場を示す
 - 枠組足場W1200 外部足場 養生シート張り共(防災 類) を示す
(昇降階段の最下部には開閉式のフェンスバリケード等を設置し、
施錠可能な仕様とすること)
 - 転落防止措置(手すり設置)
 - 脚立足場
 - 足場(梁)を支える支保工
 - アリーナ床養生 構造用合板 t12敷の上養生シート張
揚重機アトリカ一部、溶接作業範囲等は合板等により適宜追加養生のこと

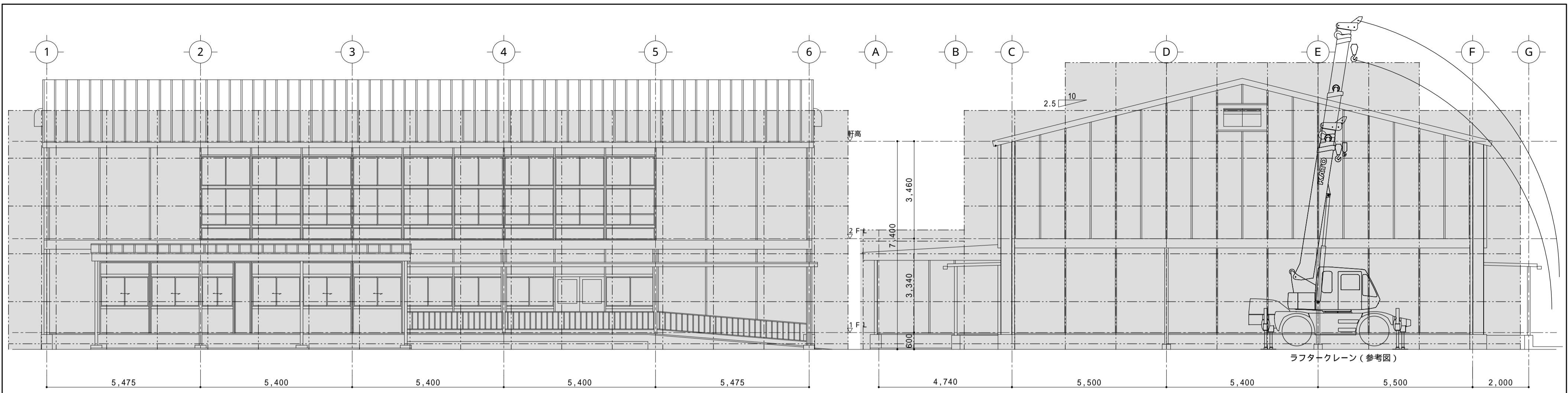
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A-33
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()	図名 (参考図) 仮設計画 1階平面図(内部)	縮尺 A2: 1/100 A3: -



改修 2階平面図 1/100

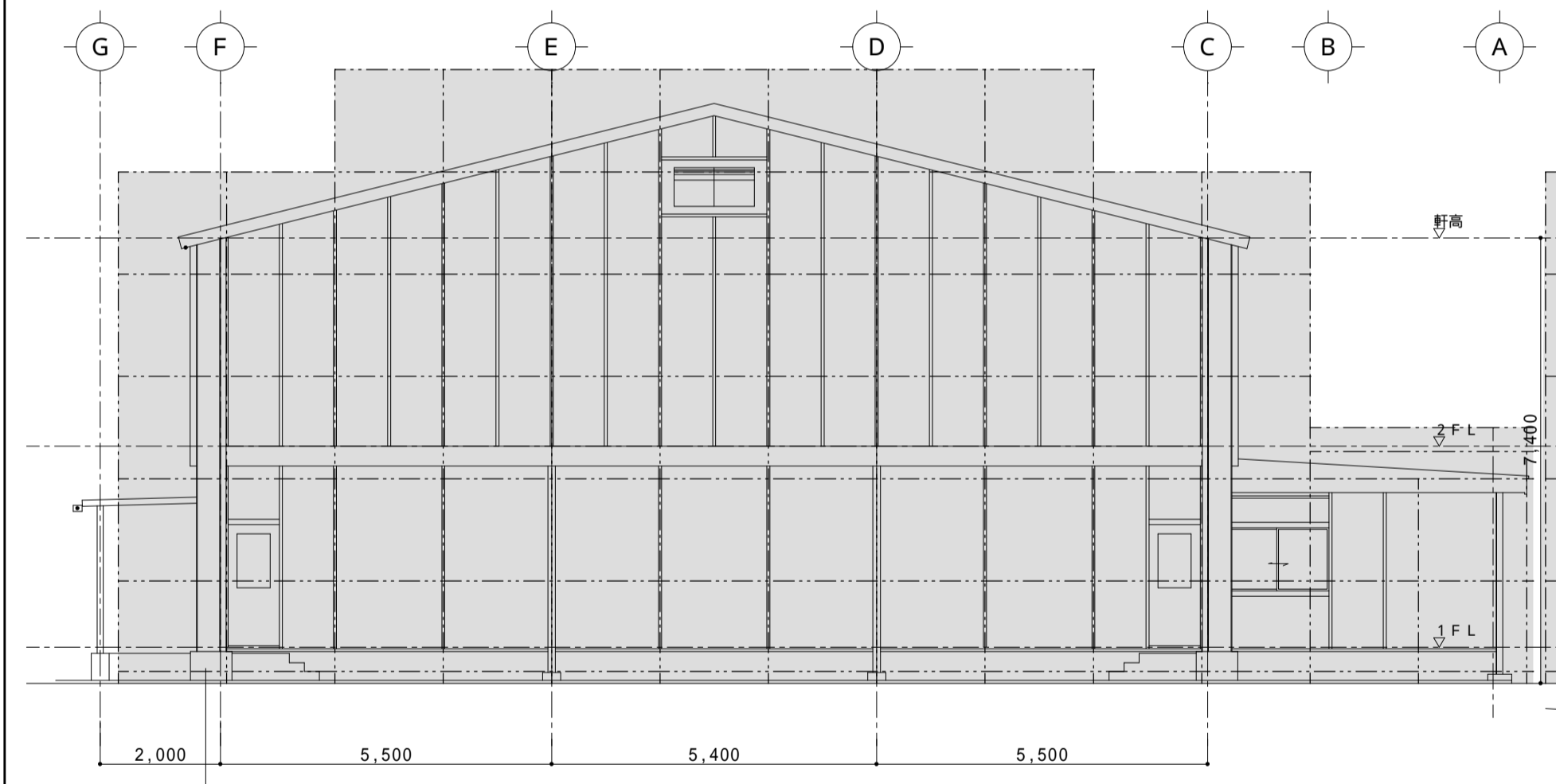
- 【仮設計画 凡例】
- 内部仕上足場 枠組棚足場
 - 枠組足場W1200 外部足場 養生シート張り共(防炎 類) を示す
(昇降階段の最下部には開閉式のフェンスバリケード等を設置し、
施錠可能な仕様とすること)
転落防止措置(手すり設置)

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 3 4
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 (参考図) 仮設計画 2階平面図 (外部・内部)	縮尺 A2: 1/100 A3: .

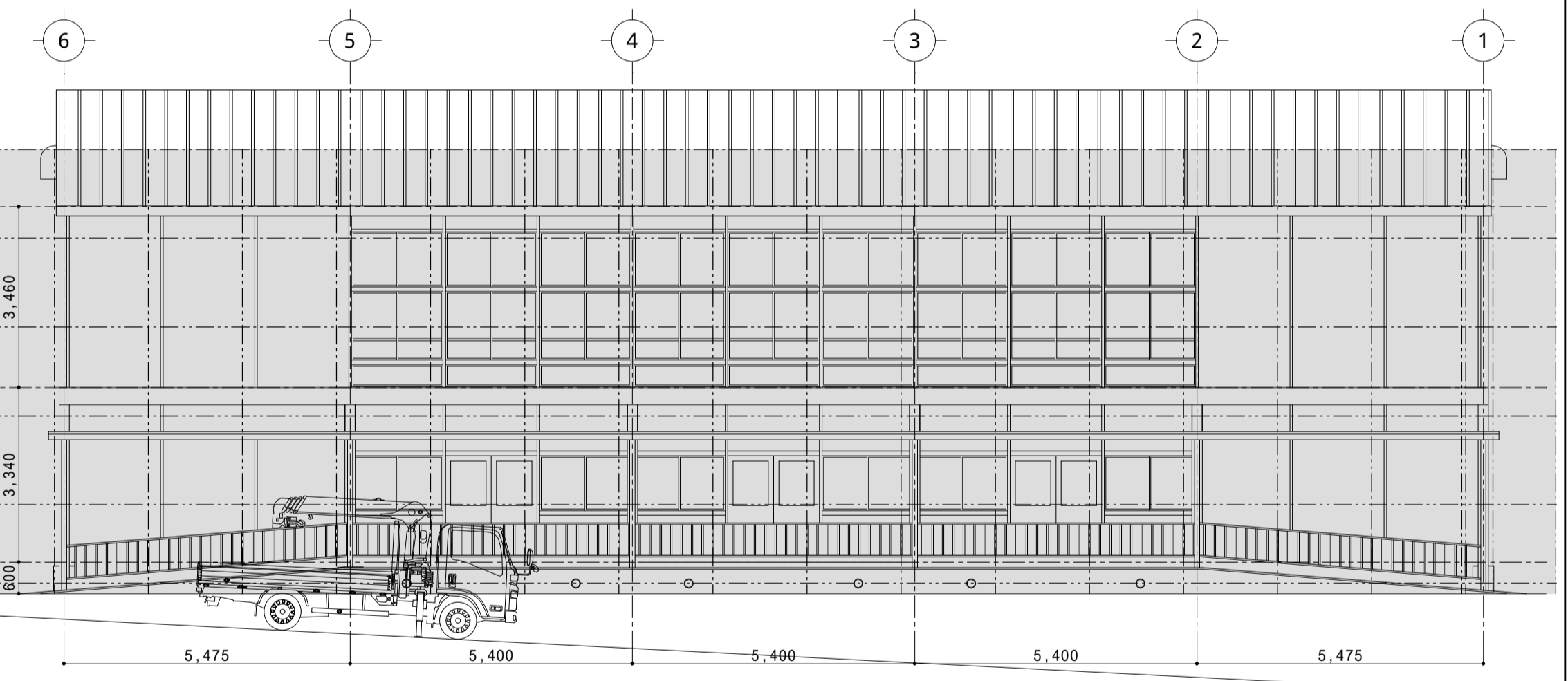


西立面図 1/100


南立面図 1/100

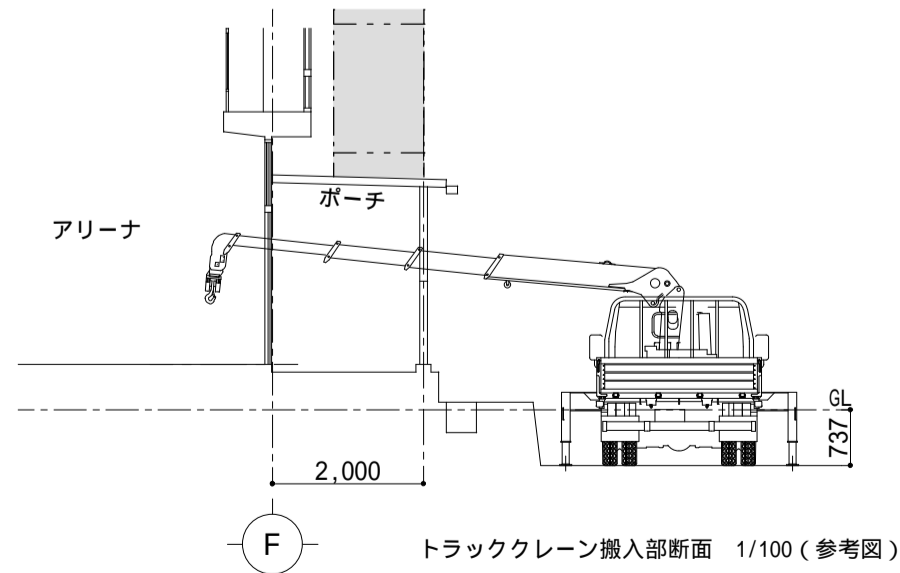


北立面図 1/100



東立面図 1/100

凡例
 枠組足場W1200 外部足場 養生シート張り共(防災 類) を示す
 (昇降階段の最下部には開閉式のフェンスバリケード等を設置し、
 施錠可能な仕様とすること)
 転落防止措置(手すり設置)



株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 3 5
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()	図名 (参考図) 仮設計画 立面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -

電気設備工事特記仕様書－1

【工事概要】

- 1 工事場所：宇治市西笠取石原 2 2
2 建物概要

Table with columns: 建物名, 構造, 階数, 延床面積(m²), 消防法令別表第一 耐震安全性の分類, 備考. Includes classification codes like 甲乙, 甲乙乙, etc.

3 工事科目 印をついたものを適用し、各一式とする。

Table with columns: 工事科目, 建物名称, 体育館. Lists various electrical and mechanical equipment items.

【特記事項】

- 1 一般事項
1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」...
2) 工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。

Main specification table with columns: 章, 項目, 特記事項. Contains detailed technical requirements for equipment, materials, and construction methods.

Main specification table with columns: 章, 項目, 特記事項. Contains detailed technical requirements for equipment, materials, and construction methods.

Main specification table with columns: 章, 項目, 特記事項. Contains detailed technical requirements for equipment, materials, and construction methods.

Summary table with columns: 名称, No., 図名, 編尺. Includes project name '空取小学校体育館空調設置ほか改修工事' and drawing name '電気設備工事特記仕様書 1'.

電気設備工事特記仕様書－2

章	項目	特記事項	
電力貯蔵設備	工事範囲	配管 配線 機器取付	
	直流電源装置	用途 建築基準法用 消防法用 受変電設備専用 その他 過放電防止保護装置（直流不足電圧継電器）の設定電圧は、90Vとする。	
	交流無停電電源装置（UPS）	用途（一般形 簡易形） 方式	
	工事範囲	配管 配線 機器取付	
	形式	オープン形 簡易形 キュービクル	
	連続運転可能時間	10時間（乙） 7.2時間（甲）	
	発電機	電気方式 三相3線式 電圧 210V 6.6kV 415V 定格出力 kVA以上 力率 0.8	
	原動機	種別 ガスタービン ディーゼル機関 ガスエンジン マイクロガスタービン 燃料電池 コージェネレーション kW（PS）以上	
	定格出力	電気式 空気式 冷却方式 ラジエーター式 水循環式 現地負荷試験 行う 行わない	
	燃料	種類 重油 軽油 灯油 ガス（ ） 燃料小出槽 主燃料槽	
監視方式	監視方式	警報盤による代表監視 中央監視盤による監視	
	太陽光発電装置	太陽電池 アレイ 公称最大出力 kW以上 設置可能建築面積 m ² 以下（長辺 m×短辺 m） 系統連系 受動 能動 パワーコンディショナ出力 相 線式 V kW以上 逆潮流 有 無 交流出力電圧 100V 200V 出力電気方式 三相3線式 単相3線式 単相2線式	
	外部移報	有 無	
	通信設備	工事範囲	配管 配線 既設品取外し・再取付
		施工方法	金属管配線 ケーブル配線
	構内交換設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
		保安器用接地	本工事 別途工事
	形式	電子交換機 ボタン電話装置	
		工事種類	マルチサイン装置 出退表示設備 時刻表示設備
	情報表示設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
親時計及び付属装置		CR-PM CW-PM プログラムタイマ（カード式 キー式）	
子時計		特記なきものは SWA\$3\$3-G\$P\$B\$2	
映像音響設備	工事範囲	配管 配線 機器取付	
	施工方法	金属管配線 ケーブル配線 合成樹脂管配線	
拡声設備	工事範囲	配管 配線 既設品取外し・再取付	
	増幅器	用途 全館放送用（一般放送 非常放送） ローカル放送用 自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。	
	スピーカ	特記なきものは SC6H1-1V3-M 撤去品再取付	
誘導支援設備	工事範囲	配管 配線 既設品取外し・再取付	
	工事内容	音声誘導装置 検出方式（磁気式 無線式 画像認識） インターホン 電話式 相互式 テレビインターホン トイレ等呼出し装置 1窓 3窓 5窓 呼出しボタン 壁付ボタン（プルスイッチの長さは0.2m程度とする） 壁付押しボタン（押しボタンの長さは1.2m程度とする） 通話機能 受付呼出し装置 誘導音	
	工事範囲	配管 配線 機器取付	
	アンテナ	UHF用 BS用 CS用 AM用 FM用 CATV	
	アンテナマスト	壁面取付形 自立形 配管用ステンレス鋼管 一般構造用炭素鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ） 圧力配管用炭素鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ）	
	電界強度測定	電界強度及び電界は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。	

章	項目	特記事項
監視カメラ	工事範囲	配管 配線 機器取付
	画像	カラー 白黒
	伝送方式	ネットワーク伝送方式 デジタル同軸伝送方式 ○
管制設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	車両検出方式	ループコイル方式 光線方式
防犯・入退室管理設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	工事種類	機械警備用配管 緊急通報設備用配管 防犯装置 入退室管理制御装置
火災報知設備	自動火災報知装置	工事範囲 配管 配線 既設品取外し・再取付
	受信機	形 級 回線 壁掛形 自立形 単独形 複合形 耐受信機 窓 盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。
	光警報装置	消火栓箱内押ボタン 発信機と連動（総合盤に始動表示灯を設ける。）
	機器収容箱	消火栓一体形 単独形
	自動閉鎖装置	工事範囲 配管 配線 機器取付 連動制御器 回線 【予備電源（蓄電池）内蔵】 単独 自火報受信機と一体
	自動閉鎖装置	防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】 防煙ダンパ用 【別途工事 瞬時通電式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復帰機構（電動式）DC24V 0.7A以下】 防火シャッター用 【別途工事 DC24V 0.6A以下】
	非常警報装置	工事範囲 配管 配線 機器取付 電気方式 DC24V 電源装置 非常電源（蓄電池） 自動火災報知設備と兼用
	ガス漏れ火災警報装置	工事範囲 配管 配線 機器取付 受信機 単独形 自火報受信機と一体
	ガスの種類	都市ガス（13A） 液化石油ガス
	諸警報表示	受信機に諸警報表示窓（窓）を設ける。
中央監視制御設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	監視方式	警報盤 監視制御装置
医療関係設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	非接地電源用分電盤	キャビネット 鋼製 ステンレス製
	ナースコール装置	トイレ及び浴室等の呼出しボタン オプション等の試験は、監督職員の指示による。
構内配線	工事範囲	配管 配線 機器取付
	電気方式	高圧 三相3線式 6kV 三相3線式 200V 単相3線式 100/200V 単2線式（100V 200V）
	ふ設方式	地中線 管路式 波付硬質合成樹脂管（FEP） ポリエチレン被覆管（PLP） 埋設深さ 特記なきものはGL（舗装がある場合は、舗装下面）から300mm以上とする。
	架空線	電柱 遠心力プレストレストコンクリートポール
	区分閉閉器	高圧負荷閉閉器 7.2kV 300A
	用途	架空引込用 地中引込用
	構	耐中埋じん用 耐重埋じん用
	形式	引外し装置付き（SOG形） 引外し装置なし 避雷器内蔵 制御電源用変圧器内蔵
	マンホール及びハンドホール	構造・寸法 標準図による 図示による。 蓋の文字 蓋の用途表示は電力とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。 屋外に使用する高圧ケーブルはEM・高圧架構ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架構ポリエチレンケーブル（3層押出型）」に（よる ○よらない） 高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。
	余長	高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。
端子、高圧ケーブル端未処理	一般用 耐塩用 重耐塩用	
避雷器	屋外形 耐塩形	
装柱材	一般用 耐塩形	
外灯	基礎 本工事 別途工事 外灯ホルの材質が鋼製（SPC）の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。	
構内通信線路	工事範囲	配管 配線 機器取付
	ふ設方式	地中線 管路式 波付硬質合成樹脂管（FEP） ポリエチレン被覆管（PLP） 埋設深さ 特記なきものはGL（舗装がある場合は、舗装（表層）下面）から300mm以上とする。 架空線 電柱 遠心力プレストレストコンクリートポール
マンホール及びハンドホール	構造・寸法 標準図による 図示による。 蓋の文字 蓋の用途表示は通信とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。	

章	項目	特記事項
調査	調査範囲	測定のみ 対策工事実施設計書作成まで
	測定時期	工事前 工事中 完成後
	測定箇所	箇所
	測定内容	受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。

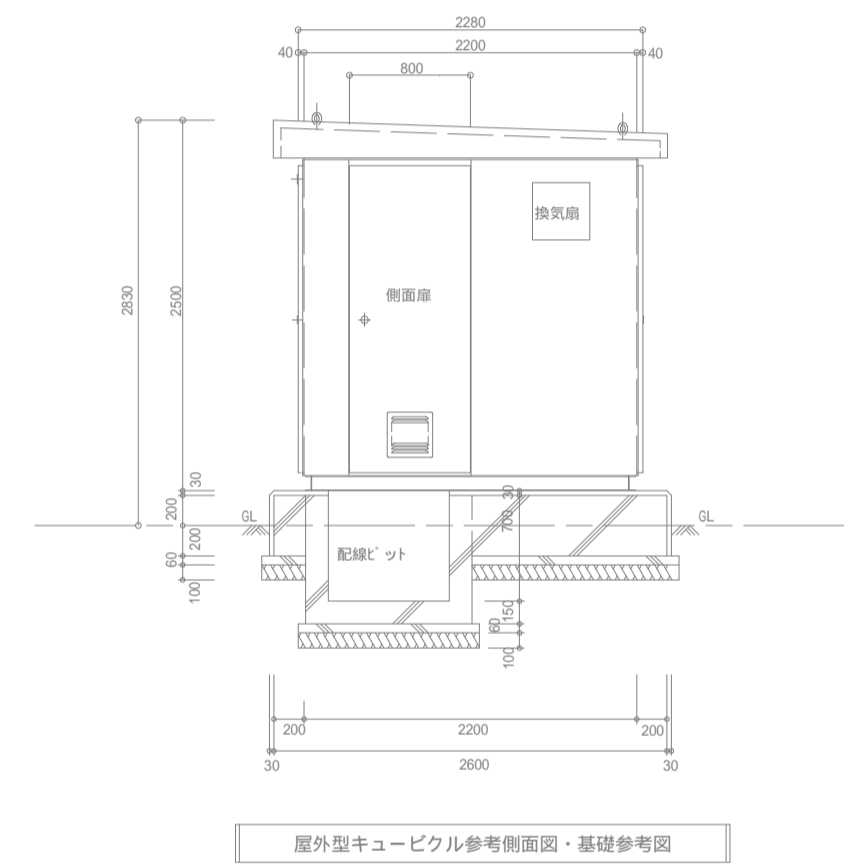
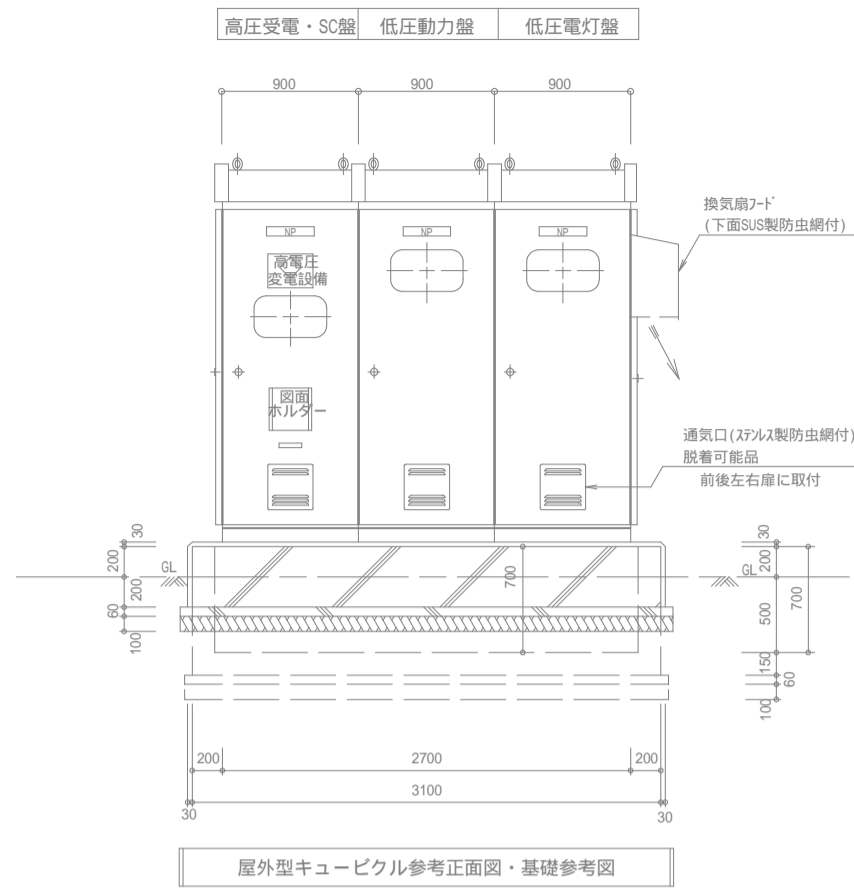
別表	付属品・予備品
イーザーキャビネット	箱 キーボックス テスター マンホールフック
工具箱（ドライバー、モンキーレンチ、組スパナ、ハンマー）	
受変電設備・盤	ランプ及びヒューズの予備品は、2.0%とする。

試験・検査一覧
工事完成に際しては、各種試験、検査に合格の責任を持つ。
検査及び試験を行うべき機材等は標準仕様書による他下記の項目とする。
受変電機器 動力盤及び電灯盤 耐圧試験 絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 機器機能試験 その他監督職員の指示するもの
工事着手に際し、事前に必要な機器（照明機器、空調機器、放送設備等）の機能確認を行い、確認結果報告書を提出する。
工事着工前に既設照明器具で床面照度を測定し、完成後の照度と比較する。（照度測定箇所は監督職員の指示する箇所とする。）
工事完成後、空調室外機の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
着工前・工事完成後、放送機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
後施工アンカ-の施工確認試験（引張試験機による引張試験）は、1日の施工本数の3%以上かつ3本以上とする。
例 盤・ケ-ブルラック・ケ-ブルダクト等

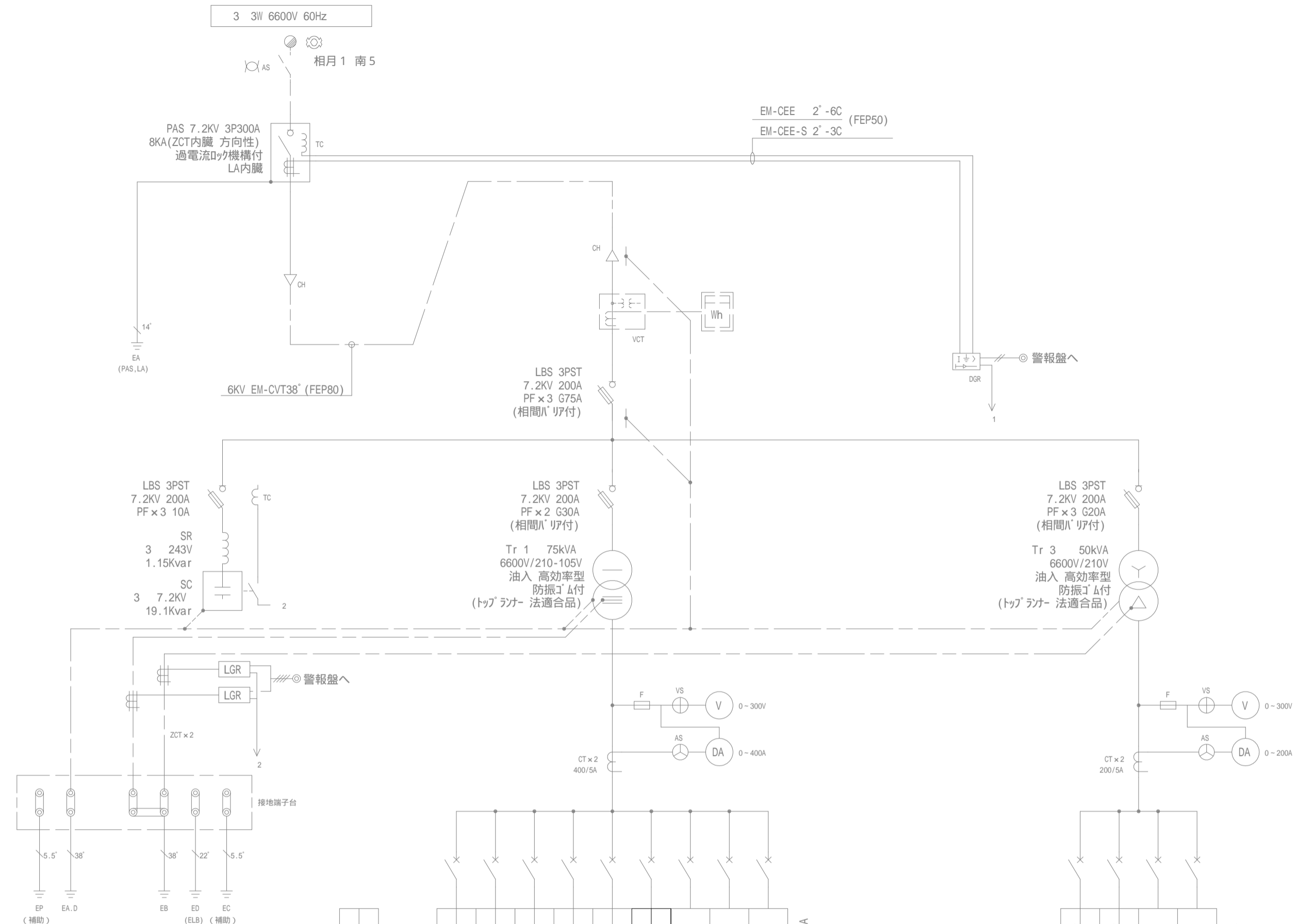
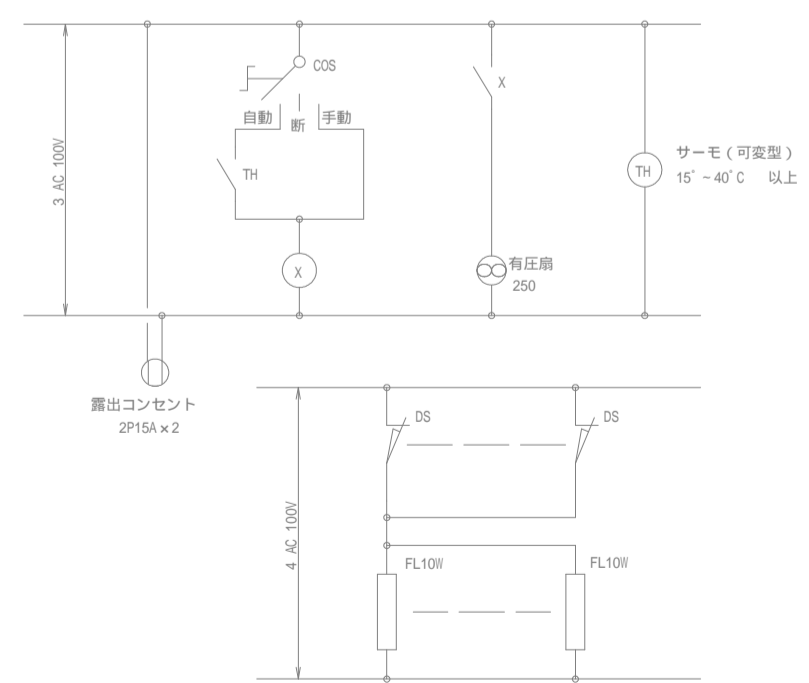
その他
試験機器類の校正記録を提出する。
停電工事の必要な時は、当該高圧受電設備の電気主任技術者と協議し、打合せ記録を提出する。
尚、電気主任技術者の立会費用は本工事に含む。
工事に係る申請手続き費、消防設備竣工検査費、高圧電気設備検査等の竣工に必要な費用は本工事に含む。
分電盤等の端子接続部施工管理手順は、電気設備工事監理指針（令和7年度版）の資料5（P1172）に基づき施工する。
鉄筋コンクリ-トをダイヤドリル等で貫通する時は、鉄筋探査機で開口位置を確認する。
整備不良の電動工具等持ち込まない。
構外搬出適切産廃処分とする（電線、電線管、器具、管球等報告書を提出する）。
交通誘導員は大型機器搬入時及び監督職員が必要と指示した時は、安全確保のため交通誘導員を2名以上配置する。
カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。

機器取付高さ（参考寸法の為、盤の寸法・取付位置は監督員と協議する。）					
名称	測点	取付高（mm）	名称	測点	取付高（mm）
電力共通	取引用計器	地上-上端 2,000	電話	端子盤	床下-上端 1,900
	引込開閉器	〃 1,800		保安器函	天井下-上端 200
				壁付位置ボックス	床下-中心 300
動力	壁掛型制御盤	床下-上端 1,900	拡声・時計	〃（和室）	〃 150
	手元開閉器	床下-中心 1,500		壁掛スピーカー	天井下-上端 200
	操作スイッチ	〃 1,300		アッテネーター	床下-中心 1,300
電灯	分電盤	床下-上端 1,900	インターホン	壁掛型親時計	床下-上端 1,900
	スイッチ（一般）	床下-中心 1,300		子時計	天井下-上端 200
	〃（身障者便所）	〃 900		壁掛インターホン	床下-中心 1,500
	コンセント（一般）	〃 300		〃（身障者）	〃 1,100
	〃（和室）	〃 150		壁付位置ボックス	〃 300
	〃（台上）	台上-中心 300		〃（和室）	〃 150
	〃（土間）	床下-中心 1,300		機器収納函	天井下-上端 200
	ブラケット（一般）	〃 2,100		直列ユニット	床下-中心 300
	〃（踊場）	〃 2,500		〃（和室）	〃 150
	〃（鏡上）	鏡上端-中心 150		テレビ共聴	

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣（ ） 交付番号（ ）	名称 空取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E-02
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 大臣（ ） 交付番号（ ）	図名 電気設備工事特記仕様書 2	縮尺 A2: - A3: -



(註) 寸法は全て参考寸法とする。



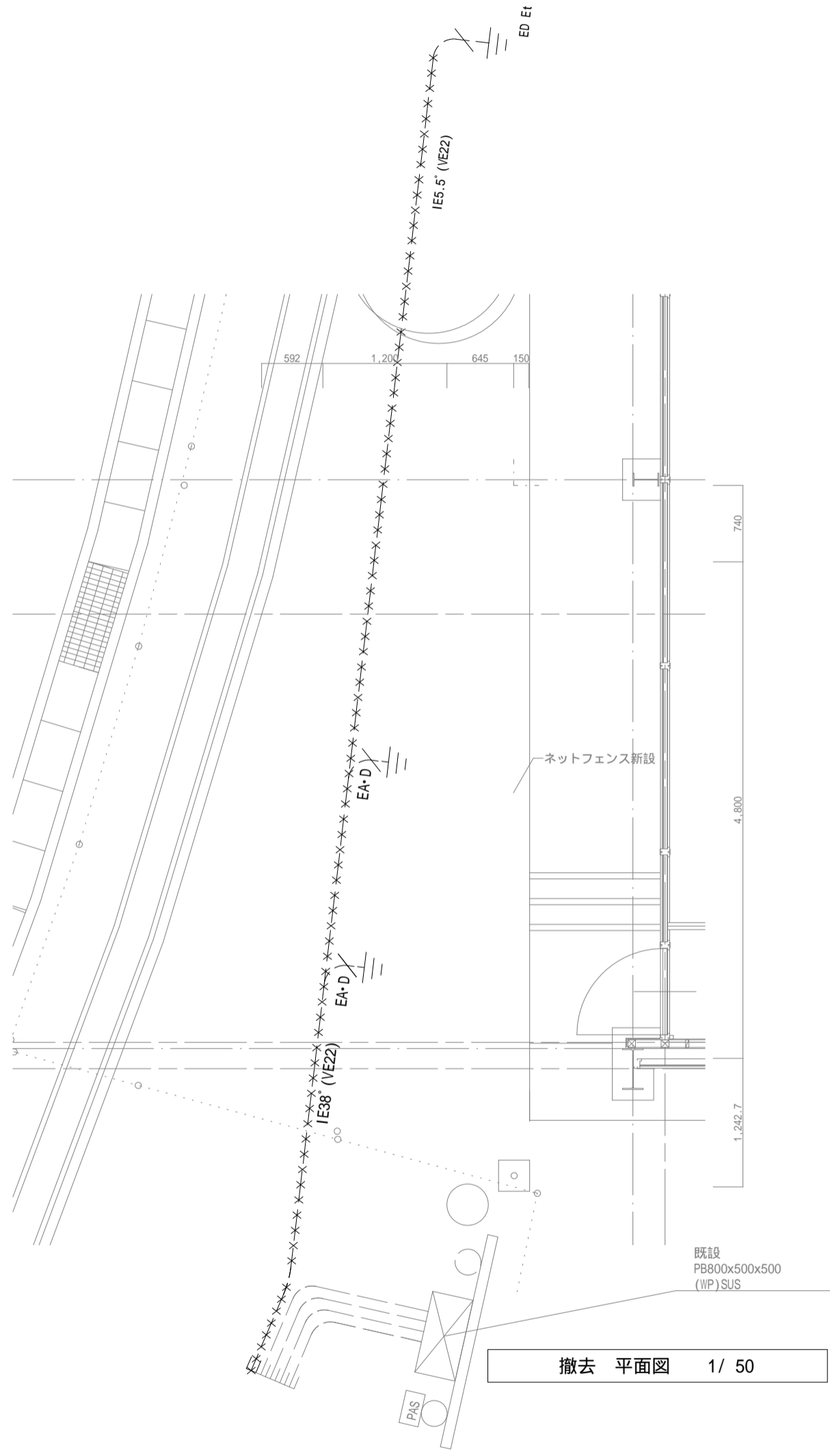
幹線No	負荷名称	M C B		負荷容量	幹線サイズ
		P	A/T		
L1	幹線分岐盤 1LM-S1	3	225	28.5 KVA	CET100'
L2	幹線分岐盤 1LM-S1	3	100	11.7 KVA	CET 38'
L3	屋内運動場 1L-T	3	100	8.6 KVA	CET 38'
L4	外灯-L-G2	2	50	1.0 KVA	CE3.5'-2C
L5	幹線分岐盤 1L-S	3	100	21.3 KVA	CET 60'
L6	体育館空調盤 (L-A)	3	100	4.442KVA	CET 38'
1	DGR電源	2	50		
2	LGR・コブナ外保護電源	2	50		
3	屋内換気扇・コンセント	2	50		
					= 75.542 KVA

M1	幹線分岐盤 1LM-S1	3	100	15.2 KVA	CET 60'
M2	ボンプ制御盤 1M-P	3	50	5.5 KVA	CET 14'
	予備	3	100		
	予備	3	100		
					= 20.7 KVA

予備回路に接続 負荷名称変更

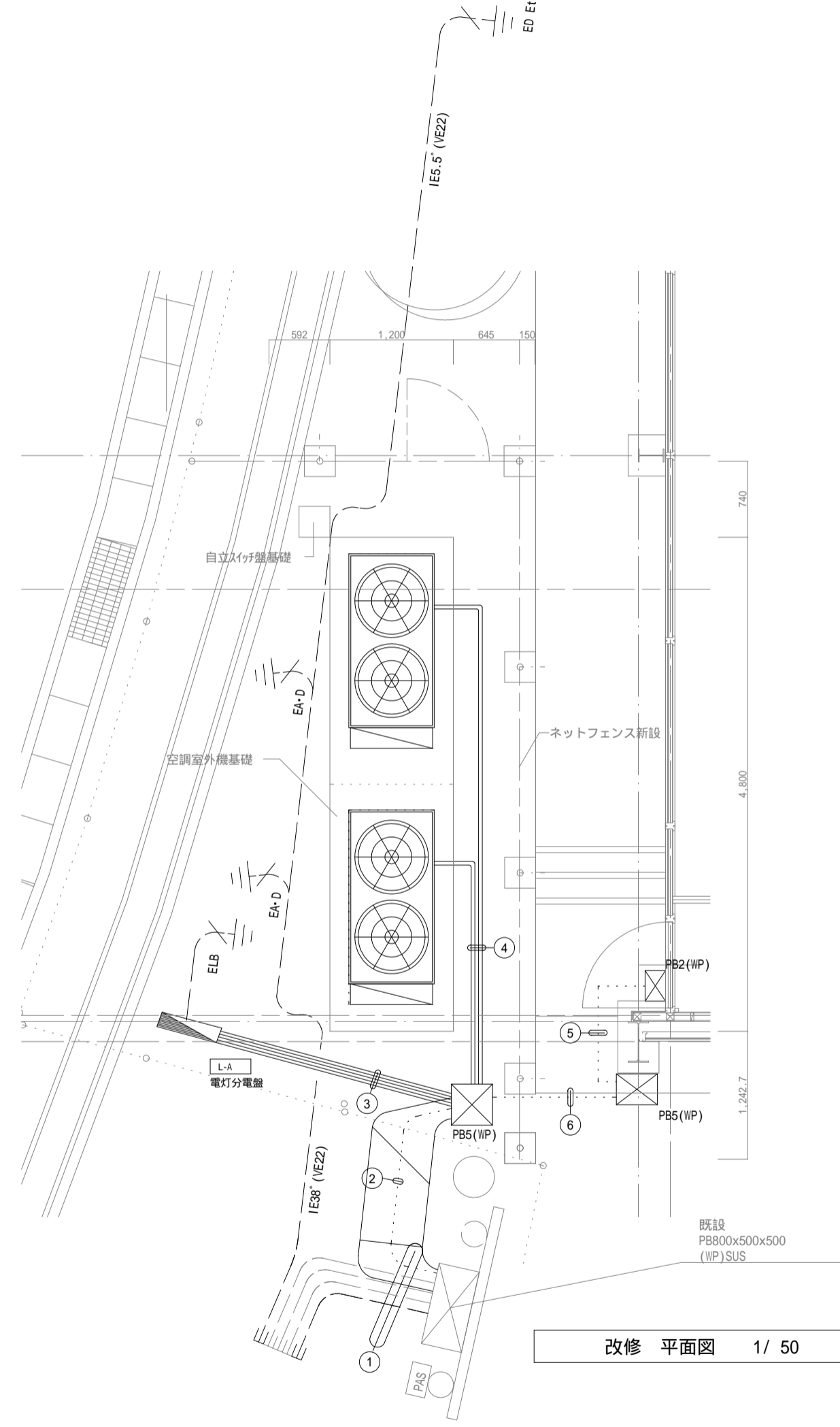
屋外型高圧キュービクル 単線結線図

ブルボックス凡例 (WP)は防水型とする		
記号	名称	備考
☒PB1	ブルボックス SS150×150×100 SUS製	
☒PB2	ブルボックス SS300×300×200 SUS製	
☒PB3	ブルボックス SS500×500×300 SUS製	
☒PB4	ブルボックス SS400×300×200 SUS製	
☒PB5	ブルボックス SS400×400×300 SUS製	
☒PB6	ブルボックス SS400×400×200 SUS製	



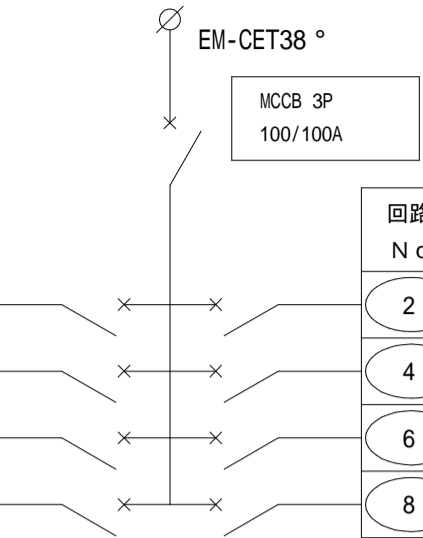
撤去 平面図 1/ 50

印	新設	既設
①	EM-CET100' 1 3W (FEP80) L1	1LM-S1 (管理機)
	EM-CET 38' 1 3W (FEP50) L2	1LM-S1 (既設空調機電源)
	EM-CET 60' (FEP50)(GP54) L4	1L-S (特別教室機)
	EM-CET 60' 3 3W (FEP80) M1	1LM-S1 (空調機電源)
	EM-CET 14' E22' 3 3W (FEP50) M2	1M-P (ポンプ室)
	EM-CE 3.5'-2C 1 2W (FEP30)	外灯-LG-1
	EM-CEE 2'-4C (FEP30)(GP54)	漏電警報 (電灯動力)
	EM-IE 22' x 2 ED-EDELB (FEP50)(GP54)	アース
	EM-CET 38' E5.5' 1 3W (FEP50) L6	体育館空調盤
	○ (FEP50)	予備
②	EM-CET 38' E5.5' 1 3W (FEP50)	体育館空調盤(L-A)
	EM-CET 38' E5.5' 1 3W (GP54)	体育館空調盤(L-A)
③	EM-CE 5.5'-3C 1 2W (GP36)	室外機 電源1
	EM-CE 5.5'-3C 1 2W	室外機 電源2
	EM-CE 3.5'-3C 1 2W (GP28)	室内機 電源1
	EM-CE 3.5'-3C 1 2W (GP28)	室内機 電源2
④	EM-CE 5.5'-3C 1 2W (GP28)	室外機 電源1
	EM-CE 5.5'-3C 1 2W (GP28)	室外機 電源2
	EM-CE 3.5'-3C 1 2W	室内機 電源1 一次側
	EM-CE 3.5'-3C 1 2W (GP36)	室内機 電源1 二次側
	EM-CE 3.5'-3C 1 2W	室内機 電源2 一次側
	EM-CE 3.5'-3C 1 2W (GP36)	室内機 電源2 二次側
	EM-CE 3.5'-3C 1 2W (GP28)	コイル電源1
	EM-CE 3.5'-3C 1 2W (GP28)	コイル電源2
⑤	EM-CE 3.5'-3C 1 2W (GP36)	室内機 電源1 二次側
	EM-CE 3.5'-3C 1 2W	室内機 電源2 二次側
	EM-CE 3.5'-3C 1 2W (GP36)	コイル電源1
	EM-CE 3.5'-3C 1 2W	コイル電源2
⑥	EM-CE 3.5'-3C 1 2W (FEP40)	室内機 電源1 二次側
	EM-CE 3.5'-3C 1 2W	室内機 電源2 二次側
	EM-CE 3.5'-3C 1 2W (FEP40)	コイル電源1
	EM-CE 3.5'-3C 1 2W	コイル電源2



改修 平面図 1/ 50

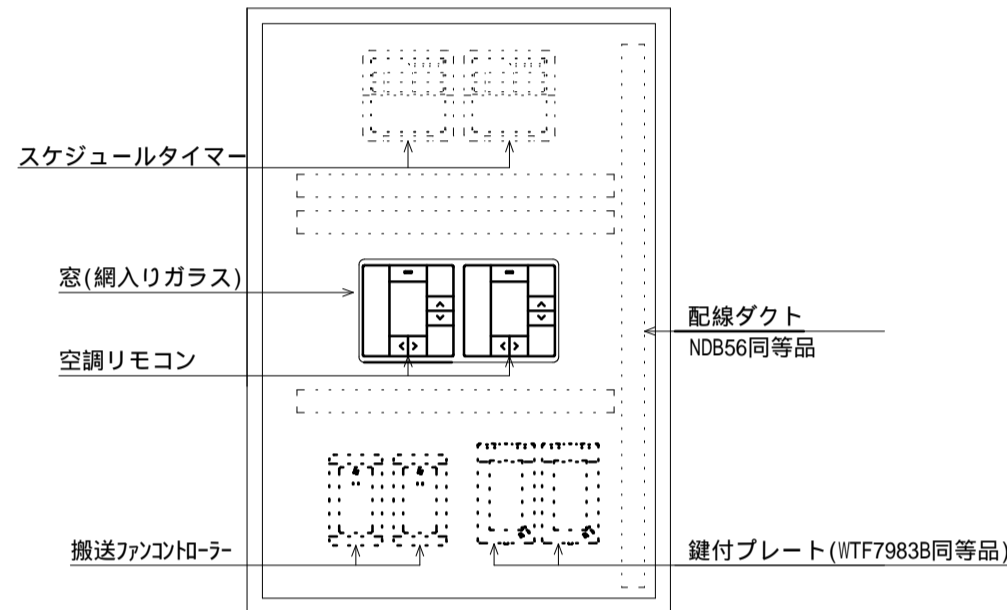
1 3W 105/210V



負荷名称	負荷容量 (VA)	分岐回路 開閉器	電圧 (V)	回路 記号	回路 No	回路 No	回路 記号	電圧 (V)	分岐回路 開閉器	負荷容量 (VA)	負荷名称
予備		ELCB 2P 50/40A	200		1	2		200	ELCB 2P 50/40A		予備
空調室外機電源	1260	ELCB 2P 50/30A	200		3	4		200	ELCB 2P 50/30A	1260	空調室外機電源
空調室内機電源	861	ELCB 2P 50/20A	200		5	6		200	ELCB 2P 50/20A	861	空調室内機電源
予備		ELCB 2P 50/20A	100		7	8		100	ELCB 2P 50/20A	200	点検用コンセント

⊙ ED ⊙ ED(ELB)

下部角部分にクッションガード取付

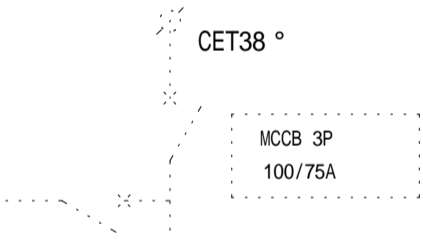


収納機器 非常用コンセントはアラで表記すること

名称	概要	備考
スケジュールタイマー(空調機用)	1種金属線び用ボックスに取付	機械設備工事(2個)
搬送ファンコントローラ	1種金属線び用ボックスに取付	機械設備工事(2個)
リモコン(空調機用)	1種金属線び用ボックスに取付	機械設備工事(2個)
コンセント(赤)	1種金属線び用ボックスに取付	2P15Ax2Ex2 (確認タグ付)W11318SRK同等品
配線用ダクト		NDB56同等品

波線部分は現況とする

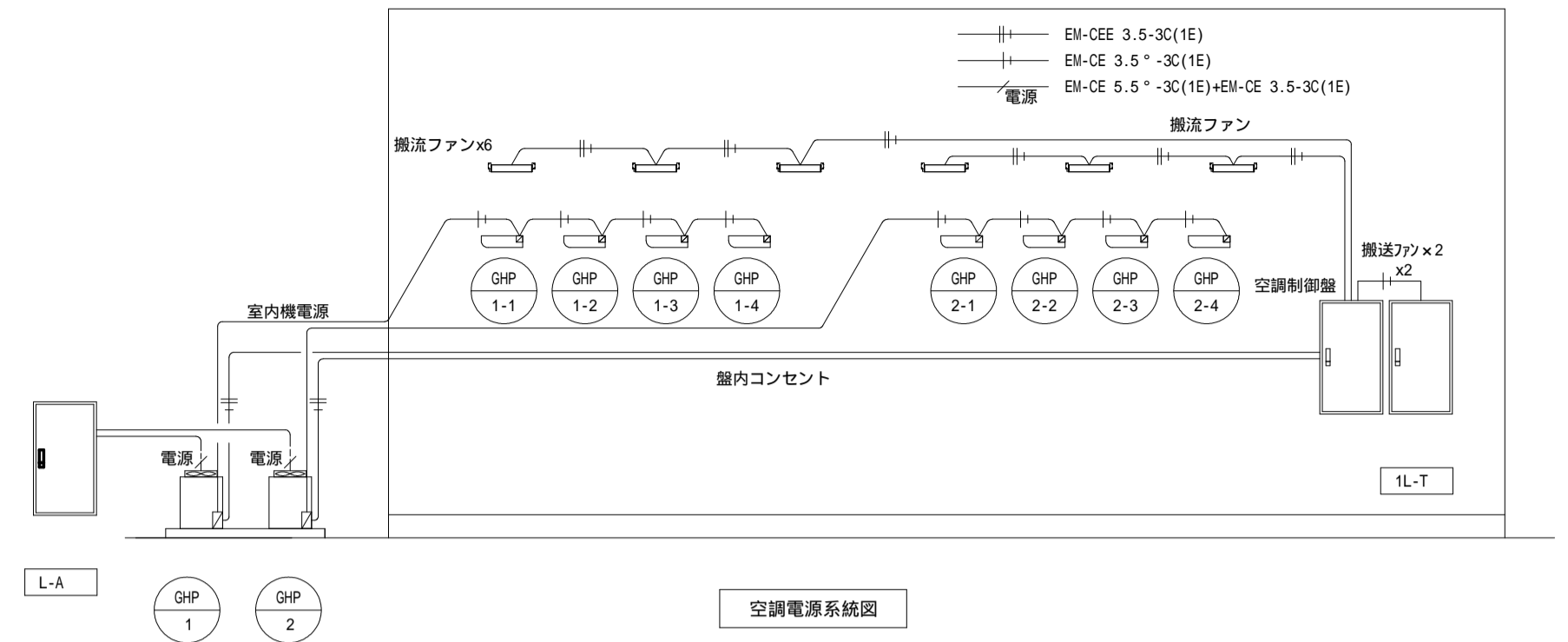
1 3W 105/210V



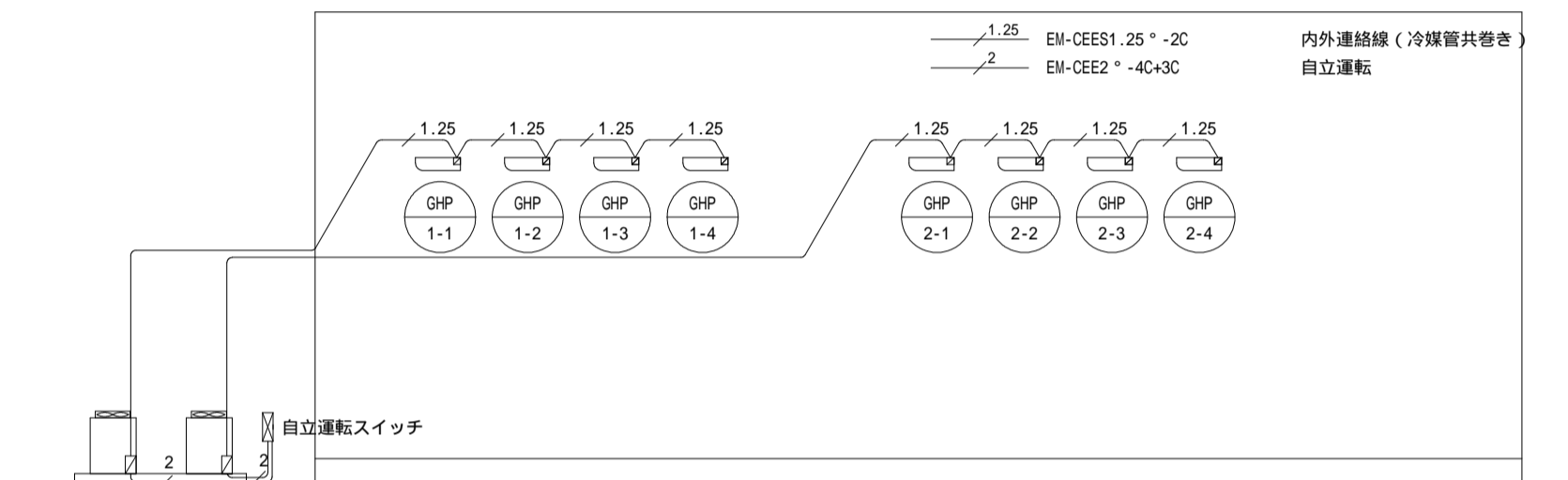
負荷名称	負荷容量 (VA)	分岐回路 開閉器	電圧 (V)	回路 記号	回路 No	回路 No	回路 記号	電圧 (V)	分岐回路 開閉器	負荷容量 (VA)	負荷名称
アリーナ1		ELCB 2P 30/20A	200	R	201	102	R	200	ELCB 2P 30/20A		アリーナ2
アリーナ3		ELCB 2P 30/20A	200	R	203	104	R	200	ELCB 2P 30/20A		予備
予備		ELCB 2P 30/20A	200	R	205	106	R	200	ELCB 2P 30/20A		予備
ステージ		MCCB 2P 30/20A	100	R	101	102	R	100	MCCB 2P 30/20A		ステージ電源
換気扇		MCCB 2P 30/20A	100		103	104		100	ELCB 2P 30/20A		外灯電源
ホールコンセント		MCCB 2P 30/20A	100		105	106		100	MCCB 2P 30/20A		便所電灯
ホールコンセント		MCCB 2P 30/20A	100		107	108		100	MCCB 2P 30/20A		リモコントランス
WCコンセント		MCCB 2P 30/20A	100		109	110		100	MCCB 2P 30/20A		WCコンセント
控室		MCCB 2P 30/20A	100		111	112		100	MCCB 2P 30/20A		I7-搬送ファン電源

名称変更 I7-搬送ファン電源

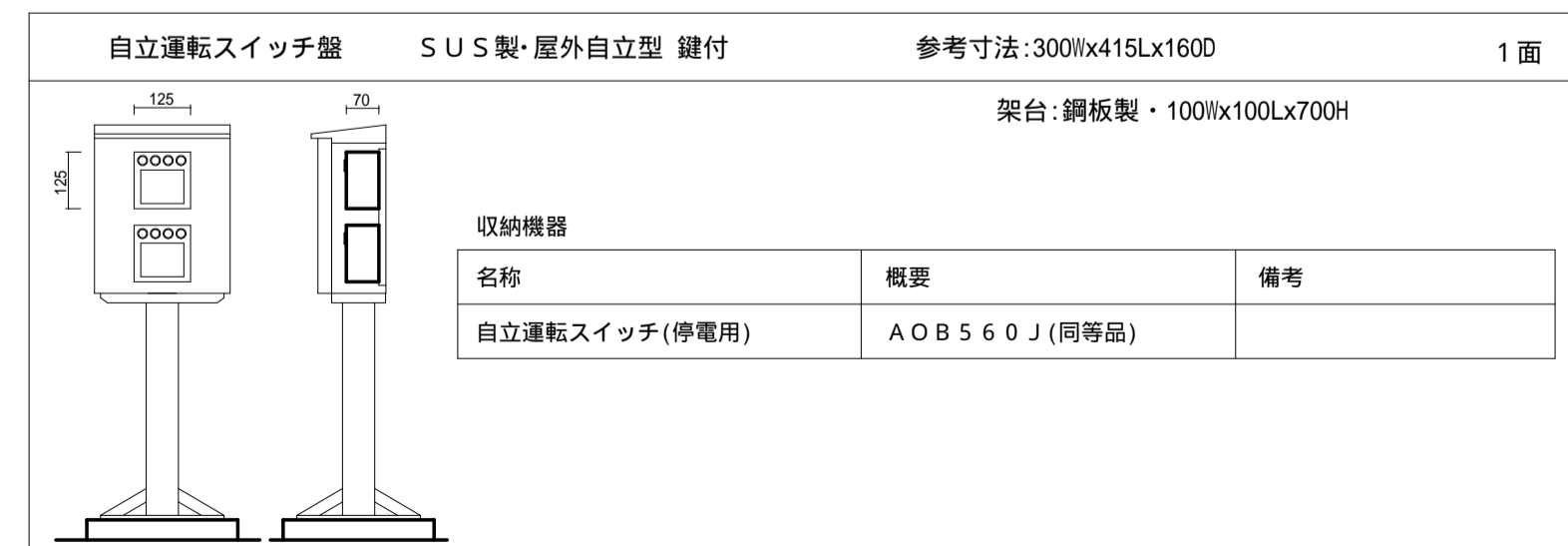
⊙ ED



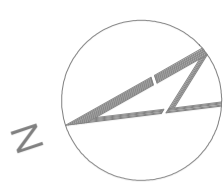
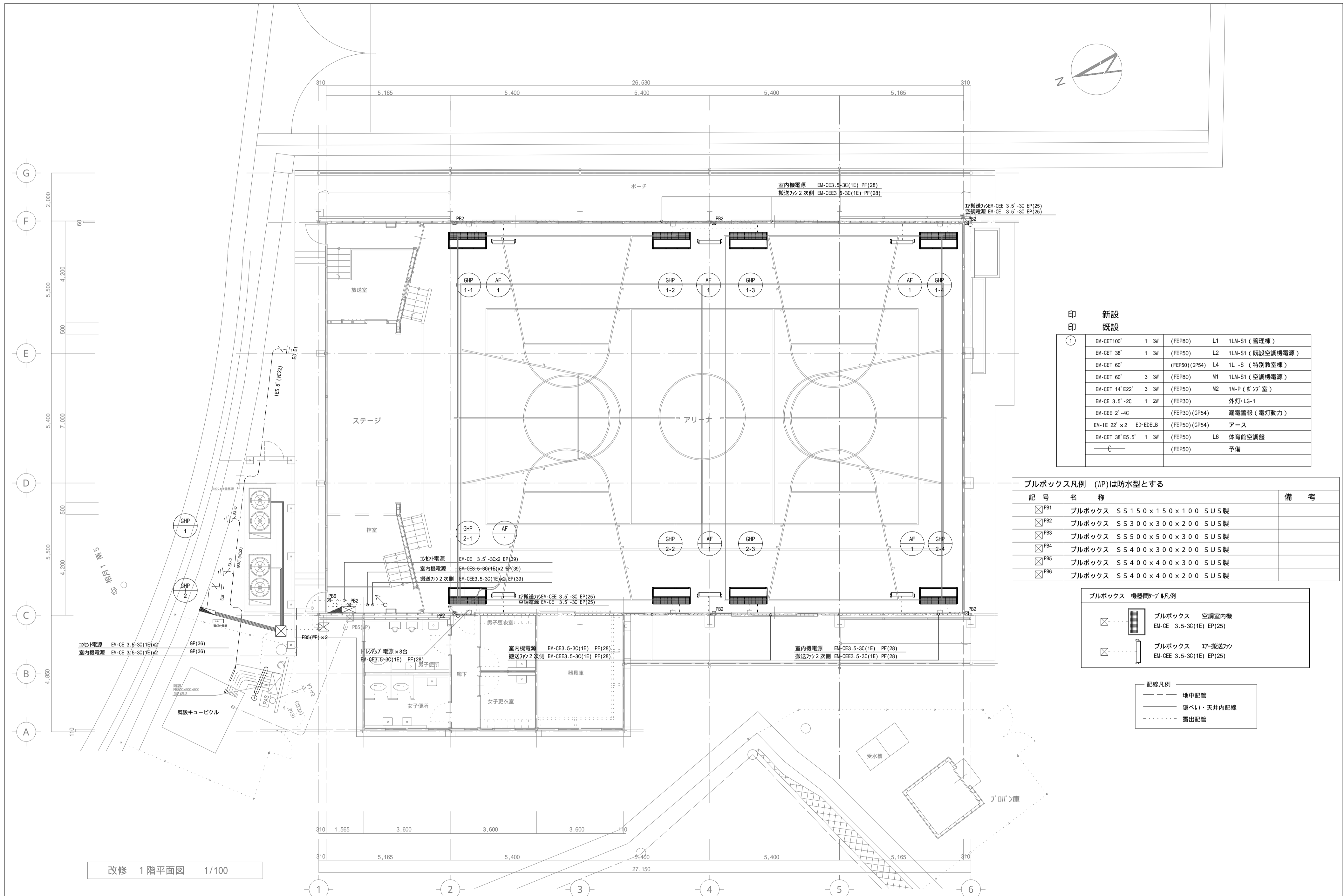
空調電源系統図



空調計装系統図



名称	概要	備考
自立運転スイッチ(停電用)	A O B 5 6 0 J (同等品)	



印 新設
印 既設

①	EM-CET100'	1 3W	(FEP80)	L1	1LM-S1 (管理棟)
	EM-CET 38'	1 3W	(FEP50)	L2	1LM-S1 (既設空調機電源)
	EM-CET 60'		(FEP50)(GP54)	L4	1L-S (特別教室棟)
	EM-CET 60'	3 3W	(FEP80)	M1	1LM-S1 (空調機電源)
	EM-CET 14'E22'	3 3W	(FEP50)	M2	1M-P (ホッパ室)
	EM-CE 3.5'-2C	1 2W	(FEP30)		外灯-LG-1
	EM-CEE 2'-4C		(FEP30)(GP54)		漏電警報 (電灯動力)
	EM-IE 22' x 2	ED-EDELB	(FEP50)(GP54)		アース
	EM-CET 38'E5.5'	1 3W	(FEP50)	L6	体育館空調盤
			(FEP50)		予備

プルボックス凡例 (WP)は防水型とする

記号	名称	備考
☒ PB1	プルボックス S S 150 x 150 x 100 SUS製	
☒ PB2	プルボックス S S 300 x 300 x 200 SUS製	
☒ PB3	プルボックス S S 500 x 500 x 300 SUS製	
☒ PB4	プルボックス S S 400 x 300 x 200 SUS製	
☒ PB5	プルボックス S S 400 x 400 x 300 SUS製	
☒ PB6	プルボックス S S 400 x 400 x 200 SUS製	

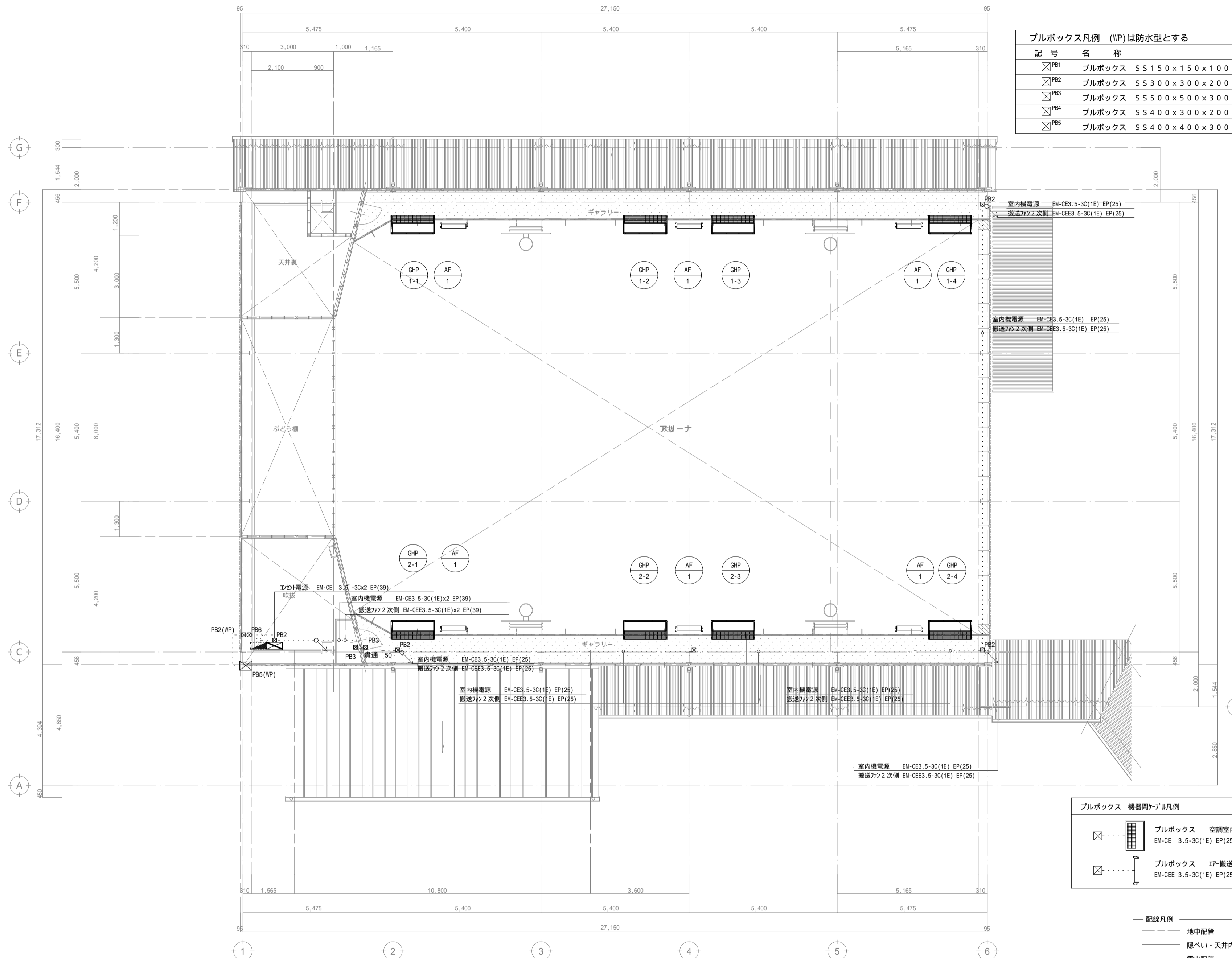
プルボックス 機器間ケーブル凡例

☒	プルボックス 空調室内機 EM-CE 3.5-3C(1E) EP(25)
☒	プルボックス 17-搬送ファン EM-CEE 3.5-3C(1E) EP(25)

配線凡例

---	地中配管
—	隠ぺい・天井内配線
---	露出配管

改修 1階平面図 1/100



ブルボックス凡例 (WP)は防水型とする

記号	名称	備考
☒PB1	ブルボックス SS150×150×100 SUS製	
☒PB2	ブルボックス SS300×300×200 SUS製	
☒PB3	ブルボックス SS500×500×300 SUS製	
☒PB4	ブルボックス SS400×300×200 SUS製	
☒PB5	ブルボックス SS400×400×300 SUS製	

ブルボックス 機器間ケーブル凡例

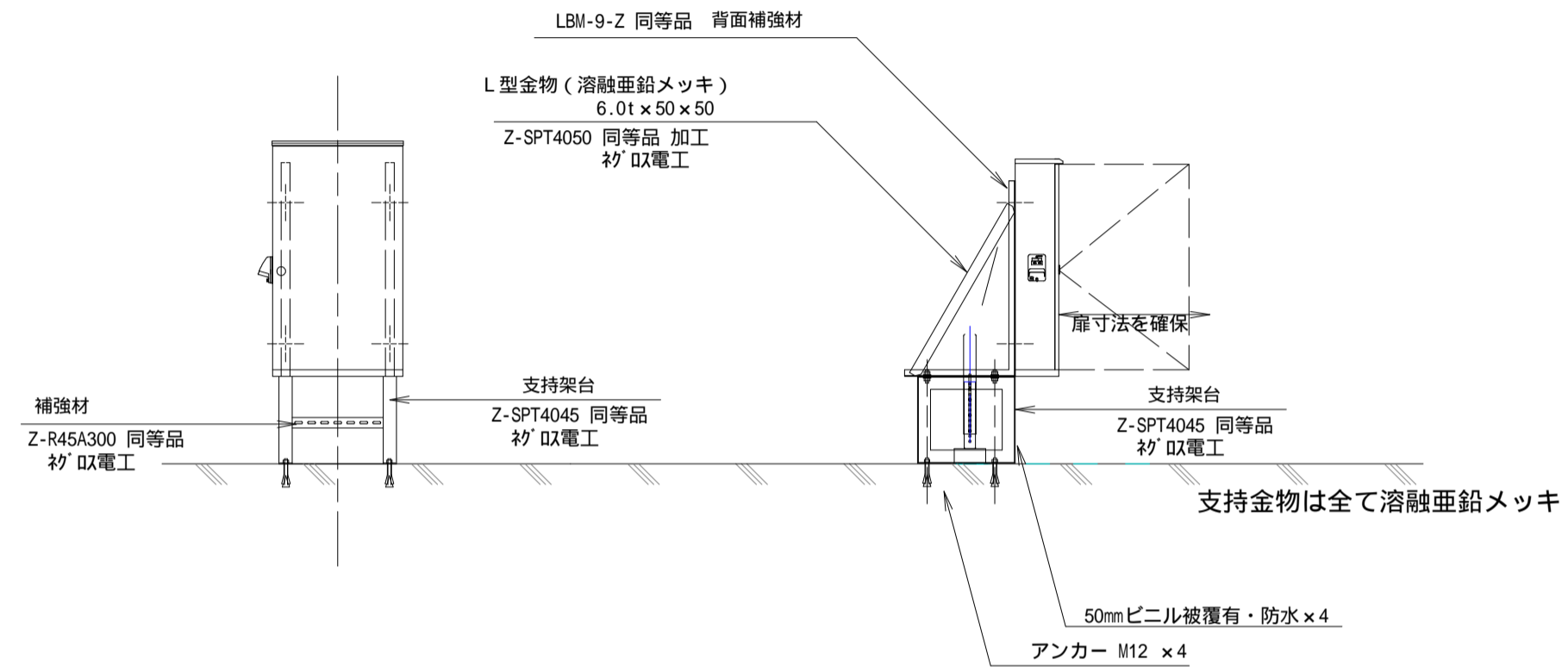
☒	ブルボックス 空調室内機 EM-CE 3.5-3C(1E) EP(25)
☒	ブルボックス IT-搬送ファン EM-CEE 3.5-3C(1E) EP(25)

配線凡例

---	地中配管
—	隠ぺい・天井内配線
---	露出配管

改修 2階平面図 1/100

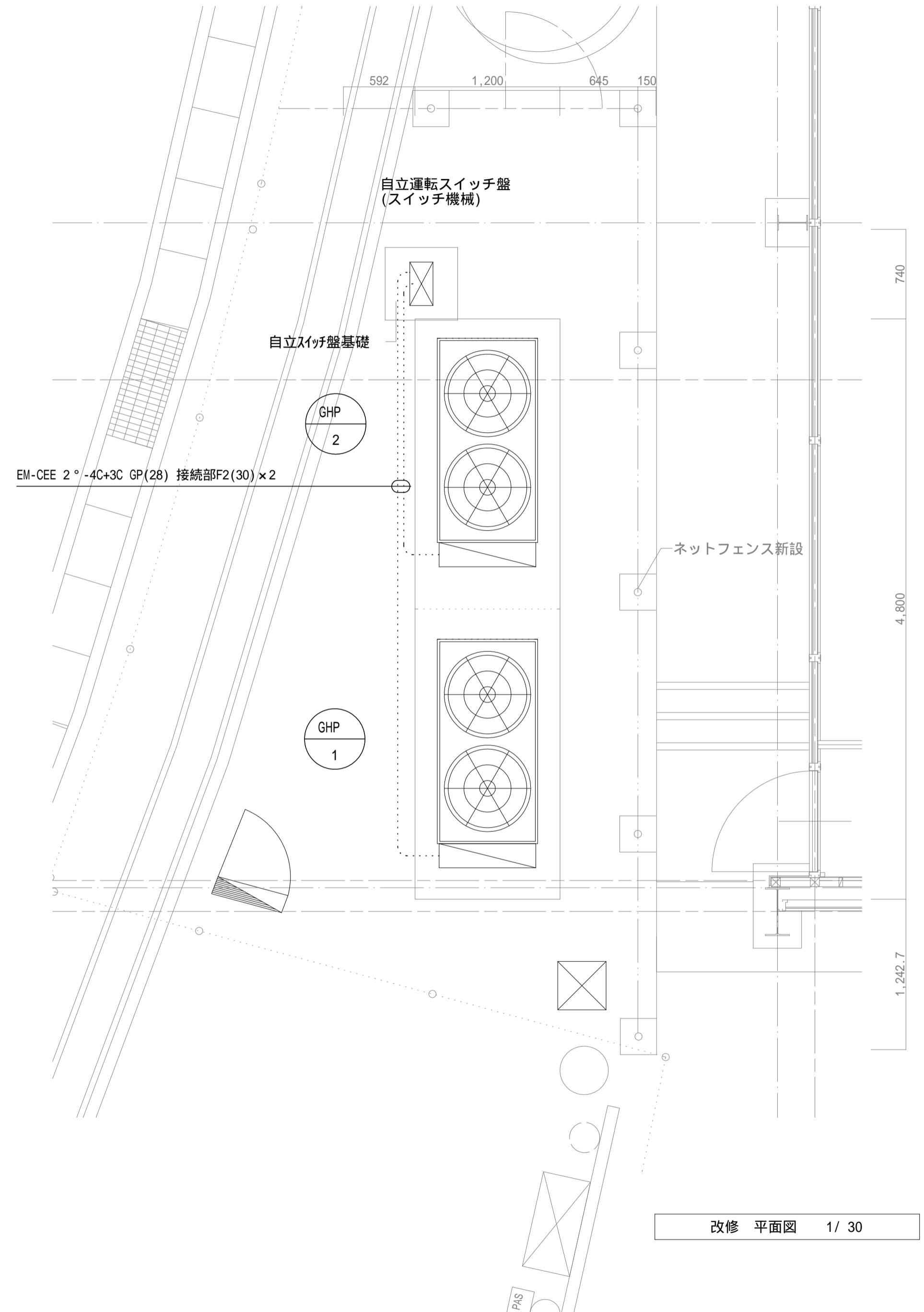
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 空取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E - 07
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 電源設備 2階平面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



分電盤立面図 1/ 30

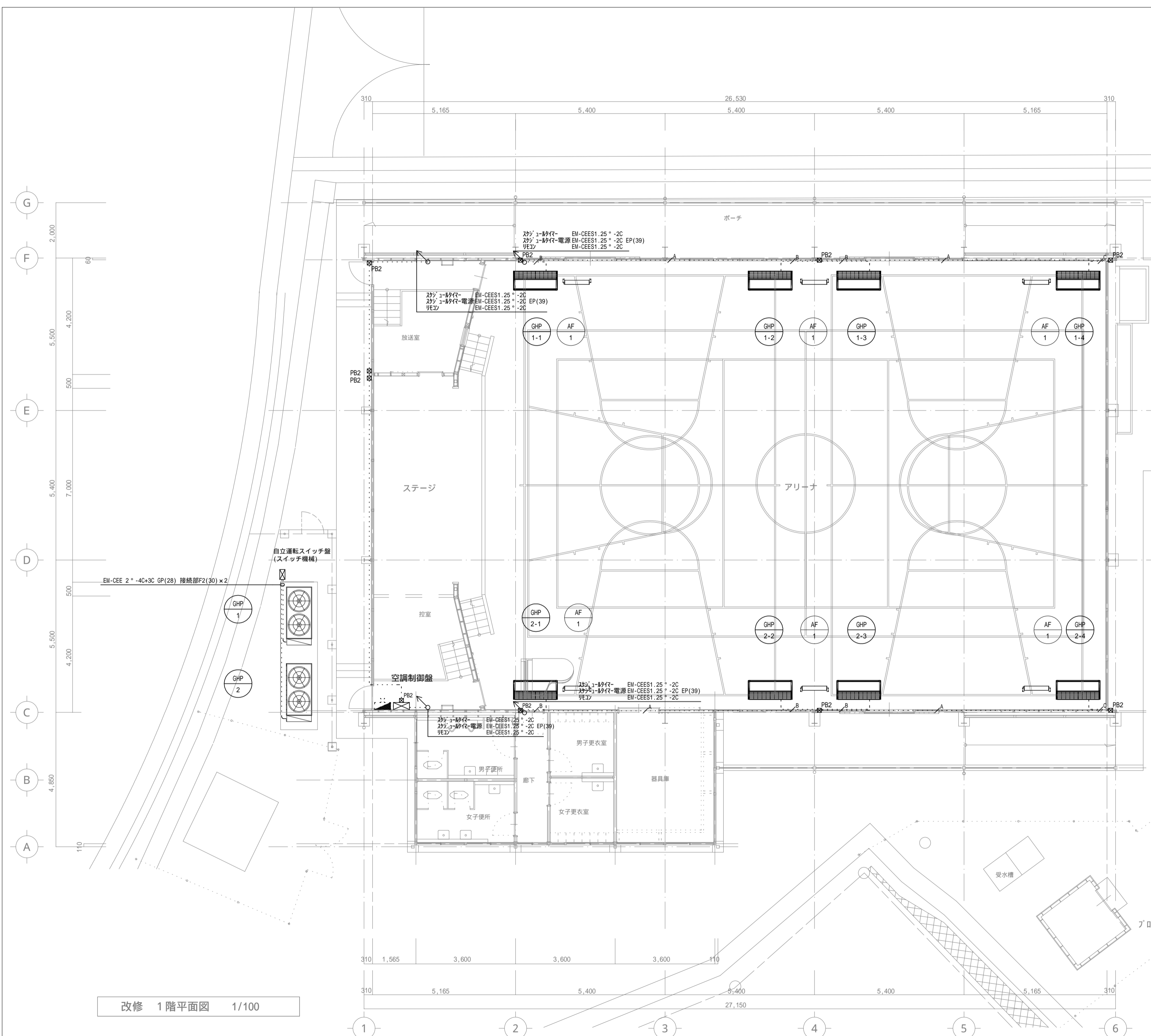
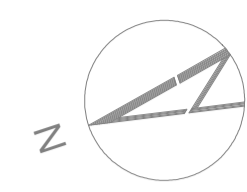


自立スイッチ立面図 1/ 30



改修 平面図 1/ 30

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E - 0 8
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 室外機置場詳細図 2	縮尺 A2: 1/30 A3: -



ブルボックス凡例 (WP)は防水型とする

記号	名称	備考
☒PB1	ブルボックス SS150×150×100 SUS製	
☒PB2	ブルボックス SS300×300×200 SUS製	
☒PB3	ブルボックス SS500×500×300 SUS製	
☒PB4	ブルボックス SS400×300×200 SUS製	
☒PB5	ブルボックス SS400×400×300 SUS製	

記入無き配線は下記による。

---	EM-CEES1.25°-2C	ケーブル	屋内隠ぺい
---	EM-CEES1.25°-2C	ケーブル-電源	PF(28)
---	EM-CEES1.25°-2C	リモコン	

ブルボックス 機器間ケーブル凡例

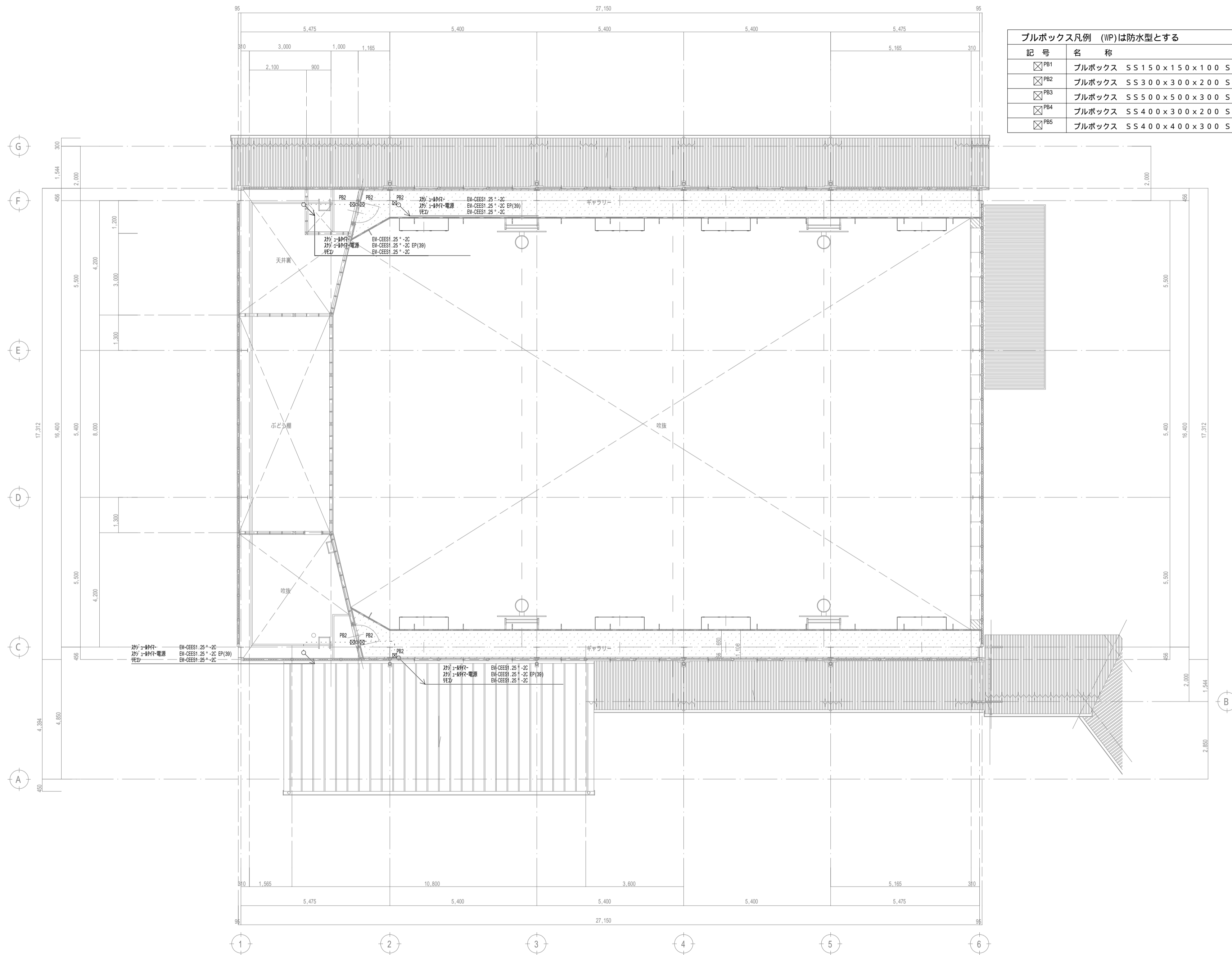
☒	ブルボックス 空調室内機		
	EM-CEES1.25°-2C	リモコン	PF(28)
	EM-CEES1.25°-2C	リモコン	

ブルボックス 機器間ケーブル凡例

☒	ブルボックス 空調室内機		
	EM-CEES1.25°-2C	ケーブル	
	EM-CEES1.25°-2C	ケーブル-電源	PF(28)
	EM-CEES1.25°-2C	リモコン	

室内機(1-4)(2-4)にケーブル、ケーブル-電源を接続する。

改修 1階平面図 1/100

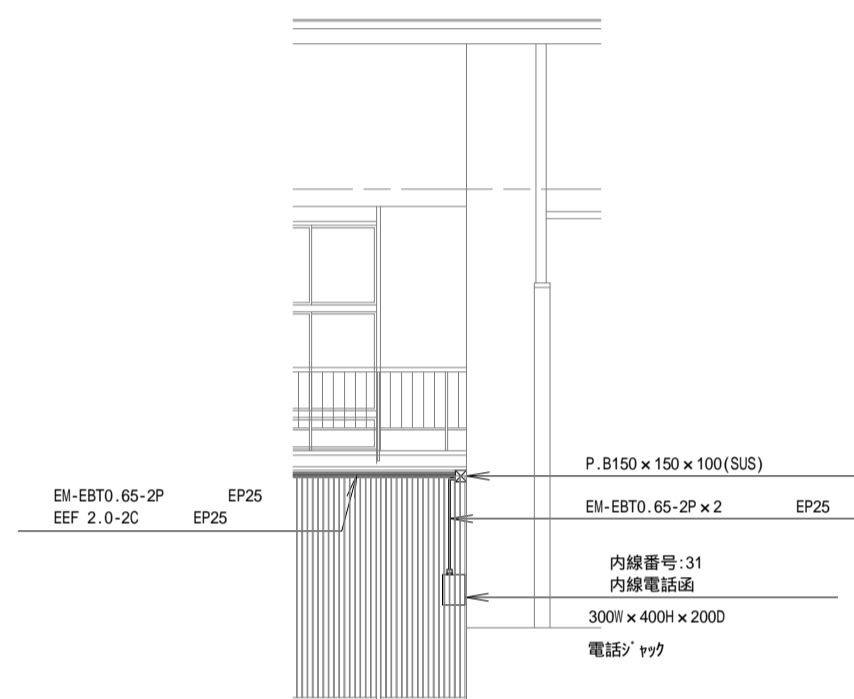
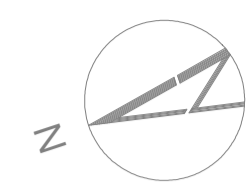
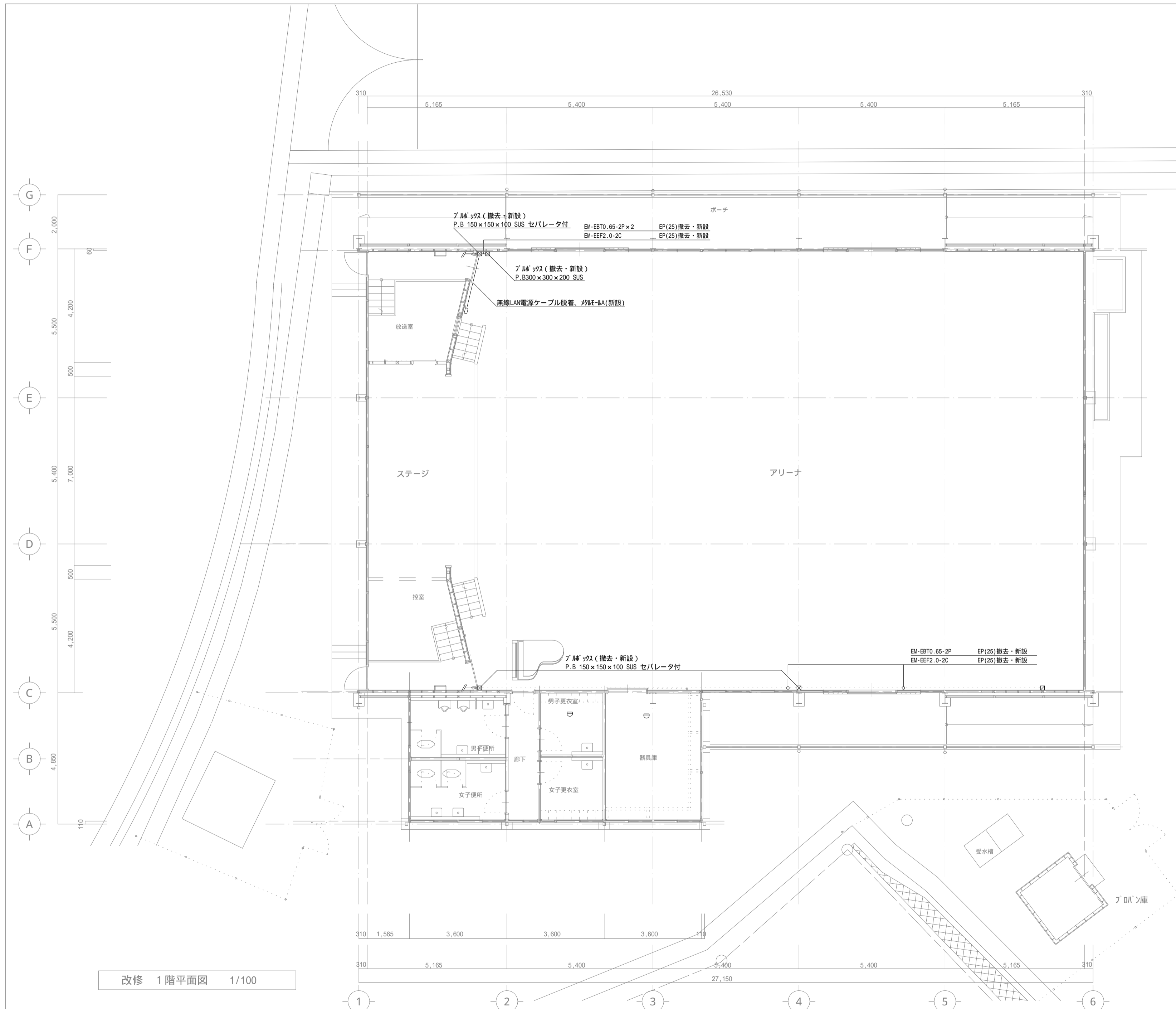


ブルボックス凡例 (WP)は防水型とする		
記号	名称	備考
☒PB1	ブルボックス SS150×150×100 SUS製	
☒PB2	ブルボックス SS300×300×200 SUS製	
☒PB3	ブルボックス SS500×500×300 SUS製	
☒PB4	ブルボックス SS400×300×200 SUS製	
☒PB5	ブルボックス SS400×400×300 SUS製	

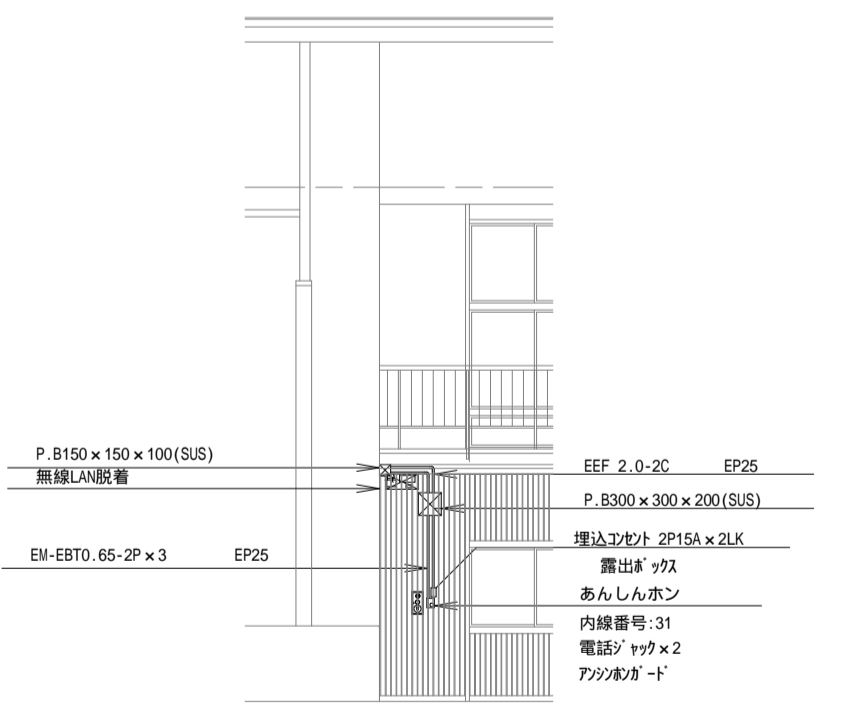
改修 2階平面図 1/100



株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 構造設計/設備設計 への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E - 10
			一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()		



西面改修展開図

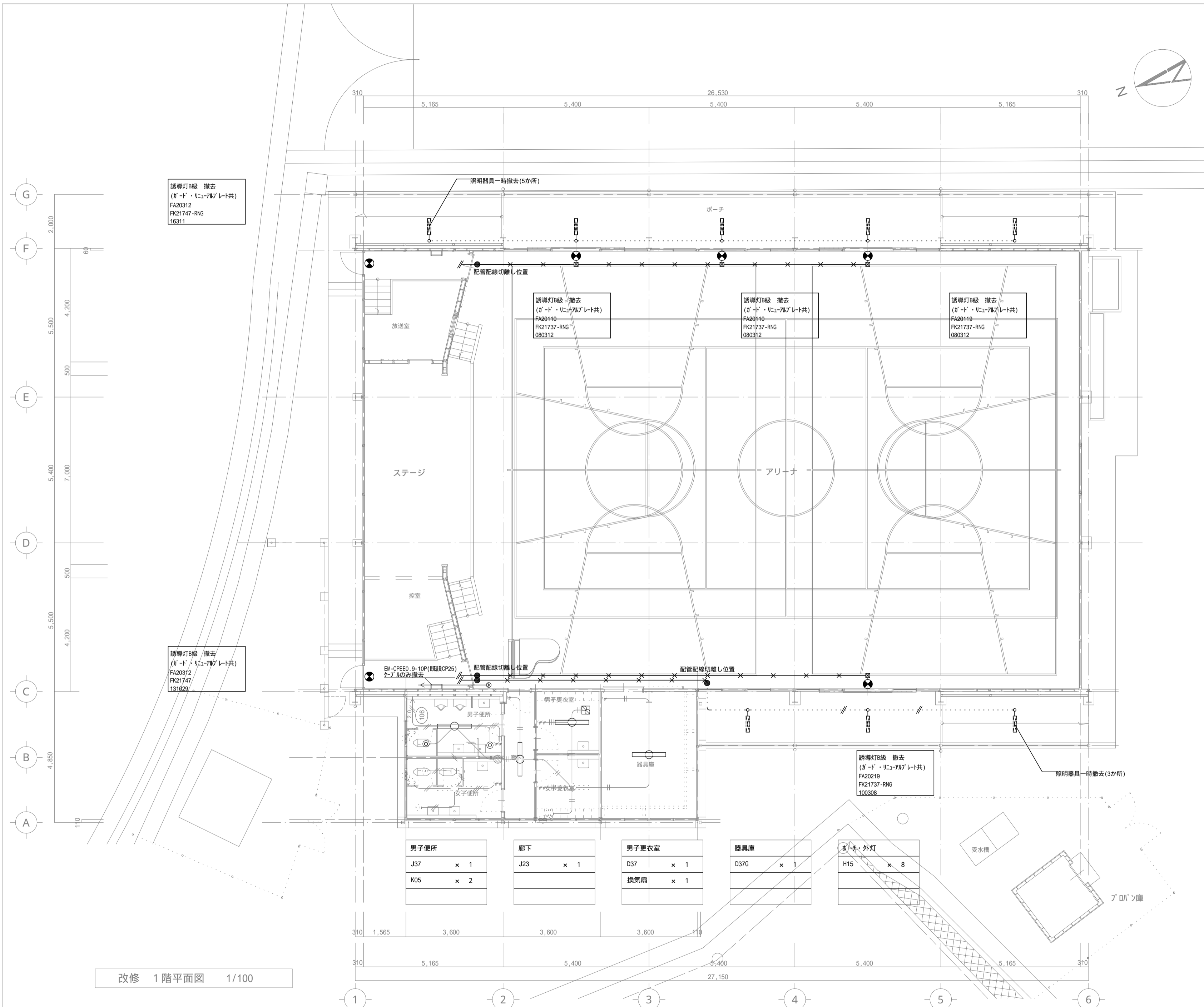


東面改修展開図

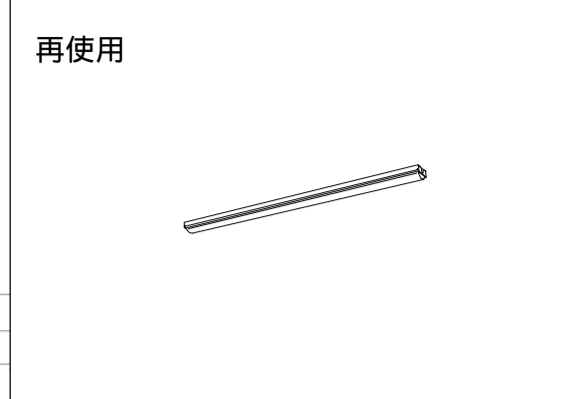
- 印 既設撤去取替
- 印 既設機器一時撤去清掃後再取付
- 印 プレート取替 (新金プレート)

改修 1階平面図 1/100

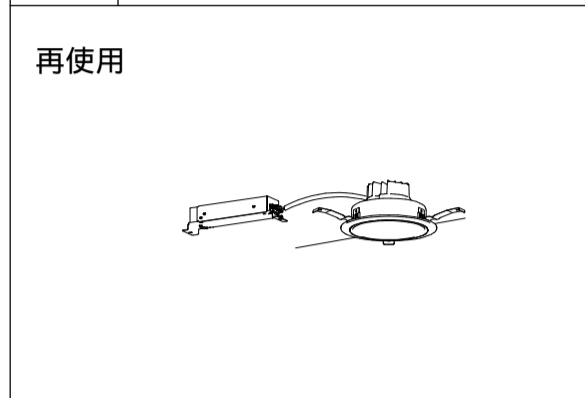
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E - 11
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 緊急通報システム(撤去・改修) 1階平面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



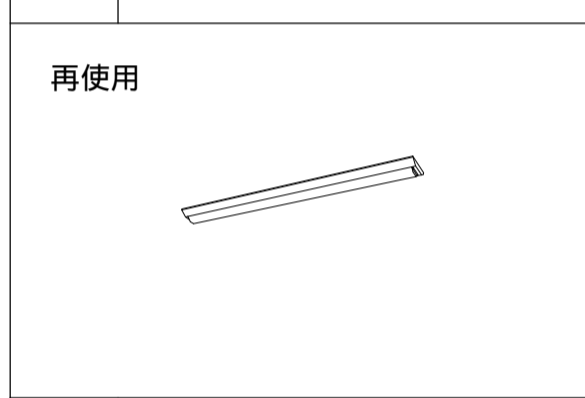
J23	LSS9-4-23	LED 16.3W
-----	-----------	-----------



K05	LRS1-05	LED 4.6W
-----	---------	----------



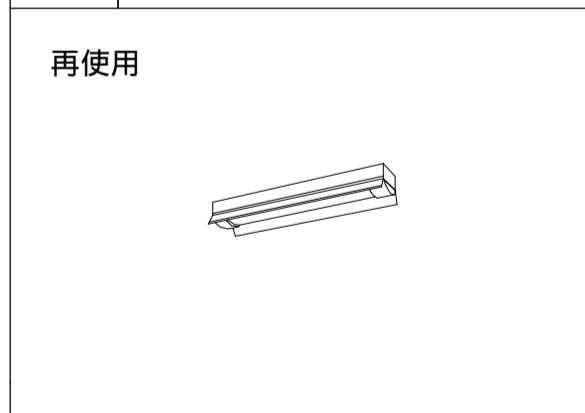
D37	LSS9-4-37	LED 25.0W	4000 LM
	LSS9-4-48 ガード付	LED 31.9W	5200 LM



J37	LSS9-4-37	LED 25.0W
-----	-----------	-----------



H15	XLW212KENZ-LE9	LED 11.6W	1480 LM
-----	----------------	-----------	---------



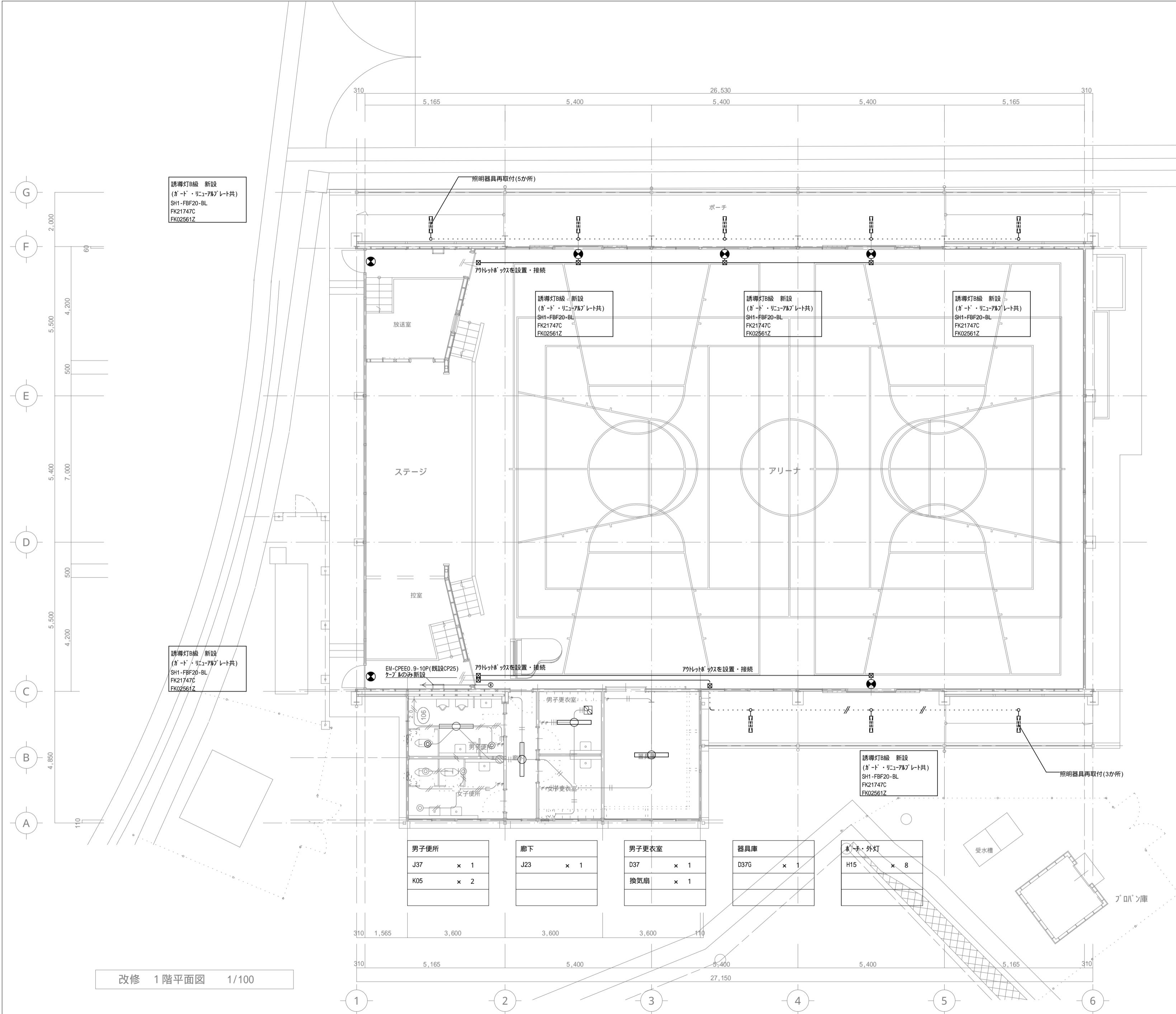
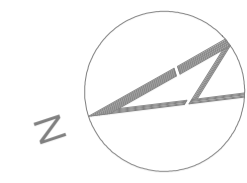
記入無き撤去配線は下記による。

—	IV 2.0x2	EP(19) 隠べい
☒		ﾌﾗｯﾄﾚｯﾄﾞ ｸﾞﾗｽ

印のあるものは撤去・新設とする。
印のあるものは一時撤去・再取付とする。

改修 1階平面図 1/100

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E - 1 2
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 電灯コンセント・防災設備 撤去1階平面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



誘導灯B級 新設
(ガード・リニューアルプレート共)
SH1-FBF20-BL
FK21747C
FK02561Z

誘導灯B級 / 新設
(ガード・リニューアルプレート共)
SH1-FBF20-BL
FK21747C
FK02561Z


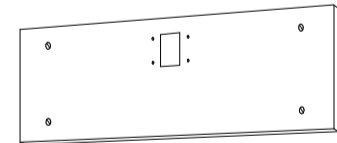
誘導灯B級 新設
(ガード・リニューアルプレート共)
SH1-FBF20-BL
FK21747C
FK02561Z

誘導灯B級 新設
(ガード・リニューアルプレート共)
SH1-FBF20-BL
FK21747C
FK02561Z

誘導灯B級 新設
(ガード・リニューアルプレート共)
SH1-FBF20-BL
FK21747C
FK02561Z

誘導灯B級 新設
(ガード・リニューアルプレート共)
SH1-FBF20-BL
FK21747C
FK02561Z

改修 1階平面図 1/100

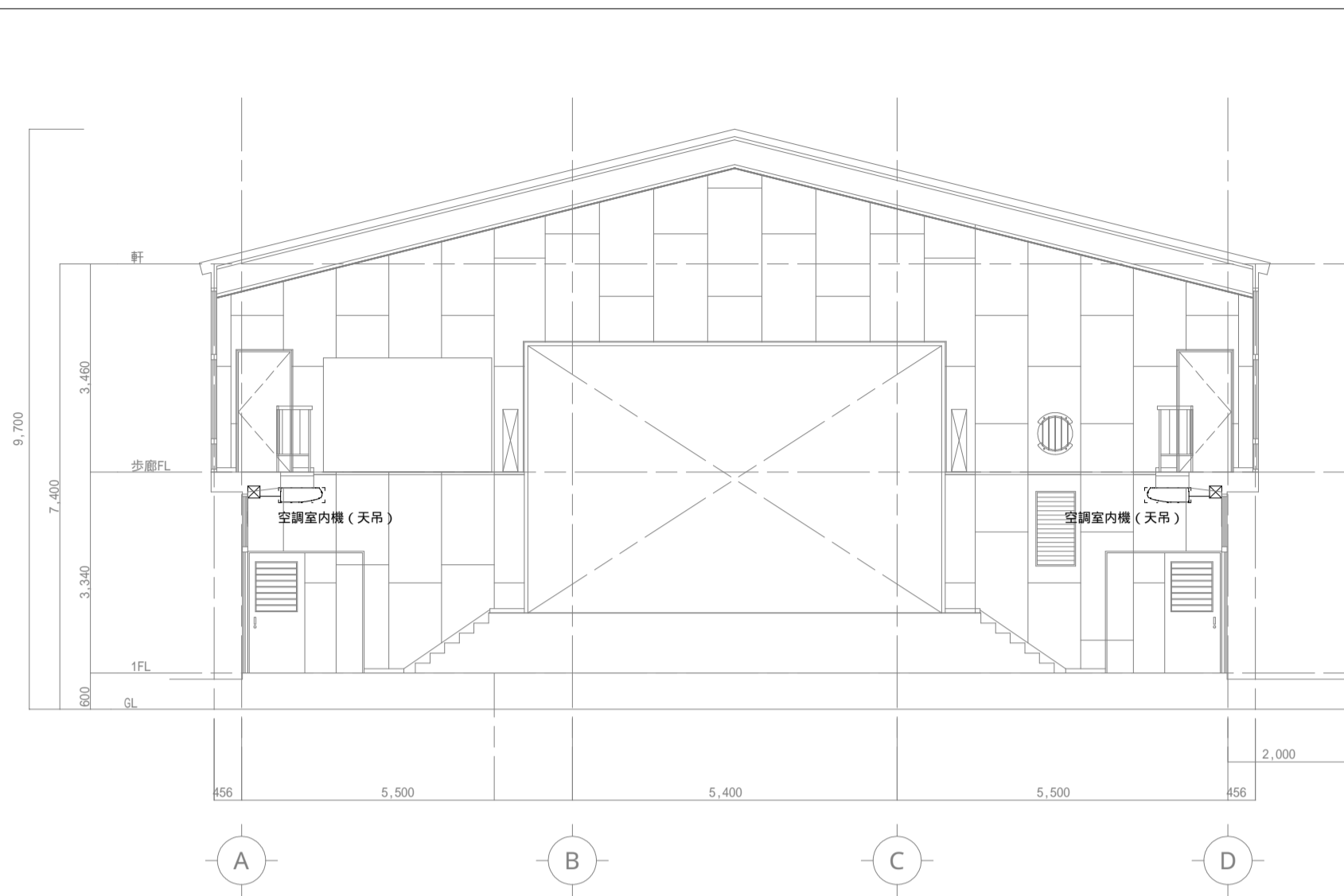
LED 2.0W	電池内蔵
通路誘導灯 B級	
SH1-FBF22-BL FA20312CLE1+FK20300	
	
<small>LED誘導灯コンパクトスクエア B級・B.L形 内蔵型 壁・天井取付型 一般型(20分間) ニッケル水素電池 リモコン付(交換可能) 型式認定番号: 1AM111-3209 ※付(FK02561Z)</small>	
誘導灯リニューアルプレート	
FK21747C	
SH1-FBF22-BL FA20312CLE1+FK20300	
	
<small>壁取付用 本体:亜鉛鋼板 カバー:鋼板(ホワイト)</small>	

記入無き改修記線は下記による。

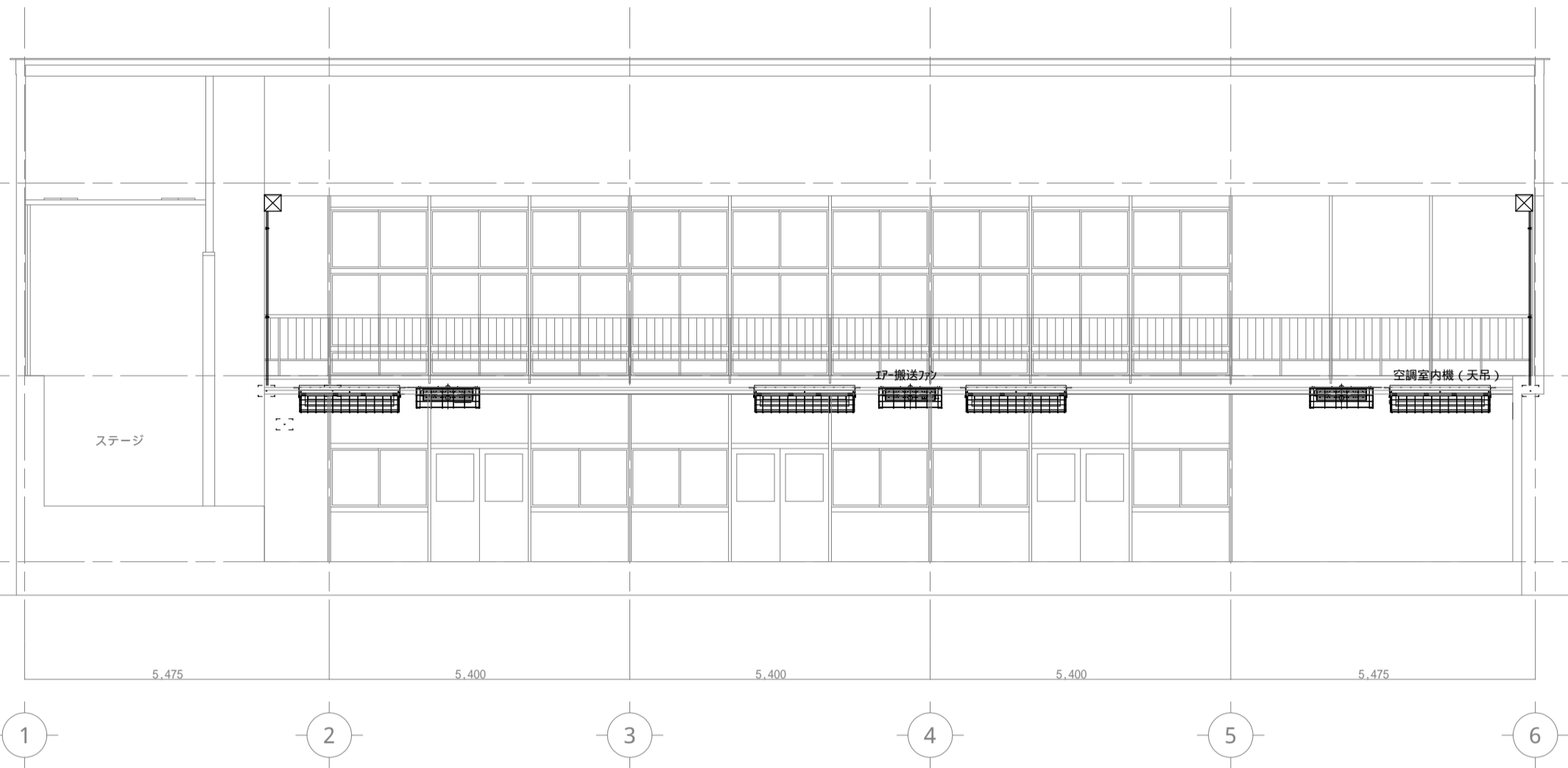
—	EM-IE 2.0x2	PF(16) 隠べい
⊠	アクトゥエックス	

印のあるものは撤去・新設とする。
印のあるものは一時撤去・再取付とする。

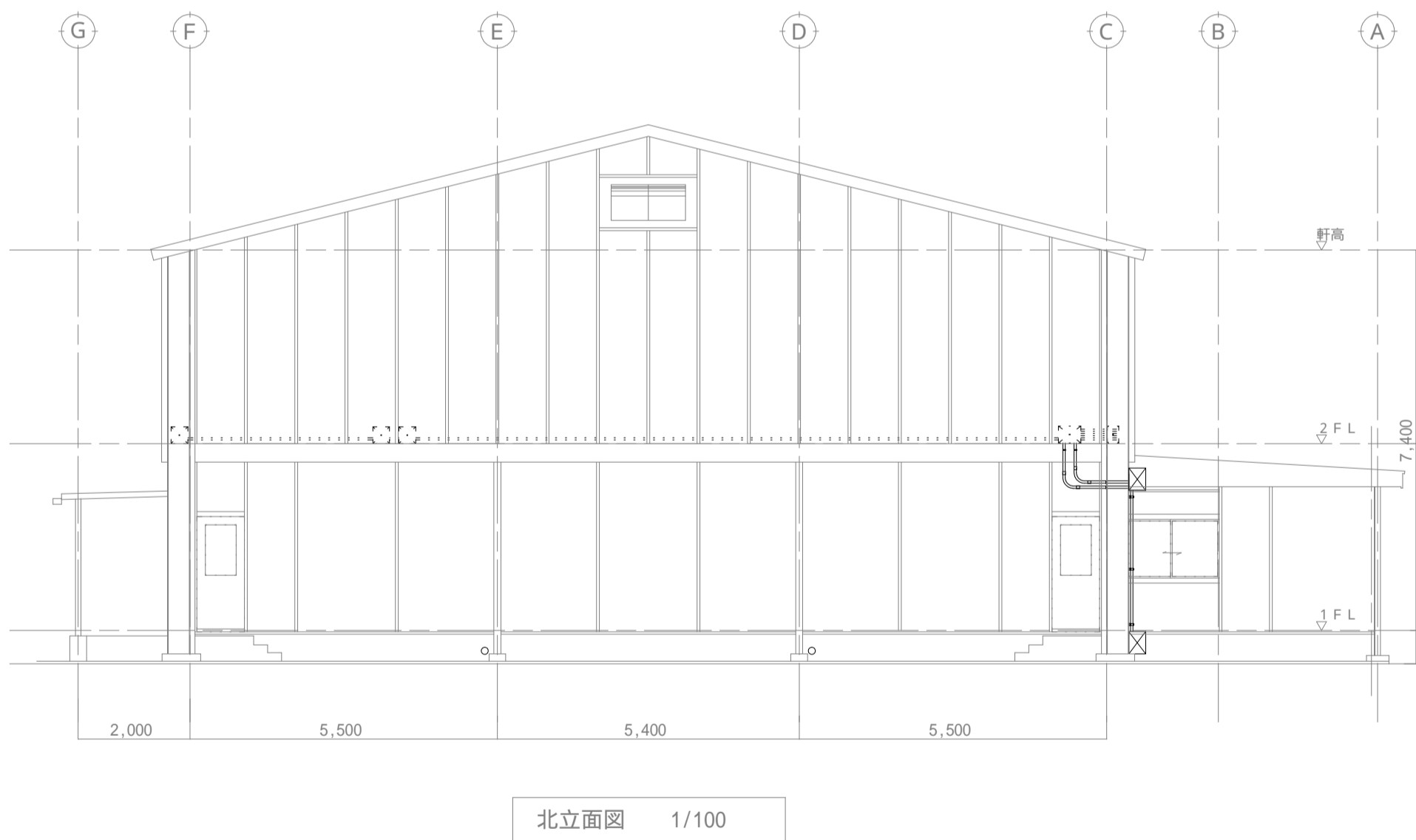
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣()	構造設計 一級建築士登録 交付番号()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E-13
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 大臣()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号()	図名 電灯コンセント・防災設備 改修1階平面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



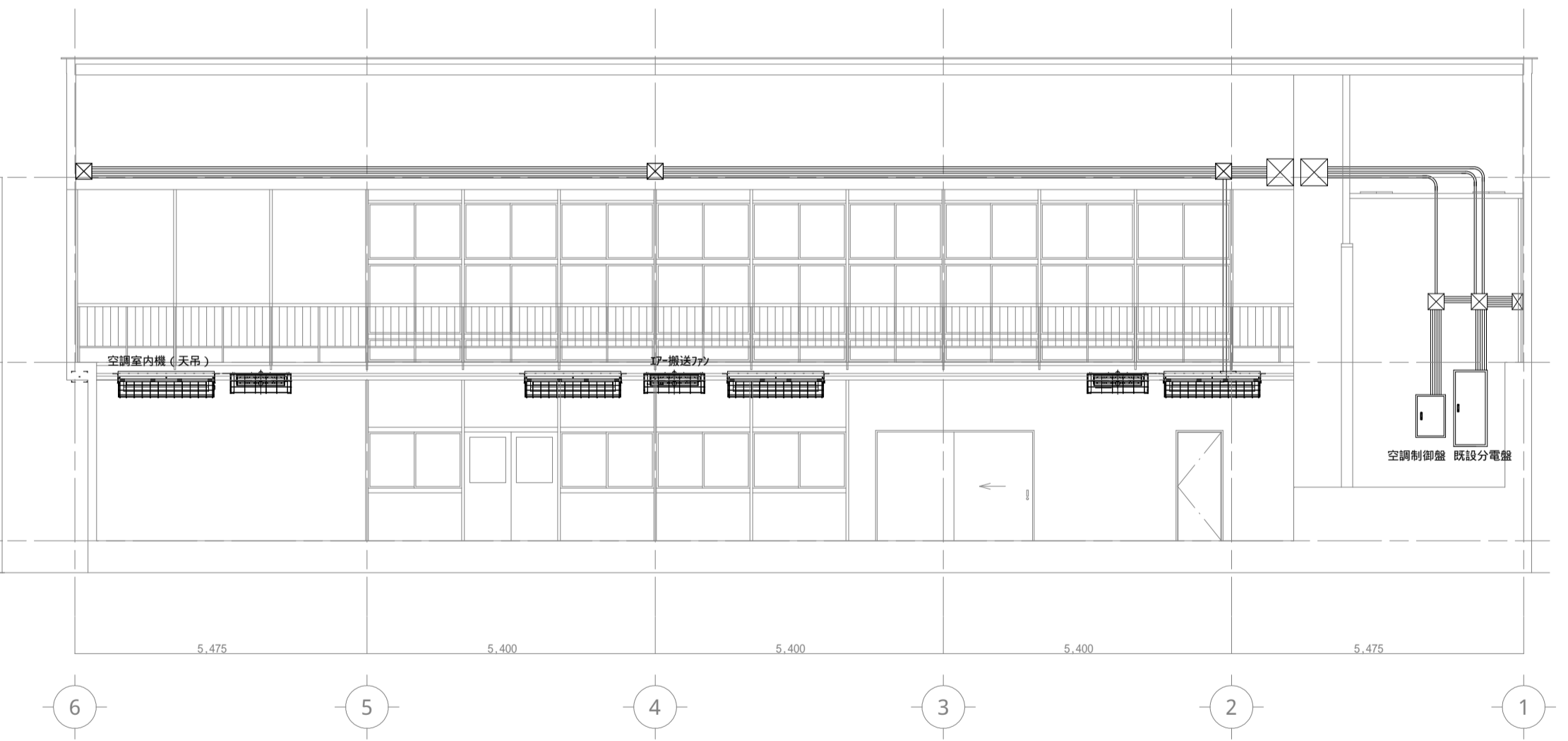
北面展開図 1/100



東面展開図 1/100

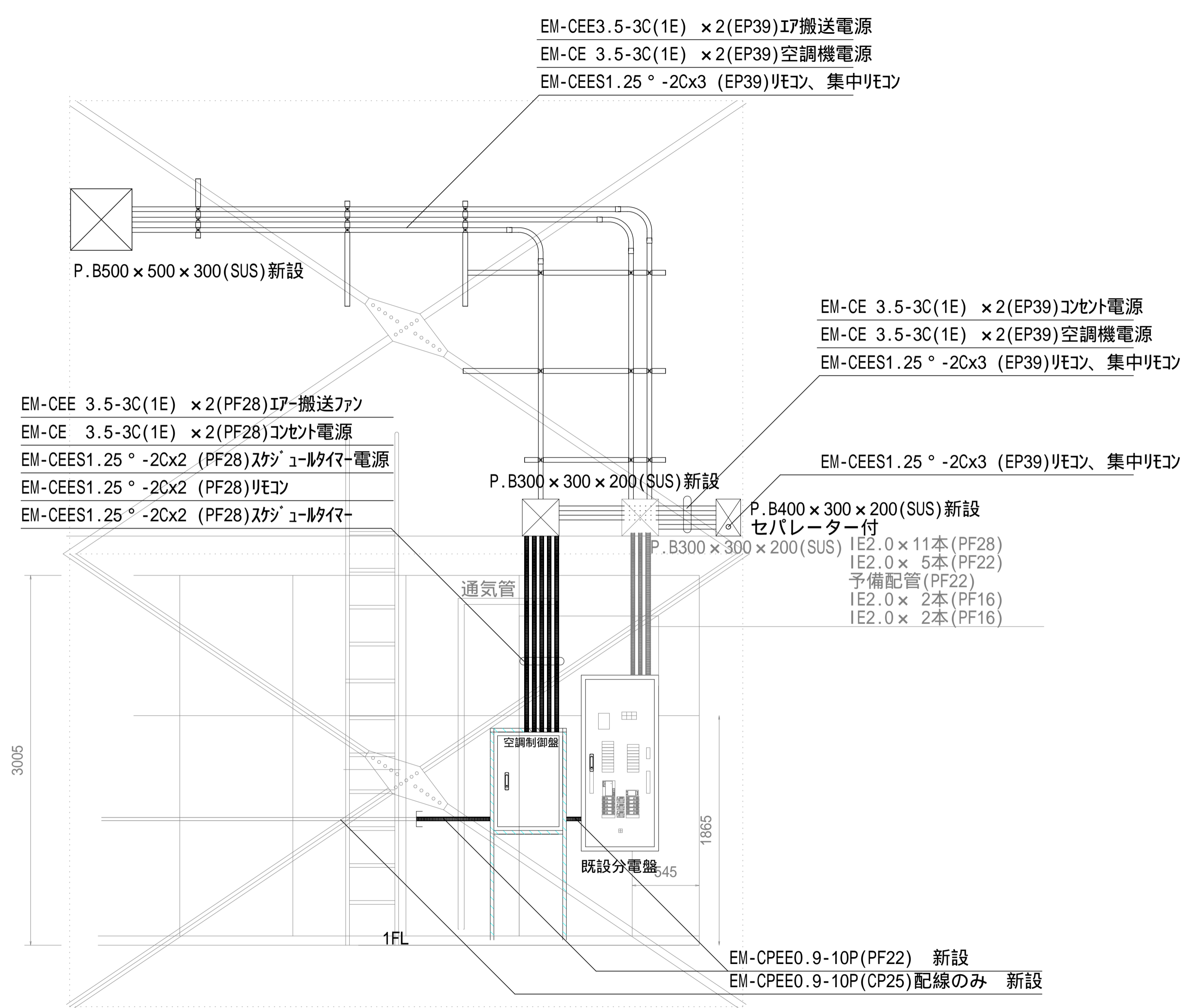


北立面図 1/100



西面展開図 1/100

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E - 14
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 参考展開図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



控室参考展開図 1 / 25

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 笠取小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E - 15
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 参考展開詳細図	縮尺 A2: 1/25 A3: -